DS AUTOMOBILES

DS 9

取扱説明書

ごあいさつ

このたびはDS 9をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、DS 9の取り扱いについて記載してあります。
ご使用になる前に本書をよくお読みになり、ご理解を深めるようお願い申し上げます。
本書は車内に保管し、いつでも読み返すことができるようにしてください。
車に添え付けられているメンテナンスノート（整備手帳）は、携行が義務付けられています。この取扱説明書とともに常時携行していただくようお願い申し上げます。

おことわり

・この取扱説明書は、発売時点の車両仕様をもとに作成しております。DS AUTOMOBILESでは絶えず製品の改良を行っており、予告なく仕様が変更されることがあります。お客様の車両と装備品、仕様等が本書に掲載されている写真、イラスト、仕様等と細部が異なる場合がありますが、あらかじめご了承ください。
・本書は、オプション装備を含む当モデルの全ての装備の説明を記載しております。各装備の有無については車両の仕様によって異なるため、お求めいただいた車両に装備されていない物が記載されていることがありますのであらかじめご了承ください。

重要安全情報

この取扱説明書には、車を安全に取り扱うために必要な情報が記載されています。
また、車を取り扱う上での危険性や注意点などについても説明されており、それに伴う事故を避けるためのアドバイスも含まれています。これらの警告や注意を守らない場合には、死亡を含む人的な傷害や車の破損などにつながる可能性があります。
危険に関する警告や注意は、車体各部に貼り付けた3種類の警告ラベルで表示されています。さらに、本書は注意に関する記載を、人身と物損に分けています。

⚠警 告

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が死亡または重度の傷害を負うおそれがあることを示しています。

⚠注 意

指示に従わなかった場合、乗員や第三者が傷害を負うおそれがあることを示しています。

注 意

指示に従わなかった場合、車を破損させるおそれがあることを示しています。

MEMO

取り扱い上で、重要な点や注意点、アドバイスなどを示しています。

⚠ このマークが付いた指示に従わなかった場合、人身に関わる(死亡や傷害の)おそれがあることを示しています。

車をご使用いただく前に

●消耗品、アクセサリーについて

DS 9に使用する消耗品やアクセサリー類は、当社の純正部品をご使用ください。市販されている汎用の消耗品やアクセサリー類の中には、車の機器に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性がある製品が含まれていることがあります。DSシリーズ車本来の安全性や耐久性を損わないためにも、純正の部品やアクセサリー類のご使用をお勧めします。

●改造について

DS 9の非合法な改造は、法に触れるだけでなく車の安全性や耐久性を著しく損なうおそれがありますので、むやみな改造を行わないでください。本書に記載のない整備や修理については、当社指定サービス工場にご用命ください。

この車の電気配線には、多重通信システムの制御信号が流れています。当社純正以外のナビゲーションシステムやラジオなどのアクセサリー類の取り付けのために車の配線に加工や接続をすると、エンジンやブレーキの制御に障害を与え、その結果、機器の故障や事故に至るおそれがあります。これらの取り付けにあたっては、当社指定サービス工場にご相談ください。

また、当社が供給していないアクセサリー類の取り付けや、あるいは当社の指示に従わない装着方法によって発生した、車または機器の不具合もしくは事故などに関わる損害の補償をいたしません。

●エコノミーモード

エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大30分間行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。

引き続きアクセサリーを使用したいときはエンジンを始動して5分以上回してください。

環境・リサイクルへの取り組み

●自動車リサイクル法

自動車リサイクル法は、使用済自動車（廃車）を適正に処理して、資源の再利用を促進することでゴミを減らすことを目的に作られた法律です。
具体的には、廃車することで発生する再利用できないシュレッダーダストの削減、環境に有害な物質（フロンなど）の適正処理などを行い、環境保護に役立てるものです。そのため、車の所有者、自動車会社（輸入事業者を含む）、自動車関連事業者それぞれに役割が定められています。

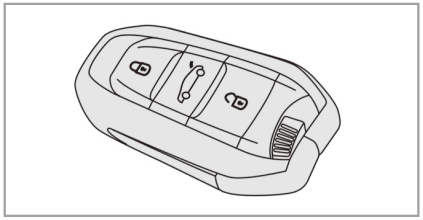
●リサイクルへの取り組み

当社では、自動車リサイクル法が制定される以前から環境保護を行うためのリサイクルに関して対応してきております。
DS 9は、リサイクル可能な素材を車体の多くの部分や部品に採用しています。
車の総重量のうち、90%は何らかの形でリサイクルすることが可能です。
すべてのプラスチック部品には、素材を表す記号がつけられており、簡単に取りはずしや分解ができるように考慮されています。
そのほとんどは熱可塑型を使用していますので、熔解したり粉砕して別の自動車部品として蘇らせることができます。
金属部品も同様に、100%の再利用が可能です。この中にはアルミニウムを始め、プラチナやロジウムといった貴重な金属も含まれます。
なお、アスベストやカドミウムといった有害物質は、設計の段階から使用を除外しています。

●環境への配慮

当社指定サービス工場での定期点検整備をきちんと行うことは、環境保護と公害発散の防止につながります。
当社指定サービス工場では、交換済みのオイルや油脂類、損耗部品などを正しく処理することによって環境保護のために貢献しています。
特にエアコンに使用されている冷媒ガス（フロン：HFC134a）は、地球温暖化につながるため大気に放出してはなりません。
回収や破壊などの適正な処置をとるためにも、車を廃車にするときは当社指定サービス工場にご相談ください。
環境保護は、たとえキーレスエントリーのリモコンの電池1個であっても、お客様のご協力によって実践することができます。

●スマートキー（→P.2-2）



スマートキーをリモコンとして使い、ボタンの操作で施錠／解錠することができます。

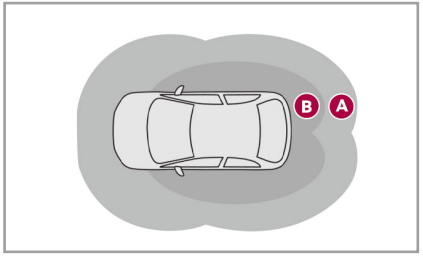
車の解錠

車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびトランクが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

車の施錠

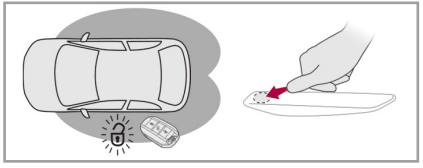
車に向けてリモコンの施錠ボタンを押します。すべてのドアおよびトランクが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。

●プロキシミティキーレスエントリー（→P.2-2）



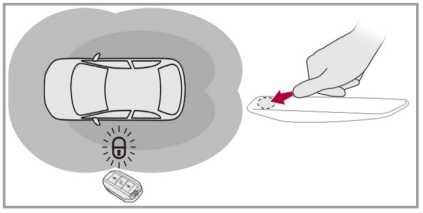
スマートキーを携帯して車両の検知エリアに入る／出ると車の解錠／施錠が自動的に行われます。

車の解錠



スマートキーを携帯してゾーンBに入ります。または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、ドアハンドルを軽く押します。すべてのドアおよびトランクが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

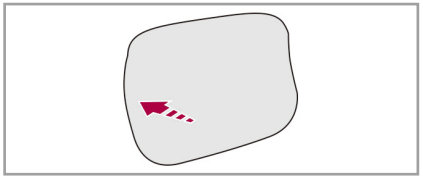
車の施錠



スマートキーを携帯し、車両から離れてゾーンAから出ます。ブザーが鳴り、すべてのドアおよびトランクが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、ドアハンドルを軽く押します。すべてのドアおよびトランクが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。

*仕様により異なります。

●フュエルリッド（→P.2-38）

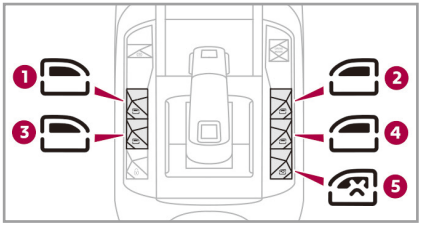


1. ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。
2. 給油フラップの後ろ側を押して開きます。
3. フュエルキャップを左（反時計方向）に回してはずします。*
4. はずしたフュエルキャップは、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。*
5. 給油ノズルを給油口に一番奥まで差し込み給油を開始します。

MEMO

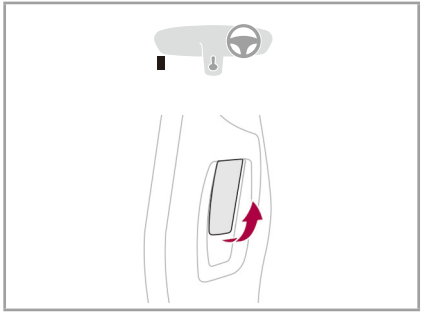
燃料タンクの容量は約60リットルです。

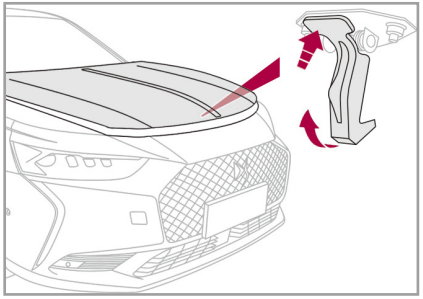
●パワーウィンドウ（→P.2-22）



①：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
②：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
③：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
④：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
⑤：チャイルドセーフティボタン

●ボンネット（→P.2-29）





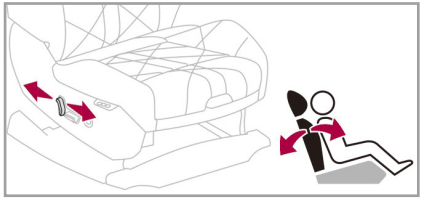
1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネット下のロックレバーを引き上げてから、ボンネットを持ち上げます。

●フロントシートの調整
（→P.1-2）

フロントシートの前後調整

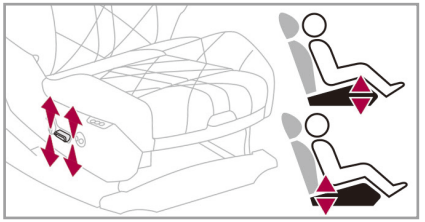
スイッチを前後にスライドして調整します。

バックレストの角度調整



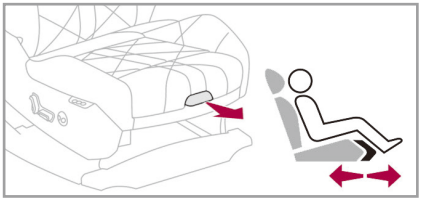
スイッチを前後に倒してバックレストの角度を調整します。

フロントシートの高さと角度調整



・高さ：スイッチの後端を上下して調整します。
・角度：スイッチの前端を上下して調整します。

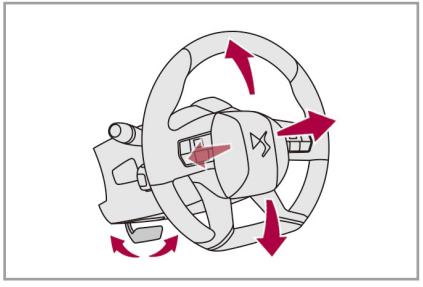
シートクッションの奥行き調整*



ハンドルを引き、シートクッションの前部を前後に動かしてシートクッションの奥行きを調整します。

*仕様により異なります。

●チルト・テレスコピックステアリング（→P.3-5）

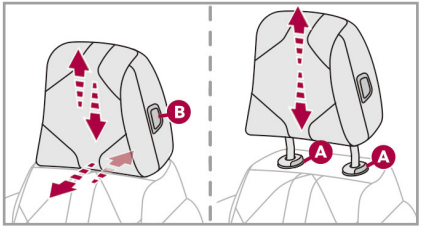


1. ロックレバーを手前に引き、ステアリングのロックを解除します。
2. ステアリングホイールの高さや奥行きを調整します。
3. ロックレバーを押し下げて、ステアリングをロックします。

⚠警 告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

●ヘッドレストの調整（4ウェイ）（→P.1-3）



調整は、ヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うようにします。

高さ調整

ヘッドレストを引き上げると上がります。

ボタンBを押しながらヘッドレストを押すと下がります。

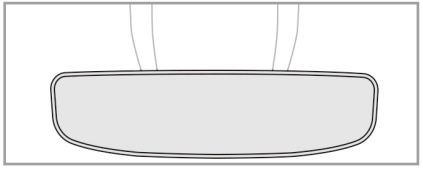
前後調整

ボタンBを押しながらヘッドレストを前後させます。

ヘッドレストの取りはずし

1. 背もたれを後方へ倒します。
2. ヘッドレストを最上の位置に移動します。
3. 根元のラグAを押しながら引き上げます。

●バックミラーの調整（→P.1-10）

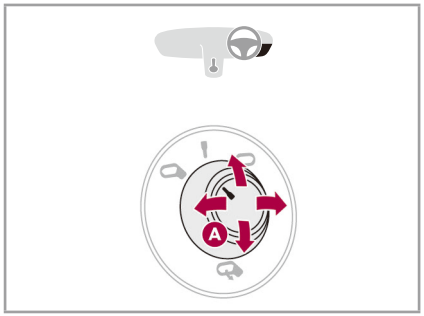


ミラーを動かして、後方がよく見えるように角度を調節します。

自動防眩バックミラーは、センサーでミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。

なお、シフトポジションをRにすると、後方視界を確保するために一時的に明るくなります。

●ドアミラーの調整（→P.1-9）



1. スイッチ**A**を左または右に回して調整するミラーを選択します。
2. スイッチ**A**を上下左右に動かして、角度を調整します。
3. 調整が終わったら、スイッチ**A**を中央の位置に戻します。

スイッチ**A**を下側に回すと、ミラーが格納されます。

●フロントシートベルト（→P.1-16）

水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。
バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

MEMO

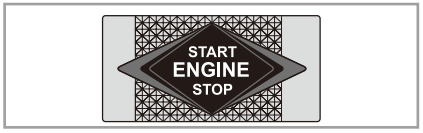
必要に応じてシートの高さを調整し、シートベルトが適切な位置で着用できていることを確認してください。

●電動ランバーサポート*（→P.1-6）

スイッチの前後を押してランバーサポートの張り出しを調整します。
スイッチの上下を押してランバーサポートの高さを調整します。

*仕様により異なります。

●エンジンの始動（→P.3-2）



スマートキーが車内の検知エリアにあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. シフトポジションがPになっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

エンジンの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションをPにします。
3. ENGINE START/STOPスイッチを押します。
4. エンジンが停止し、シフトポジションがPでロックされます。

ENGINE START/STOPスイッチのポジション

オフ

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションまたはスタートポジション（エンジンが始動している状態）のとき、ブレーキペダルを踏まずにENGINE START/STOPスイッチを押すとオフになります。
ハザードランプが使用できます。

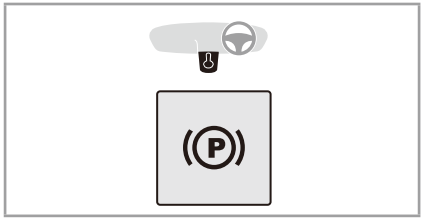
アクセサリーポジション

ENGINE START/STOPスイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずにENGINE START/STOPスイッチを押すと、アクセサリーポジションになります。
警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

スタートポジション

ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチを押すと、スタートポジションになります。
エンジンが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

●エレクトリックパーキングブレーキ（→P.3-16）



手動操作

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに、ブレーキペダルを踏みながらパーキングブレーキスイッチを押し込んでから放すと、パーキングブレーキが解除されます。

自動操作

エンジンを停止すると、パーキングブレーキが自動的にかかります。

アクセルペダルを踏んで発進すると、パーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

AUTO P OFF この表示灯が点灯しているときは、パーキングブレーキの操作をすべて手動で行う必要があります。

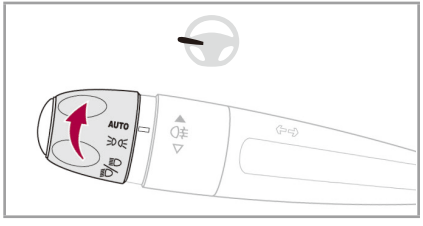
⚠警 告

エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。**ENGINE START/STOP**スイッチがアクセサリーポジションの状態のまま、またはエンジンが始動している状態のままで、お子さまを車内に残して車を離れないでください。

MEMO

エンジンが始動した状態のままで車を離れるときは、手動でパーキングブレーキをかけてください。

●ライトスイッチ（→P.4-29）



ヘッドランプ

AUTO オートライトモード

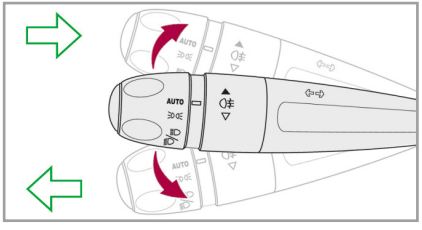
ポジションランプが点灯します。

ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

リアフォグランプ

リアフォグランプが点灯／消灯します。

●方向指示器（→P.4-40）

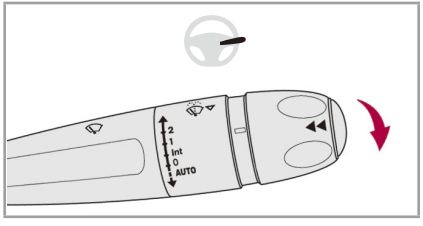


ライトスイッチレバーを上下に動かします。

MEMO

ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。

●フロントワイパー／ウィンドウウォッシャー（→P.4-41）



AUTOモードにするには、ワイパーレバーを押し下げます。ワイパーレバーをもう一度押し下げるか、**0**以外の位置にすると**AUTO**モードが解除されます。
ワイパーレバーを手前に引くとウォッシャー液が噴射されます。

●タッチスクリーン（→P.5-11）

基本操作

← 前のページに戻ります。

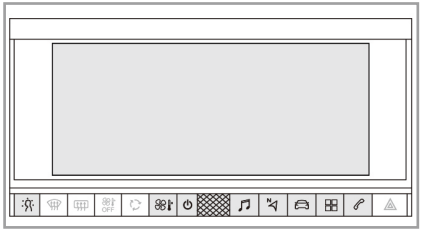
MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

OK 設定項目の変更後、変更画面にあるOKにタッチして設定を有効にします。

さらに詳細な設定項目がある場合には、アイコンにタッチします。

メニュー



DSセンソリアルドライブの設定画面を表示します。*

エアコンの設定画面を表示します。

オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

ナビゲーションを表示します。

車の機能の設定を表示します。

DSセンソリアルドライブの設定画面*、画像ファイルの表示など、その他の設定画面を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。
Apple CarPlay や Android Autoの画面を表示します。（使用中のみ）

スイッチを押すとミュート（消音／停止）になります。
ENGINE START/STOP スイッチがオフの状態では、スイッチを押すとタッチスクリーンの画面が点灯します。

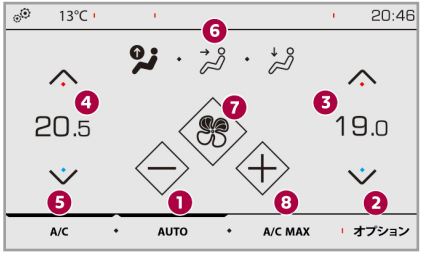
ダイヤルを回して音量を調節できます。

タッチスクリーンの画面上部のアイコンにタッチすると、タッチスクリーンの設定画面を表示します。

MEMO

- ●タッチスクリーンに指3本でタッチすると、メニューが表示されます。
- ●一部の画面は指で左右にスワイプ（タッチした状態で指を滑らせる）することで画面を切り替えることができます。

●左右独立式オートエアコン（→ P.5-3）



①：オートモードの設定

AUTO オートモードを作動／停止します。

②：オプション

オプション オートモードの作動モードを変更できます。

風量を制限して作動します。

通常の風量で作動します。

風量を多めにして作動します。

助手席側の温度設定を運転席側の設定に合わせます。

センサーが車外の空気の質を検知し、内気モード／外気モードを自動で切り替えます。

リアブロアをON/OFFします。

後席用吹き出し口のエアコンコントロールパネルの操作をON/OFFします。

③・④：温度の設定

ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。

⑤：エアコンオン／オフ

A/C 冷房・除湿機能を作動／停止します。

⑥：吹き出し口の切り替え

吹き出し口が切り替わります。

⑦：風量の調整

風量が増減します。

⑧：急速冷房

A/C MAX 室温を急速に冷やしたいときに使用します。

⑨：エアコンの全機能のオフ

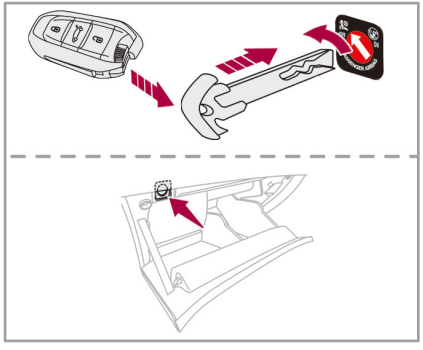
エアコンの全機能が停止します。

⑩：内／外気の切り替え

内気モード／外気モードを切り替えます。

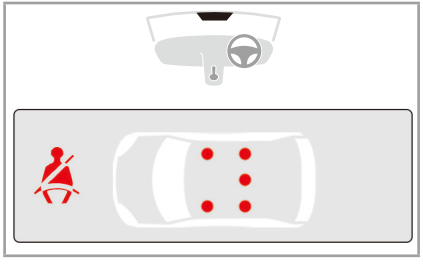
*仕様により異なります。

●助手席エアバッグキャンセルスイッチ（→P.1-31）



1. ENGINE START/STOPスイッチをオフにします。
2. グローブボックスを開きます。
3. スマートキーから緊急用キーを取り出します。
4. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込みます。
5. 助手席に大人が乗車しているとき、もしくは助手席に前向きチャイルドシートを取り付けた場合はONにします。助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けた場合には、必ずOFFにします。
6. そのまま緊急用キーを抜きます。

●シートベルト着用／非着用ディスプレイ（→P.1-17）



インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイのシートベルト警告灯および該当する座席位置の警告灯が点灯または点滅して、シートベルトの着用状況を表示します。

●ストップ&スタート（→P.3-24）

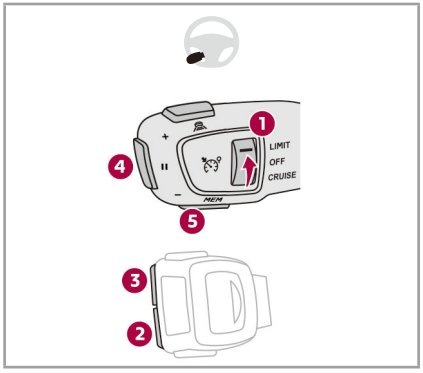
ストップ&スタートの解除は、運転席側のダッシュボードのスイッチを押して設定します。

ストップ&スタートを解除すると、運転席側ダッシュボードのスイッチのインジケーターとインストルメントパネルの表示灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。エンジンを始動すると、ストップ&スタートは作動状態になります。

MEMO

仕様により、システムの解除をタッチスクリーンで設定する場合があります。

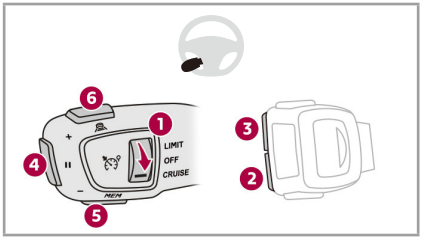
●スピードリミッター（→P.3-66）



①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：設定速度の減少
③：設定速度の増加
④：システムの作動／停止
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

エンジンが始動している状態のときに速度を設定してください。

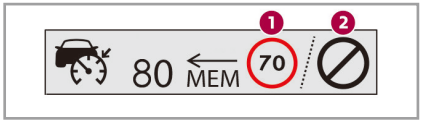
●アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）（→P.3-49）



①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：速度設定／設定速度の減少
③：速度設定／設定速度の増加
④：システムの一時停止／復帰／自動ブレーキによる車両停止後の再発進許可
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付
⑥：車間距離の表示と設定

速度の設定およびシステムの作動は走行中に可能です。

●トラフィックサインインフォメーション（→P.3-45）



①：速度規制標識の制限速度表示
②：速度規制区間終了の表示

速度規制標識を認識して、インストルメントパネル内のディスプレイに制限速度を表示します。表示された制限速度は、アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）やスピードリミッターの走行速度に設定することができます。また、進入禁止の道路標識を認識し、車両が進入禁止区域に進入したと判断したときは、進入禁止の道路標識とともにメッセージを表示します。

目　次

安全なドライブについて
安全装置について
運転装置について
もしものとき
その他

第１章　安全に運転するために

フロントシート…… 1-2
ミラー…… 1-9
リアシート……1-11
シートベルト……1-16
チャイルドシート……1-20
エアバッグ……1-30
走行する前に……1-36
使用燃料について……1-36
冬季の取り扱い……1-37
保安炎筒……1-39
触媒コンバーター……1-39

第２章　各部の開閉のしかた

プロキシミティキーレスエントリー…… 2-2
イモビライザー（盗難防止システム）……2-11
ドア／ドアロック……2-13
アラーム……2-18
パワーウィンドウ……2-22
チャイルドセーフティ……2-24
アウタースライディングガラスルーフ……2-25
ボンネット……2-29
トランク……2-30
ハンズフリーエレクトリックトランクリッド……2-32
フュエルリッド（給油口）……2-38

第３章　運転装置の使いかた

エンジンの始動…… 3-2
ステアリング／ホーン…… 3-5
エフィシェント・オートマチック・トランスミッション…… 3-6
ドライブモード……3-13
DSアクティブスキャンサスペンション ……3-15
エレクトリックパーキングブレーキ……3-16
ヒルスタートアシスタンス……3-20
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）……3-21
ストップ&スタート……3-24
レーンキープアシスト……3-28
ドライバーアテンションアラート……3-33
DSドライバーアテンションモニタリング ……3-36
アクティブセーフティブレーキ……3-38
トラフィックサインインォメーション……3-45
アクティブクルーズコントロール
（ストップ&ゴー機能付き）……3-49
レーンポジショニングアシスト……3-59
スピードリミッター……3-66
ブラインドスポットモニター……3-69
フロント／サイド／バックソナー……3-72
バックカメラ／360°ビジョン ……3-75

DSパークパイロット ……3-81

第４章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル…… 4-2
警告灯類／表示灯類…… 4-6
冷却水温度計……4-23
エンジン油量インジケーター……4-24
サービスインジケーター……4-25
オドメーター……4-27
マニュアルチェック……4-28
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）……4-28
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、
方向指示器、ハザードランプ）……4-29
ワイパー／ウォッシャー……4-41
間接式タイヤ空気圧警告……4-44
DSナイトビジョン ……4-47
ドライブコンピューター……4-52

第５章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー…… 5-2
タッチスクリーン……5-11
DSセンソリアルドライブ ……5-23
ルームランプ……5-26
インテリア……5-28
トランクルーム……5-36

第６章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ…… 6-2
内装のお手入れ…… 6-4
長期間使用しないとき…… 6-5
エンジンルームの点検…… 6-6
電球の交換……6-10
ヒューズの交換……6-13
燃費の改善について……6-14
推奨交換時期……6-15
推奨油脂類……6-15
推奨点検時期……6-16

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換…… 7-2
パンク修理キット…… 7-7
12Vバッテリーが上がったとき ……7-12
けん引されるとき……7-18

車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示…… 8-2
外形寸法…… 8-3
アクセサリー類…… 8-4
索引…… 8-6
付録……8-13

安全のために

重大な事故や車両火災におよぶおそれのある内容と回避方法、一般的な注意事項などについて記載してあります。重要な内容ですので、必ずお読みください。

点検整備のお願い

点検整備を必ず実施してください

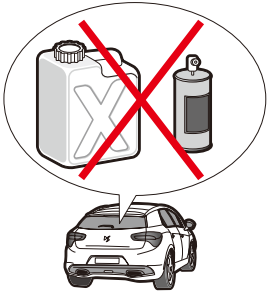
・車を安全に使用していただくため、お客様の責任において日常点検と法定定期点検の実施が法律で義務付けられています。点検内容については、別冊の「**メンテナンスノート**」をお読みください。

・日常点検を行い異常があるときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。（音、振動、臭い、水・油漏れなど）

走行する前の注意

燃えやすいものは積まないでください

・燃料が入った容器や可燃性のガスが入ったスプレー缶などは積まないでください。炎天下の駐車で室内が高温になったときや万一のとき、引火や爆発するおそれがあります。



安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

運転席足元・運転席下にはものを置かないでください

・空き缶などを置くと、ブレーキペダルやアクセルペダルに挟まり、走行中にペダル操作ができなくなるおそれがあります。思わぬ事故につながりますので、絶対に行わないでください。

フロアマットはしっかりと固定して使用してください

・運転前にフロアマットが正しく取り付けられていることを点検してください。また、フロアマットを重ねて敷くことはしないでください。フロアマットがペダル操作の妨げになり、重大な事故につながるおそれがあります。

スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください

・誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ダッシュボードなどにものを取り付けたり、置かないでください

・ダッシュボードなどにものを置いたまま運転すると、視界の妨げや移動して安全運転の妨げになり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

・また、アクセサリー品を取り付けたり、シールを貼り付けると、エアバッグ作動の妨げやエアバッグ作動時にアクセサリー品が飛ばされて、思わぬケガや事故につながるおそれがあります。

荷物は確実に固定してください

・助手席や後席に荷物を積むと、急ブレーキのときなど荷物が放り出されて乗員に当たり、思わぬケガをするおそれがあります。荷物はできるだけラゲッジルームに積み、アクセサリー品（オプション）のネットやベルトを使用して固定してください。

・荷物の積み重ねによる後方視界の妨げがないようにしてください。

燃料補給時の注意

指定以外の燃料を使用しないでください

・燃料は無鉛プレミアム（無鉛ハイオク）ガソリンを給油してください。
・有鉛ガソリンや粗悪なガソリン、指定以外の燃料（軽油、高濃度アルコール含有燃料など）を給油すると、エンジンなどに悪影響を与えますので使用しないでください。

燃料補給時には次のことをお守りください

セルフ式のガソリンスタンドで給油するときは、十分に注意して給油してください。

1. エンジンは必ず停止して、ドアやウィンドウを閉めます。タバコなどの火気は近付けないでください。
2. フュエルリッド、フュエルキャップを開けるなどの給油作業を行う前に、車体や給油機などの金属部分に触れて身体の静電気を除去してください。
   身体に静電気が帯電していると、放電による火花で燃料に引火し、やけどをするおそれがあります。また給油口には、身体の静電気を除去した方以外の人を近付けないでください。
3. フュエルキャップは、何度かに分けて開き、燃料タンク内の圧力を少しずつ下げてからはずします。
   フュエルキャップが「シュー」と音を出すときは、その状態で鳴り止むのを待ってから開けます。いっきに開けると、燃料が給油口から噴き返して、傷害を受けたり火災になるおそれがあります。
4. 給油作業中は、車内に戻ったり、帯電している人やものに触れないでください。再び帯電するおそれがあります。
5. 燃料を車体にこぼさないように注意してください。塗装面を傷めるおそれがあります。
6. 給油時に気化した燃料を吸い込まないように注意してください。燃料の成分には、有害物質を含んでいるものがあります。
7. 給油後は、フュエルキャップが確実に閉まっていることを確認してください。
8. その他、ガソリンスタンド内に掲示されている注意事項を守ってください。

走行するときの注意

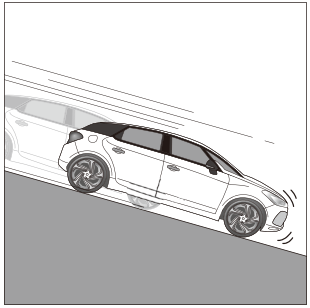
走行中は ENGINE START/STOP スイッチを押さないでください

・走行中に **ENGINE START/STOP** スイッチを押し続けるとエンジンが停止して、ブレーキ倍力装置が働きません。そのためにブレーキの効きが悪くなり、ハンドル操作も重くなるために思わぬ事故につながるおそれがあります。非常に危険なので、絶対に行わないでください。

長い下り坂ではエンジンブレーキ * を併用してください

・ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなるおそれがあります。坂の勾配に応じて、適切なレンジを選択し、エンジンブレーキを併用してください。

* エンジンブレーキ
走行中にアクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ



安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

車を移動するときはエンジンを始動してください

・エンジンが始動していないときは、ハンドルやブレーキの操作力の補助がなくなり、ハンドルが重くなったりブレーキの効きが悪くなります。車を少し移動させるときでも、必ずエンジンを始動してください。車を押したり傾斜を利用して車を移動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください。また、エレクトリックパーキングブレーキのオートマチック機能を解除している場合は、パーキングブレーキをかけたまま走行しないでください

・ブレーキパッドが早く摩耗したり、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運転中にハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用しないでください

・ハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を、運転中に操作することは法律で禁止されています。

・ハンズフリーであっても注意力が散漫になり、事故の原因につながるおそれがありますので、車を安全な場所に停車して使用することをお勧めします。

カーナビゲーションシステムなどの操作は停車時に行ってください

・運転中にカーナビゲーションシステムなどを操作しないでください。操作は安全な場所に停車して行ってください。

雨天の走行は次のことに注意してください

・濡れた路面では、タイヤのグリップが低下して滑りやすくなります。通常より注意して安全運転に心がけ、急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避けてください。

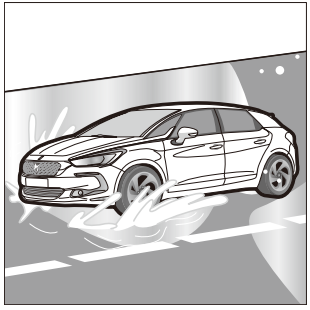
・わだちなどにできた水たまりに高速で進入すると、ハイドロプレーニング現象 * を起こしてハンドル操作やブレーキが効かなくなります。特に摩耗したタイヤは、ハイドロプレーニング現象が起きやすいので注意してください。

* ハイドロプレーニング現象
水たまりを高速で走行しているときに、タイヤと路面の間に水の膜ができ、タイヤが浮いた状態になり、車がコントロールできなくなる現象。

・水たまり走行後や洗車後は、ブレーキペダルを軽く踏んでブレーキの効き具合を確認してください。ブレーキの効きが悪いときは、周囲の車に十分注意しながら低速で走行し、ブレーキの効きが回復するまで繰り返しブレーキペダルを軽く踏んでください。

冠水した道路の走行は避けてください

・冠水した道路を走行すると、エンストするだけでなく、水を吸い込んでのエンジン破損などの車両故障につながるおそれがあります。



やむを得ず冠水した道路を走行するときは次のことをお守りください。ただし、冠水した道路の水面が15cm を超えるような場合は走行しないでください

・ストップ&スタートを解除する

・エンストしない程度に速度を落とし、時速10km 以上で走行しない

・車を停止したり、エンジンを停止したりしない

冠水した道路から脱出したら、できるだけ早く安全な場所で、ブレーキペダルを軽く数回踏み、ブレーキの湿りを乾かしてください。車の状態に不安がある場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

霧で見えにくいときはフォグランプを併用してください

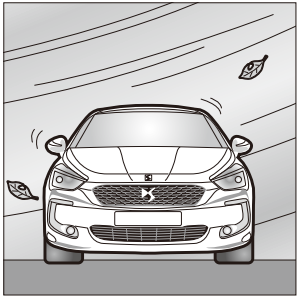
・霧で視界が悪いときは、昼間でもヘッドランプ（下向き）とフォグランプを点灯して、周囲の車や歩行者に車の存在を知らせてください。走行は、センターライン、ガードレール、前の車のテールランプを目安にして十分な車間距離をとってください。
・オートライトシステムは、周囲が明るい昼間はヘッドランプが点灯しません。手動で点灯してください。

雪が降っているときの滑りやすい路面に注意してください

・雪道や路面が凍結しているときは、非常に滑りやすくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。冬用タイヤまたはタイヤチェーン／ネットを使用していても急加速、急ブレーキ、急激なエンジンブレーキ、急ハンドルを避け、十分な車間距離をとり低速で走行してください。

横風が強いときに走行が乱れないように注意してください

・横風を受け、車が横に流されるようなときは、ハンドルをしっかり握り、速度を徐々に下げてください。
・特にトンネルの出口、橋や土手の上、大型車の追い越しや追い越されたときなどには、横風の影響を受けやすいので注意してください。

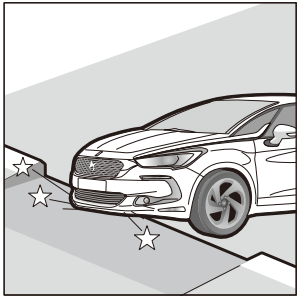


高速道路に入る前には燃料などの確認をしてください

・燃料は十分に給油してあるかを確認してください。
・タイヤの空気圧を確認してください。空気圧不足で高速走行すると、タイヤがバースト（破裂）するおそれがあります。
・万一のために、停止表示板（停止表示灯）を車に用意しておいてください。（法律で義務付けられています。）

段差ではフロントスポイラーのこすれに注意してください

・段差のある場所は、速度を落としてゆっくりと進んでください。路面の状態によっては、フロントスポイラーがこすれることがあります。
・フロント側から進入すると車止めにこすれたり当たることがありますので注意してください。



車を後退させるときは周囲に注意してください

・バックミラーやカメラには確認できない死角があります。車を後退させるときは、前もって車から降りて後方の人や障害物を確認してください。

お子さまを乗せるときの注意

お子さまは後席に座らせてください

・お子さまを助手席に乗せないでください。走行中にお子さまの動作が気になったり、運転装置へのいたずらなど事故につながるおそれがあります。

・また、万一の事故などで助手席の SRS エアバッグが作動したときに、ケガをするおそれがあります。

お子さまにもシートベルトを着用させてください

・お子さまにも必ずシートベルトを着用させてください。お子さまを膝の上に抱いての乗車は、絶対にしないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときにお子さまを支えることができず、ケガをするおそれがあります。
シートベルトが首や顔に当たったり、腰骨にかからないなどで正しく着用できない小さなお子さまには、ベビーシートやチャイルドシートを使用してください。

＊仕様により異なります。

安 全 な ド ラ イ ブ に つ い て

チャイルドシートは後席に正しく取り付けてください
(→ P.1-20)

・チャイルドシートの使用は6歳未満のお子さまに法律で義務付けられています。6歳以上のお子さまでもシートベルトが正しく着用できないときは、チャイルドシートを使用してください。お子さまの安全のため、短時間の走行でも身体に合った当社純正品のベビーシートやチャイルドシートを使用してください。
・取り付け方法は、シートに付属している取扱説明書に従って後席に正しく取り付けてください。乳幼児用のベビーシートは進行方向に対して後ろ向きに、チャイルドシートは前向きに取り付けてください。
・やむを得ず助手席にチャイルドシートを取り付けるときは、助手席の位置を一番後ろに移動して前向きに取り付けてください。ベビーシートタイプで後ろ向きに装着するときは、助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にしてください。衝撃でケガをしたり、最悪の場合死亡するおそれがあります。キャンセルスイッチがない車では、進行方向に対して後ろ向きに装着しないでください。
・当社純正のベビーシート、チャイルドシートの詳細については、当社販売店にお問い合わせください。

ドア、ウィンドウ、アウタースライディングガラスルーフ * などの開閉は大人が操作してください

・ドア、ウィンドウ、アウタースライディングガラスルーフなどの開閉は、お子さまに操作させないでください。開閉時に手や首、足などを挟み、思わぬケガをするおそれがあります。また、同乗者が操作するときも十分に注意してください。
・後席にいるお子さまが操作できないように、ウィンドウを後席スイッチで開けられなくし、車内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティ機能を必ず使用してください。

ウィンドウやアウタースライディングガラスルーフ * から手や顔を出さないでください

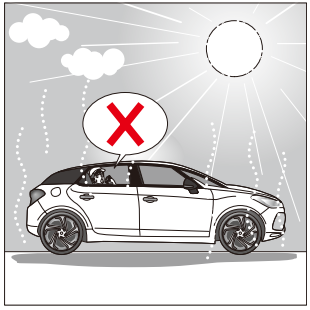
・急ブレーキ時に窓枠にぶつけたり、車外の障害物に当たったりして、思わぬケガをするおそれがあります。

シートの可動部分に気をつけてください

・お子さまが、リアシートやフロントシートの隙間に手を入れたり、可動部分に触れたりして思わぬケガにつながるおそれがあります。同乗者の方が十分に注意をしてください。
・走行中は必ずベビーシートやチャイルドシートに座らせるか、シートベルトをさせてください。

お子さまだけを車内に残さないでください

・車から離れるときは、エンジンを停止し、スマートキーを携行して必ずお子さまも一緒に降ろしてください。
・お子さまのいたずらにより、車の発進、火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・炎天下の車内は50℃以上の高温になり、脱水症状、熱射病などの生命の危険に関わるおそれがあります。



駐停車するときの注意

燃えやすいものや植え込みに注意してください

・紙や枯草、木材などの燃えやすいものの上や近くには駐停車しないでください。特に走行後の排気管や排気ガスは高温になるため引火するおそれがあります。
・車両後方に燃えやすいものや植え込みがあるときは、車両後端から十分に距離を取って駐車してください。すき間が少ないと、排気ガスによる変色や着火、生育への悪影響につながるおそれがありますので、車の向きも配慮してください。

ハンドルをいっぱいに回した状態を続けないでください

・車庫入れなどで、エンジンが始動している状態のままハンドルをいっぱいに切った状態を長く続けると、ハンドル操作力が重くなることがありますが異常ではありません。

車から離れるときはエンジンを停止し、施錠してください

・シフトポジションを P にしてからエンジンを停止し、パーキングブレーキがかかっていることを確認して、ドアを施錠してください。無人で車が動き出して、思わぬ事故につながるおそれがあります。坂道では、シフトポジションを P にし、さらにタイヤに輪止めをしてください。
・貴重品を車内に残さないでください。施錠しても盗難につながるおそれがあります。
・お子さまや介護の必要な方だけを車内に残さないでください。車の発進や車内の高温／低温による思わぬ傷害などが発生するおそれがあります。

炎天下での駐車時は、ライター、スプレー缶、炭酸飲料などを車内に放置しないでください

・車体やシート、ステアリングなどが高温となり、やけどをするおそれがあります。駐車後に乗車されるときは注意してください。
・車内にお子さまやペットなどを乗せたまま車から離れることは、絶対におやめください。車内の温度が50℃を超えることもあり、大変危険な状態になります。
・ライターやスプレー缶、炭酸飲料などは、自然発火や破裂を起こすおそれがあります。車内に放置しないでください。
・ガスライターを床やシートのすき間に落としたままにすると、シートを動かしたときに着火して火災につながるおそれがあります。
・メガネをダッシュボードなどに置いたままにすると、変形やひび割れのおそれがあります。また、レンズにより火災を起こすことがあり危険です。

仮眠するときは必ずエンジンを停止してください

・無意識にシフトレバーを動かしたり、アクセルペダルを踏み込んだりして車が発進するおそれがあります。
・エンジンや排気管の異常過熱による火災が発生するなどの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・車内で仮眠するときは、エンジンを停止し、助手席または後席でしてください。
・排気管が損傷していたり、風向きや風通しの悪い場所では、排気ガスが車内に侵入し一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

エンジンルーム内に可燃物を放置しないでください

・エンジンルーム内に燃えやすい物を置き忘れないように注意してください。引火のおそれがあります。
・車両を長時間使用しなかった場合は、小動物や鳥類に持ち込まれた小枝などがないことを確認してください。もし走行中に焦げた臭いを感じたときは、直ちに停車して確認してください。

走行中に異常を感じたとき

警告灯が点灯・点滅したときは、直ちに停車して適切な処置をしてください

・走行中に警告灯が点灯や点滅したときは、直ちに安全な場所に停車し、適切な処置をしてください。(「第4章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた」を参照)
そのまま走行すると故障の原因になるだけでなく、重大な事故につながるおそれがあります。

・走行中は車の状態に気を配り、いつもと異なる音や臭い、振動などを感じたときは、直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。

・故障などでやむを得ず路上に停車するときは、ハザードランプの他に停止表示板を使用して、他の車両に停止していることを知らせてください。

走行中にタイヤがパンクやバーストしたときは、あわてずに安全な場所に停車してください

・走行中、タイヤに異常があったときは、あわてずにハンドルをしっかり握り、徐々に速度を下げて安全な場所に停車してください。
急ブレーキや急ハンドルは、車のコントロールができなくなるおそれがあります。

走行中に床下やタイヤなどに大きな音や衝撃を感じたときは車の下部を点検してください

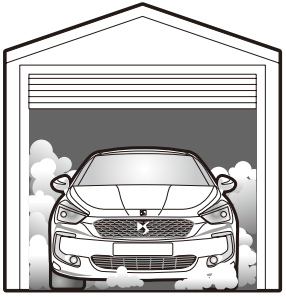
・直ちに安全な場所に停車し、車の下部を点検してください。ブレーキ液や燃料の漏れ、サスペンション部品、タイヤ関係、駆動系部品などの変形や損傷は、そのまま使用すると思わぬ事故につながるおそれがあります。漏れや損傷を見つけたときは、運転を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

排気ガスについての注意

換気が悪い場所や屋内ではエンジンを始動させた状態のままにしないでください

・車庫や屋内などの換気が悪い場所では、排気ガスが充満しやすいのでエンジンを始動させた状態のままにしないでください。排気ガスには無色無臭の有害な一酸化炭素が含まれており、吸い込むと排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な障害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

・排気管に腐食などによる穴や亀裂がないかをときどき点検してください。走行中に排気ガスが車内に侵入するおそれがあります。



・降雪時や雪が積もった場所では、エンジンを始動させた状態のままにしないでください。まわりに積もった雪で排気ガスが滞留して、車内に侵入するおそれがあります。

車内で排気ガスの臭いがしたら次のことをしてください

・直ちにすべてのウィンドウを全開にする。

・エアコンの内外気の切り替えを外気にして風量を最大にする。

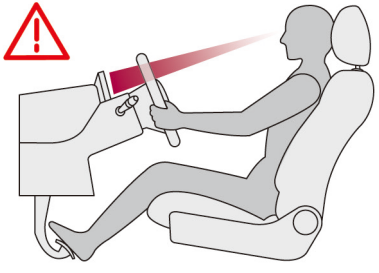
・すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。放置すると、排気ガスによる一酸化炭素中毒になり重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。

シート位置についての注意

走行する前に、正しい運転（乗車）姿勢がとれるシート位置に設定してください

・運転操作を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。
・万一衝突したときにシートベルトや SRS エアバッグ、ヘッドレストなどの乗員保護装置の効果が軽減されて、重大な傷害を受けるおそれがあります。

運転者



・背もたれの角度を調整します。背中が背もたれから離れないように深く腰掛け、背もたれは倒しすぎない角度に調整し、25°以上倒さないようにします。
・ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。
・フロントウィンドウから前方がよく見える位置に、シートの高さを調整します。頭の上からルーフまでは10cm 以上離します。
・ペダルが十分踏み込めるように、シートの前後位置を調整します。
・膝がダッシュボードに当たらないように、10cm 以上離します。
・ステアリングホイールは、胸部から25cm 離し、ハンドルを握ったときにひじが伸びきらず、少し曲がっている状態で、メーター類が見やすい位置に調整します。
・座面の奥行きが調整できる場合は、腿がシートクッションに乗るようにします。
・ランバーサポートの調整ができる場合は、背中に合うように張り出しと高さを調整します。

走行する前にミラーの位置を調整してください

・後方が確実に確認できるように、ドアミラー、バックミラーを正しく調整してください。
・走行中に調整すると、運転操作を誤り、思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中は正しい運転姿勢を保ってください

・走行中は正しい運転姿勢を保ち、ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。

他の乗員

・背中が背もたれから離れないように、深く腰掛けます。
・胸部がダッシュボードから25cm 以上離れるように、シートの前後位置を調整します。
・ヘッドレストの高さは、上端と頭の上が揃うように調整します。

走行中は背もたれを倒しすぎないようにしてください

・急ブレーキをかけたときや万一衝突したときにシートベルトなどの乗員保護装置の効果が十分に発揮されず、身体がシートベルトの下に潜り込んだり、シートベルトが首にかかり傷害を受けるおそれがあります。

シートベルトについての注意

シートベルトは正しく着用してください

・乗車した全員が正しくシートベルトを着用してください。シートベルトを着用しなかったり、正しく着用していないと、万一衝突したときにプリテンショナー *、フォースリミッター ** 付きシートベルト、エアバッグなどの乗員保護装置の機能が適切に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。

* プリテンショナー
前方からの強い衝撃を受けたときに、瞬間的にシートベルトを引き込み身体を固定して乗員保護装置の効果を高める装置。

** フォースリミッター
シートベルトに一定以上の衝撃を受けたときに、身体にかかる衝撃を減少させる装置。

・肩部ベルトを肩に十分にかけ、首にかかったり、肩からはずれないようにしてください。また、腰部ベルトは腰骨のできるだけ低い位置にしてください。

妊娠中の方や疾患のある方も必ずシートベルトを正しく着用してください

・医師に注意事項をご確認ください。
・腰部ベルトが腹部にかからないように、腰骨のできるだけ低い位置にしてください。また、肩部ベルトは腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。

損傷のあるシートベルトは直ちに交換してください

・損傷したシートベルトを使用すると、衝突したときなどに十分な効果を発揮できず、重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトやプレートを、シートやドアに挟まないでください。傷が付くおそれがあります。
・万一重大な事故にあったときは、明らかな損傷が見受けられなくても、シート、シートベルトを交換してください。
・プリテンショナー付きシートベルトの取りはずしや交換・廃棄は当社指定サービス工場以外では行わないでください。

SRS エアバッグについての注意

・SRS エアバッグシステムは（SRS = Supplemental Restraint System）補助拘束の事です。
・SRS エアバッグは、センサーが一定以上の衝撃を感知したときにのみ作動します。衝突などで車が大きく変形しても、衝撃吸収ボディ構造により衝撃が段階的に吸収されたときは、SRS エアバッグが作動しないことがあります。

フロントエアバッグの効果は正しい姿勢とシートベルトとで発揮します

・SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助するシステムで、シートベルトに代わるものではありません。このシステムはシートベルトを必ず着用してください。
・シートに正しく座りシートベルトを正しく着用していないと、衝突などで身体が前方に放り出されたときに SRS エアバッグシステムがふくらみ、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。
・運転者とステアリングホイールとの間には、適当な距離を確保してください。あまり近すぎると、エアバッグの効果が低下したり、エアバッグそのものでケガを負うおそれがあります。
・ステアリングホイールは、9時と3時の位置を外側から両手で持ってください。他の位置（12時の位置や真ん中、内側）を持つと思わぬケガにつながったり、エアバッグが作動した際に重大なケガを負うおそれがあります。

安 全 装 置 に つ い て

フロントエアバッグは車両前方からの衝撃を緩和します

・SRS フロントエアバッグは、**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに、車両前方から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を緩和するシステムです。

フロントエアバッグの保護性能が発揮されるために次の点に注意してください

・運転者が顔や胸をステアリングに近付けすぎると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい運転姿勢で座り、ステアリングに近付きすぎないようにしてください。

・助手席に乗車する人は、シート前端に座ったり、ダッシュボードに足を乗せていたりすると、SRS エアバッグがふくらんだときに強い衝撃を受け非常に危険です。常に正しい乗車姿勢で座り、ダッシュボードに近付きすぎないようにしてください。

エアバッグの近くにものを置いたり、ステッカーなどを貼り付けないでください

・ステアリングを交換したり、ステアリングのパット部にステッカーなどを貼り付けないでください。

・助手席側エアバッグの周辺（ダッシュボード）にカー用品や芳香剤を置いたり、傘などを立てかけないでください。

・エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされて、ケガをするおそれがあります。

＊仕様により異なります。

SRS サイドエアバッグ／ファーサイドエアバッグ＊／カーテンエアバッグについての注意

・SRS サイドエアバッグ／ファーサイドエアバッグ／カーテンエアバッグは、車両側面から乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を受けたときに瞬時にふくらみ、乗員の頭や胸にかかる衝撃を分散、緩和させる乗員保護装置です。

サイドエアバッグ／ファーサイドエアバッグ／カーテンエアバッグは車両側面からの衝撃を緩和します

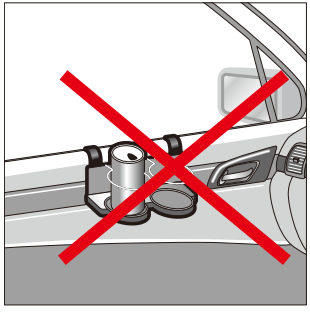
・サイドエアバッグは、前席の背もたれ側面 (ドア側) に収納されています。ファーサイドエアバッグは、運転席の背もたれ側面（左側）に収納されています。カーテンエアバッグは、ドアピラー部からルーフにかけて収納されています。
・シートの側面周囲には、ものを置かないでください。
・シートにシートカバーや上着をかけたり、ベルトを巻きつけないでください。

ドアやウィンドウにもたれかからないでください

・SRS サイドエアバッグ収納部に手、足、顔を近付けたり、ドアやウィンドウにもたれかかるような姿勢でシートに座らないでください。エアバッグがふくらむときに強い衝撃を受け、非常に危険です。

ドアやサイドエアバッグの近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けないでください

・SRS サイドエアバッグ収納部の近くにカップホルダーなどのカー用品を取り付けたり、ステッカーなどを貼らないでください。エアバッグが正常に作動しなかったり、エアバッグがふくらんだときに飛ばされてケガをするおそれがあります。



運 転 装 置 に つ い て

ABS と ESC ／ ASR についての注意

ABS（アンチロックブレーキシステム）を過信しないでください

・ABS は Antilock Brake System の略で、急ブレーキをかけたときに車輪がロックするのを防ぎ車の操縦性を確保しようとする装置で、制動距離を短くするための装置ではありません。
・次のような路面では、ABS なしの車よりも制動距離が長くなることがあります。速度は控えめにして車間距離を十分にとってください。
　・ 砂利道や雪道、凍結路などを走行しているとき
　・ タイヤチェーン／ネットを装着しているとき
　・ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えるとき
　・ 石だたみなどの悪路を走行しているとき

ESC ／ ASR（エレクトロニックスタビリティコントロール／トラクションコントロール）を過信しないでください

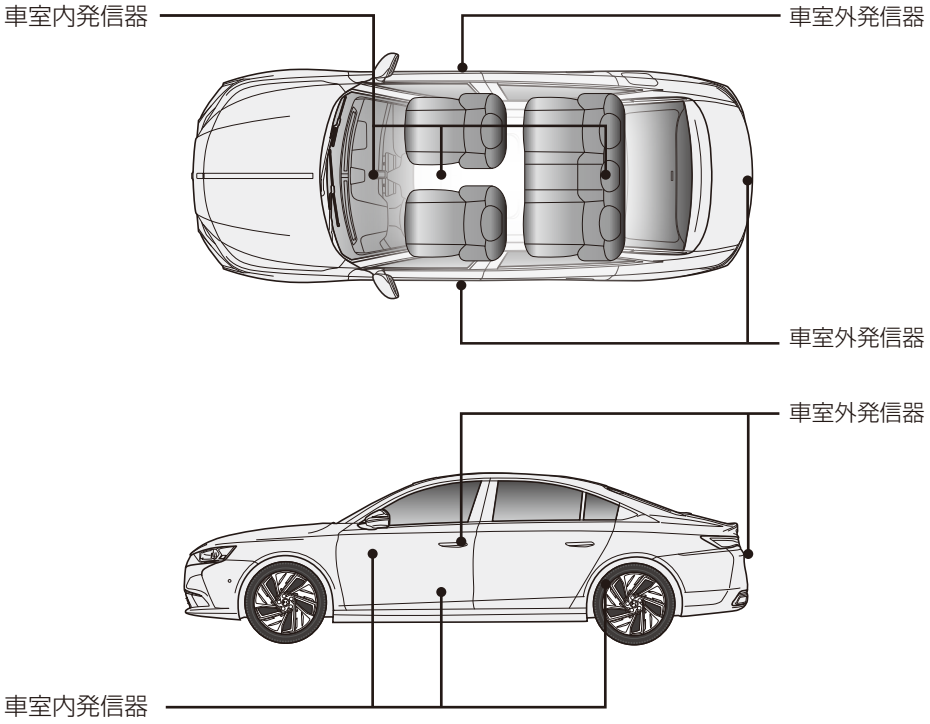
・ESC システムは、滑りやすい道路での旋回時などに、車の動きと運転者が意図するコースとに著しい差が発生したとき、自動的にブレーキやエンジンの出力を制御して車の走行安定性を確保しようとするシステムです。
・ASR は滑りやすい道路での発進や急加速時に生じる空転を防ぎ、車の走行安定性を向上させようとするシステムです。
・ESC ／ ASR が作動した状態でも、車の走行安定性には限界があります。ESC ／ ASR を過信せずに速度を下げて、車間距離を十分にとって安全運転を心がけてください。

スマートキーについての注意

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、スマートキー検知用の車室内発信器・車室外発信器から約22cm 以内に近付かないようにしてください

・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

アンテナ位置



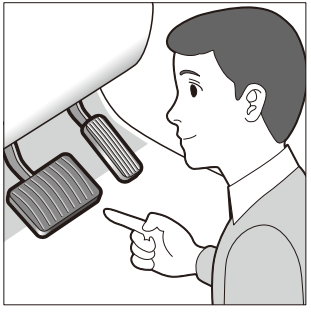
エフィシェント・オートマチック・トランスミッション車についての注意

クリープ現象に注意してください

・クリープ現象とは、エンジンが始動している状態のときにシフトポジションを P または N 以外にすると、アクセルペダルを踏まなくても車が動き出すことです。
・停車中はブレーキペダルをしっかりと踏んでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
・特にエンジンの始動直後やエアコン作動時のエンジン回転が上がっているときは、ブレーキペダルをしっかりと踏んでください。

ブレーキとアクセルのペダル位置に注意してください

・ペダルの踏み違いは、思わぬ事故につながります。エンジンを始動する前にペダルの位置を確認してください。
・また、アクセルペダルとブレーキペダルは右足で操作してください。



運 転 装 置 に つ い て

発進前／停車後のシフトレバーの操作はブレーキを踏んでください

・エンジンを始動するときはブレーキペダルをしっかり踏み込んでください。
・シフトレバーの操作は、エンジン始動直後やエアコン作動時などはクリープ現象が強くなるので、特にしっかりとブレーキペダルを踏んで行ってください。
・発進時のシフトレバーの操作は、ブレーキペダルをしっかり踏み込んで行ってください。急発進して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

アクセルペダルはゆっくり踏んでください

・アクセルペダルを急激に踏み込むと、急発進して思わぬ事故につながるおそれがあります。

走行中はシフトポジションを N にしないでください

・走行中にシフトポジションを **N** にすると、エンジンブレーキが効かなくなり思わぬ事故につながるおそれがあります。
・オートマチックトランスミッション内のオイルの潤滑が悪くなり、故障するおそれがあります。

後退した後はシフトポジションを N に戻してください

・後退した後は、すぐシフトポジションを **R** から **N** に戻す習慣をつけてください。

シフトポジションは目で確認してください

・シフトポジションを変更するときは、必ずシフトポジションを目で確認してください。

追い越しにはキックダウンを利用してください

・**D** または2速以上（マニュアルシフトポジション）で走行中に、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むと自動的に低速ギアに切り替わり、急加速が得られます。
・滑りやすい路面や急カーブなどでは使用しないでください。タイヤがスリップして思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車はシフトポジションを P にしてください

・駐車するときはシフトポジションを **P** にして、パーキングブレーキをしっかりかけてください。クリープ現象などで無人で車が動き出したり、誤ってアクセルペダルを踏み込み、急発進したりし、事故につながるおそれがあります。

無用な空ぶかしはしないでください

・万一、シフトポジションが **P**、**N** 以外にあると、急発進し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

運 転 装 置 に つ い て

クルーズコントロールについての注意

クルーズコントロールを使用しないときはメインスイッチをオフにしてください
誤ってクルーズコントロールを作動させると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ストップ & スタートについての注意

車から離れるときは、必ず **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてスマートキーを携行してください。ストップ & スタート機能が作動していると、シートベルトをはずしたりドアを開けたときに自動的にエンジンが始動して、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドライビングサポート機能についての注意

アクティブセーフティブレーキなどのドライビングサポート各機能は、ドライバーの運転支援を目的としているため、機能には限界があり、路面や天候などの条件によっては作動しない場合があります。機能を過信せずに常に安全運転をお願いします。

オーバーヒートについての注意

オーバーヒートの症状について

・次のような症状が現れるとともに、インストルメントパネルのSTOP 警告灯が点灯します。
・冷却水温度計がレッドゾーンに入ったり、エンジンの出力が急に低下する。
・ボンネット（エンジンルーム）から蒸気が出てくる。

オーバーヒートの対応について

・ボンネットから蒸気が出ているときは、蒸気が出なくなるまでボンネットを開けないでください。エンジンルーム内が高温になっているため、やけどなどをするおそれがあります。
・冷却水温度が下がるまで、冷却水タンクのキャップを開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出して、やけどをするおそれがあります。
・オーバーヒートを起こしたまま走行を続けると、エンジンなどに重大な損傷を起こすおそれがあります。安全な場所に停車し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

故障したとき／事故が起きたときの注意

走行中に路上で故障したとき

・一般道では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、非常点滅灯を点滅させます。必要に応じて、車の後方に停止表示板を置いてください。
・高速道路や自動車専用道路では、車を路肩などの安全な場所へ移動させ、車内の乗員を安全な場所に避難させてください。次に非常点滅灯を点滅させ、車の後方に停止表示板を置いて（法律で義務付けられています）ください。

路上で動けなくなったとき

・車を移動するときは、シフトポジションを **N** にしてパーキングブレーキを解除し、安全な場所へ移動させてください。

踏切内で動けなくなったとき

・同乗者や付近の人に協力してもらい安全な場所まで押してもらってください。車を移動するときは、エンジンを始動してシフトポジションを **N** にし、パーキングブレーキは解除します。
・車を移動できないときは、乗員を安全な場所へ避難させ、直ちに踏切警報機に設置してある非常ボタンを押します。緊急を要するときは、保安炎筒を使用して列車に車が踏切内に停車していることを知らせます。

事故が起きたとき

・事故が起きてしまったときは、あわてずに次の処置をとります。

1. 続発事故を防ぐために、他の交通の妨げにならない安全な場所へ車を移動し、エンジンを停止します。
2. 負傷者がいるときは、救急車の出動を要請するとともに負傷者に応急手当を行います。
   ただし、頭部を負傷しているときは動かさないようにしますが、続発事故のおそれがあるときは安全な場所へ避難させます。
3. 警察に連絡します。
   事故が発生した場所、事故状況、負傷者の有無、負傷の程度を報告し、指示を受けてください。
4. 事故の相手があるときは、相手側の氏名や住所、電話番号、自動車保険の番号などを確認してください。
5. 車をご購入された販売店と保険会社に事故状況をご連絡ください。

* 仕様により異なります。

そ の 他

盗難についての注意

スマートキーは必ず携行してください

・車から離れるときは、必ずエンジンを停止し、スマートキーを携行してください。
・また、スペアキーを車内に置いたり、バンパーや車体の一部に貼り付けておくことは、盗難のおそれがありますので絶対におやめください。

ドア、ウィンドウ、アウタースライディングガラスルーフ * を確認してください

・車から離れるときは、すべてのドアが正しくロックされていることを確認してください。また、ウィンドウやアウタースライディングガラスルーフもきちんと閉じているかを確認してください。

路上駐車は絶対におやめください

・短時間の駐車でも、いたずらや盗難を防ぐために違法な路上駐車を避け、明るく管理の行き届いた駐車場に入ることを心がけてください。

車内に現金や貴重品は絶対に置いたままにしないでください

・現金や貴重品、携帯電話、バッグ、上着などを車内に置いたまま車を離れないでください。

こんなことにもご注意を

車の改造は禁止されています

・車の改造や当社純正部品以外の使用は、車の性能が十分に発揮できないだけでなく、思わぬ事故の原因につながるおそれがあります。また、保証の適用外になるだけでなく、故障の原因になることがあります。
・電装品や無線機などの取り付け、取りはずしは、当社指定サービス工場にご相談ください。
取り付け、取りはずしが適切でないと、電子機器部品に悪影響をおよぼすだけでなく、故障や火災などの思わぬ事故につながるおそれがあります。
・ハンドルの取りはずしや交換は、絶対に行わないでください。ハンドルには SRS エアバッグが内蔵されていますので、正常に作動しなかったり不意に作動して思わぬ事故になるおそれがあります。

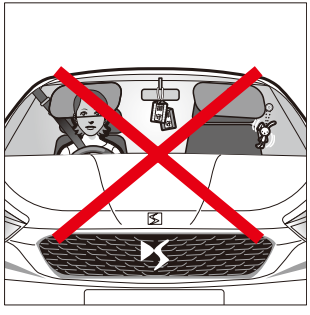
タイヤ、ホイールは指定サイズを使用してください

・タイヤ、ホイールは指定された規格の製品を使用してください。指定以外の製品を装着すると、ブレーキシステムに悪影響をおよぼしたり、走行安定性を損なうおそれがあります。
・交換は当社指定サービス工場で行ってください。

そ の 他

ウィンドウにアクセサリーを取り付けないでください

・ガラス面にアクセサリーなどを取り付けると、視界の妨げになったり、走行中に飛んでケガをするなど思わぬ事故につながるおそれがあります。
・アクセサリーの吸盤がレンズの働きをして、火災を起こすことがあり危険です。



夏季は12V バッテリーのバッテリー上がりが起きやすくなります

・電装品の使いすぎは、12V バッテリーのバッテリー上がりにつながります。特に夏季は、エアコンなどの電装品の使用が増えますので12V バッテリーにも負担がかかります。渋滞時の走行では充電量が不足してバッテリー上がりを起こしやすくなりますのでこまめな点検と早めの交換を心がけてください。

冬季はタイヤの滑り止めや解凍剤などをご用意ください

・冬季のトラブルを軽減するために、冬用タイヤチェーン／ネットや解凍剤などの準備およびバッテリーの点検を行っておくことをお勧めします。詳しくは当社指定サービス工場にご相談ください。
・積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬用タイヤを装着してください。
冬用タイヤに交換するときは、必ず指定サイズで同じメーカーの同じ銘柄のものを4輪に装着してください。
・タイヤチェーン／ネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に取り付けてください。
・タイヤチェーン／ネットの装着は、安全な場所に停車し、各取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
装着後は100m くらい走行して、ゆるみや車体に当たっていないかを再度確認してください。
タイヤチェーン／ネットに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。
・12V バッテリーは、気温が低くなると性能も低下します。バッテリー液や比重、充電状態を点検してください。
・ウォッシャー液の凍結を防ぐために、夏季よりも混合割合を高くしてください。

タバコの吸殻の火は消して灰皿へ入れてください

・タバコやマッチなどの火は、確実に消して灰皿へ入れてふたを閉めてください。
・灰皿の中に吸殻を入れすぎたり、燃えやすいものを入れたりしないでください。思わぬ火災につながるおそれがあります。

その他

ワイヤレス充電器についての注意

ワイヤレス充電器の電波がおよぼす影響について

・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

オーディオについての注意

このオーディオは Bluetooth® の機能を備えています。植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を使用されている方は、オーディオから約22cm 以内に近付かないようにしてください

・電波により植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の作動に影響を与えるおそれがあります。
・植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医療用機器を使用される場合は、電波による影響について医療用機器製造業者などに事前に確認してください。電波により医療用機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

EDR（イベントデータレコーダー）

この車両には、EDR（イベントデータレコーダー）が装備されています。EDR は、エアバッグの作動時や道路上の障害物との接触時など、一定の衝突や衝突に近い状態が発生した場合に車両システムの作動状況に関するデータを記録します。EDR は車両の動きや安全システムに関するデータを短時間記録するように設計されています。ただし、衝突の程度と形態などによりデータが記録されない場合があります。
EDR は次のデータなどを記録します。EDR が記録したデータは、衝突や傷害が発生した状況を把握するのに役立ちます。

・車両の各システムの作動状況
・アクセルペダルおよびブレーキペダルなどの操作状況
・車速などの車両情報
・エアバッグの作動に関する情報

MEMO

●EDR は一定の衝突や衝突に近い状態が発生した場合にデータを記録します。通常走行時にはデータは記録されません。また、個人情報（氏名・性別・年齢・衝突場所など）や、会話などの音声は記録されません。
●EDR で記録されたデータを読み出すには、特別な装置を車両または EDR へ接続する必要があります。DS AUTOMOBILES に加え、法執行機関などの特別な装置を所有する第三者が車両または EDR に接続した場合でも情報を読み出すことができます。

EDR データの開示

DS AUTOMOBILES および DS AUTOMOBILES が委託した第三者は、EDR が記録したデータを車両衝突安全性能の向上などを目的に取得・利用することがあります。
なお、次の場合を除き、DS AUTOMOBILES および DS AUTOMOBILES が委託した第三者は、EDR が記録したデータを第三者へ開示・提供することはありません。

・車両の使用者の同意（リース車の場合は借主の同意）がある場合
・警察・裁判所・政府機関などからの法的強制力のある要請に基づく場合
・統計的な処理を行うなど、使用者や車両が特定できないように加工したデータを研究機関などに提供する場合

第1章　安全に運転するために

フロントシート…… 1-2
ミラー…… 1-9
リアシート…… 1-11
シートベルト…… 1-16
チャイルドシート…… 1-20
エアバッグ…… 1-30
走行する前に…… 1-36
使用燃料について…… 1-36
冬季の取り扱い…… 1-37
保安炎筒…… 1-39
触媒コンバーター…… 1-39

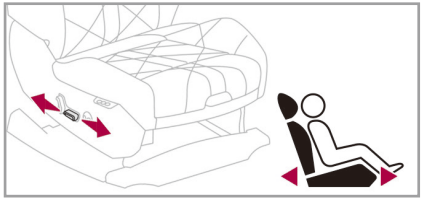
フロントシート

⚠警 告

●運転席のシート調整は、安全のため停車中に行ってください。
●シートを調整するときには、身体の一部や障害物が妨げにならないように注意し、正しい位置に固定してください。

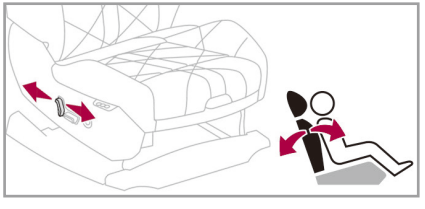
●フロントシートの調整

フロントシートの前後調整



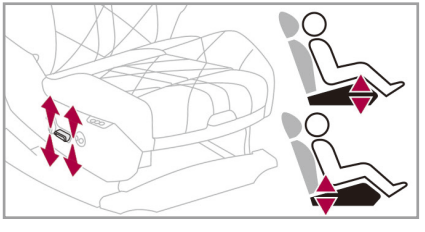
スイッチを前後にスライドして調整します。

バックレストの角度調整



スイッチを前後に倒してバックレストの角度を調整します。

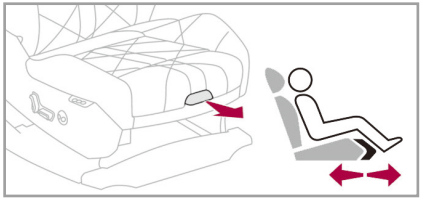
フロントシートの高さと角度調整



・高さ：スイッチの後端を上下して調整します。
・角度：スイッチの前端を上下して調整します。

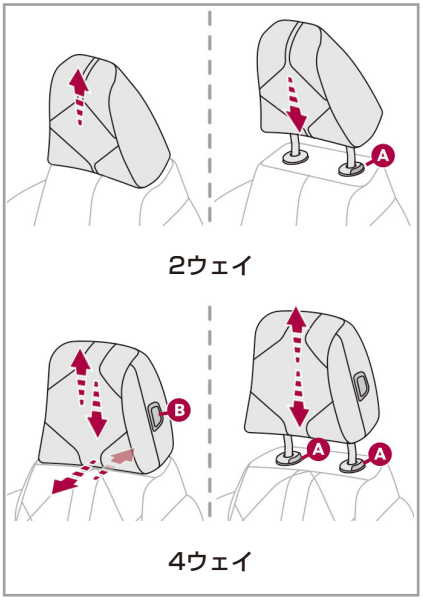
＊仕様により異なります。

シートクッションの奥行き調整 *



ハンドルを引き、シートクッションの前部を前後に動かしてシートクッションの奥行きを調整します。

●ヘッドレストの調整



高さ調整（2ウェイ）
ヘッドレストを引き上げると上がります。
ラグ **A** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

高さ調整（4ウェイ）
ヘッドレストを引き上げると上がります。
ボタン **B** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

前後調整（4ウェイ）
ボタン **B** を押しながらヘッドレストを前後させます。

ヘッドレストの脱着

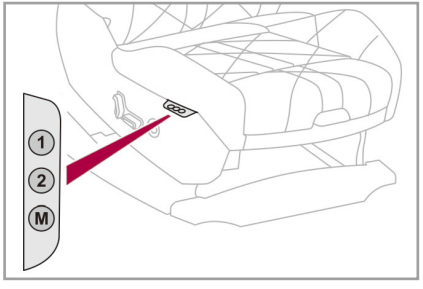
1. 背もたれを後方へ倒します。
2. ヘッドレストを最上の位置に移動します。
3. 根元のラグ **A**を押しながら引き上げます。

ヘッドレストを戻すには、ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

⚠警 告

- ●ヘッドレストは衝突の際にはずれないように、支柱によって支えられています。
- ●高さはヘッドレストの上端と前席乗員の頭の上が揃うように調整してください。
- ●ヘッドレストをはずして運転しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。

●シートポジションメモリー *



お好みのシートポジション（運転席の位置、ドアミラーの角度）を登録し、ワンタッチで呼び出すことができます。シートポジションは運転席シートにあるボタンに2人分まで登録できます。

シートポジションを登録する

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動します。
2. 運転席の位置およびドアミラーの角度を調整します。
3. ボタン **M**を押して４秒以内に、登録したいボタン **1** または **2**を押します。登録が完了すると、チャイムが鳴ります。

MEMO

新しいシートポジションを登録すると、前の登録に上書きされます。

* 仕様により異なります。

登録ポジションを呼び出す

車が停止状態で、**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときにボタン**1**または**2**を短く押します。

呼び出しが完了すると、チャイムが鳴ります。

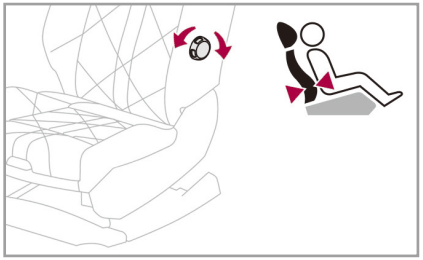
⚠警告

登録ポジションの呼び出し中や運転席シートが自動的に移動しているときに、身体の一部や障害物が妨げにならないように注意してください。

MEMO

- 登録ポジションの呼び出し中にボタン **M**、**1**または**2**を押すか、シートの調整を行うと呼び出しはキャンセルされます。
- 走行中は登録ポジションの呼び出しはできません。
- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてから約45秒間、またはフロントドアを開けてから約45秒間、登録ポジションの呼び出しができます。
- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてから運転席ドアを開けると、運転席シートが自動的に後方へ移動します。再び **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると、前回呼び出した登録ポジションに運転席シートが自動的に移動します。
  この機能のオン／オフは、タッチスクリーンで設定します。

●手動ランバーサポート *



ダイヤルを回してランバーサポートの張り出しを調整します。

●電動ランバーサポート *

スイッチの前後を押してランバーサポートの張り出しを調整します。
スイッチの上下を押してランバーサポートの高さを調整します。

●マルチポイントランバーサポート *

エンジンが始動している状態のとき（ストップ&スタートのストップモード時も含む）に使用できます。作動すると6分間ランバーサポートのぼう張、収縮が行われ、3分間のインターバルののち再度6分間作動します。1時間経過すると、自動的に停止します。

機能の作動

1. フロントシートの側面にあるボタンを押し、タッチスクリーンの画面を表示させます。

2. タッチスクリーンの**ドライバー**または**同乗者**にタッチして**ON**にするか、再度ボタンを押します。ボタンのインジケーターが点灯し、機能が作動します。

機能の停止

1. 作動中にフロントシートの側面にあるボタンを押し、タッチスクリーンの画面を表示させます。

2. タッチスクリーンの**ドライバー**または**同乗者**にタッチして**OFF**にするか、再度ボタンを押します。ボタンのインジケーターが消灯し、機能が停止します。

種類の選択とサポート量の調整

マルチポイントランバーサポートの作動中にフロントシートの側面にあるボタンを押すと、タッチスクリーンで種類の選択とサポート量の調整ができます。マルチポイントランバーサポートの種類は5種類から選択できます。サポート量は3段階に調整できます。

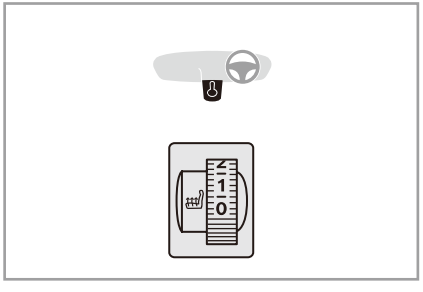
MEMO

タッチスクリーンのDSセンソリアルドライブ機能を使用してもマルチポイントランバーサポートの作動および調整ができます。

●シートヒーター *

シートヒーターは運転席と助手席に装備され、外気温が20℃以下で、エンジンが始動している状態のとき、別々に作動させることができます。

タイプ1



ダイヤルで設定した温度に自動調整されます。

0：オフ
1（赤色）：低
2（赤色）：中
3（赤色）：高

タイプ2

タッチスクリーンのアイコンにタッチして設定した温度に自動調整されます。

表示灯が消灯：オフ
表示灯が一つ点灯：低
表示灯が二つ点灯：中
表示灯が三つ点灯：高

MEMO

●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもシートヒーターの設定は保持されます。
●仕様によりシートヒーターの操作のしかたが異なる場合があります。

⚠注 意

●次の方がシートヒーターを使用する場合は、低温やけどを負うおそれがあるため注意してください。
- 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な人
- 皮膚の弱い人
- 疲労の激しい人
- 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人

●異常な過熱や低温やけどの原因となるおそれがあるため、シートヒーターを使用するときは次のことをお守りください。
- 毛布やクッションなどをかけた状態で使用しないでください。
- 長時間連続して使用しないでください。

* 仕様により異なります。

注 意

シートヒーターの損傷を防ぐために、次のことをお守りください。
- 重い荷物をシートの上に置いたり、針金やピンなどを突き刺したりしないでください。
- シートの上で立ち上がったり、膝を突いて体重をかけたりしないでください。
- シートの上に水や飲み物などをこぼさないでください。
- シートが濡れているときはシートヒーターを使用しないでください。

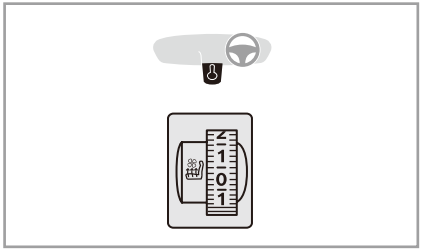
MEMO

燃費を良くするためにも、以下のことをお守りください。
- シートに乗員が着席していないときは、シートヒーターを使用しないでください。
- シートが十分に温まったら、シートヒーターの温度設定を低くしてください。

●シートベンチレーション *

シートベンチレーションを作動させると、シートの通気が行われます。運転席と助手席に装備され、エンジンが始動している状態のとき、別々に作動させることができます。

タイプ1



ダイヤルで設定した風量に自動調整されます。

0：オフ
1（青色）：弱
2（青色）：中
3（青色）：強

タイプ2

タッチスクリーンのアイコンにタッチして設定した風量に自動調整されます。

表示灯が消灯：オフ
表示灯が一つ点灯：弱
表示灯が二つ点灯：中
表示灯が三つ点灯：強

MEMO

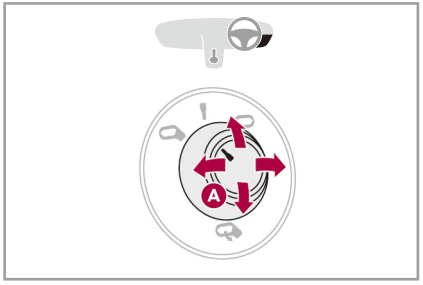
- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもシートベンチレーションの設定は保持されます。
- 仕様によりシートベンチレーションの操作のしかたが異なる場合があります。

* 仕様により異なります。

ミラー

●電動ドアミラー

ドアミラーの調整



調整するミラーに合わせて、スイッチ **A** を左側または右側に回します。
ミラーはスイッチ **A** を動かして上下左右に角度が変えられます。
調整が終わったら、スイッチ **A** を中央の位置に戻します。

ドアミラーの格納

スイッチ **A** を下側に回すと、ミラーが格納されます。

ドアミラーの展開

スイッチ **A** を上側に回すと、ミラーが展開されます。

⚠注 意

●ミラーで見た距離感覚と実際の車との距離が異なります。車との感覚を判断する際には、この点に十分ご注意ください。
●電動ドアミラーを手で倒したり、戻したりしないでください。

注 意

自走式の洗車機を使用する前に、ドアミラーを格納してください。

MEMO

●手などを挟まないように、安全を確認してから操作してください。
●スイッチ **A** を使用してドアミラーを格納した場合は、車を解錠してもドアミラーは展開しません。スイッチ **A** を使用してドアミラーを展開してください。
●エアコンのリアウィンドウの視界確保モードは、ドアミラーの曇り取りも兼用しています。
●施錠または解錠すると、ミラーが自動的に格納または展開されます。この機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

後退時のミラー位置自動調整 *

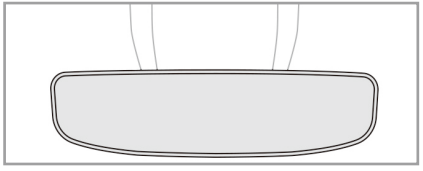
シフトポジションを **R** にすると、ドアミラーの角度が変化し、後方側面が見やすくなります。

ドアミラーは以下のときに、元の位置に戻ります。

・シフトポジションを **R** 以外にする。
・時速10km 以上で走行する。
・**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにする。

この機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

●自動防眩バックミラー



センサーで周囲の明るさやミラーにあたる光を感知し、昼と夜で自動的にミラーの明るさを調整します。また、夜間に後続車のヘッドランプがミラーに反射した場合も、自動的に暗くなって後方の視界を確保します。

⚠注 意

安全のため、ミラーは後方がよく見える位置に調整してください。

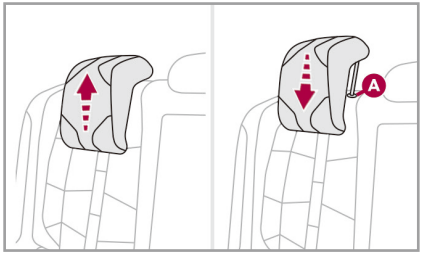
MEMO

シフトポジションを **R** にすると、後方視界を確保するために一時的にミラーが明るくなります。この機能は、リアシート後ろ側上方のスペースに荷物を積んだときなどに自動的に解除されます。

* 仕様により異なります。

リアシート

●リアヘッドレスト



高さ調整

ヘッドレストを引き上げると上がります。ドア側のシートは、高い位置、低い位置の2段階が選択できます。

ラグ **A** を押しながらヘッドレストを押すと下がります。

取りはずし

1. ドア側のシートは、バックレストを少し倒します。
2. ドア側のシートは、ヘッドレストを高い位置まで引き上げます。
3. ラグ **A** を押してヘッドレストを取りはずします。

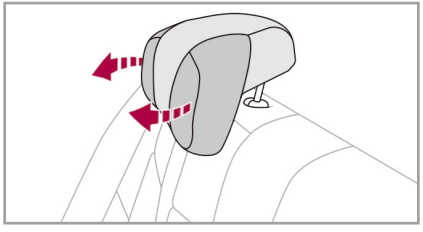
取り付け

ヘッドレストの支柱をシートの穴に合わせて押し込みます。

⚠警 告

- ドア側のシートに座るときは、ヘッドレストを高い位置に調整してください。
- ヘッドレストを取りはずしたまま走行しないでください。事故などのときにケガをする危険性があります。
- ヘッドレストはそれぞれのシート専用のものを使用してください。

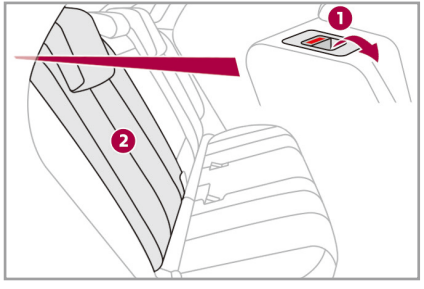
●ラウンジヘッドレスト *



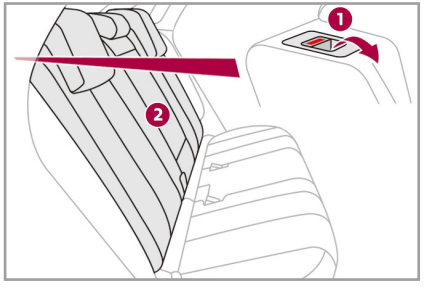
ヘッドレストの両端を動かしてお好みの位置に調整します。

●リアシートの折りたたみ

折りたたみかた



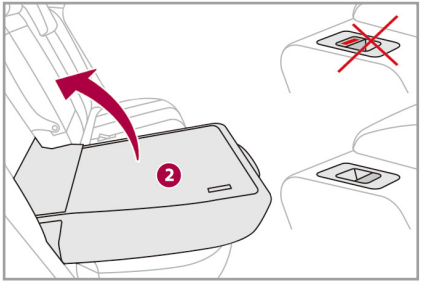
左右分割可倒式リアシート



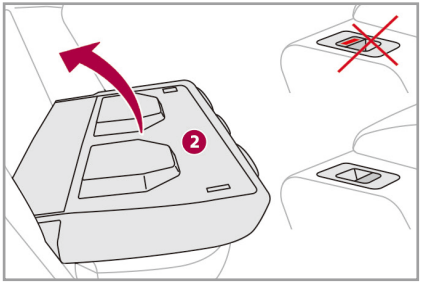
一体可倒式リアシート

1. フロントシートを前にずらします。
2. ドア側のシートは、ヘッドレストを低い位置にセットします。
3. リアアームレストを元の位置に戻します。*
4. リアシートベルトをすべてはずします。
5. シートベルトが損傷しないように、両サイドのシートのシートベルトをバックレストの脇に寄せます。
6. ボタン①を引き、バックレスト②のロックを解除します。
7. バックレスト②を前方へ倒します。

戻しかた



左右分割可倒式リアシート



一体可倒式リアシート

* 仕様により異なります。

1. バックレスト②を起こして元の位置に戻します。
2. シートが確実に固定され、ボタンの赤い目印が見えないことを確認します。
3. バックレストがシートベルトを巻き込んでいないか確認します。

⚠警 告

●リアシートを操作するときは、安全な場所に停車させてから行ってください。
●リアシートを元に戻すときには、シートバックがしっかりと固定されていることを確認してください。しっかりと固定されていないと、急ブレーキや事故などのときにケガをするおそれがあります。また、トランクルームの荷物が放り出され乗員がケガをするおそれがあります。

⚠注 意

シートのまわりに障害物がないか確認してください。また、体が挟まれないように十分に注意してください。

注 意

リアシートを戻すときにはシートベルトを巻き込まないようにしてください。

●リアシートヒーター *

リアシートヒーターはドア側のリアシートに装備され、エンジンが始動している状態のとき、別々に作動させることができます。

フロントアームレストの後部にあるコントロールパネルのアイコンにタッチして設定した温度に自動調整されます。

表示灯が消灯：オフ
表示灯が一つ点灯：低
表示灯が二つ点灯：中
表示灯が三つ点灯：高

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてもリアシートヒーターの設定は保持されます。

⚠注 意

●次の方がシートヒーターを使用する場合は、低温やけどを負うおそれがあるため注意してください。
- 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の不自由な人
- 皮膚の弱い人
- 疲労の激しい人
- 深酒や眠気をさそう薬（睡眠薬、かぜ薬など）を服用された人

●異常な過熱や低温やけどの原因となるおそれがあるため、シートヒーターを使用するときは次のことをお守りください。
- 毛布やクッションなどをかけた状態で使用しないでください。
- 長時間連続して使用しないでください。

注 意

シートヒーターの損傷を防ぐために、次のことをお守りください。
- 重い荷物をシートの上に置いたり、針金やピンなどを突き刺したりしないでください。
- シートの上で立ち上がったり、膝を突いて体重をかけたりしないでください。
- シートの上に水や飲み物などをこぼさないでください。
- シートが濡れているときはシートヒーターを使用しないでください。

MEMO

燃費を良くするためにも、以下のことをお守りください。
- シートに乗員が着席していないときは、シートヒーターを使用しないでください。
- シートが十分に温まったら、シートヒーターの温度設定を低くしてください。

* 仕様により異なります。

●リアシートベンチレーション *

リアシートベンチレーションを作動させると、シートの通気が行われます。ドア側のリアシートに装備され、エンジンが始動している状態のとき、別々に作動させることができます。

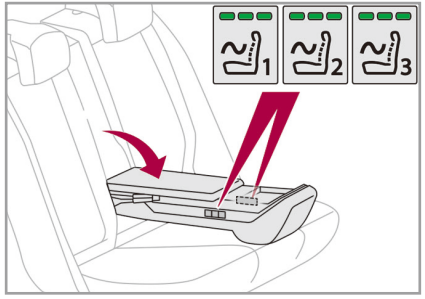
フロントアームレストの後部にあるコントロールパネルのアイコンにタッチして設定した風量に自動調整されます。

表示灯が消灯：オフ
表示灯が一つ点灯：弱
表示灯が二つ点灯：中
表示灯が三つ点灯：強

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてもリアシートベンチレーションの設定は保持されます。

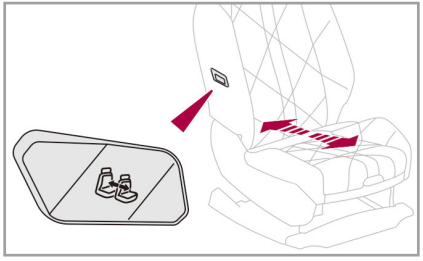
●リアシートマルチポイントランバーサポート *



エンジンが始動している状態のとき（ストップ&スタートのストップモード時も含む）に使用できます。
リアアームレストを手前に引き下ろし、側面にある3つのボタンのいずれかを押して設定したサポートの種類とサポート量に自動調整されます。

表示灯が消灯：オフ
表示灯が一つ点灯：弱
表示灯が二つ点灯：中
表示灯が三つ点灯：強

●レッグルームシートアジャスター *



助手席のバックレスト側面（右側）にあるボタンの前後を押すと、助手席が前後に移動します。助手席の位置を前後に移動させることで、助手席側のリアシートの足元スペースをお好みに合わせて調整できます。

シートベルト

●フォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステム

車体が強い衝撃を受けたとき、瞬間的にシートベルトを引き込み、身体を拘束する効果を高める装置です。
この機構は、ENGINE START/STOPスイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに作動します。
フォースリミッターは、事故の際に身体にかかるシートベルトの衝撃を和らげる働きをします。

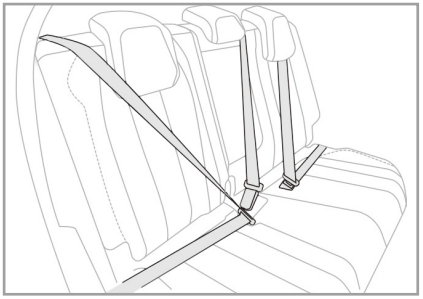
●フロントシートベルト

フロントシートのシートベルトはフォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステムです。
水平方向にあるベルトを、腹部ではなく腰骨に当たるようにしてバックプレートをカチッと音がするまでバックルに差し込みます。
バックルの赤いボタンを押すとはずれます。

MEMO

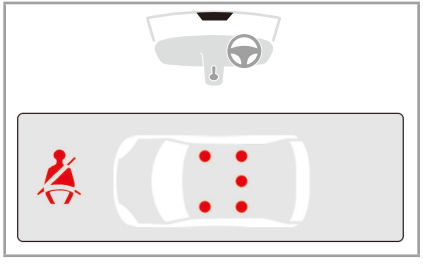
必要に応じてシートの高さを調整し、シートベルトが適切な位置で着用できていることを確認してください。

●リアシートベルト



リアシートベルトは3点式です。両サイドのシートのシートベルトはフォースリミッター付きシートベルトプリテンションシステムです。
シートベルトのストラップを引き出し、バックルに差し込みます。ストラップを引っ張って、正常に装着されたかを確認します。バックルの赤いボタンを押すとはずれます。
中央シートのシートベルトを使用していないときは、バックルを格納し、ストラップで留めてください。

●シートベルトの着用警告



インストルメントパネルとシートベルト着用／非着用ディスプレイのシートベルト警告灯および該当する座席位置の警告灯が点灯または点滅して、シートベルトの着用状況を表示します。

運転席／助手席シートベルト警告灯

ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにしたとき、またはエンジンを始動したとき、シートベルトが着用されていないと、シートベルト警告灯および該当する座席位置の警告灯が点灯します。

時速20km 以上で走行したとき、シートベルトが着用されていないと、約2分間、警告音とともにシートベルト警告灯および該当する座席位置の警告灯が点滅します。

2分経過後は警告灯のみが点灯します。

シートベルトを着用すると警告が止まります。

後席シートベルト警告灯

ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにしたとき、エンジンを始動したとき、または時速20km以下で走行したとき、シートベルトが着用されていないと、約1分間シートベルト警告灯および該当する座席位置の警告灯が点灯します。

シートベルトを着用すると警告が止まります。

シートベルトをはずした場合

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、シートベルトをはずすと、シートベルト警告灯および該当する座席位置の警告灯が点灯します。

時速20km 以上で走行しているときにシートベルトをはずすと、約2分間、警告音とともにシートベルト警告灯およびシートベルトをはずした位置の警告灯が点滅します。

2分経過後は、シートベルトが着用されていないと、警告灯のみが点灯します。

シートベルトを着用すると警告が止まります。

●着座検知

助手席の座面に圧力センサーがあり、約35kg 以上の重量が加わった状態でシートベルトを着用していないと警告灯は赤く点灯します。

MEMO

シートに重い荷物を置いて走行する場合は、シートベルトのストラップを引き出してバックルを差し込むと警告灯が点灯しなくなります。

⚠警 告

- ●着席したシート専用のシートベルトを正しく着用してください。誤って隣接するシートのシートベルトストラップやバックルを使用すると、シートベルトの効果が十分に発揮されず、重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ●乗車中、短時間のドライブといえどもシートベルトを必ず着用してください。
- ●妊娠中の女性も必ずシートベルトを着用してください。ただし、医師に注意事項をご確認願います。
- ●シートベルトは、正しい姿勢で身体に密着させなければ効果がありません。
- ●バックルを逆にしてバックプレートを差し込まないでください。また、差し込むときには、ねじらないでください。
- ●バックルに異物などを入れないようにしてください。また、シートベルトを着用する前に、バックルに異物などがないか確認してください。

⚠警 告

●シートベルトは、上部を肩にしっかりとかけ、下部は腰骨のできるだけ低い位置にかけてください。
●シートベルトを2人以上で共有しないでください。
●お子さまを膝の上に抱いて走行しないでください。
●シートベルトの部品をむやみにはずしたり改造しないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってプリテンションシステムを作動させると、ケガをするおそれがあります。
●シートベルトにほつれや傷跡があるようなときは、当社指定サービス工場にご相談ください。部品交換が必要になることがあります。
●シートベルトを修理、交換する場合は当社指定サービス工場にご相談ください。
●シートベルトプリテンションシステムは、一度しか作動しません。作動後は必ず部品交換が必要になりますので、当社指定サービス工場で整備を受けてください。

⚠警 告

●シートベルトプリテンションシステムは、エアバッグとは関係なく作動します。大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠注 意

●シートベルトが傷んだり、絡まったりしないように、シートベルトを使用しないときは、必ず正しい位置に収納してください。
●シートの位置を調整したあとは、シートベルトがシートに巻き込まれていないか確認してください。

MEMO

●降車時には、シートベルトを確実に収納させてください。
●シートベルトがロックして引き出せないときは、ベルトを強く引いてから、ゆるめてください。
●シートベルトが汚れた場合は、せっけん水や洗剤で洗ってください。

チャイルドシート

当社では、お子さまが乗る場合の安全を十分配慮して車の設計と製造を行っておりますが、お子さまが同乗するときの安全対策については、常に大人の方が十分ご注意いただくようお願いします。

⚠警 告

- ●短時間の乗車でも、チャイルドシートとシートベルトを着用してください。また、思わぬ事故を防ぐためにも、リアドアのパワーウィンドウが作動しなくなり、室内からリアドアを開けられなくするチャイルドセーフティ機能をご利用ください。
- ●後席のウィンドウは3分の1以上開けないようにしてください。
- ●お子さまの体格に合った正式に認可されたチャイルドシートを使用してください。適切なチャイルドシートにより、お子さまが守られます。
- ●お子さまを膝に乗せての運転はしないでください。大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- ●お子さまが正しい着座位置に座っていないと、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。また、エアバッグが作動した場合にも、思わぬケガを負うおそれがあります。

●シート位置別チャイルドシート情報

次の表は、チャイルドシートが車内のどのシート位置に対応しているかを示した一覧表です。

シート位置番号	シート位置					
	①運転席	②助手席		③後席右側	④後席中央	⑤後席左側
		エアバッグOFF*1	エアバッグON*2			
シートベルトを使用した一般的なチャイルドシート	X	○*4 *7	○*4 *8	○	X	○
i-Sizeチャイルドシート	X	○*9		○	X	○
トップテザーアンカーの有無	無	有*9		有	無	有
キャリコット	X	X		○	X	○
後ろ向きISOFIXチャイルドシート	X	R3*3 *9	X	R3*5	X	R3*6
前向きISOFIXチャイルドシート	X	F3*9		F3	X	F3
ブースターシート	X	B3*3		B3	X	B3

※i-Size チャイルドシートに対応するシート位置は、R1、R2、F2X、F2、B2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。

※R2の固定具に対応するシート位置は、R1の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。

※R3の固定具に対応するシート位置は、R1、R2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。

※F3の固定具に対応するシート位置は、F2X、F2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。

※B3の固定具に対応するシート位置は、B2の固定具に対応するチャイルドシートも取り付けることができます。

※チャイルドシートを取り付ける際には、確実に固定されているか確認してください。必要に応じて、ヘッドレストを取りはずし、チャイルドシートを確実に固定してください。

※当社では可能なかぎり、すべてのチャイルドシートにおいてリアシートに設置することを奨励しています。

○：チャイルドシートを取り付けできます。

X：チャイルドシートは取り付けできません。

有：トップテザーアンカーを装備しています。

無：トップテザーアンカーを装備していません。

*1 後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。

*2 助手席エアバッグの機能をキャンセルしていないときは、前向きチャイルドシートのみ取り付けることができます。

*3 助手席の前後位置を一番後ろまで下げてください。

*4 高さ調整機能が装備されている場合は、シートの高さを一番高い位置に調整してください。また、前後位置を一番後ろまで下げてください。

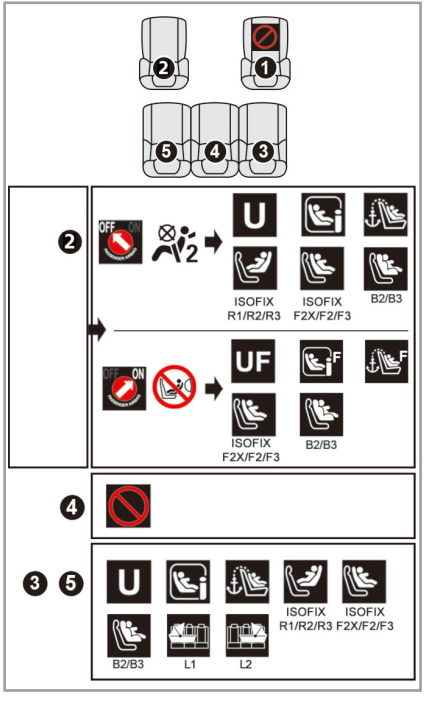
*5 運転席の高さを一番高い位置に調整してください。

*6 助手席の前後位置を一番前まで移動してください。

*7 グループ0、0+、1、2、および3の前向きおよび後ろ向きユニバーサルチャイルドシート（U）を取り付けることができます。

*8 グループ1、2、および3の前向きユニバーサルチャイルドシート（UF）を取り付けることができます。

*9 助手席には ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具が装備されていない場合があります。



①：運転席
②：助手席
③：後席右側
④：後席中央
⑤：後席左側

チャイルドシートは取り付けることができません。

助手席エアバッグの機能をキャンセルしている場合。

助手席エアバッグの機能をキャンセルしていない場合。

U シートベルトを使用した前向きおよび後ろ向きのすべてのユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

UF シートベルトを使用した前向きのユニバーサルチャイルドシート（グループ1、2および3）の取り付けに適しているシート位置。

i-Size チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

i-Size「前向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

トップテザーアンカーをシートのバックレストに装備しています。**ISOFIX** ユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

トップテザーアンカーをシートのバックレストに装備しています。**ISOFIX**「前向き」ユニバーサルチャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

ISOFIX「後ろ向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。
R1：**ISOFIX** 後ろ向き乳児用チャイルドシート
R2：**ISOFIX** 小型後ろ向き幼児用チャイルドシート
R3：**ISOFIX** 大型後ろ向き幼児用チャイルドシート

ISOFIX「前向き」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

F2X： ISOFIX 低型前向き幼児用チャイルドシート

F2： ISOFIX 低型前向き幼児用チャイルドシート

F3： ISOFIX 全高前向き幼児用チャイルドシート

ブースターシートの取り付けに適しているシート位置。

B2：幅狭ブースターシート

B3：最大幅ブースターシート

ISOFIX「キャリコット」チャイルドシートの取り付けに適しているシート位置。

L1：左向き位置用チャイルドシート

L2：右向き位置用チャイルドシート

⚠警 告

●助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。

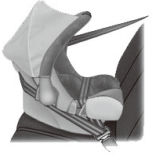
●チャイルドシートを取りはずしたら、必ずヘッドレストを取り付けてください。事故などのときにケガをする危険性があります。

MEMO

チャイルドシートは、メーカーの取扱説明書に従って正しく取り扱ってください。

●3点式シートベルトを使用したチャイルドシート

新生児から体重13kgまで



このタイプのシートは、体重13kgまでのお子さまに適しています。

減速時に首に負担がかからないように、進行方向とは反対向きに取り付けてください。

体重15kgから36kgまで

体重15kg～36kgまでのお子さまにお勧めするタイプです。

このタイプのチャイルドシートは、後席左右（ドア側）のシートにのみ取り付けることができます。リアシートのヘッドレストを取りはずしてから取り付けてください。

体重15kg ～ 36kgまでのお子さまにお勧めするタイプです。
このタイプのチャイルドシートは、助手席または後席左右（ドア側）のシートにのみ取り付けることができます。

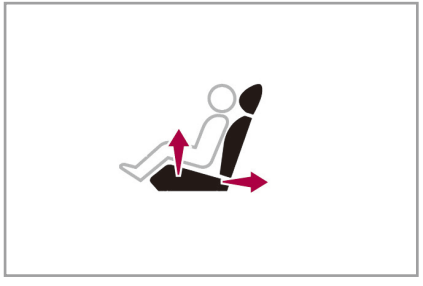
●助手席へのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）

後ろ向きチャイルドシート
後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付ける際、助手席エアバッグの機能をキャンセルすることが必要です。

⚠警 告

後ろ向きチャイルドシートを取り付ける際には、必ず助手席エアバッグの機能をキャンセルしてください。お子さまが大ケガを負ったり、場合によっては致命傷を受けるおそれがあります。

前向きチャイルドシート
前向きチャイルドシートを助手席に取り付ける際、助手席エアバッグの機能はキャンセルしないでください。



助手席の位置
バックレストを元の位置に戻し、シートを一番後ろまで下げてください。高さ調整機能が装備されている場合は、シートの高さを一番高い位置に調整してください。

⚠警 告

- シートベルトがしっかりと締まっていることを必ず確認してください。
- レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。必要に応じて、助手席シート位置を調節してください。

●リアシートへのチャイルドシートの取り付け（3点式シートベルトを使用）

後ろ向きチャイルドシート
後ろ向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、チャイルドシートが前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

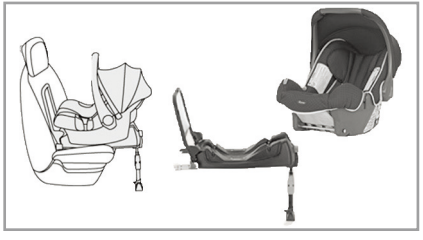
前向きチャイルドシート
前向きチャイルドシートをリアシートに取り付けた際、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

⚠警 告

- ●シートベルトがしっかりと締まっていることを確認してください。
- ●前向きチャイルドシートを取り付けるときは、背もたれとチャイルドシートの間のすき間が少なくなるようにしてください。
- ●レッグサポート付きのチャイルドシートは、レッグサポートをしっかりとフロアに接地させてください。必要に応じて、前席のシート位置を調節してください。
- ●後席中央にはチャイルドシートを取り付けないでください。

●ISOFIX チャイルドシート（当社推奨）

新生児から体重13kgまで



後ろ向きチャイルドシート。高さ調整が可能なバーを備えています。
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合シェルのみ使用してください。

体重9kgから18kgまで

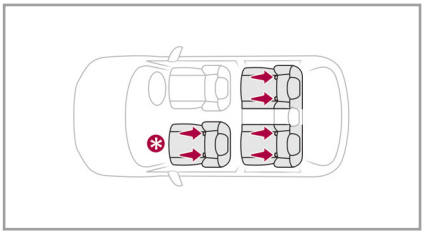
前向きチャイルドシート、アッパーストラップ付き。
シートの角度を3段階に調節できます。
3点式のシートベルトで取り付けることも可能です。その場合、お子さまの足が前席に接触しないように、前席の前後位置およびバックレストの角度を調整してください。

●i-Size チャイルドシート

i-Size チャイルドシートは、助手席*およびリアシートに設置されている、ISOFIX 規格のこの車専用チャイルドシートをワンタッチで固定するための金具に取り付けます。

●ISOFIX チャイルドシートの取り付けかた

取り付け可能シート位置



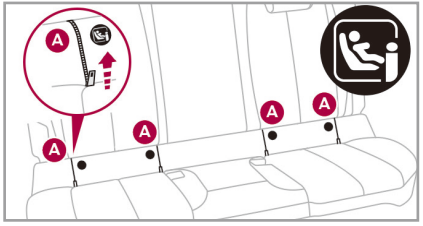
ISOFIX 規格のチャイルドシートを取り付けることができるシートを表しています。
取り付けが可能なシート位置にはそれぞれ3つの ISOFIX 規格のチャイルドシートをワンタッチで固定するための金具が装備されています。

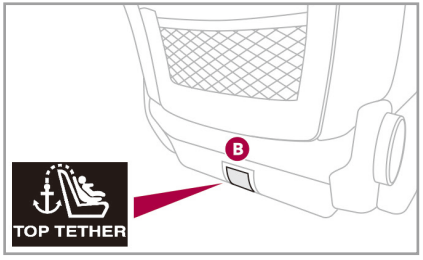
MEMO

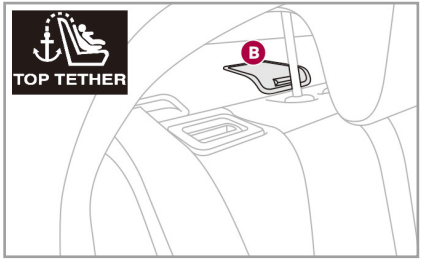
＊：助手席には ISOFIX チャイルドシートの取り付け金具が装備されていない場合があります。

* 仕様により異なります。

取り付け金具







シートの背もたれとシートクッションの間に２つの金具 **A** があります。金具 **A** にジッパーが装備されている場合は、ジッパーを開けて使用してください。
トップテザー対応のシートは、ストラップを背もたれの後方にあるトップテザーアンカー **B** に装着してください。
取り付け方法については、チャイルドシートの説明書に従ってください。

⚠警 告

- チャイルドシートは正しく取り付けてください。事故などの場合に十分な保護ができなくなるおそれがあります。
- チャイルドシートは製造メーカーの指定に従って正しくご使用ください。チャイルドシートに指定された適正な年齢や体格を無視すると、シートベルトにより傷害を受けるおそれがあります。

MEMO

チャイルドシートを後席左側シートに取り付けるときは、後席中央シートのシートベルトを車内中央に寄せ、チャイルドシートがシートベルトの使用の妨げにならないようにしてください。

エアバッグ

エアバッグは ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときだけ作動します。
エアバッグは致命的な事故の際にフォースリミッター付きシートベルトを補助して乗員を最大限守るように設計されています。
万一の際、エアバッグシステムが急激な減速を感知してそれがある到達点にまで達していたら即座にシステムが起動して乗員の保護を行います。
その直後エアバッグはしぼんで乗員が脱出しやすい空間を確保します。
エアバッグはシートベルトが十分フォローできる範囲内の衝撃では開きません。

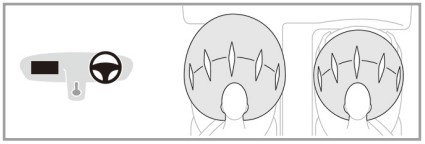
⚠警 告

展開後のエアバッグ構成部品は熱くなっておりますので、やけどを負う可能性があります。

MEMO

展開後のエアバッグはガスが抜けてすぐしぼむようにできています。このガスには若干の刺激性があります。

●フロントエアバッグ



運転席エアバッグはステアリング中央部に収納されています。
助手席エアバッグはダッシュボード内に収納されています。助手席エアバッグは、助手席エアバッグキャンセルスイッチが OFF のときは展開しません。

⚠警 告

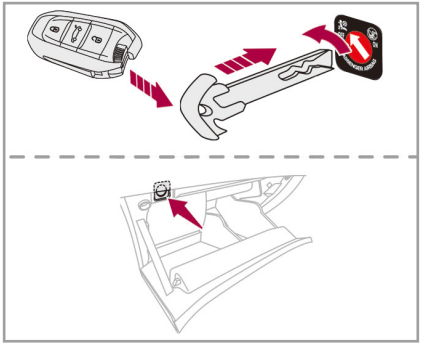
- ●ステアリングのスポーク部を握って運転したり、センターパッド部に手を置いて運転しないでください。
- ●助手席に座る人は、ダッシュボードに足を乗せないでください。
- ●ステアリングをはずしたり、物を突き刺したり、激しく物を当てないでください。

⚠警 告

●ステアリングホイールと助手席ダッシュボードには、エアバッグが組み込まれています。正しく作動させるために次のことをお守りください。
- エアバッグの組み込まれた箇所にカバーをかけたり、ステッカーなどを貼らないでください。
- 助手席側のダッシュボードの上に足や物を置いたり、立てかけたりしないでください。エアバッグがふくらむときに置いた物が飛び、ケガをするおそれがあります。
- エアバッグや近くにある部品をむやみにはずさないでください。衝突の際に作動しなくなるおそれがあります。また、誤ってエアバッグを作動させるとケガをするおそれがあります。
- 喫煙中にエアバッグが作動するとケガややけどをするおそれがあります。

●ステアリングホイールやダッシュボードに近付きすぎる乗車姿勢では、作動したエアバッグによりケガをするおそれがあります。

●助手席エアバッグキャンセルスイッチ



チャイルドシートを進行方向とは逆向きに助手席へ取り付けるときは、助手席のエアバッグが作動しないようにします。これはエアバッグが作動してふくらんだときの衝撃からお子さまを守るためです。

ON

助手席に大人が着席しているときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを**ON**にします。助手席エアバッグが作動します。チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けないでください。

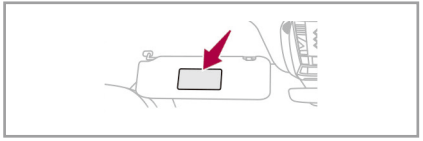
作動中は、**ENGINE START/STOP**スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると、シートベルト着用／非着用ディスプレイに警告灯が約1分間点灯します。

OFF

チャイルドシートを進行方向に対して後ろ向きに取り付けたときは、必ず助手席エアバッグキャンセルスイッチを **OFF** にします。助手席エアバッグは作動しません。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
2. グローブボックスを開きます。
3. 助手席エアバッグキャンセルスイッチに緊急用キーを差し込み、**OFF**の位置にします。
4. そのまま緊急用キーを抜きます。

キャンセル中は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると、シートベルト着用／非着用ディスプレイに警告灯が点灯します。

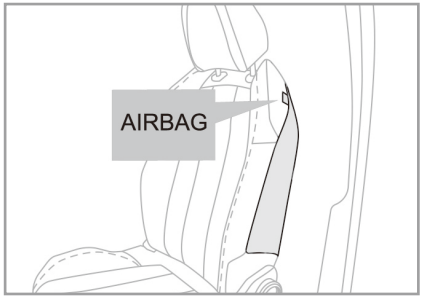


助手席サンバイザーに警告ラベルが貼り付けられています。

⚠警 告

作動停止設定をしていない前側エアバッグで保護されている座席には、**絶対に**チャイルドシートを後ろ向きに装着しないでください。**お子様の死亡**または**重症**の原因になることがあります。

●サイドエアバッグ



前席の背もたれ側面（ドア側）に収納されており、横からの衝撃に対してのみ左右が独立して展開します。

⚠警 告

- ●シートカバーは当社が推奨するものだけを使ってください。
- ●背もたれにアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- ●ドア側に近付きすぎた座りかたをしないでください。

＊仕様により異なります。

●ファーサイドエアバッグ *

運転席の背もたれ側面（左側）に収納されており、横からの衝撃に対してのみ、サイドエアバッグと連動して展開します。

⚠警 告

- ●シートカバーは当社が推奨するものだけを使ってください。
- ●背もたれにアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。

●カーテンエアバッグ

ドアピラー部から天井にかけて収納されており、横からの衝撃に対し前席と後席の乗員を保護するために左右が独立して展開します。

⚠警 告

- ●天井やピラーにアクセサリーなどを取り付けたり貼ったりしないでください。
- ●天井に取り付けられているグリップハンドルをはずさないでください。カーテンエアバッグが機能するための一部になっています。

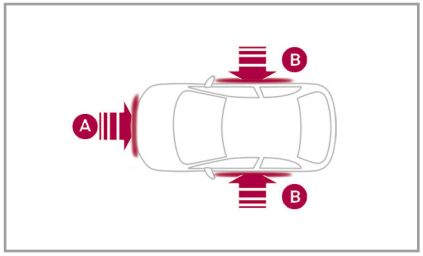
●故障しているときは

インストルメントパネル上の警告灯が点灯します。この警告灯が点灯したときは、衝撃を受けてもエアバッグが作動しないことがあります。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

エアバッグ警告灯が点灯しているときは、後ろ向きチャイルドシートを助手席に取り付けないでください。
当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

●エアバッグの作動条件



A. フロント衝撃ゾーン
B. サイド衝撃ゾーン

フロントエアバッグの作動条件
フロント衝撃ゾーン **A**に、車両前方から後方へ縦方向の強い衝撃を水平に受けたときに、運転席エアバッグと助手席エアバッグが連動して作動します。
助手席エアバッグの作動を解除しているときは、助手席エアバッグは連動して作動しません。

サイドエアバッグ／ファーサイドエアバッグ*の作動条件
サイド衝撃ゾーン **B**に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、衝撃を受けた側が作動します。
ファーサイドエアバッグは、サイドエアバッグと連動して作動します。

カーテンエアバッグの作動条件
サイド衝撃ゾーン **B**に、車両外側から内側へ横方向の強い衝撃を水平に受けたときに、サイドエアバッグと連動して作動します。

⚠警 告

- ●車両への衝撃の強さは、衝突時の車速や衝突した障害物によって異なります。
- ●車両側面への衝撃や衝突が弱いとき、および横転、転覆したときは、エアバッグが作動しないことがあります。
- ●正面衝突したとき、または、追突されたときは、サイドエアバッグ、ファーサイドエアバッグ*、カーテンエアバッグは作動しません。
- ●エアバッグ単独では衝撃を吸収する効果が十分ではありません。必ず、シートベルトを正しく着用してください。
- ●エアバッグシステムの改造は絶対に行わないでください。

* 仕様により異なります。

MEMO

エアバッグは一度しか作動しません。フロントエアバッグ、サイドエアバッグ、ファーサイドエアバッグ*、カーテンエアバッグが作動した場合は、シートや内装部材、コントロールユニットなどの交換が必要になります。事故のあとは、必ず当社指定サービス工場で点検や部品の交換を行ってください。

走行する前に

● タイヤの点検

空気圧の確認

タイヤの空気圧は、スペアタイヤも含めて毎月1回ないし長距離を走行する前に点検してください。
適正値は、運転席側または助手席側のドアピラー部に表示されています。表示されている値は、タイヤの温度が低いときの値です。空気圧はタイヤの温度が上昇すると増加しますので、暖まっている状態で空気圧が高いからといって空気を抜かないでください。

間接式タイヤ空気圧警告灯（→ P.4-44）

車には、タイヤの空気圧に大きな変化があった場合に警告をする機能がついています。警告灯が点灯したら、直ちに空気圧を点検してください。また、空気圧を調整したあとは必ず初期化をしてください。

外観の点検

タイヤの接地面や両サイドに、著しい損傷や亀裂、釘や針金などの異物が刺さっていないかを点検してください。また、タイヤの接地面に部分的な異常摩耗がないかも点検してください。

スリップサイン

タイヤには、摩耗の限度を示すスリップサインが設けられています。タイヤの表面とスリップサインが同じ高さになったら、新品と交換してください。

使用燃料について

オクタン価が95オクタン（リサーチ法）以上の無鉛ガソリンを使用してください。
ガソリンスタンドにおける公称オクタン価は安定していないので、無鉛プレミアム（ハイオク）ガソリンの使用をお勧めします。

注 意

粗悪ガソリンや有鉛ガソリン、有鉛プレミアムガソリン、アルコール含有燃料を使用しますと、エンジン・触媒装置などに悪影響を与えるので、絶対に使用しないでください。

冬季の取り扱い

●冬季用タイヤ

積雪や凍結した道路を走行するときは、安全のため冬季用タイヤを装着することをお勧めします。
冬季用タイヤに交換するときは、必ず納車時に装着されていたタイヤと同じサイズのものをご使用ください。
当社販売店では、車に適した性能の冬季用スタッドレスタイヤも用意しております。
スタッドレスタイヤは、車のバランスを保つために4輪全部に装着してください。
雪道や凍結した道路では、スタッドレスタイヤでも万全ではありません。運転には十分ご注意ください。

●スノーチェーン、スノーネット

スノーチェーン、スノーネットは、タイヤサイズに合ったものを前輪に装着してください。
取り付けは、平坦な安全な場所で、それぞれの取扱説明書に従って確実に行ってください。
チェーンやネットの装着後は、100m 程度走行してゆるみや車体への当たりがないかを確認してください。
当社販売店では、それぞれのタイヤに合わせた専用チェーンやネットを用意しております。

注 意

●アルミホイール装着車は、スノーチェーンを取り付けたら、スノーチェーンがアルミホイールに接触していないことを確認してください。接触していると、アルミホイールに傷が付くおそれがあります。
●スペースセーバータイヤには、スノーチェーン、スノーネットを装着しないでください。車体に接触し、車体を損傷したり走行に悪影響をおよぼしたりするおそれがあります。
●雪道や凍結路以外ではスノーチェーン、スノーネットを取りはずして走行してください。路面を損傷したり、スノーチェーン、スノーネット、タイヤの寿命を短くします。

MEMO

●市販されているタイヤチェーンの中には、サイズが合っていても装着できないものがあります。
●スノーチェーン、スノーネットに付属の取扱説明書で指定された速度で走行してください。

スタッドレスタイヤやスノーチェーンは、当社販売店でお求めください。

●その他

・冬季には、12Vバッテリーに高い負荷がかかります。12Vバッテリーは常にフル充電にしてください。
・非常に冷え込んだ天候のときは、パーキングブレーキが凍結することがあります。温度が非常に低い日は、パーキングブレーキの使用を避け、シフトポジションをPにして輪止めをかけてください。
・ライト類や方向指示器などは、冬季は非常に汚れやすくなります。定期的に清掃するように心がけてください。
・キーシリンダーには、潤滑剤を使用して注油しておいてください。
・ドアのゴム製シールには、凍結を防ぐためにシリコン潤滑油を塗付します。
・空気取り入れ口は、いつもきれいに保つようにしてください。
・雪隔け時には特に車が汚れます。また、融雪剤には塩分を含んでいるものがあります。こまめに車全体を洗浄し、車体の下やホイールアーチ部もよく洗ってください。

保安炎筒

車室内に備えつけてあります。
踏み切りや高速道路などの危険な場所で故障したときに使用します。
使用方法は、保安炎筒に記載してあります。あらかじめよく読んでおいてください。
発炎時間は約5分間です。
保安炎筒に表示してある有効期間が切れる前に、新品をお求めになり交換してください。

⚠警 告

●お子さまに触らせないでください。いたずらなどによる発火で、思わぬ事故になるおそれがあります。
●ガソリンなどの可燃物の近くでの使用は危険です。また、炎を顔や体に向けるとやけどの危険があります。

⚠注 意

●非常用信号としてのみご使用ください。
●トンネル内ではハザードランプを使用してください。トンネル内で使用すると、煙により視界が悪くなり危険です。

触媒コンバーター

DS 9には、日本の排気ガス基準に適合させるために、触媒コンバーターが装着されています。

●触媒コンバーター装着車についてのご注意

・燃料は、必ず無鉛ガソリンを使用してください。有鉛ガソリンは触媒を傷めます。
・燃料は早めに補給してください。
・ミスファイヤなどのエンジン不調のときは、運転を避け、故障箇所を直ちに修理してください。

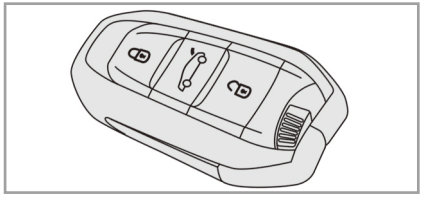
⚠警 告

長時間のエンジンの空ぶかしはしないでください。触媒コンバーターが過熱して発火、火災に至ることがあります。

第2章　各部の開閉のしかた

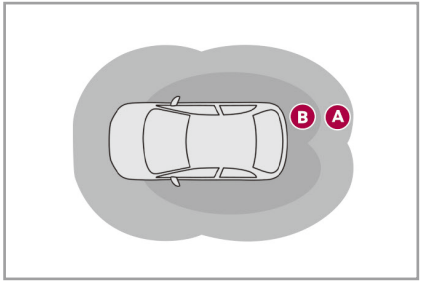
プロキシミティキーレスエントリー…… 2-2
イモビライザー（盗難防止システム）…… 2-11
ドア／ドアロック…… 2-13
アラーム…… 2-18
パワーウィンドウ…… 2-22
チャイルドセーフティ…… 2-24
アウタースライディングガラスルーフ…… 2-25
ボンネット…… 2-29
トランク…… 2-30
ハンズフリーエレクトリックトランクリッド…… 2-32
フュエルリッド（給油口）…… 2-38

プロキシミティキーレスエントリー



DS 9には、スマートキーを携帯しているだけで、ドアやトランクの解錠／施錠やエンジンの始動ができる、プロキシミティキーレスエントリー機能が装備されています。
プロキシミティキーレスエントリー機能は、スマートキーを携帯して車両の検知エリアに入る／出るとドアやトランクの解錠／施錠が自動的に行われます。
また、スマートキーをリモコンとして使い、ボタンの操作で施錠／解錠することもできます。
スマートキーには緊急用キーが付いています。

●プロキシミティキーレスエントリー機能の作動範囲



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能の検知エリアはゾーン **A**、ゾーン **B**に分けられます。

ゾーン **A**：車両から約2mの範囲です。車両から離れてゾーン **A**から出ると自動的に車両が施錠されます。
ゾーン **B**：車両から約1.5mの範囲です。ゾーン **B**に入ると自動的に車両が解錠されます。

プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能はタッチスクリーンの設定でオン／オフできます。

注 意

検知エリアにスマートキーがある場合は盗難に注意してください。

MEMO

スマートキーは微弱な電波を使用しています。以下の場合は、正常に作動しなかったり、不安定な動作になったりすることがあります。

- 近くに強い電波を発する設備があるとき
- 携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているとき
- スマートキーが金属に接していたり、覆われたりしているとき

●解錠

解錠の仕様を、以下の2つから選択することができます。

1. 通常解錠モード
   すべてのドアおよびトランクを同時に解錠する（フュエルリッドも解錠）
2. 選択解錠モード
   最初の操作で運転席ドアのみ解錠する（フュエルリッドも解錠）。次の操作でその他のドアおよびトランクを解錠する

設定の変更はタッチスクリーンで行います。

MEMO

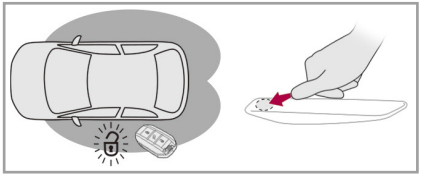
初期設定は通常解錠モードになっています。

●通常解錠モード

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの解錠ボタンを押します。すべてのドアおよびトランクが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオンの場合は、スマートキーを携帯してゾーンBに入ります。または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、ドアハンドルを軽く押します。
すべてのドアおよびトランクが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

●選択解錠モード

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの解錠ボタンを1回押します。運転席ドアのみが解錠され、運転席ドアのドアハンドルのみが展開します。
もう1度解錠ボタンを押すと、その他のドアおよびトランクが解錠され、その他のドアのドアハンドルが展開します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する

プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオンの場合は、スマートキーを携帯して運転席側のゾーン **B**に入ります。または、スマートキーを携帯して運転席ドアのドアハンドルを軽く押します。

運転席ドアのみ解錠され、運転席ドアのドアハンドルのみ展開します。

スマートキーを携帯してその他のドアのドアハンドルを軽く押す、またはセンターコンソールのドアロックボタンを使用するか、その他のドアの内側ドアハンドルを引くと、すべてのドアおよびトランクが解錠され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

MEMO

- ●解錠するとハザードランプが数秒間点滅します。ドアミラーは最初の解錠と同時に展開します。
- ●解錠したあと、30秒以内にドアまたはトランクを開かないと、自動的に再度施錠されます。
- ●解錠操作するリモコンのボタンを押し続けると、パワーウィンドウが自動的に開きます。
- ●解錠の仕様が選択解錠モードに設定されているときは、スマートキーが解錠操作するドア側の検知エリアにないと、プロキシミティキーレスエントリー機能を使用した解錠はできません。

MEMO

- ●スマートキーがプロキシミティキーレスエントリー機能の検知エリア（ゾーン **A**または **B**）にあるとき、ドアの操作をしないで15分以上経過すると、プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオフになります。
  車両のロックを解除するには、リモコンの解錠ボタンを押すか、いずれかのドアハンドルを軽く押します。
  ドアハンドルを押しても車両のロックを解除できない場合は、スマートキーを車両に近づけてからもう一度操作してください。

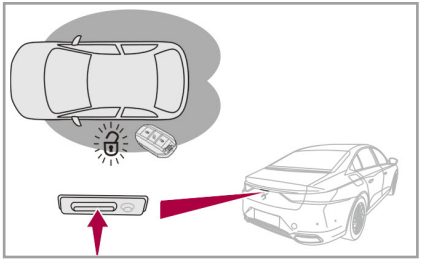
* 仕様により異なります。

● トランクの解錠

リモコンを使用する

トランクリッドオープナーボタンを長押しします。すべてのドアおよびトランクが解錠され（すべてのドアのドアハンドルが展開します）、トランクが開きます。
ハンズフリーエレクトリックトランクリッドの自動開閉の機能がオフになっている場合はトランクが少し開いた状態になります。*

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、トランクのスイッチ左側を押します。すべてのドアおよびトランクが解錠され（すべてのドアのドアハンドルが展開します）、トランクが開きます。
ハンズフリーエレクトリックトランクリッドの自動開閉の機能がオフになっている場合はトランクが少し開いた状態になります。*

トランクの解錠モードを変更する *

トランクの解錠の仕様を選択解錠モードに変更することができます。トランクのみ解錠します。
設定の変更はタッチスクリーンで行います。

MEMO

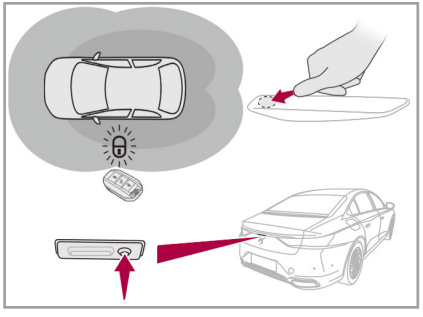
- ●トランクの解錠モードが選択解錠モードのときは、トランクを開けたあと、トランクを閉じると自動的に施錠されます。*
- ●トランクの解錠モードが選択解錠モードのときは、スマートキーがトランク周辺の検知エリアにないとプロキシミティキーレスエントリー機能を使用したトランクの解錠はできません。
- ●トランクを解錠したあとは、必ずトランクを閉じて施錠してください。

●施錠

リモコンを使用する

車に向けてリモコンの施錠ボタンを押します。すべてのドアおよびトランクが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオンの場合は、スマートキーを携帯し、車両から離れてゾーン **A** から出ます。ブザーが鳴り、すべてのドアおよびトランクが施錠され、すべてのドアハンドルが格納します。
または、車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、ドアハンドルを軽く押すか、トランクのスイッチ右側を押します。すべてのドアおよびトランクが施錠され、すべてのドアのドアハンドルが格納します。

MEMO

- ●車両のロックが解除されているとき、ドアハンドルが格納されている場合は、ドアハンドルを押すと展開します。もう一度ドアハンドルを押すとすべてのドアとトランクが施錠されます。*
- ●施錠操作するリモコンのボタンを押し続けると、パワーウィンドウおよびアウタースライディングガラスルーフ *が自動的に閉まります。
- ●施錠するとハザードランプが数秒間点灯し、同時にドアミラーが格納します。
- ●以下のときは、施錠できません。
  - • **ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき
  - • エンジンが始動している状態のとき
  - • いずれかのドアまたはトランクが完全に閉まっていないとき
  - • スマートキーが車内にあるとき

* 仕様により異なります。

MEMO

●スマートキーのバッテリーや12Vバッテリーの消費を抑えるために、以下のような状態になることがあります。

- 約1週間車両を使用しないと、スタンバイモードとなってプロキシミティキーレスエントリー機能の自動解錠機能が停止します。車両のロックを解除するには、リモコンの解錠ボタンを押すか、ドアハンドルを軽く押します。その後、エンジンを始動するとプロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能が再開されます。
- 長期間（3週間以上）車両を使用しないと、スタンバイモードとなってプロキシミティキーレスエントリー機能が自動的に停止します。機能を復帰させるには、リモコンの解錠ボタンを押して車両のロックを解除してからエンジンを始動してください。これは車外に保管しておいた予備キーでも同様です。

⚠警 告

リモコンの施錠ボタンを使用してパワーウィンドウおよびアウタースライディングガラスルーフ*を閉めるときは、乗員が手や頭など、体を挟まれないように確認してから操作してください。

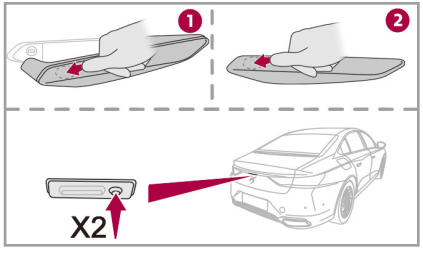
●スーパードアロック*

盗難防止のために、仮にガラスを壊すなどしても内側からドアロックが解除できなくなる機能です。

リモコンを使用する

施錠ボタンを押して、すべてのドアおよびトランクを施錠します。3秒以内に再度施錠ボタンを押します。

プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する



車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、次の操作をします。

・ドアハンドルを軽く押して、すべてのドアおよびトランクを施錠してから①、3秒以内に再度軽く押す②。*

・トランクのスイッチ右側を押して、すべてのドアおよびトランクを施錠してから、3秒以内に再度押す。

緊急用キーを使用する *

1. 運転席ドア *または助手席ドアのドアハンドルを押し込んで展開します。
2. ドアハンドルを引き、緊急用キーをドアの鍵穴に差し込みます。
3. ドアハンドルを少し戻し、緊急用キーを回して、すべてのドアおよびトランクを施錠してから、3秒以内にもう一度回します。

MEMO

●車両のロックが解除されているとき、ドアハンドルが格納されている場合は、ドアハンドルを押すと展開します。もう一度ドアハンドルを押すとすべてのドアとトランクが施錠されます。3秒以内に再度ドアハンドルを押すとスーパードアロックがかかります。*

●スーパードアロックをすると、ハザードランプが数秒間点灯します。

●スーパードアロックがされているときも、ステアリングホイールのホーンを使用することができます。

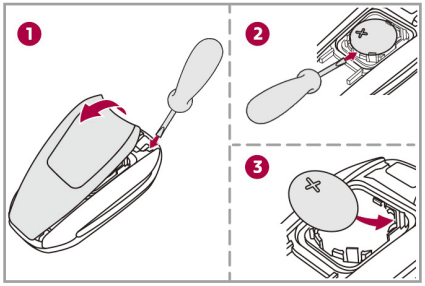
⚠警 告

●車内に人がいるときは、スーパードアロックをかけないでください。車内からドアロックが解除できず、閉じ込められてしまいます。

●お子さまだけを車内に残して車を離れないでください。思わぬ事故やケガのもととなります。

* 仕様により異なります。

●電池（CR2032 3V）の交換



リモコンの電池が消耗すると、メッセージが表示されます。
切れ込みに細いドライバーなどを差し込んでケースを開け①、電池を交換してください②③。

⚠警 告

●電池交換の際には、お子さまが誤って飲み込むなどしないよう注意してください。化学やけど（化学熱傷）のおそれがあります。
●スマートキーのボタン電池を飲み込むとわずか2時間で重度の化学やけど（化学熱傷）を引き起こし、重大な傷害におよぶか、最悪の場合死亡につながるおそれがあります。
誤ってスマートキーのボタン電池を飲み込んでしまった、または体の一部に入れてしまった場合は、すぐに医師の診断を受けてください。
●交換用電池および使用済みの電池は、お子さまの手の届かない場所で保管してください。
●スマートキーのケースがしっかりと閉まらない場合は、そのまま使用せず、お子さまの手の届かない場所で保管してください。また、すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。
●交換用電池は同じ種類の電池を使用してください。異なる種類の電池を使用すると、電池が爆発するおそれがあります。

⚠警 告

●次のことを必ずお守りください。電池が爆発したり、可燃性の液体やガスが漏れるおそれがあります。
- 温度が極端に高い場所や、高度が高く気圧が極端に低い場所で電池を使用したり、保管したり、持ち込んだりしないでください。
- 新しい電池および使用済みの電池を燃やしたり、つぶしたり、切ったりしないでください。

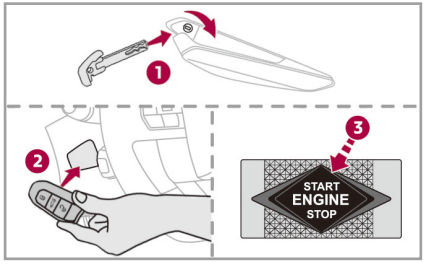
●リモコンの電波が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

MEMO

●交換用電池は当社指定サービス工場でお求めいただけます。
●環境汚染防止のため、使用済みの電池は正しく廃棄してください。

●リモコンの初期化

電池交換のあとなどにリモコンが作動しなくなったら、以下の手順で初期化をしてください。



1. 運転席ドア *または助手席ドアのドアハンドルを押し込んで展開します。
2. ドアハンドルを引き、緊急用キー①をドアの鍵穴に差し込みます。
3. ドアハンドルを少し戻し、緊急用キーを回して解錠します。
4. ステアリングコラムのリーダ②にスマートキーを当てます。
5. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
6. シフトポジションがPになっていることを確認します。
7. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOPスイッチ③を押してエンジンを始動します。

MEMO

- ●初期化の手順を行ってもリモコンが作動しないなど、不具合が解消しない場合は、当社指定サービス工場へご連絡ください。
- ●キーナンバーのついたタグを保管しておいてください。スマートキーを紛失して、新しいスマートキーを作成する際にこの番号が必要となります。
- ●車を離れる際、ポケットの中などでリモコンのボタンを誤って押さないようご注意ください。気がつかないうちに車のロックが解除されてしまうおそれがあります。また、車から離れたところで何度もボタンを押すと、認識されなくなることがあります。その際は初期化をしてください。

* 仕様により異なります。

イモビライザー（盗難防止システム）

DS 9には、イモビライザー（盗難防止装置）が装備されています。
これはスマートキーの内部に車を識別する装置が内蔵されており、車側とのコードが合致しないときは、エンジンの始動ができないようにするものです。

●スマートキー
車とともにお渡しするスマートキーの内部（プラスチック部分）には、車を識別する電子装置が内蔵されています。
それぞれのスマートキーは、車ごとに個別のコードが登録されています。
ENGINE START/STOP スイッチを押すと、車のイモビライザーシステムがこのコードを読み取って、エンジンの始動を可能にします。
もしコードが設定されていなかったり異なるコードのときは、エンジンを始動することはできません。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにすると、システムは直ちにエンジンをロックします。
システムに異常が発生したときは、ENGINE START/STOP スイッチを押すと、メッセージが表示されます。エンジンは始動しません。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

●車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。
●イモビライザーの改造をしないでください。故障の原因になるおそれがあります。
●スマートキーの内部には電子装置が組み込まれています。強い電磁波や高温にさらしたり、強い衝撃を与えたり、水に濡らしたりしないでください。故障の原因となります。

●スペアキー

車とともにお渡しするスペアキーにもコードが登録されています。
もし予備のスマートキーが必要なとき、あるいはスマートキーを取り替えるときには、すべてのスマートキーを登録し直す必要があります。お手持ちのすべてのスマートキーを当社指定サービス工場にご持参の上、登録作業をお申し付けください。

注 意

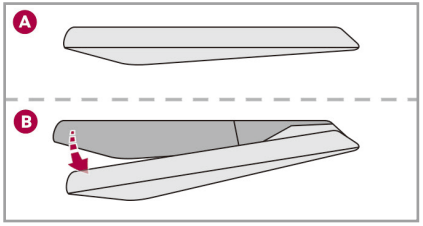
万一、スマートキーを紛失したり盗難にあった場合は、安全のために他のスマートキーを登録し直して失ったスマートキーを無効にする（エンジンを始動できなくする）ことをお勧めします。お近くの当社指定サービス工場にご相談ください。

MEMO

新しいスマートキーを購入しても、イモビライザーシステムにコードを登録しないかぎり、そのスマートキーでエンジンを始動することはできません。

ドア／ドアロック

●リトラクタブルドアハンドル



リトラクタブルドアハンドルは車両の施錠／解錠に合わせて自動的に格納 **A** ／展開 **B** します。

格納する

施錠すると格納します。また、リトラクタブルドアハンドルを軽く押すと格納されます。

時速5km 以上で走行すると、自動的に格納します。

展開する

解錠すると展開します。また、内側ドアハンドルを引いてドアを開ける、センターコンソールのロックボタンを押すか引く（施錠状態のとき：1回、解錠状態のとき：2回）と展開します。

MEMO

- ●リトラクタブルドアハンドルは、展開後にドアを開閉すると、約3分後にドアの解錠状態を保ったまま自動的に格納されます。
- ●12V バッテリーが上がっているときなど、リトラクタブルドアハンドルが作動しないときは、ドアハンドルを押し込むと展開します。そのまま引き出し、鍵穴に緊急用キーを差し込んでドアを解錠／施錠できます。
- ●低温などのためにドアハンドルが凍結し、リトラクタブルドアハンドルが作動しないときは、ドアハンドルを押し込むと展開します。

注 意

ドアハンドルを押し込む動作を繰り返し行うと、破損しリトラクタブルドアハンドルが展開しなくなるおそれがあります。

●車外からドアを開ける

車両を解錠するとドアハンドルが展開します。ドアハンドルを引くとドアが開きます。
詳細は「プロキシミティキーレスエントリー」項を参照してください。

●車内からドアを開ける

内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。
解錠の仕様が選択解錠モードになっているときは、運転席側の内側ドアハンドルを引くと、運転席ドアのロックのみ解除され、運転席ドアのドアハンドルが展開します。その他のドアの内側ドアハンドルを引くと、すべてのロックが解除され、すべてのドアのドアハンドルが展開します。

MEMO

スーパードアロックがされているときは内側ドアハンドルでは一切ドアを開けることができません。*

●半ドア警告

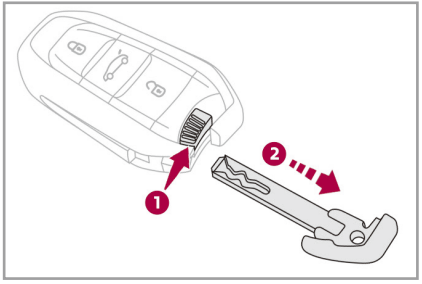
エンジンが始動している状態でドアを開けると、警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
そのまま走行すると、時速10km 以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

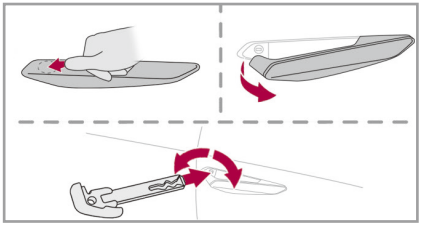
* 仕様により異なります。

●緊急用キー

以下のようにスマートキーの機能が使用できないときは、運転席ドア *または助手席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠／解錠します。

・スマートキーで施錠／解錠できないとき
・スマートキーの電池がないとき
・車両が強い電磁波などを受けているとき





1. スマートキーのレバー①を押して、緊急用キー②を取り出します。
2. 運転席ドア *または助手席ドアのドアハンドルを押し込んで展開します。
3. ドアハンドルを引き、緊急用キーをドアの鍵穴に差し込みます。
4. ドアハンドルを少し戻し、緊急用キーを回して施錠または解錠します。

MEMO

●アラームがセットされているときに緊急用キーを使用して解錠し、ドアを開けると警報が鳴ります。警報を止めるには **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにするか、エンジンを始動してください。*
●緊急用キーで施錠してもアラームはセットされません。*
●緊急用キーを取り出したら、なくさないように注意してください。

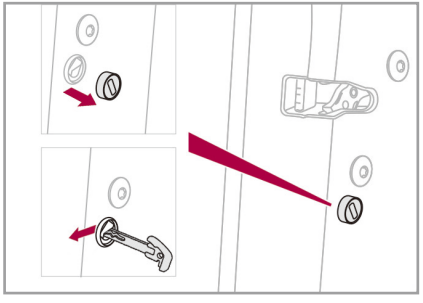
●マニュアルロック（非常時）

12V バッテリーが上がっているときや、12V バッテリーの接続をはずしているときなどで、集中ドアロックが作動しないときには次の方法でドアをロックすることができます。

前席ドア（鍵穴のあるドア）

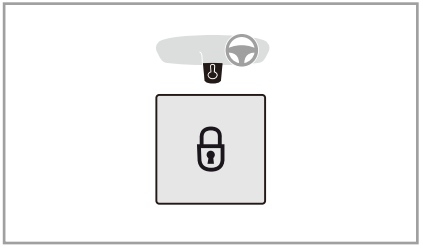
1. ドアハンドルが格納されている場合は、ドアハンドルを押し込んで展開します。
2. ドアハンドルを引き、緊急用キーをドアの鍵穴に差し込みます。
3. ドアハンドルを少し戻し、緊急用キーを回して施錠または解錠します。

前席ドア（鍵穴のないドア）／後席ドア



1. 後席ドアはチャイルドセーフティが解除されていることを確認します。
2. ドア端部にあるカバーをはずします。*
3. 緊急用キーを使って、ドア端部にある穴から黒いゴムキャップをはずします。
4. 緊急用キーを穴に差し込み、内側に動かしてドアをロックします。（緊急用キーは回さないでください。）
5. 緊急用キーをはずし、ゴムキャップを元に戻してからドアを閉めます。

●ドアロック／オートドアロック



ロックボタンを押すか引くと、車両の施錠ができます。
施錠するとインジケーターが点灯／点滅します。
ドアのいずれかが開いている場合には内側からの集中ロックはできません。
解錠するときはボタンを再度押すか引きます。

* 仕様により異なります。

MEMO

●ロックボタンを使用してリトラクタブルドアハンドルを展開するには、施錠状態のときはロックボタンを1回押すか引いてください。解錠状態のときはロックボタンを2回押すか引いてください。
●外側から施錠されている場合、またはスーパードアロック *がかかっている場合は、インジケーターが点滅し、ロックボタンを操作しても解錠しません。
外側から施錠されている場合は、内側ドアハンドルを引いて解錠してください。スーパードアロック *がかかっている場合は、キー、リモコンもしくはプロキシミティキーレスエントリー機能を使って解錠してください。

●オートドアロック機能

時速10km 以上で走行すると、自動的に施錠されます。

完全に閉まっていないドアやトランクがあると、オートドアロックは作動しません。警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

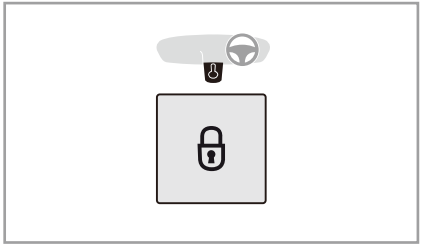
⚠警 告

オートドアロックされている状態では、非常時に救助活動のため外部からドアを開けることが困難となる場合があります。

MEMO

トランクが開いたままでも、ロックボタンを使用して集中ロックができます。

●オートドアロック機能のオン／オフ



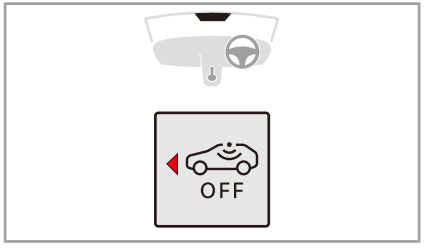
機能をオンにするには

ボタンを2秒以上押すか引き続けます。
警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

機能をオフにするには

ボタンを再度2秒以上押すか引き続けます。
警告音とともに確認のメッセージが表示されます。

アラーム *



DS 9には、車の盗難や車の内外へのいたずらを防止するアラームシステムが備えられています。

●アラームの検知の種類

外部検知
監視状態で、ドアやトランク、ボンネットなどが開けられると作動します。

内部検知
監視状態で、ウィンドウが壊されたり、車内の動きを感知すると作動します。

傾き検知
監視状態で、ジャッキアップされたりレッカー車などで持ち上げられて、傾きや振動を感知すると作動します。

改ざん検知
サイレンやコントロールユニット、バッテリーの接続が切断されると作動します。

注 意

●アラームシステムの改造をしないでください。
●アラームシステムの点検や整備は当社指定サービス工場にお申し付けください。

MEMO

駐車時に衝撃を受けた場合は、傾き検知による警報が作動しない場合があります。

* 仕様により異なります。

●アラームのセット

1. ENGINE START/STOP スイッチをオフにして、車の外へ出ます。
2. リモコンの施錠ボタンを押す、またはスマートキーを携帯して前席ドアのドアハンドルまたはトランクのスイッチ右側を押して施錠します。
3. アラームがセットされます。アラームボタンのインジケーターが1秒間に1回点滅します。

MEMO

- ●アラームがセットされるまでに以下の時間がかかります。
  - • 外部検知：5秒
  - • 内部検知：45秒
  - • 傾き検知：45秒
- ●完全に閉まっていないドアやトランクがあると、ドアロックは作動しません。ただし、リモコンの施錠ボタンを押した場合は、ドアロックが作動しなかった場合でも、45秒経過後に外部検知、内部検知および傾き検知が同時にセットされます。*

MEMO

- ●プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠機能で施錠する、またはドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで施錠すると、アラームはセットされません。
- ●車内に人がいるときはアラームをセットしないでください。人が車内で動いたときや、ドアを開けたときなどにアラームが作動します。
- ●すべてのドアおよびトランクを閉じてから約2分経過すると、施錠されていない状態でも自動的にアラームがセットされます。この状態でドアまたはトランクを開けるとアラームが作動します。アラームを作動させないためには、リモコン、前席ドアのドアハンドルまたはトランクのスイッチを使用して施錠、解錠の順に操作してからドアを開けて乗車してください。*
- ●アラームがセットされている状態でも、車内に現金や貴重品を置いたままにしないでください。盗難のおそれがあります。

●アラームの解除

車両を解錠するとアラームが解除されます。アラームが解除されると、アラームボタンのインジケーターが消灯します。

MEMO

- ●緊急用キーを使用して車両を解錠するとアラームは解除されません。そのままドアを開けると警報が鳴ります。
- ●解錠したあと、30秒以内にドアまたはトランクを開かないと、自動的に再施錠され、アラームがセットされます。

●アラームの作動

約30秒間、警報が鳴ってハザードランプが点滅します。その後、アラームは停止しますが、引き続きセット状態が維持されます。

MEMO

- ●アラームが連続して10回作動すると、11回目で作動が停止します。
- ●車両を解錠したあと（緊急用キーで解錠した場合を除く）、アラームボタンのインジケーターが速く点滅する場合は、車を離れている間にアラームが作動したことを示しています。**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動するとインジケーターが消灯します。

●外部検知アラームだけのセット

次の場合は、内部検知／傾き検知をキャンセルする必要があります。

- ・ウィンドウを少し開けた状態で車を離れるとき
- ・洗車するとき
- ・ホイールを交換するとき
- ・けん引されるとき
- ・海上運送するとき

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてから10秒以内に、アラームボタンのインジケーターが点灯するまでアラームボタンを押します。
2. 車の外へ出ます。
3. リモコンの施錠ボタンを押す、またはスマートキーを携帯して前席ドアのドアハンドルまたはトランクのスイッチ右側を押して施錠します。
4. 外部検知アラームだけがセットされます。アラームボタンのインジケーターが1秒間に1回点滅します。

MEMO

内部検知／傾き検知は、アラームを解除すると回復します。キャンセルする必要があるときは、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにする度に設定してください。

＊仕様により異なります。

●リモコン／プロキシミティキーレスエントリー機能の故障

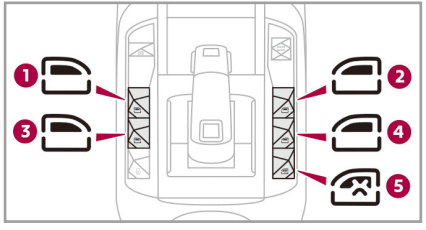
アラームのセット状態でリモコンもしくはプロキシミティキーレスエントリー機能を使用しても解錠できないときは、次のようにアラームを解除します。

1. 緊急用キーを使用して運転席ドア*または助手席ドアを解錠します。
2. ドアを開けます（アラームが作動）。
3. ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動します（アラームが停止しアラームボタンのインジケーターが消灯）。

●アラームの故障

ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにしたとき、またはエンジンを始動したとき、アラームボタンのインジケーターが点灯する場合は、アラームに異常があります。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

パワーウィンドウ



①：助手席側ウィンドウ開閉スイッチ
②：運転席側ウィンドウ開閉スイッチ
③：後席左側ウィンドウ開閉スイッチ
④：後席右側ウィンドウ開閉スイッチ
⑤：チャイルドセーフティボタン

●マニュアルウィンドウ開閉

スイッチを軽く押したり引いている間だけウィンドウが開閉します。スイッチから手を離すと同時にウィンドウも停止します。

●ワンタッチ開閉

スイッチを1回強く押すか引くと、スイッチから手を離しても、ウィンドウは自動的に全開閉します。
途中で止めるときは、再度スイッチを押すか引きます。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてから約45秒間、パワーウィンドウの操作ができます。それ以降は、再度 **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動してから操作をしてください。

●チャイルドセーフティボタン

チャイルドセーフティボタン⑤を押すか引くと、ボタンのインジケーターが点灯するとともにメッセージが表示され、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなります。
再度ボタンを押すか引くと、ボタンのインジケーターが消灯し、後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができるようになります。

MEMO

●後席のパワーウィンドウスイッチによる操作ができなくなっているときも、運転席にある後席ウィンドウ開閉スイッチでの操作は可能です。
●チャイルドセーフティボタン⑤を押すか引くと、車内から後席ドアを開けられなくなります。お子さまの危険防止に有効です。

●挟み込み防止機能

パワーウィンドウには、挟み込み防止機能が付いており、障害物があると上昇をやめて数センチ下降します。

●パワーウィンドウの再初期化

12V バッテリーをはずしたあとなど正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチを押してウィンドウを全開にします。
2. ウィンドウを閉じる操作をします。（1回の操作で2 ～ 3cm 程度しか動きません）
3. ウィンドウが全閉するまで手順2の操作を繰り返します。
4. ウィンドウが全閉したら、さらにスイッチを1秒以上引き続けてください。

⚠注 意

初期化中は挟み込み防止機能は働きません。安全に配慮してください。

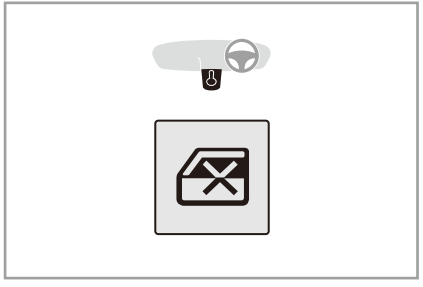
⚠警 告

- ●走行中や一時停止したときに開いたウィンドウから手や頭、ものなどを出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
- ●運転者が運転席以外のウィンドウを操作する場合は、ウィンドウを閉めるのに障害物がないか確認をしてください。
- ●ウィンドウを閉めているとき、誤って障害物などが接触したときは、直ちにウィンドウを開けてください。
- ●乗員がウィンドウを閉める際には運転者がその操作に対して注意を払ってください。
- ●お子さまにはウィンドウの操作をさせないでください。
- ●車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上ウィンドウやドアシールから離してご使用ください。

チャイルドセーフティ



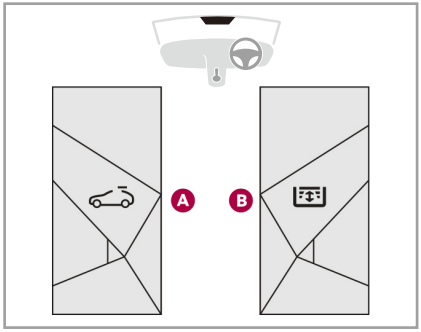
車内のドアハンドルで後席ドアを開けられなくすることができます。お子さまの危険防止に有効です。
チャイルドセーフティを作動させるには、**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときにボタンを押すか引きます。ボタンのインジケーターが点灯するとともにメッセージが表示されます。
チャイルドセーフティを解除するには、もう一度ボタンを押すか引きます。

MEMO

- チャイルドセーフティはドアロックの作動とは別に独立して作動します。車両が強い衝撃を受けると、チャイルドセーフティは自動的に解除され、非常時に、後席からの脱出を可能にします。
- チャイルドセーフティがオンになっていても、外からドアを開けることができます。

* 仕様により異なります。

アウタースライディングガラスルーフ *



A：ガラスルーフ開閉スイッチ
B：サンシェード開閉スイッチ

MEMO

●ガラスルーフを開くとサンシェードが連動して開きます。ただし、ガラスルーフを閉じてもサンシェードは連動して閉じません。
ガラスルーフが開いている場合は、サンシェードはガラスルーフの開口部まで閉じることができます。

MEMO

●**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときにガラスルーフとサンシェードを開閉できます。また、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてから約45秒間は、ガラスルーフとサンシェードの操作ができます。それ以降は、再度 **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動してから操作してください。
ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのときでも、エコノミーモードに入るとガラスルーフとサンシェードの操作はできなくなります。
●ストップ＆スタートの停止モードのときもガラスルーフやサンシェードを開閉できます。

●ガラスルーフ

開くとき

スイッチ**A**を1回軽く引くと、ガラスルーフがチルトアップした状態になります。再度、スイッチ**A**を1回軽く引くと、ガラスルーフが全開します。

スイッチ**A**を軽く引き続けると、引いている間はガラスルーフが開きます。スイッチ**A**から手を離すとガラスルーフが停止します。

スイッチ**A**を1回強く引くと、ガラスルーフは自動的に全開します。
途中で止めるときは、再度スイッチ**A**を引きます。

MEMO

走行中の騒音を抑えるために、走行速度に応じてガラスルーフのチルトアップする量が変化します。

閉じるとき

スイッチ**A**を1回軽く押すと、ガラスルーフが閉じて、チルトアップした状態に戻ります。再度、スイッチ**A**を1回軽く押すと、ガラスルーフが全閉します。

スイッチ**A**を軽く押し続けると、押している間はガラスルーフが閉じます。スイッチ**A**から手を離すとガラスルーフが停止します。

スイッチ**A**を1回強く押すと、ガラスルーフは自動的に全閉します。
途中で止めるときは、再度スイッチ**A**を押します。

MEMO

仕様によりガラスルーフのスイッチの操作のしかたが異なる場合があります。

●サンシェード

手動で開くとき

スイッチ**B**を軽く引いている間だけサンシェードが開きます。スイッチから手を離すと同時にサンシェードも停止します。

自動で開くとき

スイッチ**B**を1回強く引くと、サンシェードは自動的に全開します。
途中で止めるときは、再度スイッチ**B**を引きます。

手動で閉じるとき

スイッチ**B**を軽く押している間だけサンシェードが閉じます。スイッチから手を離すと同時にサンシェードも停止します。

自動で閉じるとき

スイッチ**B**を1回強く押すと、サンシェードは自動的に全閉します。
途中で止めるときは、再度スイッチ**B**を押します。

MEMO

仕様によりサンシェードのスイッチの操作のしかたが異なる場合があります。

●挟み込み防止機能

サンシェードおよびガラスルーフには挟み込み防止機能が付いており、閉作動中に障害物があるとサンシェードおよびガラスルーフが止まって少し開きます。
挟み込み防止機能は時速120km 以下で走行中に機能します。

●ガラスルーフの初期化

12V バッテリーをはずしたあとなど、正常に動作しないときは、以下の手順で初期化をしてください。

1. スイッチ **A**を押してガラスルーフを全閉します。
2. スイッチ **B**を押してサンシェードを全閉します。
3. サンシェードが全閉したら、スイッチ **A**を押し、そのままの状態でガラスルーフとサンシェードが少し動くのを待ちます。
4. ガラスルーフとサンシェードが動いたら、約1秒後にスイッチ **A**から手を離します。
5. 約2秒待ち、再度スイッチ **A**を押し、そのままの状態でガラスルーフとサンシェードが開閉するのを確認します。
6. ガラスルーフとサンシェードが全閉したら、約2秒後にスイッチ **A**から手を離します。

MEMO

初期化中に操作を誤ったら、手順の最初からやり直してください。

⚠警 告

●走行中や一時停止したときに開いたガラスルーフから手や頭、ものなどを出さないでください。車外のものなどに当たったり、急ブレーキや事故の際に大ケガや致命傷を負うおそれがあります。
●走行中や一時停止したときに開いたガラスルーフの端部に腰掛けたりしないでください。急ブレーキや事故の際に投げ出されるおそれがあります。
●ガラスルーフやサンシェードを操作するときは、障害物がないか確認をしてください。誤って接触したときは、直ちにガラスルーフやサンシェードを開けてください。
●同乗者がガラスルーフやサンシェードを操作するときも十分に注意してください。
●お子さまにはガラスルーフやサンシェードの操作をさせないでください。

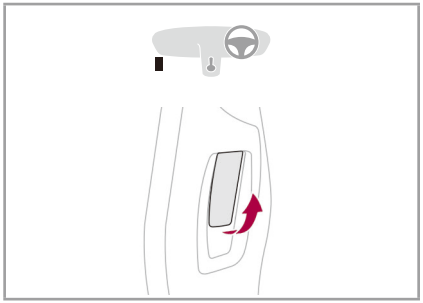
注 意

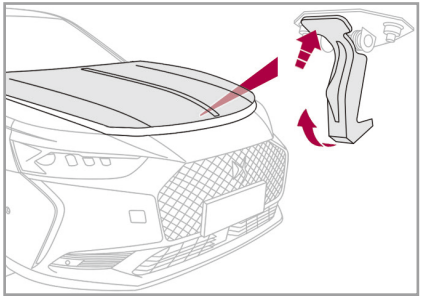
●ルーフキャリアを取り付けているときは、ガラスルーフを開閉しないでください。ガラスルーフを破損するおそれがあります。
●ガラスルーフに重い荷物などを置かないでください。
●ガラスルーフに雪が積もっているときは、ガラスルーフ上の雪を取り除いてから操作してください。故障するおそれがあります。
●ガラスルーフの雪を取り除くときは、車体に傷が付かないようなものを使用してください。
●ガラスルーフが凍結しているときは、氷などが完全に溶けるまで操作を控えてください。無理にガラスルーフを動かすと破損するおそれがあります。
●洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上ガラスルーフシールから離してご使用ください。

MEMO

●車から離れるときや洗車するときは、ガラスルーフが完全に閉じていることを確認してください。
●雨のあとや洗車後など、ガラスルーフが濡れているときは、ガラスルーフ上の水を拭き取ってから操作してください。室内に水が入ることがあります。
●ガラスルーフシールにゴミや汚れなどが溜まると正常に作動しなくなることがあります。常に汚れを落としてください。

ボンネット





●ボンネットを開けるには

1. 助手席側ドアを開き、ドアシル部にあるレバーを引きます。
2. ボンネット下のロックレバーを引き上げてから、ボンネットを持ち上げます。

ボンネットを開ける際には、6-6ページの警告をお読みください。

⚠警 告

エンジンルームでどのような作業を行うときも、あらかじめ **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてエンジンを停止してください。作動中の部品に巻き込まれるなどして重大な傷害を受けるおそれがあります。
また、ストップ&スタートによりエンジンが急に始動して、思わぬケガをするおそれがあります。

⚠注 意

●ボンネットを開ける操作は、必ず停車してから行ってください。
●強風時はボンネットが風であおられないようご注意ください。

●ボンネットを閉めるには

ボンネットを引き下げ、下から30cmぐらいの位置で手を離すと、重みで自然に閉まります。
上から押さないでください。

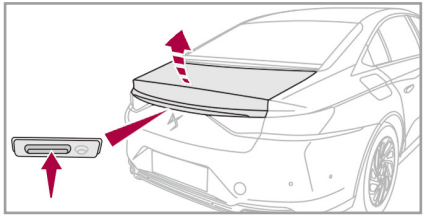
⚠警 告

ボンネットを閉めたあと、ロックされたことを確認してください。

トランク

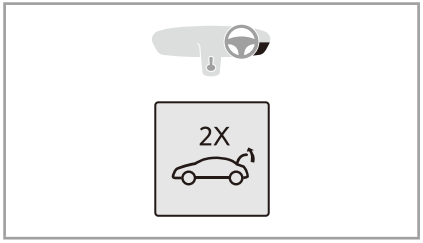
● トランクを開ける

車外から開ける



ドアの施錠／解錠と連動しています。トランクのスイッチ左側を押してから持ち上げます。
P.2-2の「プロキシミティキーレスエントリー」項を参照してください。

車内から開ける *



運転席側ダッシュボードにあるスイッチを2回押すと、トランクが開きます。
ハンズフリーエレクトリックトランクリッドの自動開閉の機能がオフになっている場合はトランクが少し開いた状態になります。*

MEMO

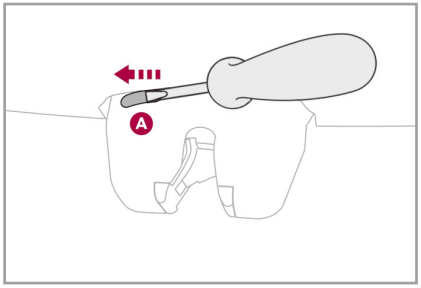
トランクを開いたあとは、必ずトランクを閉じて施錠してください。

● トランクを閉める

トランクリッド内側のハンドルを持って引き下げます。

* 仕様により異なります。

● トランクが解錠しないとき



集中ドアロックシステムのトラブルなどでトランクが解錠できないときは、次のように行います。

1. リアシートを倒し、トランクの内側からロック機構にアクセスできるようにします。
2. 小さいドライバーを **A** に差し込んで中のバーを左に動かして解錠します。

MEMO

水没など予期せぬトラブルで車内に閉じ込められた場合、この方法でトランクを開けて脱出できます。

● トランク閉め忘れ警告

エンジンが始動している状態のときにトランクを開けると、警告灯が点灯するとともに数秒間メッセージが表示されます。
そのまま走行すると、時速10km 以上では警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが数秒間表示されます。

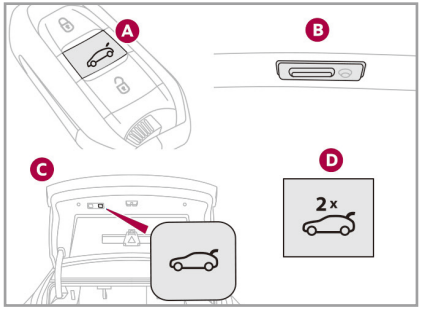
⚠ 警 告

- ●安全上、操作上、法律上の理由で、トランクを開けた状態での走行はしないでください。
- ●トランクを閉めるときには、指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。
- ●トランクリッドに損傷や作動不良がある場合は、すみやかに当社指定サービス工場で点検を受けてください。トランクリッドが突然閉じて重大な傷害を受けるおそれがあります。

注 意

ストラットダンパーを引いてトランクを閉めないでください。ダンパーが変形して開閉ができなくなるおそれがあります。

ハンズフリーエレクトリックトランクリッド *



自動でトランクを開閉することができる機能です。

MEMO

トランクを開閉すると、ブザーが鳴ります。

● トランクを開ける

A：リモコンを使用する
リモコンのトランクリッドオープナーボタンを長押しすると、トランクのロックが解除され、自動で開きます。

B：プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する
車両周辺の検知エリアにスマートキーがあるときに、トランクのスイッチ左側を押すと、トランクのロックが解除され、自動で開きます。

D：車内から開ける
運転席側ダッシュボードにあるスイッチを2回押すと、トランクのロックが解除され、自動で開きます。

MEMO

- ●自動開閉の機能をオンに設定している場合は、トランクを開ける／閉める操作を行うと、自動で全開／全閉します。自動開閉の機能をオフに設定している場合は、トランクを開ける操作を行うと、トランクが少し開いた状態になります。トランクを閉める操作を行っても、トランクは自動で閉じません。
- ●**A**、**B**の操作でトランクを開けるとき、トランクの選択解錠モードがオンになっていると、トランクのみ解錠されます。トランクの選択解錠モードがオフになっていると、すべてのドアおよびトランクが同時に解錠します。

* 仕様により異なります。

● トランクを閉じる

A：リモコンを使用する
リモコンのトランクリッドオープナーボタンを長押しすると自動で閉じます。

B：プロキシミティキーレスエントリー機能を使用する
トランクのスイッチ左側を押すと自動で閉じます。

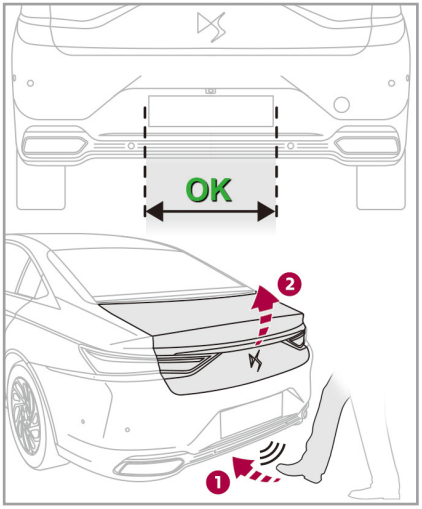
C：トランクリッド内側のスイッチを使用する
トランクリッド内側にあるスイッチを押すと自動で閉じます。

D：車内から閉じる *
運転席側ダッシュボードにあるスイッチを2回押すと自動で閉じます。

MEMO

仕様により、運転席側ダッシュボードにあるスイッチでトランクを閉じることができない場合があります。

● ハンズフリー機能



ハンズフリー機能は、車両後方の検知エリアにスマートキーがあるときに、リアバンパーの下部で、イラストの **OK** の範囲にある検知エリアに足を蹴り出すことで①、トランクの開閉、または停止を行うことができます②。
足の蹴り出し動作は、車のナンバープレートの手前に立ち、足をゆっくり上下させるように行います。足の上げ幅が少なかったり、足を早く動かしたり、リアバンパーの下部に足を入れた状態のままでいると、うまく作動しないことがあります。
ハンズフリー機能が作動すると、ハザードランプが点滅し、ブザーが鳴ります。

⚠警 告

足の蹴り出し動作を行うときは、地面の状態やまわりをよく確認してください。バランスをくずしたり、転倒してケガをするおそれがあります。

⚠注 意

走行後の排気管は高温になるため、ハンズフリー機能を使用する場合は、排気管に触れないでください。やけどやケガを負うおそれがあります。

MEMO

- ●足を左右に振る動作では、ハンズフリー機能がうまく作動しないことがあります。
- ●連続して足を蹴り出すとうまく作動しないことがあります。一度足を蹴り出したら、次の動作まで2秒以上待ってから再度行ってください。

MEMO

- ●足の蹴り出し動作を何度行ってもハンズフリー機能が作動しない場合は、次のことを確認してください。
  - • 自動開閉の機能とハンズフリー機能がオンになっている
  - • スマートキーが車外にある、および車両後方の検知エリアにある
  - • リアバンパー下部の適切な検知範囲内に足を蹴り出している
  - • リアバンパーの下部に足を入れた状態のままにしていない
- ●義足でハンズフリー機能を使用した場合、機能が制限されることがあります。
- ●自動開閉の機能をオンに設定している場合は、ハンズフリー機能でトランクを開ける／閉める操作を行うと、自動で全開／全閉します。自動開閉の機能をオフに設定している場合は、ハンズフリー機能でトランクを開ける操作を行うと、トランクが少し開いた状態になります。ハンズフリー機能でトランクを閉める操作を行っても、トランクは自動で閉じません。

MEMO

- ●ハンズフリー機能でトランクを開けるとき、トランクの選択解錠モードがオンになっていると、トランクのみ解錠されます。選択解錠モードがオフになっていると、すべてのドアおよびトランクが同時に解錠します。

●挟み込み防止機能

ハンズフリーエレクトリックトランクリッドには、挟み込み防止機能が付いており、自動開閉作動中に障害物があると、トランクリッドが止まり、反対側に少し動きます。

⚠注 意

トランクを確実に閉めるため、閉め切る直前では挟み込み防止機能が作動しません。指などを挟まないように注意してください。

●自動開閉の中断

自動開閉を途中で止めるには、リモコンのトランクリッドオープナーボタン **A**、トランクのスイッチ左側 **B**、トランクリッド内側にあるスイッチ **C**、運転席側ダッシュボードにあるスイッチ **D**のいずれかを操作するか、リアバンパーの下に足を蹴り出します。
もう一度これらのボタンやスイッチを押すか、足を蹴り出すとトランクリッドが反対側に動きます。

MEMO

仕様により、自動開閉を途中で止めたあと、運転席側ダッシュボードにあるスイッチ **D**を操作してもトランクリッドを閉方向へ動かすことができない場合があります。

●システムの作動と解除

自動開閉の機能、およびハンズフリー機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

⚠警 告

●ハンズフリーエレクトリックトランクリッドの操作は、安全のため停車中に行ってください。

●トランクを閉めるときには、指などを挟まないよう十分に注意してください。また、開閉の際はまわりの人などにぶつからないことを確認してください。特に、開閉中にお子さまがトランクに近付く可能性があり、ケガをするおそれがあります。

●トランクのロック機構に指などを入れないでください。重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注 意

トランクを開閉するときには、リアバンパーから少し離れた位置から操作してください。トランクが開閉したときにぶつかってケガをするおそれがあります。

注 意

●トランクを開閉するときは、車の上方や後方に十分なスペースがあることを確認してください。開閉するときは、壁や天井に当たらないように周囲を必ず確認してから操作してください。

注 意

●以下のようなときに、トランクが不意に開いたり閉じたりすることがあります。スマートキーを車両後方の検知エリアから離すか、自動開閉の機能、およびハンズフリー機能を解除してください。

- 自転車用リアキャリアを装着したり、キャリアに自転車を積んだり降ろしたりするとき
- 車両後方で荷物を積んだり降ろしたりするとき
- スペアタイヤを取り出すなど、トランクルームで作業をするとき
- 車両後部を清掃するとき
- 自走式の洗車機を使用するとき
- 高圧ジェット噴射による洗浄をするとき
- 車両の点検や整備をするとき
- 動物がリアバンパーの下に侵入したとき

注 意

●12V バッテリーのバッテリー上がりや故障などで正常に動作しないときは、手動でトランクを閉じることもできます。手動で閉じるときは、トランクリッド中心部を押しながらゆっくりと閉じてください。勢いよく閉じたり、無理に力を入れて閉じたり、トランクリッドの側面を持って閉じたりすると、トランクリッドを破損するおそれがあります。
トランクを閉じるとき、トランクリッドが非常に重くなることがあります。

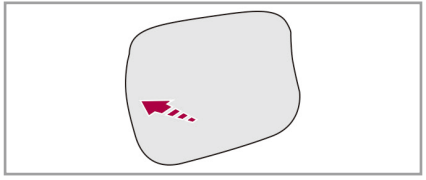
MEMO

●連続して自動開閉操作を行うと、モーターの加熱により動作が停止することがあります。約10分間待ってから再度操作をしてください。
●手動でもトランクを開閉することができます。手動開閉は操作が通常より重くなりますが、異常ではありません。
必ず自動開閉を中断させてから、手動開閉をしてください。
●トランクを操作する前に、車に積もった雪や着氷を取り除いてください。トランクが凍結しているときは、車内の空調の熱で氷が溶けたことを確認してから操作してください。
●積雪や暴雨のときには、自動的にハンズフリー機能が解除される場合があります。

MEMO

●自走式の洗車機を使用するときは、トランクが不意に開かないように、ドアおよびトランクを施錠し、スマートキーを車両周辺の検知エリアから出してください。また、自動開閉の機能、およびハンズフリー機能を解除してください。
●近くに強い電波を発する設備があるときや、携帯電話、無線機、パソコンなどの製品と一緒にスマートキーを携帯しているときに、ハンズフリー機能が作動しないことがあります。
●自転車用リアキャリアを装着しているときは、自動開閉の機能、およびハンズフリー機能を解除してください。

フュエルリッド（給油口）



ドアを解錠すると、フュエルリッドも連動して解錠されます。

1. 給油フラップの後ろ側を押して開きます。
2. フュエルキャップを左（反時計方向）に回してはずします。*
3. はずしたフュエルキャップは、フラップの内側にあるフックに引っかけておきます。*
4. 給油ノズルを給油口に一番奥まで差し込み給油を開始します。
5. 給油ノズルのオートストップが3回働いたら、それ以上給油口にあふれるまで給油しないでください。
6. 給油が終わったらノズルを抜きます。
7. フュエルキャップを取り付けます。*
8. 給油フラップを閉めます。

警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、燃料が少なくなっています。
警告灯が点灯した場合、残量は約6リットルです。早めに燃料を補給してください。
もし燃料をすべて使用してしまった場合、少なくとも10リットル以上は給油してください。

MEMO

燃料タンクの容量は約60リットルです。

⚠警 告

- ●給油中はエンジンを停止してください。
- ●ストップ＆スタートの停止モードのまま給油しないでください。必ず、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてエンジンを停止してください。
- ●給油口にあふれるまで給油しないでください。燃料が熱でぼう張し、あふれて火災を起こすおそれがあります。
- ●給油後は、フュエルリッドが閉じていることを確認してください。

注 意

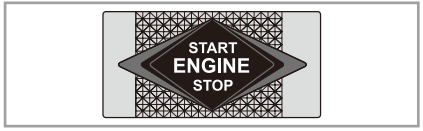
指定の燃料を使用してください。

* 仕様により異なります。

第3章　運転装置の使いかた

エンジンの始動……3-2
ステアリング／ホーン……3-5
エフィシェント・オートマチック・
トランスミッション……3-6
ドライブモード……3-13
DSアクティブスキャンサスペンション ……3-15
エレクトリックパーキングブレーキ……3-16
ヒルスタートアシスタンス……3-20
ESC（エレクトロニック
スタビリティコントロール）……3-21
ストップ&スタート……3-24
レーンキープアシスト……3-28
ドライバーアテンションアラート……3-33
DSドライバーアテンションモニタリング ……3-36
アクティブセーフティブレーキ……3-38
トラフィックサインインォメーション……3-45
アクティブクルーズコントロール
（ストップ&ゴー機能付き）……3-49
レーンポジショニングアシスト……3-59
スピードリミッター……3-66
ブラインドスポットモニター……3-69
フロント／サイド／バックソナー……3-72
バックカメラ／360°ビジョン……3-75
DSパークパイロット ……3-81

エンジンの始動



スマートキーが車内にあるときに、エンジンを始動および停止することができます。

⚠警 告

●エンジンを始動するときは、必ずパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
●換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
●エンジンが始動している状態のときは、車から離れないでください。

注 意

車から離れるときは、短い時間であってもスマートキーを携行してください。

●エンジンの始動

1. スマートキーを携帯して乗車します。
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. シフトポジションが **P** になっていることを確認します。
4. ブレーキペダルを踏みながら **ENGINE START/STOP** スイッチを押します。
5. スターターが回り、エンジンが始動します。

MEMO

●エンジンの始動条件を満たしていない場合は、インストルメントパネルにメッセージが表示されます。
●エンジン始動後は、不必要に長い時間の暖機運転は必要ありません。
●エンジンが冷えた状態では、触媒コンバーターを早期に暖機する必要があるため、エンジン始動後しばらくの間アイドリング中にエンジンの振動が発生する場合がありますが、故障ではありません。

●エンジンの停止

1. 車を完全に停止します。
2. シフトポジションを **P** にします。
3. **ENGINE START/STOP** スイッチを押します。
4. エンジンが停止し、シフトポジションが **P** でロックされます。

MEMO

●エンジンを停止すると、シフトポジションが自動的に **P** になります。
●車を完全に停止しないとエンジンは停止しません。

●ENGINE START/STOP スイッチのポジション

オフ
ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションまたはスタートポジション（エンジンが始動している状態）のとき、ブレーキペダルを踏まずにENGINE START/STOP スイッチを押すとオフになります。
ハザードランプが使用できます。

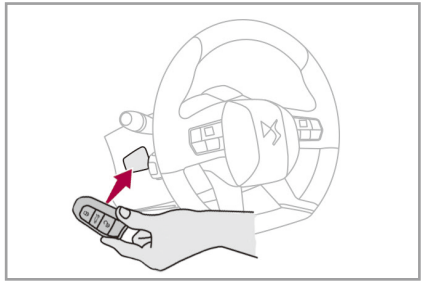
アクセサリーポジション
ENGINE START/STOP スイッチがオフのとき、ブレーキペダルを踏まずにENGINE START/STOP スイッチを押すと、アクセサリーポジションになります。
警告灯類が点灯し、しばらくの間、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

スタートポジション
ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOP スイッチを押すと、スタートポジションになります。
エンジンが始動し、ラジオやパワーウィンドウなどのアクセサリー装備が使用できます。

●エンジンの緊急始動

スマートキーが車内にあるにも関わらず、ENGINE START/STOP スイッチを押してもエンジンが始動しない場合は、以下の手順でエンジンを始動します。

1. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
2. シフトポジションがPになっていることを確認します。
3. ステアリングコラムのリーダにスマートキーを当てます。



4. ブレーキペダルを踏みながらENGINE START/STOP スイッチを押します。
5. エンジンが始動します。

●エンジンの緊急停止

緊急時のためにエンジンを強制的に停止することができます。
強制的にエンジンを停止するには、ENGINE START/STOP スイッチを約5秒間押し続けます。

⚠警 告

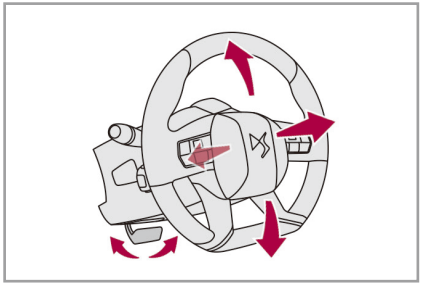
走行中にエンジンを停止すると、ハンドルやブレーキの操作力の補助がなくなり、ハンドルが重くなったりブレーキの効きが悪くなります。車両のコントロールが難しくなるため、すみやかに安全な場所に停車してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

MEMO

- ●緊急時以外は使用しないでください。
- ●スマートキーが車内にないときは、ドアを閉じるとメッセージが表示されます。車内にスマートキーがない状態でエンジンを停止しようとすると、緊急停止の操作を確認するメッセージが表示されます。エンジンを停止するには、**ENGINE START/STOP** スイッチを約5秒間押し続けます。
- ●エンジンを再始動するには、スマートキーが必要です。

ステアリング／ホーン

●チルト・テレスコピックステアリング



ロックレバーを手前に引くと、ステアリングのロックが解除されます。
ステアリングホイールの高さや奥行きを調整し、ロックレバーを押し下げてロックしてください。ステアリングがしっかり固定されていることを確かめてください。

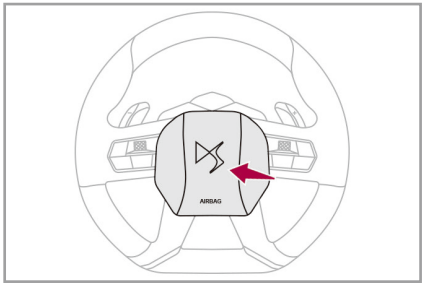
⚠警 告

ステアリングの調整は、車を停止して行ってください。

⚠注 意

シート位置を調整してからステアリング位置を調整してください。

●ホーン



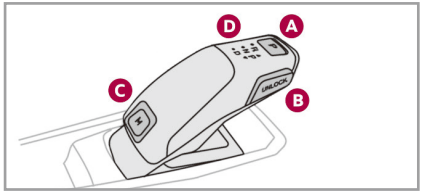
ステアリングホイールのセンターパッドを押してください。

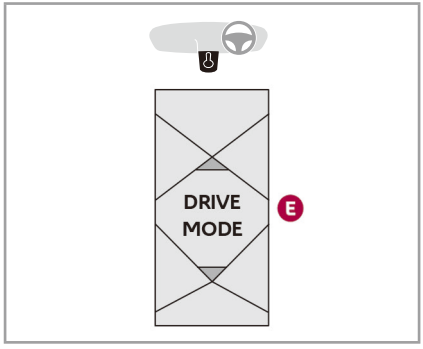
MEMO

ホーンを使用する際には、節度を守り、差し迫った危険を感じるなどの緊急の場合に使用してください。

エフィシェント・オートマチック・トランスミッション

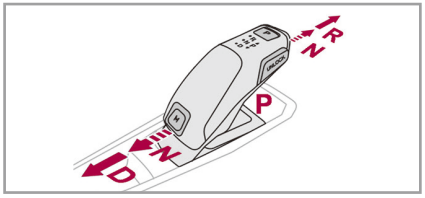
●シフトレバー





A. パーキングボタン
B. ロック解除ボタン
C. マニュアルモードボタン *
D. シフトポジション表示
E. DRIVE MODE ボタン *

●シフトポジション



シフトポジションは、インストルメントパネル内のインジケーターおよびシフトレバーのシフトポジション表示 **D** に表示されます。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてもしばらくの間、シフトポジション表示 **D** にシフトポジションが表示されます。

P. パーキング：前輪がロックされた状態になります。駐車するとき、またはエンジンを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。
・**P** にシフトするときは、パーキングボタン **A** を押します。
・エンジンを停止すると、シフトポジションが自動的に **P** になります。

R. リバース：後退します。
エンジンがアイドリング状態で、車が停止しているときにシフトしてください。
・**P** から **R** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ロック解除ボタン **B** を押しながらシフトレバーを強く押します。
・**N** から **R** にシフトするときは、ロック解除ボタン **B** を押しながらシフトレバーを押します。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。
・**D** から **R** にシフトするときは、ロック解除ボタン **B** を押しながらシフトレバーを強く押します。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

N. ニュートラル：動力が伝わらない状態です。エンジンを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。
・**P** から **N** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ロック解除ボタン **B** を押しながらシフトレバーを押すか引きます。
・**D** から **N** にシフトするときは、シフトレバーを押します。
・**R** から **N** にシフトするときは、シフトレバーを引きます。

D. ドライブ：走行に応じて自動的にギアが切り替わります。
- **P**から**D**にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、ロック解除ボタン**B**を押しながらシフトレバーを強く引きます。
- **N**から**D**にシフトするときは、シフトレバーを引きます。
  時速5km 以下のときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、シフトレバーを引きます。
- **R**から**D**にシフトするときは、シフトレバーを強く引きます。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

M. マニュアルシフトポジション：パドルスイッチを使って手動でギアを切り替えます。アクセルペダルを踏み込んだまま操作することができます。
- **M**にシフトするときは、**D**にシフトしてからマニュアルモードボタン**C***を押してください。マニュアルモードボタン**C**のインジケーターが点灯します。
  または、センターコンソール前にある**DRIVE MODE** ボタン**E***を数回押し、**Manual**を選択してください。選択するモードはインストルメントパネルに表示されます。
- **M**から**D**にシフトするときは、シフトレバーを1回押すか、マニュアルモードボタン**C***を押します。マニュアルモードボタン**C**のインジケーターが消灯します。
  または、センターコンソール前にある**DRIVE MODE** ボタン**E***を数回押し、**Manual** 以外を選択してください。

-：この表示が点灯したときは、オートマチックトランスミッションのプログラム不良です。

注 意

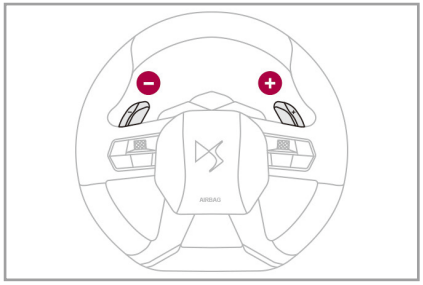
Rや**D**にシフトするときは、エンジン回転がアイドリングまで下がっていることを確認してください。

MEMO

- ●マニュアルモードのシフト操作は、エンジン回転と走行速度の許容範囲内でのみ行うことができます。その範囲を超えるときは、一時的にオートマチックモードになります。
- ●シフトレバーは操作後に手を放すと元の位置に戻ります。

* 仕様により異なります。

●パドルスイッチ



ステアリングの裏側にパドルスイッチがあります。シフトポジションが**D**または**M**のとき、右側（+）のスイッチでシフトアップ、左側（−）のスイッチでシフトダウンします。

MEMO

- ●シフトポジションが**D**のとき、パドルスイッチでのギアの切り替えは一時的な操作です。シフト操作後は、走行に応じて自動的にギアが切り替わります。
- ●パドルスイッチを使って、シフトポジションを**N**または**R**に切り替えることはできません。また、**R**から他のポジションに切り替えることもできません。

●シフトタイミングインジケーター*

マニュアルモードで走行中、燃費向上のためにシフトチェンジを促して燃費向上のアドバイスをします。

例えば、アクセルペダルを軽く踏んで運転している状況で、システムが燃費向上の観点から現在のギアよりも1段または2段高いギアを使用した方が良いと判断した場合、インストルメントパネルに矢印のマークと推奨ギアが表示されます。

* 仕様により異なります。

MEMO

●シフトタイミングインジケーターの機能をオフにすることはできません。
●追い越しをするときなどアクセルペダルを強く踏み込んだときは表示されません。
●シフトタイミングインジケーターは、以下の変速は促しません。
・1速への変速
・リバースギアへの変速

⚠警 告

シフトタイミングインジケーターはあくまで燃費向上のための機能です。実際のギアシフトは運転者が周囲の交通量や安全性に応じて判断して行ってください。誤った変速は事故につながるおそれがあります。

●クリープ現象

停車中にシフトポジションをD、Rまたは Mにすると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。
特にエンジン始動直後やエアコン作動時などエンジン回転が高いときには車が動こうとする力が強くなります。そのため、お子さまが乗車しているときは、エンジンが始動している状態のままでお子さまだけを残して車を離れないでください。
点検のためにエンジンが始動している状態のままで車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトポジションをPにしてください。

●キックダウン

追い越しなどで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱいに踏み込んでください。
シフトダウンが起こり、エンジン回転が最高に達するまでそのギアを維持し、より短い時間で加速することができます。
ある一定の速度に達すると、自動的にシフトアップします。安全のため、急にアクセルペダルを離してもシフトアップはしません。

●エンジンブレーキ

長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、**D** レンジでもより効果的にエンジンブレーキを効かせるため自動的に低いギアに切り替わりますが、状況に応じて随時、シフトポジションを **M** レンジにして低いギアを選択することができます。（たとえば **D** →**3**、**3**→**2**）

ただし、**2**から**1**への切り替えは急激な減速を伴いますので、滑りやすい道路条件（雪道や凍った道路）では十分にご注意ください。

●シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んで、ロック解除ボタン **B** を押していないと **P** から他のシフトポジションにすることはできません。

MEMO

-

警告音とともにこのアイコンとメッセージが表示されたら、ロック解除ボタン **B** を押しながらシフトポジションを変更してください。
-
警告音とともにこのアイコンとメッセージが表示されたら、ブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを変更してください。

●シフトポジション N でエンジンを停止する

シフトポジションが **N** の状態でエンジンを停止するには、以下の操作を行います。

1. 停車し、エンジンが始動している状態のときシフトポジションを **N** にします。
2. エンジンを停止します。
3. エンジンを停止したあと、約5秒以内に **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにします。
4. ブレーキペダルを踏んでシフトレバーを1回押すか引きます。
5. ブレーキペダルを踏んだまま、エレクトリックパーキングブレーキを解除します。
6. ブレーキペダルを放します。
7. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。

MEMO

- シフトポジションが**N**の状態でエンジンを停止すると約5秒後にシフトポジションが自動的に**P**になります。
- **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにするとき、またはアクセサリーポジションからオフにするときはブレーキペダルを放した状態で操作してください。ブレーキペダルを踏んだまま操作するとエンジンが始動するため、手順を最初からやり直してください。
- 次回エンジンを停止するときはシフトポジションが自動的に**P**になります。

●トランスミッションの異常

警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムはセーフモードに入り**3**（3速）に固定されて走行します。
セーフモードでは、マニュアルシフトポジションへの切り替えやパドルスイッチを使ってシフトチェンジすることができなくなります。
シフトポジションを**R**にしたときに、大きなショックを伴うことがありますがトランスミッションを損傷することはありません。時速100km 以下の速度で走行して、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

●シフトレバーの異常

警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、シフトレバーに異常があります。このとき、インストルメントパネルにシフトポジションが表示されているのに、シフトレバーにシフトポジションが表示されなくなることがあります。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

また、STOP 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示された場合は、重大な不良が発生しているおそれがあります。直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●走行中は、シフトポジションを **N** にしないでください。エンジンブレーキが効かなくなり、ブレーキのフェード現象が起きやすくなり事故を起こすおそれがあります。
●車から離れるときは、シフトポジションを **P** にして、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。クリープ現象で車がひとりでに動いて、人や物に衝突するおそれがあります。エンジンがかかっているときにシフトポジションが **P** 以外の場合、運転席ドアを開けると警告音とともにメッセージが表示されます。
●エンジンが始動している状態のときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

⚠注 意

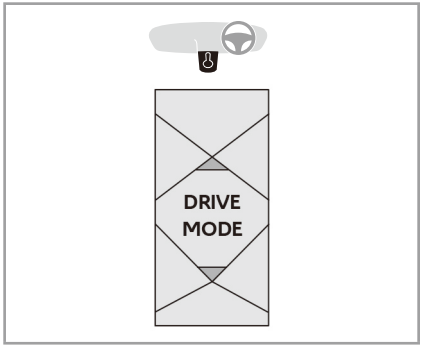
●エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
●シフトポジションを **R** や **D** にするときは、停止した状態で、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

注 意

●車が完全に停止する前にシフトポジションを **P**、**R**、**D** にしないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。
●アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。アクセルペダルおよびブレーキペダルは右足で踏んでください。

＊仕様により異なります。

ドライブモード



走行状況に応じて、センターコンソール前にあるボタンを押してドライブモードを選択することができます。

●ドライブモードの選択

DRIVE MODE ボタンを数回押して、ドライブモードを選択します。
選択するドライブモードはインストルメントパネルに表示されます。

MEMO

- ●エンジンを始動する度に自動的に **Normal** が選択されます。
- ●**Normal** が選択されている場合を除き、選択されているモードがインストルメントパネルに常に表示されます。
- ●ドライブモードは、DS センソリアルドライブ機能からも選択できます。*

●ドライブモードの種類

Eco（エコモード）
エアコン、アクセルレスポンス、トランスミッション、ギアシフトインジケーター *を制御して、燃費を向上させる走行に適しているモードです。
また、フリーホイール機能が装備されていて、**Eco** で走行中にアクセルペダルを放すと、トランスミッションとエンジンの接続を自動的に切り離してエンジンブレーキを解除し、燃料消費量を減少させます。アクセルペダルはゆるやかに放してください。

Sport（スポーツ）
アクセルレスポンス、トランスミッション、パワーステアリング、サスペンションダンピング（DS アクティブスキャンサスペンション）を制御してよりスポーティな走りを実現するモードです。
インストルメントパネルの表示モードが**パーソナル**で、**エンジン情報**、**G- メーター**を選択すると、インストルメントパネルに各種データが表示されます。

MEMO

表示されている各種データはあくまでも目安です。

Comfort（コンフォート）
フロントウィンドウ上部のカメラで前方の路面の凹凸を識別し、最適なサスペンションダンピングに調整する DS アクティブスキャンサスペンションを作動させます。
悪路や長距離ドライブの快適な走行をサポートするモードです。

Normal
通常の走行に適しているモードです。

Manual*
パドルスイッチを使って手動でギアを切り替えることができるモードです。

* 仕様により異なります。

DS アクティブスキャンサスペンション

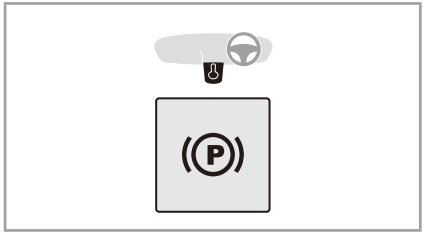
DS アクティブスキャンサスペンションは、フロントウィンドウ上部のカメラが前方の路面を常時モニターし識別することで、これから走行する路面の凹凸を予測します。また、センサーが感知した、路面の状態、車の積載状態、走行状況、選択されているドライブモードに応じて、4輪のショックアブソーバーの減衰力を即時に最適に電子制御します。このサスペンションシステムにより、常にフラットで快適な乗り心地、高い静粛性と走行安定性を保って走行します。

システムに異常が発生したときは、警告灯が点灯します。
次の操作で DS アクティブスキャンサスペンションの初期化をしてください。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにして30秒以上待ちます。
2. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにして5秒以上待ちます。
3. エンジンを始動します。

問題が解消されない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

エレクトリックパーキングブレーキ



エレクトリックパーキングブレーキには、以下の機能があります。

・エンジンが停止したときに自動的にパーキングブレーキをかけ、パーキングブレーキ作動中にアクセルペダルを踏むとパーキングブレーキが自動的に解除されるオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能
・パーキングブレーキスイッチの操作でパーキングブレーキの作動／解除をいつでも手動で行うことができる手動作動機能

●オートマチックエレクトリックパーキングブレーキの作動

パーキングブレーキをかける

エンジンを停止するとエレクトリックパーキングブレーキが自動的にかかります。

パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯し、メッセージが表示されます。

⚠警 告

駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。

パーキングブレーキを解除する

シフトポジションがD、MまたはRでアクセルペダルを踏むとエレクトリックパーキングブレーキが自動的に徐々に解除されます。

パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

パーキングブレーキが自動的に解除されない場合は、運転席ドアが確実に閉まっているか確認してください。

●パーキングブレーキの手動操作

パーキングブレーキをかける

エンジンの作動状態に関わらず、停車中にパーキングブレーキスイッチを手前に引くと、パーキングブレーキがかかります。

パーキングブレーキがかかると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

シフトポジションが **P** 以外で、パーキングブレーキをかけずに運転席ドアを開けると、警告音とともにメッセージが表示されます。

パーキングブレーキを解除する

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに、ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを押し込んでから放すと、パーキングブレーキが解除されます。

パーキングブレーキが完全に解除されると、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

ブレーキペダルを踏まずにパーキングブレーキスイッチを押し込んで放すと、パーキングブレーキは解除されず、メッセージが表示されます。

⚠警 告

- エンジンが始動している状態で停車しているときは、誤ってアクセルペダルを踏まないように注意してください。ブレーキが解除され、車が飛び出すおそれがあります。
- 駐車して車を離れるときは、ブレーキ警告灯およびパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。
- エレクトリックパーキングブレーキは、お子さまでも簡単に解除できます。**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションの状態のまま、またはエンジンが始動している状態のままで、お子さまを車内に残して車を離れないでください。
- 12V バッテリーが上がったときなど、エレクトリックパーキングブレーキが作動しない場合は、輪止めをして車が動き出さないようにし、当社指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

坂道に駐車するときには、シフトポジションを **P** にし、タイヤを路肩に斜めに当ててパーキングブレーキをかけてください。

●システムの解除

気温が低下して路面が凍結するような状況などでは、次の方法でオートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能をオフにしてください。

1. エンジンを始動します。
2. パーキングブレーキが解除されている場合は、パーキングブレーキスイッチを手前に引いて、パーキングブレーキをかけます。
3. ブレーキペダルを離します。
4. パーキングブレーキスイッチを10秒以上、15秒以下押し続けます。
5. パーキングブレーキスイッチを離します。
6. ブレーキペダルを踏みながら、パーキングブレーキスイッチを2秒以上引きます。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、インストルメントパネルの警告灯が点灯します。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除すると、自動でパーキングブレーキをかけたり解除することができません。手動で操作してください。

オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を復帰させるときは、再度機能を解除する操作を行ってください。機能が復帰すると、インストルメントパネルの警告灯が消灯します。

●非常ブレーキ

ブレーキシステム（フットブレーキ）が故障したり、運転者が運転不能な状態に陥ったときなどの緊急時には、パーキングブレーキスイッチを引き続けて車両を停止します。
非常ブレーキ作動中は、ESCが作動して、車の安定性を確保します。
非常ブレーキに異常が発生した場合はメッセージが表示されます。

⚠警 告

非常ブレーキの使用は、緊急時のみにとどめてください。

この警告灯が点灯しているときは、ESC システムに異常があり、ESCによる車の安定性は確保されません。車が完全に停止するまで、パーキングブレーキスイッチを繰り返し引いて安定性を確保してください。

ヒルスタートアシスタンス

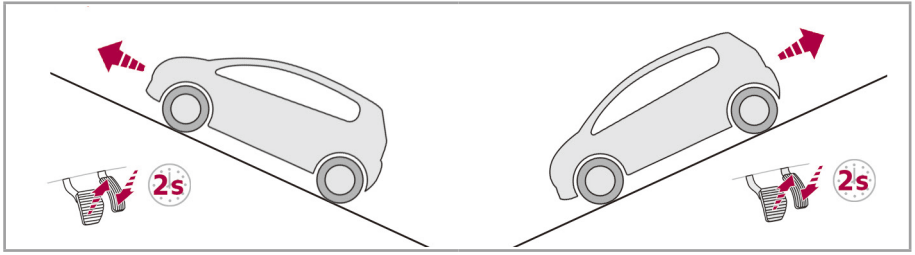
ヒルスタートアシスタンスは坂道発進を補助するための機能で、ブレーキペダルから足を離しても一定時間（ブレーキペダルからアクセルペダルまで足を移動する間）ブレーキがかかった状態を維持します。

この機能は以下の条件がすべて揃ったときに作動します。

・坂道で車が完全に停止してブレーキペダルが踏まれている。
・運転席ドアが閉まっている。
・坂道の勾配が適正である。

⚠警 告

ヒルスタートアシスタンス作動中は、車から出ないでください。やむを得ずエンジンが始動している状態のまま駐車して車を離れるときは、パーキングブレーキをかけ、インストルメントパネルのブレーキ警告灯とパーキングブレーキスイッチのインジケーターが点灯していることを確認してください。



●登り坂で前方へ発進するとき

シフトポジションがDまたはMのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

MEMO

ヒルスタートアシスタンスの機能を解除することはできません。ただし、パーキングブレーキをかけると、ヒルスタートアシスタンスの機能が一時的に解除されます。

●下り坂で後方へ発進するとき

シフトポジションがRのとき、ブレーキペダルから足を離すと一定時間ブレーキがかかった状態を保ちます。

●ヒルスタートアシスタンスの故障

ヒルスタートアシスタンスに異常が発生したときは、警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール）

ESCは急なハンドル操作や急ブレーキ時および滑りやすい路面の走行時などに、次の機能を総合的に制御して運転を補助し車両の安定性を高めます。

・ABS（アンチロックブレーキシステム）
・EBFD（電子式制動力制御装置）
・EBA（ブレーキアシスト）
・ASR（トラクションコントロール）
・DSC（ダイナミックスタビリティコントロール）

●ABS（アンチロックブレーキシステム）

電子式制動力制御装置（EBFD）を備えたABSシステムは、ホイールがロックしそうになるとABSが作動して、滑りやすい路面での操縦安定性を向上させます。

●EBA（ブレーキアシスト）

ブレーキアシストシステムは、急ブレーキ時のペダルの動きに応じて作動し、ブレーキの効きを最大限に高めて停止距離を短縮する装置です。

●ASR（トラクションコントロール）

路面状況に応じた制御をすることによって、急加速時のホイールスピンを防止して、車の走行安定性を向上させる機能です。

●DSC（ダイナミックスタビリティコントロール）

4輪のブレーキとエンジンの出力を自動的に制御することによって、旋回時の前輪または後輪の横滑りを防止する機能です。

MEMO

●**ENGINE START/STOP**スイッチがアクセサリーポジションの状態のまま、またはエンジンが始動している状態のまま、ホイールやタイヤ交換などの作業を行い、シャフトを回転させると、メモリに故障情報が入力されてABS警告灯が点灯する場合があります。当社指定サービス工場にご相談ください。
●ABSやEBAが作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
●凍結した路面や砂地などのオフロードを走行するときは、ASRシステムを解除してください。

●システムの異常

この警告灯が点灯したときはABSの機能に異常があります。ブレーキをかけたときに車のコントロールを失う可能性があります。通常のブレーキは機能します。注意して速度を下げて走行してください。また、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告音とともにこの警告灯、ABS 警告灯および STOP 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときはブレーキシステムに異常があります。直ちに停車し、エンジンを停止して、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

ABS や EBA は、どのような状況下でも制動距離を短くする装置ではありません。路面の摩擦によっては、かえって制動距離が伸びることがありますので、滑りやすい路面では慎重に運転してください。
この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

●ASR ／ DSC システムの作動

エンジンを始動すると、ASR ／ DSC システムは自動的に作動可能状態になります。車両の走行安定性に問題が生じたときは、システムが作動して車両を制御します。

ASR ／ DSC システムが作動すると、この警告灯が点滅して運転者に注意を促します。

●ASR システムの解除

雪道や泥道で動けなくなったときなどに、ある程度ホイールスピンをさせてタイヤの接地力を回復させる必要が発生します。このようなときに、手動で ASR システムの解除ができます。
ASR システムの解除は、タッチスクリーンで設定します。
ASR システムを解除すると、メッセージが表示され、運転者に ASR システムが停止したことを知らせます。

●ASR システムの復帰

解除したシステムは、次の状態で自動的に復帰します。

- ENGINE START/STOP スイッチをオフにする。
- 時速50km 以上で走行する。
- 手動で復帰させるときは、タッチスクリーンで設定します。

●ASR ／ DSC システムの異常

システムに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

●ASR ／ DSC システムは、通常の運転状況下において安全性を向上させるもので、オーバースピードや危険な運転を補正する装置ではありません。急カーブや滑りやすい路面では、従来と同じく慎重に運転してください。この装置は、タイヤやホイール、ブレーキ部品、電子部品などの仕様が正しく、かつ当社指定サービス工場で適正な整備や修理を受けた状態で使用したときに効果を発揮します。事故のあとや大きな衝撃を受けたときは、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
●この装置は、正しい仕様のタイヤを適正な状態で使用したときに効果を発揮します。

ストップ&スタート

ストップ&スタートには交通渋滞や赤信号などで停止しているときにエンジンを止める停止モードと、発進するときにエンジンをかけるスタートモードがあります。
エンジンの始動は瞬時で騒音もなく、都市部での使用において燃費と排出ガスの削減を可能にします。

●動作条件

ストップ＆スタートは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

・運転席ドアが閉まっているとき
・運転席のシートベルトが締められているとき
・12V バッテリーの電力が十分にあるとき
・エンジンが異常に熱くなっていないとき
・外気温が0℃以上、35℃以下のとき

●停止モードへの移行

すべての動作条件を満たしている、および以下のときに停止モードに移行します。

・シフトポジションが **D** か **M** で、ブレーキペダルを踏んで停止したとき
・停止中にシフトポジションを **N** にしたとき

Ⓐ エンジンが停止すると、インストルメントパネルの表示灯が点灯します。

また、タイマーが停止時間の積算を行います。時間は、エンジンを始動する度にゼロにリセットされます。

⚠警 告

停止モードのまま給油しないでください。必ず **ENGINE START/STOP** スイッチを押してエンジンを停止してください。

MEMO

- ●スタートモードへ移行してから時速8kmを超えて走行していないときは停止モードになりません。
- ●車庫入れなど、**R**からギアを入れ替えたときやステアリングを回したときは、エンジンは数秒間停止モードになりません。
- ●停止モードによって、ブレーキの効きやパワーステアリングに影響が出ることはありません。

●停止モードにならないとき

いずれかの動作条件を満たしていない、または以下のときは、エンジンは停止モードになりません。

- ・坂道の勾配が急なとき
- ・エアコンが曇りとりモードのとき
- ・車内の温度を快適に保つためにエンジンの運転が必要なとき

インストルメントパネルの表示灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●スタートモードへの移行

以下のときにスタートモードに移行します。

- ・シフトポジションを**D**か**M**にしてブレーキペダルを放したとき
- ・シフトポジションが**N**でブレーキペダルを放し、シフトポジションを**D**か**M**にしたとき
- ・シフトポジションが**P**でブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを**R**、**N**、**D**、**M**のいずれかにしたとき
- ・シフトポジションを**R**にしたとき

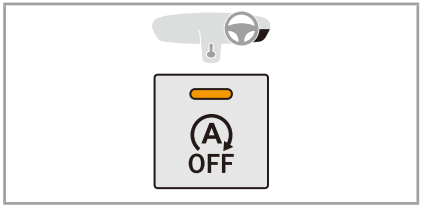
エンジンが始動すると、インストルメントパネルの表示灯が消灯します。

●自動的にスタートモードになるとき

すべての動作条件を満たしている場合でも、シフトポジションがNで時速1kmを超えると、エンジンが自動的にスタートモードになります。

インストルメントパネルの表示灯が数秒間点滅して消灯しますが、異常ではありません。

●ストップ&スタートの解除



運転席側のダッシュボードのスイッチを押すことにより、いつでも作動を解除できます。

ストップ & スタートを解除すると、運転席側ダッシュボードのスイッチのインジケーターとインストルメントパネルの表示灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

注 意

停止モードのときに作動を解除すると、直ちにエンジンが始動します。

MEMO

- エンジンを始動すると、システムは作動状態になります。
- 仕様により、システムの解除をタッチスクリーンで設定する場合があります。

●ストップ&スタートの再作動

運転席側のダッシュボードのスイッチを再度押すと、システムが作動します。

ストップ＆スタートが作動すると、運転席側ダッシュボードのスイッチのインジケーターとインストルメントパネルの表示灯が消灯するとともにメッセージが表示されます。

MEMO

仕様により、システムの再始動をタッチスクリーンで設定する場合があります。

●ストップ&スタートの故障

インストルメントパネルの表示灯が点滅したのち連続点灯し、メッセージが表示されたときは、システムに故障が発生しています。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

停止モードのときに故障した場合は、警告灯が点灯してエンジンが始動しません。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてエンジンを始動してください。

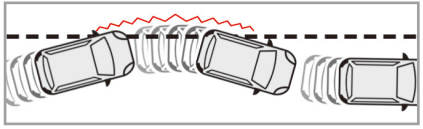
●点検時の注意点

このシステムではストップ&スタート専用に設計された12V バッテリーを使用しています。不適当なバッテリーの使用はシステムの故障につながります。バッテリーの交換は当社指定サービス工場にご相談ください。

⚠警 告

エンジンルームでどのような作業を行うときも、あらかじめ **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてエンジンを停止してください。ストップ&スタートによりエンジンが急に始動し、作動中の部品に巻き込まれるなどして重大な傷害を受けるおそれがあります。

レーンキープアシスト



フロントウィンドウ上部のカメラが走行車線の端、および走行車線の車線マーカーを検知し、車両が車線を逸脱する可能性があると判断したとき、警告表示とハンドル操作を自動修正して衝突を避ける支援をします。

レーンキープアシストの作動中は、警告灯が点滅します。

MEMO

●レーンキープアシストが作動すると、ハンドルが自動的に動いてハンドル操作を修正します。
●レーンキープアシストが作動しても、運転者がハンドルをしっかり持ち操作を行うことで、ハンドル操作の自動修正を中断することができます。

●動作条件

レーンキープアシストは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

・時速70km ～時速180kmで走行しているとき
・車線が中央線で区切られているとき
・運転者がハンドルを両手でしっかり持っているとき
・方向指示器が作動していないとき
・ASR システムが解除されていないとき
・ESC システムが正常に作動しているとき

⚠警 告

レーンキープアシストは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。また、前方車両との車間距離、自車両の走行速度やブレーキ操作の自動制御を行いません。車両が車線を逸脱する可能性があると判断されたときのみ作動します。運転者はハンドルをしっかり持ち、前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。
また、長時間の運転などで疲れているときは適度な休憩をとってください。

MEMO

方向指示器が作動している間と方向指示器の作動停止後の数秒間は、車両が車線を逸脱する可能性があると判断されても、システムは運転者による意図的な車線変更と判断し、ハンドル操作の自動修正を行いません。

●システムの作動と解除

運転席側ダッシュボードのスイッチを押すとシステムが解除されます。

システムを解除すると、運転席側ダッシュボードのスイッチのインジケーターとインストルメントパネルの警告灯が点灯します。
再度スイッチを押すとシステムが作動します。システムが作動すると、運転席側ダッシュボードのスイッチのインジケーターとインストルメントパネルの警告灯が消灯します。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。仕様により、エンジンを始動すると、システムが作動状態になる場合があります。

⚠警 告

以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき

⚠警 告

- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- 前方の車両に近付きすぎたとき
- 細く曲がりくねった道路を走行するとき
- 影などの影響で車線と車線の端、車線の外側との区別が分かりにくいとき

●警告表示

インストルメントパネルの表示	意味
	・レーンキープアシストは解除されています。 ・スペースセーバータイヤを装着しているなどを検知し、レーンキープアシストが自動的に解除された、または作動を停止しました。
	レーンキープアシストは作動していますが、動作条件を満たしていません。
	車線マーカーを検知しました。 時速70km 以上で走行しています。
	・車両が車線を逸脱する可能性があると判断し、ハンドル操作の自動修正をしました。 この表示の場合、システムは車両が左側の車線を逸脱する可能性があると判断しています。 ・システムは運転者がハンドルをしっかりと持っていないと判断しました。警告音とともにメッセージが表示されます。この警告は、ハンドル操作の自動修正が完了する、または運転者がハンドルをしっかりと持つまで続きます。 ・ハンドル操作の自動修正中、システムは車両が車線を逸脱すると判断しました。警告音とともにメッセージが表示され、運転者が適切なハンドル操作を行い車両を車線内に戻すように注意を促します。

MEMO

- ●インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**、または**パーソナル**で**ドライビングサポート**に設定するとレーンキープアシストの画面をディスプレイに表示することができます（4-3ページ参照）。
- ●ハンドル操作の自動修正が連続して何度も作動すると、連続した長い警告音が鳴ることがあります。警告音は運転者が適切なハンドル操作を行うまで続きます。
- ●運転者がハンドルをしっかり持っていても、ハンドルを保持するように促すメッセージが表示されることがあります。

●システムの異常

システムに異常がある場合、警告音とともにレーンキープアシストの警告灯と SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

●作動が停止される条件

レーンキープアシストは、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ・ASR システムが解除されたとき
- ・ESC システムが車両を制御しているとき
- ・時速70km 以下、または時速180km 以上で走行しているとき
- ・スペースセーバータイヤを装着したとき（運転者の操作により作動を解除してください）
- ・急なハンドル操作、アクセル操作、ブレーキ操作を検知したとき
- ・車線マーカー上を走行しているとき
- ・方向指示器を作動させたとき
- ・カーブを走行中に、カーブ内側にある車線マーカーを越えたとき
- ・角度のきついカーブを走行しているとき
- ・ハンドル操作の自動修正中に運転者の対処が行われなかったとき

⚠警 告

●以下のようなときは、レーンキープアシストを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- タイヤの交換やタイヤ空気圧の調整などを行うとき、タイヤ周辺部分の修理やメンテナンスを行うとき
- 路面状態のよくない道路を走行しているとき
- 滑りやすい路面を走行しているとき
- 不安定な路面を走行しているとき
- 悪天候のとき
- サーキットなどを走行しているとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- フロントウィンドウのカメラが故障したとき

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。

●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。

●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。

⚠警 告

●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

ドライバーアテンション アラート

ドライバーアテンションアラートには以下の２つの機能が備わっています。
・連続運転警告
・疲労検知システム

⚠警 告

ドライバーアテンションアラートは、運転時間やハンドル操作から運転者の疲労増加や注意力の低下を検知し、運転者へ休憩をとるように促すシステムです。疲労時の運転を補助するものではありません。システムを過信せず、十分に休憩をとり、安全運転に努めて適切なハンドル操作をしてください。

●連続運転警告

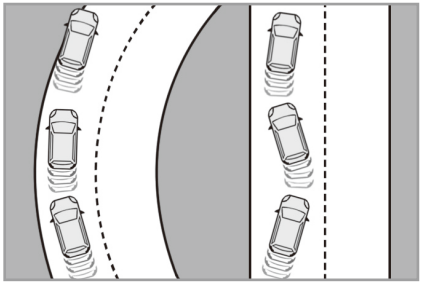
連続運転警告は、運転者が休憩をとらずに時速70km 以上で2時間以上走行したとシステムが検知したとき、警告音とともにメッセージを表示し、運転者に休憩をとるように促します。

連続運転警告は、次のような対処が行われるまで、1時間おきに警告を表示します。
・エンジンが始動している状態のときに15分以上停止した
・ENGINE START/STOP スイッチをオフにして数分間経過した
・運転席のシートベルトをはずしてドアを開けた

MEMO

●時速70km 以下で走行しているときはシステムは作動を停止します。
●時速70km 以下で走行しているときは走行時間として積算されません。

●疲労検知システム



疲労検知システムは、フロントウィンドウ上部のカメラで走行車線の車線マーカーを検知し、車両のふらつきから運転者の疲労増加や注意力の低下を判断し、警告音とともにメッセージを表示して運転者に休憩をとるように促します。
高速道路や自動車専用道路など、時速70km 以上で走行しているときの使用が効果的です。

疲労検知システムが車両のふらつきを検知すると、警告音とともにメッセージを表示します。
走行状態が改善されない場合、4回目の警告からは異なる警告音とともにメッセージが表示されます。

MEMO

路面の状態が悪い道路の走行中や、強い風が吹いているときなどは、運転者の疲労の増加や注意力の低下の程度に関わらず、警告を表示することがあります。

●システムの作動と解除

ドライバーアテンションアラートの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。
●ドライバーアテンションアラートの作動と解除を行うと、DS ドライバーアテンションモニタリングも連動して作動と解除されます。

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき
- 前方の車両に近付きすぎたとき

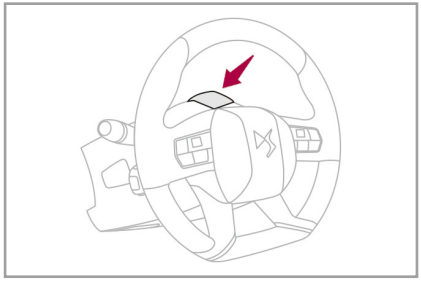
⚠警 告

・細く曲がりくねった道路を走行するとき
●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムを解除してください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

⚠警 告

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

DS ドライバーアテンション モニタリング *



ステアリングコラム上部にある赤外線カメラが、運転者の顔の向き、視線の方向、眼の開閉状態を検知します。運転者が正面を向いていないことや、眼を閉じていることをシステムが判断し、警告を表示して運転者に注意を促します。
システムは、時速25km 以上で走行中に作動します。

⚠警 告

●DS ドライバーアテンションモニタリングは、運転者の頭部の動作から運転者の疲労増加や注意力の低下を検知し、運転者に注意を促すシステムですが、脇見運転や居眠り運転を防止するものではありません。また、どのような状況下であっても有効に機能するシステムではありません。システムを過信せず、前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- カメラの前にものを置いたり、ステアリングホイールが回転しているときなど、カメラと顔の間に遮るものがあるとき
- 色が濃いものや、光を反射する素材のレンズを使用したメガネやサングラスをかけているとき
- 髪の毛や手で顔の一部が隠れているとき
- 太陽光などの強い光が、顔やカメラに直接当たるとき
- 正しい姿勢で運転していないとき

MEMO

インストルメントパネルの表示モードが**パーソナル**で、**ドライバーアテンションモニタリング**を選択すると、システムが検知した運転者の注意力の低下や眠気を感じている度合の目安を常に表示できます。

* 仕様により異なります。

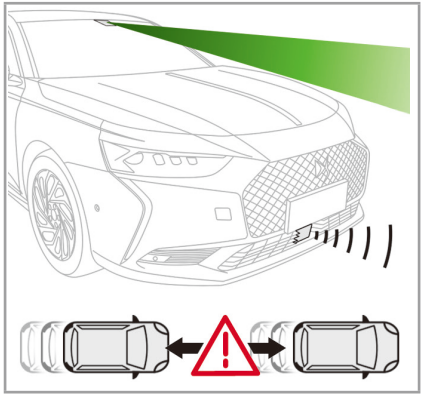
●システムの作動と解除

DS ドライバーアテンションモニタリングの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

- **●ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。
- ●DS ドライバーアテンションモニタリングの作動と解除は、ドライバーアテンションアラートの作動と解除の設定に連動しています。

アクティブセーフティブレーキ



アクティブセーフティブレーキは、フロントウィンドウ上部のカメラとフロントバンパーのレーダーにより前方の車両や停車中の車両、自転車、歩行者を検知し、衝突の危険性が高まったとき、警告を表示して運転者に注意を促します。また、運転者が衝突回避動作を取らなかったときは、自動ブレーキを作動させることで車両の速度を落とし、衝突の回避支援、または衝突時の速度を低減するシステムです。

アクティブセーフティブレーキには以下の3つの機能が備わっています。
・ディスタンスアラート
・エマージェンシーブレーキ
・インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

●動作条件

アクティブセーフティブレーキは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。
・前進走行しているとき
・ASR システムが解除されていないとき
・ESC システムが正常に作動しているとき
・乗員全員がシートベルトを着用しているとき
・直線道路を一定の速度で走行しているとき

⚠警 告

●アクティブセーフティブレーキは、どのような状況下でも衝突を回避できるシステムではありません。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な車間距離を保って走行してください。安全の確保は運転者の義務です。

⚠警 告

●ブレーキの作動をアクティブセーフティブレーキのみに頼らないでください。衝突事故を起こすことがあります。常に車間距離に注意して走行し、運転者の判断でブレーキを踏むなどの適切な操作をしてください。

●アクティブセーフティブレーキは、走行状況、道路状況、天候状況など、さまざまな条件により、衝突の可能性が高い場合でも作動が遅れたり、作動しない場合があります。また、衝突の可能性がないなど、思わぬ場面でも作動することがあります。システムを過信せず、安全運転に努めてください。また、運転者が常に操作可能な状態を保ってください。

●以下のようなときは、システムが前方の車両、自転車、歩行者を検知しないことがあります。

- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき

⚠警 告

- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウやフロントバンパーのレーダーやレーダーの周辺に泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき

●以下のようなときは、アクティブセーフティブレーキを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- タイヤの交換やタイヤ周辺部分の修理やメンテナンスを行うとき、エンジンルームのメンテナンスなどを行うとき
- スノーチェーンを装着しているとき
- エンジンが始動している状態のまま自走式の洗車機を使用するとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき

⚠警 告

- エンジンが始動している状態でけん引されるとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき
- フロントバンパーに損傷があるとき
- フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが故障したとき
- ストップランプが故障しているとき

MEMO

●アクティブセーフティブレーキは二輪車も検知します。

● 運転席シートベルトおよび助手席シートベルトが着用されていないときは、これらの警告灯が点灯します。このとき、アクティブセーフティブレーキは解除状態です。シートベルトを着用するとシステムは作動状態になります。

●システムが前方の車両などを検知すると、自動ブレーキの作動準備による作動音がしたり、減速するように感じられることがありますが、異常ではありません。

●ディスタンスアラート

前方の車両との車間距離および自転車や走行車線に進入した歩行者との距離が設定した警告時間を下回ると警告を表示します。

ディスタンスアラートの警告表示機能

警告レベル1：設定した警告時間を下回っているときに、警告が表示されるとともにメッセージが表示されます。

警告レベル2：警告レベル1の状態が持続し、さらに前方の車両との接近状況から、そのままでは衝突に至ると判断されたときは、警告が表示されるとともに警告音が鳴り、メッセージが表示されます。

警告レベル3：警告レベル2が表示されたあと、前方車両との衝突の危険があると知らせるため、断続的に自動ブレーキを作動させ、運転者に対して警告を行うことがあります。

MEMO

●ディスタンスアラートの警告は、車間距離だけではなく自車両および前方の車両の速度差や自車両の運転操作の状態、旋回中かどうかなどの情報を総合して表示されます。

●自車両の接近速度が高いとき、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されることがあります。

●停止中の車両などに衝突する危険があると判断されたときは、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。

警告時間の設定

警告を開始する時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

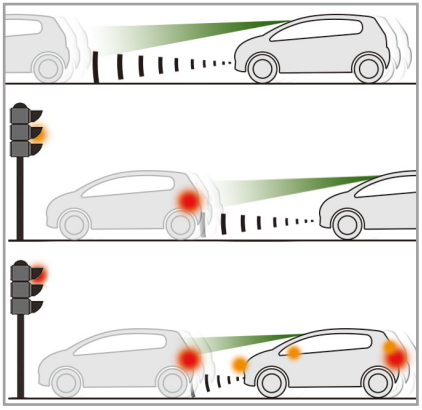
警告時間は以下の3種類から選択できます。

・**長い**：早めに警告が表示されます。
・**ノーマル**：標準的な警告時間です。
・**短い**：やや遅れて警告が表示されます。

MEMO

●警告時間を**短い**に設定すると、警告レベル1を経ずに警告レベル2が表示されます。
●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしても、警告時間の設定は保持されます。

●エマージェンシーブレーキ



ディスタンスアラートの警告が表示されたあとも運転者が衝突回避動作を取らなかったとき、自動ブレーキが作動し、衝突回避を支援したり、衝突時の速度を低減します。

エマージェンシーブレーキの作動中は、警告灯が点滅します（約10秒間）。

動作条件

エマージェンシーブレーキは以下のときに作動します。

・時速10km ～ 140kmで走行中に、走行中の前方車両を検知したとき
・時速80km以下で走行中に、停車中の前方車両や自転車を検知したとき
・時速60km以下で走行中に、歩行者を検知したとき

⚠注 意

エマージェンシーブレーキによる自動ブレーキで車両が停止すると、車両が停止してから約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。ブレーキペダルを踏んでクリープ現象による車の発進を防止してください。

MEMO

- ●次のようなときは、システムによるブレーキの作動が解除されます。
  - ・アクセルペダルを踏み込んだとき
  - ・ハンドルを大きく、または素早く切ったとき
- ●自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。
- ●エマージェンシーブレーキが作動するとブレーキペダルが振動することがありますが、正常な作動であって故障ではありません。
- ●自動ブレーキにより最大で時速50kmの減速を行います。ただし、道路状況や天候、車両の状態などにより異なります。

●インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト

運転者のブレーキ操作が不十分で、衝突の危険があるときは自動ブレーキが作動します。

MEMO

インテリジェントエマージェンシーブレーキアシストは運転者がブレーキ操作を行ったときにのみ作動します。

●システムの作動と解除

アクティブセーフティブレーキの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。

システムを解除すると、警告灯が点灯します。

MEMO

- ●エンジンを始動すると、システムは作動状態になります。
- ●以下のようなときは、システムは自動的に解除されます。
  - ・スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
  - ・ストップランプが故障しているとき

●システムの異常

システムに異常が発生したときは、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

エンジンを停止後しばらく経過してから再度始動したとき、アクティブセーフティブレーキの警告灯と SERVICE 警告灯が点灯した場合は、当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

MEMO

事故のあとや大きな衝撃を受けるとシステムが自動的にオフになります。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやレーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪などが付着するとカメラやレーダーが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●フロントバンパーのレーダーにステッカーなどを貼り付けないでください。

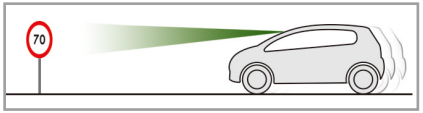
⚠警 告

●車内に荷物を積みすぎたり、ルーフキャリアに荷物を高く積みすぎたりしないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントバンパーの塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。

⚠警 告

●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

トラフィックサイン インフォメーション



トラフィックサインインフォメーションは、カメラが車両の速度規制標識を認識して、インストルメントパネルに制限速度を表示する機能です。
インストルメントパネルに表示された制限速度は、アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）やスピードリミッターの走行速度に設定することができます。

⚠警 告

トラフィックサインインフォメーションが正しく作動するために、スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●速度規制標識の認識機能の作動／解除

速度規制標識の認識機能の作動／解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

エンジンを始動すると、システムは作動状態になります。

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき

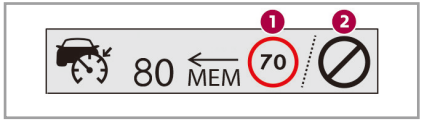
⚠警 告

- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- カメラが故障したとき
- 速度規制標識が車、立木、汚れなどによって見えにくいとき
- 速度規制標識が損傷するなどしていて見えにくいとき

●以下のような個別の状況に応じて規制された速度制限は認識されません。
- 悪天候（雨、雪、霧など）
- 大気汚染
- スペースセーバータイヤやスノーチェーンを装着しての走行
- パンク修理キットで応急修理をしたタイヤでの走行

●インストルメントパネルの表示

トラフィックサインインフォメーションの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。



①：速度規制標識の制限速度表示
②：速度規制区間終了の表示

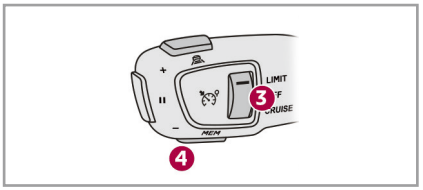
●制限速度の表示

トラフィックサインインフォメーションは作動していますが、認識した速度規制標識はありません。

トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度を表示しました。

認識した速度規制標識の制限速度に対して走行速度が時速5km 超過すると、初回超過時は、インストルメントパネルの制限速度表示が約10秒間点滅します。

●速度の設定



インストルメントパネルに表示された制限速度をアクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）やスピードリミッターの走行速度に設定することができます。

1. 速度を設定したい機能に合わせ、コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ③を回します。
2. アクティブクルーズコントロール(ストップ＆ゴー機能付き）またはスピードリミッターを作動状態にします。

3. トラフィックサインインフォメーションが速度規制標識を認識し、制限速度を表示したら、**MEM**が点滅します。

4. コントロールレバーのスイッチ④を押して、表示された制限速度を設定速度として受け付けます。
5. 再度コントロールレバーのスイッチ④を押して設定速度を記憶します。

MEMO

- ●認識された速度制限と現在の設定速度の差が時速9km 以下のときは、**MEM**は表示されません。
- ●道路状況により異なる制限速度が連続して表示されることがあります。

●道路標識の認識機能

システムが進入禁止の道路標識を認識し、車両が進入禁止区域に進入したと判断したときは、進入禁止の道路標識とともにメッセージが表示されます。
道路標識の認識機能の作動／解除は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。

⚠警 告

- ●トラフィックサインインフォメーションは、法定速度を守った走行や、安全運転を支援する機能です。システムを過信せず、運転者の責任の下で速度規制標識を確認し、走行速度には十分注意してください。
- ●速度規制標識の角度や配置、汚れ、気象条件（雨、雪、光など）によっては、カメラが速度規制標識を正しく読み取ることができなかったり、制限速度を表示しない場合があります。
- ●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムをオフにしてください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。

⚠警 告

- ●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- ●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- ●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- ●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
- ●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
- ●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）

アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）は、アクセルペダルを踏まなくてもドライバーによって設定された速度を一定に保って走行します。また、フロントウィンドウ上部のカメラとフロントバンパーのレーダーにより同じ方向に走行している前方の車両を検知し、前方の車両との距離が接近した場合には、自動的に速度を落としてあらかじめ設定した車間距離を保ったり、前方車両が停止したときは、ブレーキの自動操作を行い、前方車両に続いて自車両も停止します。完全停止後、前方車両が約3秒以内に再発進すれば、自車両は前方車両を追従して発進します。自動ブレーキの作動中はストップランプが点灯します。

設定できる速度は時速30km 以上です。

設定できる車間距離は**長**、**標準**（**ノーマル**）、**短**の3段階です。

⚠警 告

- ●アクティブクルーズコントロールは速度規制標識の制限速度および安全に走行するために必要な車間距離を認識しません。運転者の責任の下で速度規制標識を確認し、走行速度や車間距離に十分注意してください。
- ●アクティブクルーズコントロールシステムを作動させている場合においても、常に車間距離に注意して走行してください。前方を走行している車両との車間距離を適切に保つのは、運転者の義務です。
- ●前方の車両や周囲の車両の走行状況によっては、フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが誤って前方の車両を検知し、前方の車両との車間距離や自車両の速度が正しく制御されない場合や、追従走行がスムーズに行われない場合があります。走行中は常に両手でハンドルをしっかり持ち、必要に応じてアクセルペダルやブレーキペダルの操作をしてください。

⚠警 告

- ●アクティブクルーズコントロールシステムを使用しない場合には、アクティブクルーズコントロール機能を解除してください。誤ってシステムが働いてしまうのを防止します。
- ●急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合にはブレーキペダルを踏んで減速してください。
- ●以下のようなときは、アクティブクルーズコントロールが正常に作動しないことがあります。
  - • 曲がりくねった道路を走行しているとき
  - • 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
  - • 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
  - • 路面の水たまりの反射光が強いとき
  - • トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
  - • カメラの前のフロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪、汚れなどが付着しているとき

⚠警 告

- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき

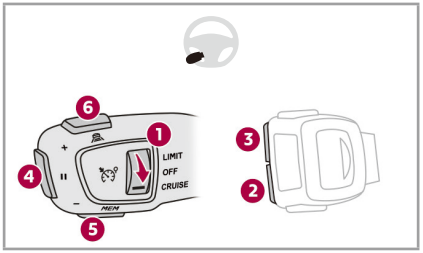
●以下のようなときは、アクティブクルーズコントロールを解除してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 歩行者や自転車などが混在している道路や市街地
- 交通量が多い道路
- 滑りやすい路面
- 曲がりくねった道路
- 勾配の激しい道路
- 旋回するとき
- トンネルや橋に進入するとき
- ラウンドアバウトに進入するとき
- オートバイなどの細い車両の後方を走行しているときや、前方の車両が車線の中央を走行していないとき
- 悪天候のとき
- 雪が降っているとき
- 視界不良のとき
- フロントウィンドウやフロントバンパーに損傷があるとき

⚠警 告

- フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたとき
- フロントウィンドウのカメラやフロントバンパーのレーダーが故障したとき
- ストップランプが故障しているとき
- 車両のフロント部にアクセサリーを取り付けたり、塗装をしたとき
- ルーフ上に長い荷物を積んでいるとき
- サーキットなどを走行しているとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- スノーチェーンやスパイクタイヤを装着して走行しているとき
- スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき
- フロントバンパーのレーダーの前面が覆われているとき

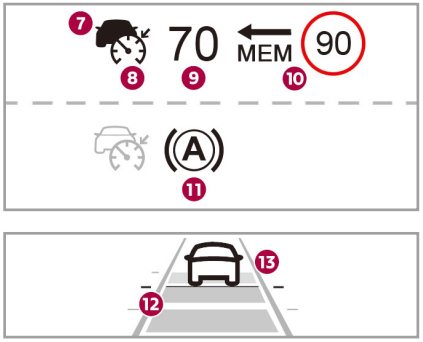
●コントロールスイッチ



アクティブクルーズコントロールは、コントロールレバーのスイッチを使用して設定します。

①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：速度設定／設定速度の減少
③：速度設定／設定速度の増加
④：システムの一時停止／復帰／自動ブレーキによる車両停止後の再発進許可
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付
⑥：車間距離の表示と設定

●インストルメントパネルの表示



アクティブクルーズコントロールの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

⑦：前方車両の有無表示
⑧：クルーズコントロールオン／オフ状況表示
⑨：設定スピード表示
⑩：速度規制標識の制限速度表示
⑪：自動ブレーキによる車両停止時の表示
⑫：車間距離設定表示
⑬：前方車両の位置表示

MEMO

- ●システムが前方の車両を検知すると、前方車両の有無表示⑦のアイコンが塗りつぶされた状態で表示されます。
- ●インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**、または**パーソナル**で**ドライビングサポート**に設定すると、前方車両の位置表示⑬が表示されます。

●アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の設定

コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を **CRUISE** 側に回すと、アクティブクルーズコントロール機能が使用可能になりますが、速度は設定されていません（クルーズコントロールオン／オフ状況表示⑧が灰色に点灯）。

OFF または **LIMIT** の位置に回すとオフになります。

●走行速度の設定

希望する速度（時速30km ～ 時速180km）で走行中にコントロールレバーのスイッチ②か③を押すと、その速度が記憶されて自動的にその速度を維持して走行します（クルーズコントロールオン／オフ状況表示⑧が緑色に点灯）。

⚠警 告

道路状況や交通状況に応じた車速を設定してください。誤った速度設定は事故につながるおそれがあります。

MEMO

- 時速30km 未満で走行中にスイッチ②か③を押すと、走行速度は時速30kmに設定されます。
- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにする、またはスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を **OFF** または **LIMIT** の位置に回すと、設定された速度が初期化されます。

●設定速度の変更

定速走行中（クルーズコントロールオン／オフ状況表示⑧が緑色に点灯）に、コントロールレバーのスイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。短く押すと1km ／ hずつ、長く押すと5km ／ hずつ速度が変化します。

トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、スイッチ⑤の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

⚠警 告

速度を変更するときに急加速または急減速することがありますので、十分注意してください。

●システムの一時停止／復帰

アクティブクルーズコントロールを一時停止／復帰するには、コントロールレバーのスイッチ④を押します。

また、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止します。

- ESC システムが作動したとき
- ブレーキペダルが踏まれたとき
- エレクトリックパーキングブレーキが操作されたとき
- シフトポジションを **D** から **N** にしたとき

停止されたシステムを復帰するには、すべての作動条件を満たしているときにコントロールレバーのスイッチ④を押します。

●車間距離の設定

コントロールレバーのスイッチ⑥の操作で希望する車間距離を設定します。

1. スイッチ⑥を押して車間距離設定を表示させます。
2. スイッチ⑥を押して車間距離を切り替えます。

設定できる車間距離は、**長**、**標準**（**ノーマル**）、**短**の3段階です。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを **OFF** または **LIMIT** の位置に回すとオフになりますが、車間距離の設定は保持されます。

MEMO

- ●車間距離の初期設定は**標準**（**ノーマル**）になっています。
- ●追い越しのために方向指示器を作動させた場合は、設定した走行速度を保ったまま、一時的に前方の車両に接近することができます。

●システムの異常

設定速度表示が消えてー が表示されたときは、システムに異常があります。

警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムに異常があります。

当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

- ●フロントウィンドウのカメラ周辺やフロントバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやレーダーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
- ●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- ●フロントウィンドウやフロントバンパーに泥や雪などが付着するとカメラやレーダーが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- ●フロントバンパーのレーダーにステッカーなどを貼り付けないでください。

⚠警 告

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。
●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントバンパーの塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によってはレーダーが正常に作動しなくなることがあります。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

MEMO

●アクティブクルーズコントロールを使用中でも、アクセルペダルを踏んで加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。この間、アクティブクルーズコントロールの作動は停止されます。アクセルペダルから足を離すと元の速度で走行します。
●急な登り坂では設定速度まで加速できない、または設定速度を維持できないことがあります。

●警告表示

インストルメントパネルの表示	意味
	運転者がアクセルペダルを踏み込んで加速しました。 一時的にアクティブクルーズコントロール機能が停止しています。 メッセージが表示されます。
	検知範囲内の前方に車両がいません。 通常のクルーズコントロールとして作動しています。 メッセージが表示されます。
	検知範囲内の前方に車両がいます。 クルーズコントロールは作動していません。 メッセージが表示されます。
	検知範囲内の前方に車両がいます。 アクティブクルーズコントロールが作動しています。 メッセージが表示されます。
	作動条件を満たしていないために、アクティブクルーズコントロール機能を作動できません。 メッセージが表示されます。
	状況に応じて、アクセルペダルを踏み込んで加速するか、ブレーキペダルを踏んで速度を落としてください。 警告音とともにメッセージが表示されます。

インストルメントパネルの表示	意味
	前方の車両との車間距離が急激に短くなりました。そのままでは衝突に至ると判断されたため、ブレーキペダルを踏むなど、すぐに運転者の操作が必要です。 警告音とともにメッセージが表示されます。
	・自動ブレーキにより車両が停止しました。完全停止後、約3秒以内に前方車両が再発進すれば、自車両は前方車両を追従して発進します。 ・自動ブレーキにより車両が停止しました。完全停止後、約3秒以上経過したため、発進するには、コントロールレバーのスイッチ④を押すか、アクセルペダルの操作が必要です。 メッセージが表示されます。

⚠警 告

●自動ブレーキにより車両が停止したら、次のことをお守りください。
- 運転者は車両から離れないでください
- トランクを開けないでください
- 車両から乗り降りしないでください
- シフトポジションを **R**にしないでください

●自動ブレーキにより車両が停止したあと、再発進するときは、車両前方の歩行者や自転車に注意してください。システムは歩行者や自転車を検知しないことがあるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

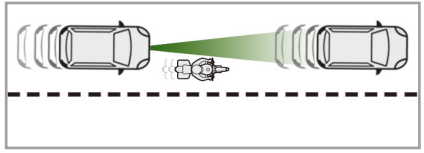
MEMO

- ●自動ブレーキにより車両が停止したあと、前方車両が約3秒以内に再発進すれば、自車両はゆっくりと発進し、設定された速度と車間距離を保って前方車両を追従します。
- ●自動ブレーキにより車両が停止したあと、約3秒以上経過したら、コントロールレバーのスイッチ④を押すか、アクセルペダルを操作すると、自車両はゆっくりと発進し、設定された速度と車間距離を保って走行します。運転者による操作がない場合は、数分後に自動的にエレクトリックパーキングブレーキが作動します。
- ●インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**、または**パーソナル**で**ドライビングサポート**に設定するとアクティブクルーズコントロールの画面をディスプレイに表示することができます（4-3ページ参照）。

●カメラやレーダーが検知できない状況

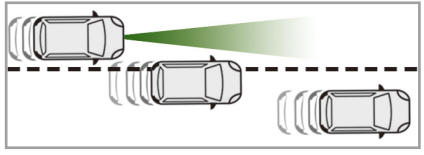
次のような状況では、必要に応じてブレーキペダルの操作で減速する、システムの作動を一時停止するなど、運転者による操作を行ってください。
カメラやレーダーが正常に車両を検知できず、システムが正常に作動しないおそれがあります。

オートバイなどの幅の狭い車両



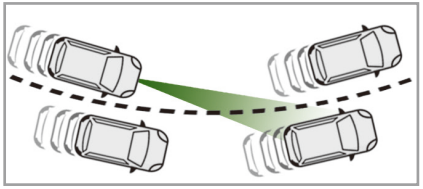
システムの作動を一時解除してください。

車線の中央を走行していない車両



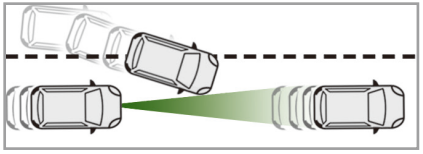
必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

旋回時やラウンドアバウトに進入するとき



システムの作動を一時解除してください。

前方の車両が急速に速度を落としたときや、前方の車両と自車両の間に急に別の車両が進入したとき

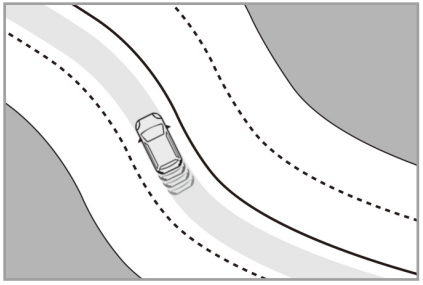


必要に応じてブレーキペダルの操作で減速してください。

MEMO

アクティブクルーズコントロールでは、以下の車両や歩行者などは検知しません。
- 停止している車両
- 対向車線を走行している車両
- 前方を横切って通過する車両
- 歩行者、自転車、動物

レーンポジショニング アシスト



レーンポジショニングアシストは、アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）と連動して機能するシステム（DS コネクテッドパイロット）です。
フロントウィンドウ上部のカメラが走行車線の車線マーカーを検知し、運転者が設定した走行車線上の車両の位置を維持して走行します。
高速道路や自動車専用道路などで走行しているときに効果的です。
アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の詳細は「アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）」項を参照してください。

MEMO

- ●レーンポジショニングアシストの作動中は、ハンドルが自動的に動いて微調整を行い、走行車線上の車両の位置を維持します。
- ●レーンポジショニングアシストの作動中も、運転者がハンドル操作を行うことで作動を中止し、走行車線上の車両の位置を変更できます。位置の変更を行ったら、レーンポジショニングアシストの作動が再開されるまで、走行車線上の車両の位置を運転者のハンドル操作によって維持してください。

●動作条件

レーンポジショニングアシストは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

- ・アクティブクルーズコントロール（ストップ＆ゴー機能付き）の機能がオンで、正常に作動しているとき
- ・走行車線が検知されているとき
- ・運転者がハンドルを両手でしっかり持っているとき
- ・ESC システムが正常に作動しているとき
- ・ASR システムが解除されていないとき
- ・スペースセーバータイヤを装着していないとき
- ・車体に対して横方向の強い力が働いていないとき
- ・方向指示器が作動していないとき

⚠警 告

●レーンポジショニングアシストは、脇見運転やぼんやり運転などの前方不注意や雨、霧などの視界不良を補助するものではありません。前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。長時間の運転などで疲れているときは適度な休憩をとってください。走行中は常に両手でハンドルをしっかり持ち、必要に応じてアクセルペダルやブレーキペダルの操作をしてください。

●必要に応じて、ハンドル操作やブレーキペダルを踏んでレーンポジショニングアシストの作動を中止してください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- 視界が悪いとき（周囲が十分に明るくない、雪、雨、霧など）
- 前方から強い光（太陽光や対向車両のハイビームなど）を受けたとき
- 路面の水たまりの反射光が強いとき
- トンネルの出入り口など、明るさに急な変化があったとき
- カメラの前のフロントウィンドウに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- カメラの前のフロントウィンドウが曇っている、ステッカーを貼っている、カメラ部分が覆われているとき
- 車線マーカーが検知しにくいとき（不明瞭、汚れや雪などで隠れている）
- 消された車線マーカーがまだ見えている道路を走行するとき
- 道路のつなぎ目、線状の補修痕などがあるとき

⚠警 告

- 細く曲がりくねった道路を走行するとき
- 角度のきついカーブを走行しているとき

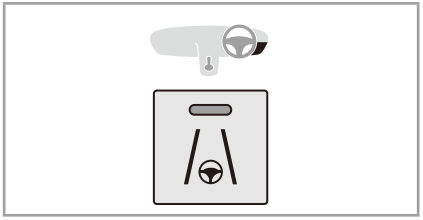
●以下のようなときは、レーンポジショニングアシストを使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- タイヤの交換やタイヤ空気圧の調整などを行うとき、タイヤ周辺部分の修理やメンテナンスを行うとき
- 悪天候のとき
- 雪が降っているとき
- 視界不良のとき
- フロントウィンドウに損傷があるとき
- フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたとき
- フロントウィンドウのカメラが故障したとき
- 滑りやすい路面を走行しているとき
- 工事などによって規制された車線があるときや仮設の車線がある道路を走行しているとき

⚠警 告

- 高速道路などの料金所周辺を走行しているとき
- サーキットなどを走行しているとき
- 点検などで車両をローラーに乗せて走行しているとき
- スノーチェーンやスパイクタイヤを装着して走行しているとき
- スペースセーバータイヤを装着して走行しているとき

●システムの作動と解除



運転席側のダッシュボードのスイッチを押すと、インストルメントパネルの表示灯とスイッチのインジケーターが点灯し、システムが作動します。
再度スイッチを押すと、インストルメントパネルの表示灯とスイッチのインジケーターが消灯し、システムが解除されます。

いずれかの作動条件が満たされていないときは、インストルメントパネルの表示灯が灰色に点灯します。

全ての作動条件が満たされ、レーンポジショニングアシストが作動しているときは、インストルメントパネルの表示灯が緑色に点灯します。

システムに異常がある場合、インストルメントパネルの表示灯が橙色に点灯します。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてもシステムの作動／解除の設定は保持されます。

●作動が停止される条件

レーンポジショニングアシストは、以下のいずれかの条件に当てはまったときに、作動が停止されます。

・方向指示器を作動させたとき
・走行車線の車線マーカーの外側を走行しているとき
・ハンドルを強く握ったとき
・急なハンドル操作を検知したとき
・一定時間以上、ハンドルをしっかりと持っていないとき
・アクセル操作、ブレーキ操作を検知したとき
・アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）の作動を停止したとき
・ASRを解除したとき
・ESC システムが車両を制御しているとき
・一定時間以上、片側の車線マーカーが検知されないとき

MEMO

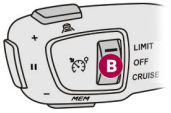
●運転者がハンドルをしっかりと持っていないとシステムが判断すると、段階的に警告が表示されます。そのまま一定時間以上経過すると、レーンポジショニングアシストの作動が解除されます。その場合は、運転席側のダッシュボードのスイッチを押して作動を再開してください。
●ブレーキペダルを踏むとアクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）の作動が停止されるため、レーンポジショニングアシストの作動も停止されます。ブレーキペダルを放してもレーンポジショニングアシストの作動は再開されません。レーンポジショニングアシストの作動を再開するには、アクティブクルーズコントロール（ストップ&ゴー機能付き）を作動させてください。
●アクセルペダルを踏むと一時的にレーンポジショニングアシストの作動が停止されますが、アクセルペダルを放すと作動が再開されます。

MEMO

●一定時間以上、片側の車線マーカーが検知されず、レーンポジショニングアシストの作動が停止されると、レーンキープアシストが作動します。
再度動作条件が満たされると、レーンポジショニングアシストの作動が再開されます。

●システムの作動状況と表示灯

		インストルメントパネルの表示	意味
A：消灯	B：CRUISE 位置		アクティブクルーズコントロールの作動は停止しています。 レーンポジショニングアシストは解除されています。
A：消灯	B：CRUISE 位置		アクティブクルーズコントロールが作動しています。 レーンポジショニングアシストは解除されています。
A：緑点灯	B：CRUISE 位置		アクティブクルーズコントロールおよびレーンポジショニングアシストが作動しています。ハンドル操作を自動制御し走行車線内のポジションを維持しながら走行しています。
A：緑点灯	B：CRUISE 位置		アクティブクルーズコントロールの作動は停止しています。 レーンポジショニングアシストは動作条件が満たされていません。
A：緑点灯	B：CRUISE 位置		アクティブクルーズコントロールが作動しています。 ただし、レーンポジショニングアシストは動作条件が満たされていません。

		インストルメントパネルの表示	意味
A：緑点灯	B：OFF ／ LIMIT 位置		アクティブクルーズコントロールは解除されています。 レーンポジショニングアシストは動作条件が満たされていません。
A：緑点灯	B：CRUISE 位置		アクティブクルーズコントロールおよびレーンポジショニングアシストの作動は停止しています。

MEMO

- 運転状況や走行操作に関して注意が必要な場合、運転者の操作を促すメッセージや警告メッセージが表示されます。インストルメントパネルにメッセージが表示された場合は、表示された指示に従い適切な運転操作を行ってください。
- 路面状態の良い、長い直線道路を走行中、運転者がハンドルをしっかりと持っていても警告が表示されることがあります。
- インストルメントパネルの表示モードを**ドライブ**、または**パーソナル**で**ドライビングサポート**に設定するとレーンポジショニングアシストの画面をディスプレイに表示することができます（4-3ページ参照）。

●システムの異常

システムに異常がある場合、警告音とともに SERVICE 警告灯およびレーンポジショニングアシストの表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。
●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

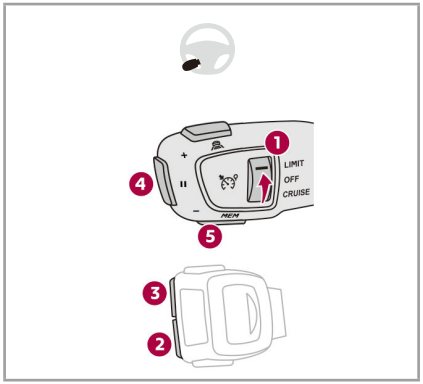
⚠警 告

●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

スピードリミッター

スピードリミッターは、あらかじめドライバーが設定した速度（最低時速30km以上）を超えて走行しないようにする機能です。設定速度以上にアクセルペダルを踏み込んでも加速しません。

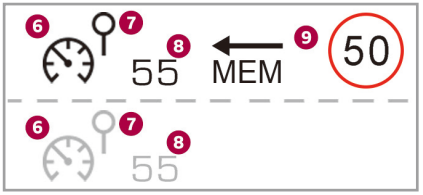
●コントロールスイッチ



スピードリミッターは、コントロールレバーのスイッチを使用して設定します。

①：スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ
②：設定速度の減少
③：設定速度の増加
④：システムの作動／停止
⑤：トラフィックサインインフォメーションの表示速度受付

●インストルメントパネルの表示



スピードリミッターの情報は、インストルメントパネル内のディスプレイに表示されます。

⑥：スピードリミッターオン／オフ状況表示
⑦：スピードリミッターモード選択表示
⑧：設定スピード表示
⑨：トラフィックサインインフォメーションの速度規制標識の制限速度表示

●スピードリミッターの設定

コントロールレバーのスピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチ①を **LIMIT** 側に回すと、スピードリミッター機能が使用可能になり、設定速度が表示されます（機能は停止されています。スピードリミッターオン／オフ状況表示⑥、スピードリミッターモード選択表示⑦、設定スピード表示⑧が灰色に点灯）。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたり、スピードリミッター／クルーズコントロール切り替えスイッチを **OFF** または **CRUISE** にするとシステムはオフになりますが、速度の設定は保持されます。

●最高速度の設定

コントロールレバーのスイッチ②か③を押して、希望する速度を設定します。スイッチ②を押すと設定速度が減少し、スイッチ③を押すと増加します。

短く押すと1km／hずつ、長く押すと5km／hずつ速度が変化します。

トラフィックサインインフォメーションが認識した速度規制標識の制限速度を、スイッチ⑤の操作で走行速度に設定することができます。詳細は「トラフィックサインインフォメーション」項を参照してください。

●スピードリミッターの作動

スイッチ④を押すと、スピードリミッターが作動します（スピードリミッターオン／オフ状況表示⑥、スピードリミッターモード選択表示⑦、設定スピード表示⑧が橙色に点灯）。アクセルペダルを踏み込んでもその速度以上では走行しません。再度スイッチ④を押すと、停止されます。

⚠警 告

スピードリミッターを過信せず、走行速度には十分注意してください。

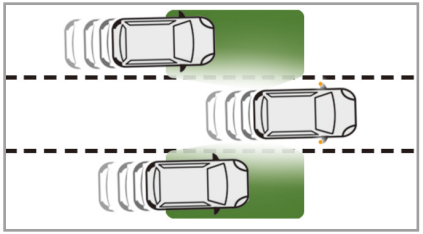
MEMO

スピードリミッターが作動中でも、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むことで一時的に加速することができます。その際、速度の表示が点滅します。
一定時間以上、走行速度が設定速度を超えた状態で走行すると、警告音が鳴ります。また、急な下り坂など、アクセルペダルを踏まなくても設定速度を超えてしまう場合は、警告音とともに速度の表示が点滅します。
これらの場合、スピードリミッターは一時的に解除されます。車速が設定速度まで戻ると、スピードリミッターは再度作動します。

●システムの異常

速度表示が消えてーが数秒間点滅したあとに点灯したときは、システムに異常があります。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

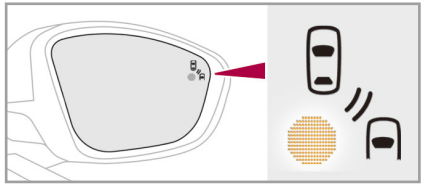
ブラインドスポットモニター



ブラインドスポットモニターは、ドアミラーでの確認が困難な範囲に他車が進入した際に、その存在を検知して運転者に警告するシステムです。

⚠警 告

このシステムは安全確認を補助するための装備であり、ルームミラーやドアミラーの代わりではありません。運転者の責任の下で、道路状況、他車との距離、相対速度を必ず確認し、車線変更などを行ってください。



他車を検知した側のドアミラーに警告灯が点灯します。

・自車が追い越しをされる場合は、追い越そうとする車がブラインドゾーンに進入した直後に点灯します。
・自車が追い越しをする場合は、追い越してから約1秒後に点灯します。

●システムの作動と解除

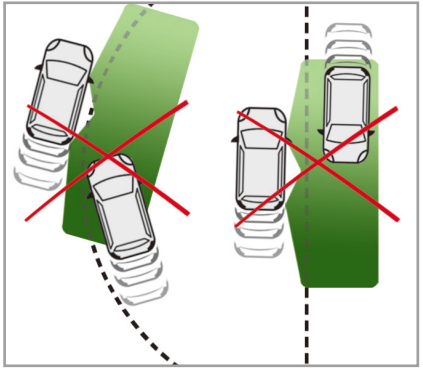
ブラインドスポットモニターの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。システムを作動すると、ドアミラーの警告灯が一時的に点灯します。

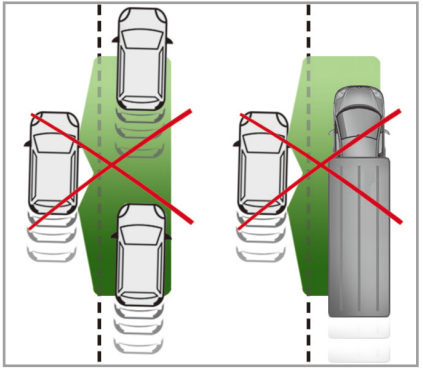
MEMO

●ブラインドスポットモニターが作動しているときは、エンジンを始動するとドアミラーの警告灯が一時的に点灯します。
●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしても、システムの作動／解除の設定は保持されます。

以下の条件を満たすとき、車両を検知してドアミラーの警告灯が点灯します。

・自車を含めた周囲すべての車が同じ方向に走行している
・時速12km ～時速140km（DS パークパイロット装備車は時速30km ～時速140km）で走行している
・追い越しをしている場合、他車との速度差が時速10km 未満
・追い越される場合、他車との速度差が時速25km 未満
・道路状況が混雑していない
・追い越しをしている場合、追い越し状態が継続していて、かつ追い越された車両が依然としてブラインドゾーンにある
・直線またはゆるやかなカーブを走行している





以下の物や状況の場合、警告灯は点灯しません。

・静止している物（駐車している車、壁、街灯、道路標識）
・自車とは逆方向に走行している車
・曲がりくねった道や角度のきついカーブを走行しているとき
・大型車を追い越す（または追い越される）とき
（大型車の先頭部分が運転者の視界にあり、かつ大型車の後方部分がブラインドゾーンにあることを検知したとき）
・道路状況が混雑しているとき
（前方の車とブラインドゾーンにある車を同時に検知するため、システムは大型車と判断がつかない）
・急速に追い越すとき
・DS パークパイロットが作動しているとき *

* 仕様により異なります。

●システムの故障

システムに異常が発生したときは、SERVICE 警告灯が点灯するとともに、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。

⚠警 告

- ●ドアミラーにある警告ゾーン、フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーをステッカーなどで覆わないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●悪天候や冬季には、泥や氷雪などでセンサーが覆われないように注意してください。

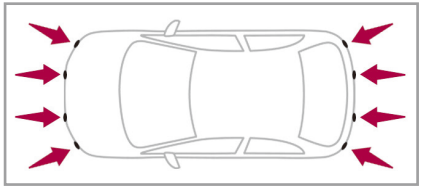
注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

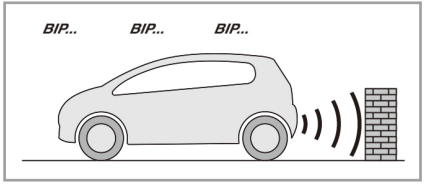
MEMO

- ●システムは雨や雪などの天候に左右される可能性があります。
- ●濡れた路面を走行しているときに、霧状の水しぶきなどを誤って検知することがあります。

フロント／サイド／バックソナー



フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが障害物（歩行者、車、立木、門など）を検知します。
システムは、エンジンが始動している状態でシフトポジションを **R** にすると作動します。シフトポジションを **R** 以外にすると、システムは解除されます。
以下のとき、フロントソナーは作動を停止します。
・時速10km 以上のとき
・前進方向で3秒以上停止したとき
・障害物が車両前方の検知範囲から出たとき



フロント／サイド／バックソナーは、警告音と表示の色で運転者に車両と障害物とのおおよその距離をお知らせします。
障害物に接近すると、警告音の頻度が上がり、およそ30cm 以内に接近すると連続した警告音に変わります。
表示の色は、障害物までのおおよその距離を表示します。
・白色のバー：遠い
・橙色のバー：近い
・赤色のバー：とても近い（危険を表すアイコンが表示されます）

MEMO

●サイドソナーは、フロント／バックソナーが検知した車両前方または後方の障害物の位置を元に、障害物が車両側面に接近したと判断された場合に警告を発します。
ENGINE START/STOP スイッチをオフにすると、検知した障害物の位置の記憶は消去されます。
●サイドソナーはフロント／バックソナーと連動して作動します。
●サイドソナーは人や動物など、動いている障害物を正しく検知しないことがあります。また、ソナーの検知範囲外にあった障害物が車両側面に侵入してきた場合も正しく検知しないことがあります。
● ソナーの警告音は、タッチスクリーンの操作で音量を調整できます。
作動中、タッチスクリーンのアイコンにタッチし、表示された画面の操作で音量を調整してください。

MEMO

●エンジンを始動した直後は、タッチスクリーンが完全に起動するまで画面表示や警告音でのソナーの警告は行われません。

●フロント／サイド／バックソナーの設定

フロント／サイド／バックソナーの機能をオン／オフするには、タッチスクリーンで設定します。

システムをオフにすると、フロント／サイド／バックソナー表示灯が点灯します。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにしても、システムのオン／オフの設定は保持されます。

●システムの異常

この機能に異常があると、シフトポジションを **R** にすると短い警告音とともに **SERVICE** 警告灯またはフロント／サイド／バックソナー表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●以下のようなときは、センサーが障害物を検知しないことがあります。
- センサーが検知することが困難な範囲に障害物があるとき、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入ったとき
- 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
- 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
- バンパーやミラーに損傷があるとき
- フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどしたとき
- 重い荷物を積むなどして車両姿勢が傾いているとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）

⚠警 告

●以下のような形状の障害物はセンサーが検知しないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。
- 細い木、針金、フェンス、ポール、ロープなどの細いもの
- 背の低いもの
- 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）

●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。センサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロント／リアバンパーのセンサーが故障したときはシステムをオフにしてください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上フロントバンパーおよびリアバンパーにあるセンサーから離してご使用ください。

MEMO

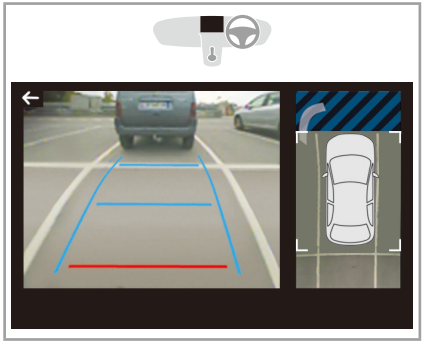
●シフトポジションを**R**にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。

●フロント／リアバンパーの真下付近は検知しません。

●自転車用リアキャリアを装着しているときは、システムを解除する必要があります。

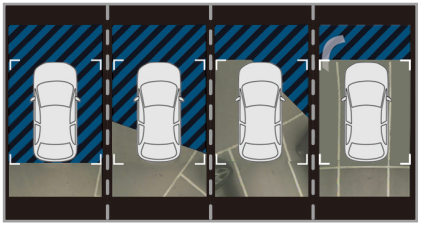
＊仕様により異なります。

バックカメラ／360° ビジョン *



フロントグリルのカメラ *、リアの番号灯の間のカメラ、およびフロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーがタッチスクリーンに車両周囲の映像を映し出し、駐車や出庫の際の安全確認を補助します。
タッチスクリーンの画面は左右2分割され、左側にフロント * ／バックビュー、右側にパノラミックビューが表示されます。

●パノラミックビュー

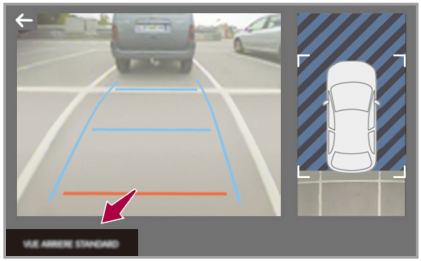


パノラミックビューは、フロントグリルのカメラ *およびリアの番号灯の間のカメラの映像を合成して表示します。駐車や出庫の際に、車両周辺の障害物を確認できます。
フロント * ／バックビューに連動して作動します。

MEMO

- ●長時間車を停止させていると、パノラミックビューの映像がオフになることがあります。
- ●作動直後は、正しい映像を表示するまでに時間がかかることがあります。

●フロント * ／バックビュー



フロント * ／バックビューは、フロントグリルのカメラ *、リアの番号灯の間のカメラが車両前方または後方の映像を映し出します。オートモードで作動し、フロント／リアバンパーに埋め込まれたセンサーが周囲の状況を検知し、自動で**スタンダード**と**ズームビュー**を切り替えます。
また、以下のタッチスクリーンの操作で、**スタンダード**、**180° ビュー**または**ズームビュー**に切り替えることができます。

1. タッチスクリーン左下のアイコンにタッチします。
2. タッチスクリーンにタッチして切り替えたい映像の種類を選択します。

MEMO

フロントビューは、360°ビジョンを作動させたときに表示されます。*

●バックビューの作動

バックビューは、シフトポジションが**R**で、時速10km以下のときに作動します。

バックビューは、以下のときに解除になります。

・シフトポジションを**R**以外にしたとき
・時速20km以上のとき
・タッチスクリーン左上の←にタッチしたとき

MEMO

シフトポジションを**R**以外にしても、約7秒間はカメラの映像が保持されます。

●360°ビジョンの作動*

360°ビジョンは、時速20km以下のときに、以下のタッチスクリーンの操作で作動します。

1. タッチスクリーンのアイコンにタッチします。
2. **ドライビング機能**にタッチします。
3. **パノラマビュー**にタッチします。

シフトポジションが**R**のときはバックビューが表示され、**P**、**N**、**D**または**M**のときはフロントビューが表示されます。

360°ビジョンは、以下のときに解除になります。

・時速30km以上のとき
・タッチスクリーン左上の←にタッチしたとき

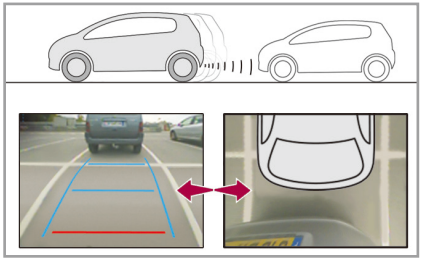
MEMO

時速20km以上では、360°ビジョンの映像が一時的にオフになります。

* 仕様により異なります。

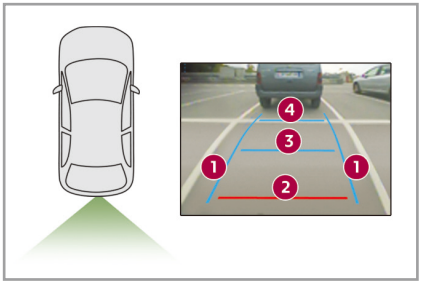
●バックビューの表示

オートモード



リアバンパーに埋め込まれたセンサーが周囲の状況を検知し、障害物が赤いライン（リアバンパーの後方約30cm）に近付くと自動で**スタンダード**から**ズームビュー**に切り替えます。

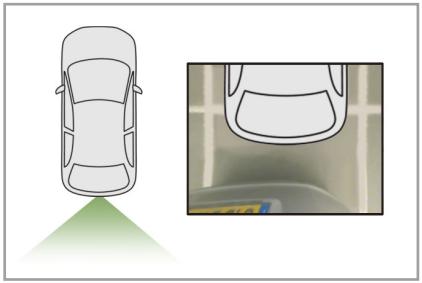
スタンダード



車両後方の映像がタッチスクリーンに表示されます。
映像には距離や車幅の目安となるラインが表示されます。

- 縦の青いライン①：ドアミラーを除いた車幅の目安です。ハンドル操作と連動しています。
- 赤いライン②：バンパーの後方約30cmの目安です。
- 横の青いライン③④：それぞれバンパーから1m、2m後方の目安です。

ズームビュー

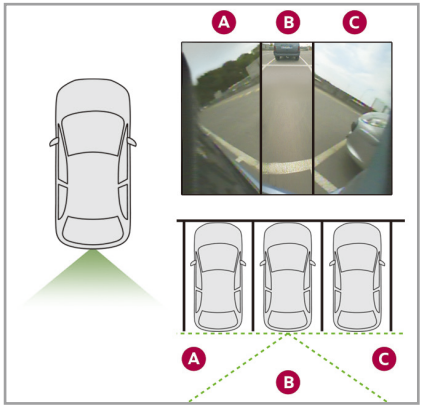


リアの番号灯の間に取り付けられたカメラが、タッチスクリーンに車両を上から見たような映像を映し出します。

MEMO

タッチスクリーンの映像は、車や障害物などが実際より遠くに見えることがあります。必ず目視やミラーで確認をしてください。

180° ビュー



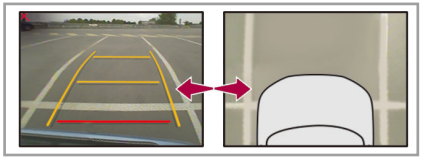
垂直駐車から後退して出るときに、左右から近付く車、自転車や歩行者の映像を左方向 **A**、後方 **B**、右方向 **C** に分けて映し出します。

⚠警 告

画面だけを見ながら運転操作をしないでください。必ず目視やミラーで確認をしてください。

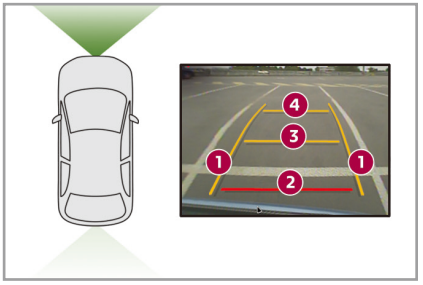
●フロントビューの表示 *

オートモード



フロントバンパーに埋め込まれたセンサーが周囲の状況を検知し、自動で**スタンダード**と**ズームビュー**を切り替えます。

スタンダード



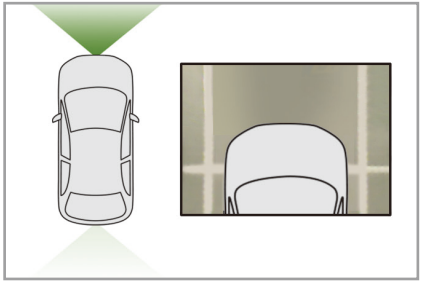
車両前方の映像がタッチスクリーンに表示されます。
映像には距離や車幅の目安となるラインが表示されます。

- 縦の黄色いライン①：ドアミラーを除いた車幅の目安です。ハンドル操作と連動しています。
- 赤いライン②：バンパーの前方約30cmの目安です。
- 横の黄色いライン③④：それぞれバンパーから1m、2m 前方の目安です。

MEMO

仕様により赤いライン②が表示されない場合があります。

ズームビュー

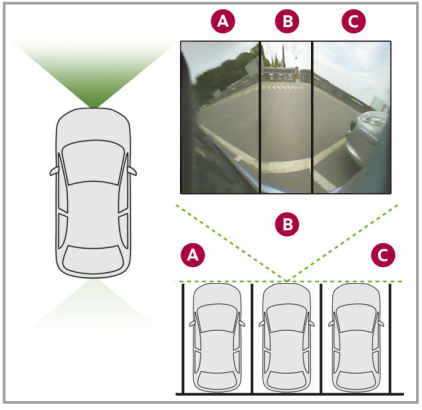


フロントグリルに取り付けられたカメラが、タッチスクリーンに車両を上から見たような映像を映し出します。

MEMO

タッチスクリーンの映像は、車や障害物などが実際より遠くに見えることがあります。必ず目視やミラーで確認をしてください。

180° ビュー



垂直駐車から前進して出るときに、左右から近付く車、自転車や歩行者の映像を左方向 **A**、前方 **B**、右方向 **C** に分けて映し出します。

⚠警 告

画面だけを見ながら運転操作をしないでください。必ず目視やミラーで確認をしてください。

⚠警 告

- ●バックカメラ／360° ビジョンは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
- ●バックカメラ／360° ビジョンの映し出す映像を過信せず、必ず目視やミラーでの確認も行ってください。
- ●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやセンサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●カメラが故障したときはシステムを使用しないでください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。
- ●カメラに泥や雪などが付着すると映像の映りが悪くなります。常に汚れを落としてください。

* 仕様により異なります。

⚠注 意

カメラより上の部分は映し出されません。高さのある障害物などには注意してください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上カメラやセンサーから離してご使用ください。

MEMO

- ●カメラレンズの特性により映像がゆがむことがあります。
- ●気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
- ●シフトポジションを**R**にしたときに、長い警告音が鳴る場合は、フロント／リアバンパーのセンサーに泥や雪、汚れなどが付着していないか確認してください。

＊仕様により異なります。

DS パークパイロット *

DS パークパイロットは、フロント／リアバンパーに埋め込まれた12箇所のセンサーによって駐車可能なスペースを検知し、自動的にステアリング、シフトレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルの操作を行います。
DS パークパイロットでは、以下の3種類の駐車および発進を行うことができます。

・縦列駐車する
・縦列駐車から発進する
・垂直に駐車する

DS パークパイロットの作動中は表示灯が点灯します。

MEMO

●駐車スペースによっては、数回切り返しを行うことがあります。
●DS パークパイロットの作動中は、バックカメラ／ 360° ビジョン *、フロント／サイド／バックソナーが自動的に作動します。

⚠警 告

●DS パークパイロットは運転を補助する機能です。システムを過信せず、安全運転に努めて適切な操作をしてください。安全の確保は運転者の義務です。
●DS パークパイロットの作動中、後退または前進するときは、車両の後方や前方、および周囲の安全をミラーや目視で直接確認してください。また、周囲の車両や障害物、人などに接触しそうな場合は、ブレーキペダルを踏んで車両を停止させてください。
●センサーは、小さな障害物を検知しないことがあります。必ず目視での確認も行ってください。

⚠警 告

●以下のような状況では、駐車位置や切り返し位置を適切に調整できないことがあります。運転者が必ず目視での確認を行ってください。必要に応じて DS パークパイロットを中止し、運転者の操作で駐車してください。
- 駐車禁止区域、工事中などにより路面の状態が悪い場所、溝や穴など地面より低いところがある場所（駐車に適さない場所を駐車可能スペースと判断することがあります）
- 障害物があるために適切な経路で駐車位置まで到達できない場合（駐車可能スペースを検知しても、システムが DS パークパイロットによる駐車の開始を許可しないことがあります）
- 道路幅が狭い（駐車可能スペースを検知してもシステムが DS パークパイロットによる駐車の開始を許可しないことがあります）
- 駐車スペースが角度のきついカーブ付近、または急な坂の途中にある

⚠警 告

- 駐車スペースが広すぎる場所
- 駐車スペースに縁石などの段差や突起物、木やポールなどの幅の狭い障害物がある
- センサーが検知することが困難な範囲に障害物がある、または一度検知した障害物が、センサーが検知することが困難な範囲に入った
- フロント／リアバンパーに衝撃を受け、センサーの設置位置がずれるなどした
- 重い荷物を積むなどして車両姿勢が傾いているとき

●以下のようなときは、DS パークパイロットを使用しないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 駐車スペースの側面に穴や溝、崖などがあるとき
- 自車両の外形寸法からはみ出すような積載物（スキーなど）を積んでいるとき
- スノーチェーンを装着しているとき
- タイヤの空気圧が不足しているとき

⚠警 告

- スペースセーバータイヤを装着しているとき
- 正しい仕様のタイヤを装着していないとき
- フロント／リアバンパーやミラーに損傷があるとき
- フロント／リアバンパーにアクセサリーを取り付けたとき
- カメラやセンサーが故障したとき
- 当社指定サービス工場以外でフロント／リアバンパーの塗装や塗装面の修復を行ったとき
- 当社指定サービス工場以外でセンサーの修理を行ったとき
- 当社純正以外のセンサーを取り付けたとき
- 凍結したり、滑りやすい路面
- ストップランプが故障しているとき

⚠警 告

●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。

- 路面に雪や落ち葉が積もっているとき
- 他の車両のホーン、オートバイやトラックのエンジン音、ドリルなど、騒音の大きいものが近付いたとき
- 悪天候（雨、雪、霧など）

●以下のような形状の障害物はセンサーが検知しないことがあります。システムを過信せず、目視で障害物の有無を確認してください。

- 細い木、針金、フェンス、ポール、ロープなどの細いもの
- 背の低いもの
- 綿や雪などの音波を吸収しやすいもの（着用している衣類の種類によっては、人を検知できないことがあります）

＊仕様により異なります。

⚠注 意

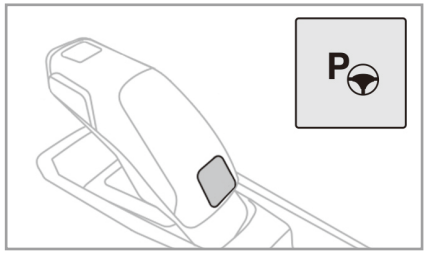
自動操作によってステアリングホイールが速く動くことがあります。スポーク部に手を入れたり、ステアリングホイールに巻き付くようなものは、遠ざけてください。

MEMO

DS パークパイロットの作動中は、ブラインドスポットモニターは作動しません。

●駐車する

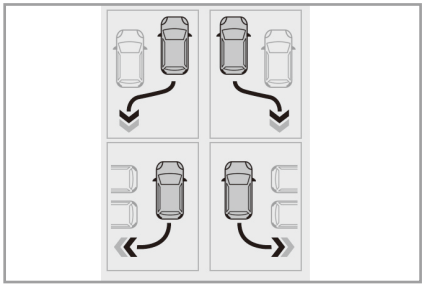
1. 駐車できそうな場所の手前で停車します。
2. シフトレバーのボタンを押します。シートベルトを着用したまま操作してください。



MEMO

タッチスクリーンのアイコンにタッチしてから、**ドライビング機能**、**パークアシスト**の順にタッチしても作動を開始できます。*

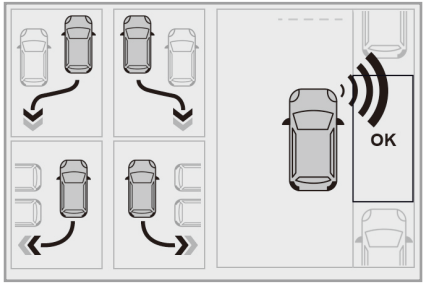
3. 駐車の種類および駐車スペースがある方向に合わせて、タッチスクリーンの選択項目にタッチします。



MEMO

エンジンを始動してからの走行状況に応じて、縦列駐車する／垂直に駐車する操作を選択するための表示、または縦列駐車から発進する操作を選択するための表示のどちらかがタッチスクリーンに表示されます。
表示はタッチスクリーンの操作で切り替えることができます。

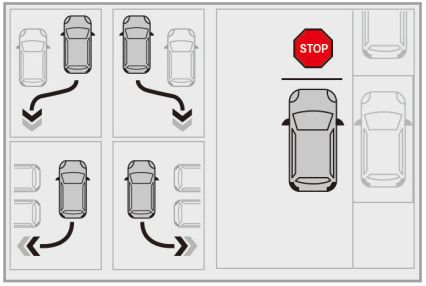
4. タッチスクリーンの指示に従って、ゆっくり（時速30km 以下）前進します。
   センサーが駐車可能かどうか測定します。
   センサーが駐車可能なスペースを検知すると、**OK**が表示されチャイムが鳴ります。



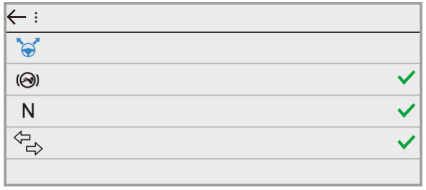
注 意

駐車されている車両との間の距離を0.5m ～1.5mとって走行してください。

5. タッチスクリーンに停止の指示が表示され、チャイムが鳴るまでゆっくり前進を続けてください。



6. 車を止め、タッチスクリーンの指示に従って操作します。

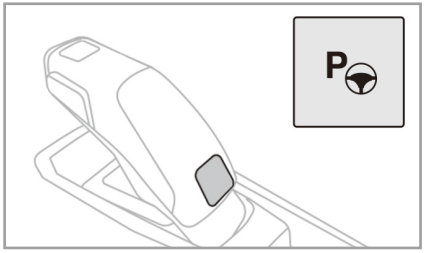


MEMO

✔ タッチスクリーンの指示に従って操作を完了すると、アイコンが表示されます。

* 仕様により異なります。

7. シフトレバーのボタンを押しながら、ブレーキペダルを徐々に緩めて車両をゆっくり後退させます。
チャイムが鳴り、メッセージが表示されると、車両が動き出します。



MEMO

- ●シフトレバーのボタンを放すと車両が停止します。再度押し続けると駐車制御が再開されます。
- ●周囲の状況に応じて、シフトレバーのボタンを放すか、ブレーキペダルを踏んで、DS パークパイロットを中止してください。
- ●車両の自動制御中、減速するとストップランプが点灯することがあります。

8. 自動的にステアリング、シフトレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルの操作が行われます。

AUTO このアイコンが表示されているときは、車両が自動制御されています。

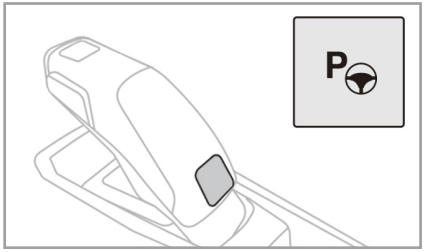
このアイコンが表示され、矢印が緑色に点灯しているときは、車両が前進しています。矢印が白色に点灯しているときは、後退から前進方向に進行方向が変化します。

このアイコンが表示され、矢印が緑色に点灯しているときは、車両が後退しています。矢印が白色に点灯しているときは、前進から後退方向に進行方向が変化します。

9. OFF 駐車が完了すると、チャイムが鳴り、メッセージが表示されます。車両が停止し、自動的に DS パークパイロットが終了します。また、シフトポジションが自動的に **P** になります。

●縦列駐車から発進する

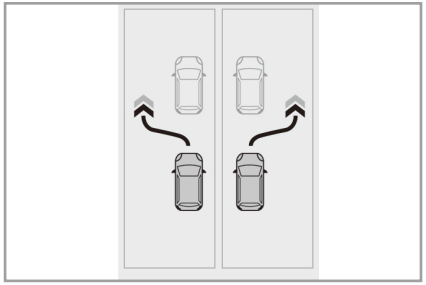
1. シフトレバーのボタンを押します。
シートベルトを着用したまま操作してください。



MEMO

タッチスクリーンのアイコンにタッチしてから、**ドライビング機能**、**パークアシスト**の順にタッチしても作動を開始できます。*

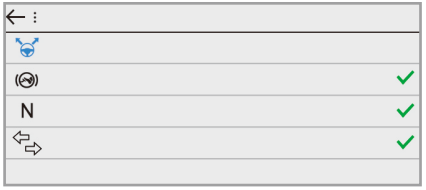
2. 発進する方向に合わせて、タッチスクリーンの選択項目にタッチします。



MEMO

エンジンを始動してからの走行状況に応じて、縦列駐車する／垂直に駐車する操作を選択するための表示、または縦列駐車から発進する操作を選択するための表示のどちらかがタッチスクリーンに表示されます。
表示はタッチスクリーンの操作で切り替えることができます。

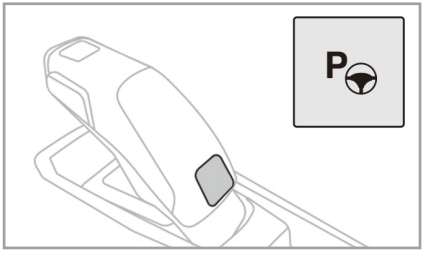
3. タッチスクリーンの指示に従って操作します。



MEMO

✔ タッチスクリーンの指示に従って操作を完了すると、アイコンが表示されます。

4. シフトレバーのボタンを押しながら、ブレーキペダルを徐々に緩めて車両をゆっくり前進または後退させます。チャイムが鳴り、メッセージが表示されると、車両が動き出します。



MEMO

●シフトレバーのボタンを放すと車両が停止します。再度押し続けると駐車制御が再開されます。
●周囲の状況に応じてシフトレバーのボタンを放すか、ブレーキペダルを踏んで、DS パークパイロットを中止してください。
●車両の自動制御中、減速するとストップランプが点灯することがあります。

5. 自動的にステアリング、シフトレバー、アクセルペダル、ブレーキペダルの操作が行われます。

このアイコンが表示されているときは、車両が自動制御されています。

このアイコンが表示され、矢印が緑色に点灯しているときは、車両が前進しています。矢印が白色に点灯しているときは、後退から前進方向に進行方向が変化します。

このアイコンが表示され、矢印が緑色に点灯しているときは、車両が後退しています。矢印が白色に点灯しているときは、前進から後退方向に進行方向が変化します。

6.

駐車スペースから出ると、チャイムが鳴り、メッセージが表示されます。車両が停止し、自動的に DS パークパイロットが終了します。また、シフトポジションが自動的に **N** になります。

MEMO

DS パークパイロットの終了後、運転者の操作が行われなかったとき、約30秒経過するとシフトポジションが自動的に **P** になります。

●DS パークパイロットの中止

以下のようなときは、DS パークパイロットが一時的に中止され、車両が停止します。
メッセージが表示されます。

- シフトレバーのボタンを放したとき
- ブレーキペダルを踏んだとき
- 運転者がステアリング操作を行ったとき
- 運転者がシフトポジションを変更したとき（**P** 以外に変更したとき）

一時的に中止した DS パークパイロットは、以下の操作で駐車制御を再開することができます。

- シフトレバーのボタンを再度押し続ける
- ブレーキペダルから足を離す
- ステアリングから手を離す

DS パークパイロットを一時的に中止したあと、ブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを変更すると、DS パークパイロットの作動が解除されます。

●DS パークパイロットの解除

DS パークパイロットの駐車制御が開始されるまでは、タッチスクリーンの左上の←にタッチしていつでも DS パークパイロットを解除することができます。

また、以下のようなときは、DS パークパイロットが自動的に解除され、メッセージが表示されます。自動的にブレーキがかかり車両が停止し、シフトポジションが **P** になります。

- DS パークパイロットを一時的に中止してから、運転者の操作がないまま約30秒経過したとき
- エレクトリックパーキングブレーキを操作したとき
- 運転者がシフトポジションを **P** にしたとき
- 運転席のシートベルトをはずしたとき
- ドアまたはトランクが開いたとき
- 駐車スペースと反対方向へ方向指示器を動かしたとき
- 縁石や背の低い障害物にホイールが接触したとき
- ESC システムが車両を制御しているとき
- 駐車制御開始時に検知されなかった障害物が検知され、検知状態が30秒以上続いたとき
- 縦列駐車するとき、または縦列駐車の駐車スペースから出るときは、10回切り返しを行ったとき
- 垂直に駐車するときは、7回切り返しを行ったとき
- システムに異常があるとき

●システムの異常

DS パークパイロットが作動していないときに異常が発生した場合は、警告音とともにこの表示灯が数秒間点滅します。
DS パークパイロットが作動中に異常が発生した場合は、表示灯が消灯します。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

DS パークパイロットの作動中にフロント／サイド／バックソナーに異常が発生した場合は、ソナー表示灯または **SERVICE** 警告灯が点灯し、システムが解除されます。
当社指定サービス工場で点検を受けてください。

パワーステアリングに異常が発生した場合は、STOP 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。直ちに安全な場所に車を停止させ、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●フロント／リアバンパーに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラやセンサーが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
●フロント／リアバンパーのセンサーが、泥や雪などで覆われていると障害物の検知ができません。常に汚れを落としてください。
●カメラに泥や雪などが付着すると映像の映りが悪くなります。常に汚れを落としてください。

注 意

洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上カメラやセンサーから離してご使用ください。

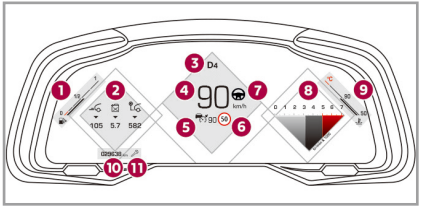
MEMO

●自車両の外形寸法からはみ出すような積載物（スキーなど）を積んでいる場合は、取りはずしてください。
●カメラレンズの特性により映像がゆがむことがあります。
●気象条件などにより、映像が見えにくくなることがあります。また、夜間など暗い場所では画質が低下します。
●センサーはフロント／リアバンパーの真下付近は検知しません。

第4章　メーター・ライト・ワイパー装置の使いかた

インストルメントパネル…… 4-2
警告灯類／表示灯類…… 4-6
冷却水温度計…… 4-23
エンジン油量インジケーター…… 4-24
サービスインジケーター…… 4-25
オドメーター…… 4-27
マニュアルチェック…… 4-28
インストルメントパネルの調整（明るさ調整）…… 4-28
ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、
方向指示器、ハザードランプ）…… 4-29
ワイパー／ウォッシャー…… 4-41
間接式タイヤ空気圧警告…… 4-44
DSナイトビジョン …… 4-47
ドライブコンピューター…… 4-52

インストルメントパネル



インストルメントパネルの表示は、選択した表示モードにより異なります。

1. 燃料計
2. ドライブコンピューター
3. シフトポジション／ドライブモード／シフトタイミングインジケーター *
4. デジタルスピードメーター
5. アクティブクルーズコントロール／スピードリミッター表示
6. トラフィックサインインフォメーション表示
7. レーンポジショニングアシスト表示灯
8. タコメーター
9. 冷却水温度計
10. オドメーター
11. サービスインジケーター

⚠警 告

●スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示(マイル)にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●安全上の理由から、インストルメントパネルの設定などの操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

●インストルメントパネルの表示

以下は、どの表示モードの場合でも常にインストルメントパネルに表示されます。

- シフトポジション／シフトタイミングインジケーター *
- デジタルスピードメーター
- オドメーター
- 警告灯、表示灯、警告メッセージなど（表示がある場合）

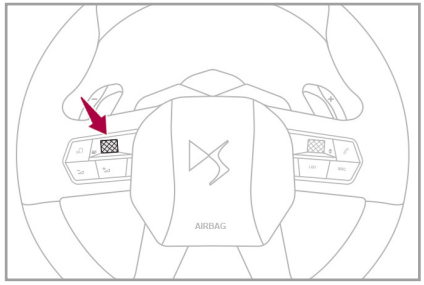
MEMO

警告灯および表示灯は、状況により点灯位置が異なる場合があります。

* 仕様により異なります。

以下は、表示モードの種類や作動している機能がある場合に表示されます。
・タコメーター
・アナログスピードメーター
・燃料計
・冷却水温度計
・ドライブモード
・アクティブクルーズコントロール／スピードリミッター表示
・トラフィックサインインフォメーション表示
・レブカウンター
・トリップコンピューター
・エンジン温度
・アクティブクルーズコントロールなどの運転支援システムの表示
・現在再生中のメディア
・各種データ（エンジン情報／ G- メーター）
・ドライバーアテンションモニタリング
・DS ナイトビジョン *

●表示モードの設定



ステアリングスイッチのダイヤルを回すとインストルメントパネルの表示モードが切り替わります。
ダイヤルを押し込むとすぐに表示モードが切り替わります。

MEMO

システムのバージョンによって、設定できる項目や表示内容が異なります。

●表示モードの種類

表示モードは、以下の5種類から選択して表示することができます。
・**ダイヤル**
・**ドライブ**
・**パーソナル**
・**最少**
・**ナイトビジョン ***

ダイヤル
標準的なインストルメントパネルの表示モードです。燃料計、アナログスピードメーター、シフトポジション、デジタルスピードメーター、タコメーター、冷却水温度計、オドメーターなどが表示されます。

ドライブ
標準的なインストルメントパネルの表示に加え（アナログスピードメーターおよびタコメーターを除く）、アクティブクルーズコントロールなどの運転支援システムが表示されます。

パーソナル
標準的なインストルメントパネルの表示に加え（アナログスピードメーターおよびタコメーターを除く）、お好みに合わせて表示項目を選択することができます。
パーソナルの表示は、以下のタッチスクリーンの操作で設定します。

1. にタッチします。
2. にタッチします。
3. にタッチします。
4. ∧または∨にタッチして表示したい項目を選択します。

最小
シフトポジション／シフトタイミングインジケーター *、デジタルスピードメーター、オドメーターなどの最小限の項目が表示されます。

ナイトビジョン *
標準的なインストルメントパネルの表示に加え（アナログスピードメーターおよびタコメーターを除く）、DS ナイトビジョンが表示されます。

●言語の設定
インストルメントパネルとタッチスクリーンの言語を切り替えるには、タッチスクリーンで設定します。

初期設定は日本語になっています。

* 仕様により異なります。

●インストルメントパネルの色の設定 *

インストルメントパネルの色を変更することができます。色の選択は、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

- ●インストルメントパネルの色の設定は、タッチスクリーンの色の設定と連動しています。
- ●インストルメントパネルの色およびタッチスクリーンの色の設定は、DS センソリアルドライブと連動しています。*

警告灯類／表示灯類

●警告灯について

警告灯には、ENGINE START/STOPスイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると点灯するものがあります。エンジンを始動すると、それらの警告灯は消灯します。
いずれかの警告灯が、車が動き出す前まで点灯していたり、走行中に点灯または点滅したときは、関連する情報を参照してください。
いくつかの警告灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの警告灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

●表示灯について

表示灯は、作動状態を表示するものと機能停止を表示するものがあります。
いくつかの表示灯は、点灯状態と点滅状態で異なる意味を表すものがあったり、ひとつの表示灯で通常の作動状態を表示している場合と、故障を表している場合とがあります。また、警告音やメッセージ表示とともに点灯するものがあります。

⚠警 告

- ●STOP 警告灯と連動して警告灯が表示されたときは直ちに車を停止させてください。
- ●警告灯が表示される故障は、深刻なケガや車両へのダメージを引き起こすおそれがあります。安全な場所に停車し点検してください（6-6ページ参照）。

MEMO

高速道路など自動車専用道路での燃料切れは、道路交通法違反になります。走行前に燃料が十分あることを確認してください。

●赤色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	STOP	点灯／警告音／メッセージ	エンジン、ブレーキ、パワーステアリング、オートマチックトランスミッションなどに重大な異常が発生しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	冷却水温	点灯／警告音／メッセージ（STOP 警告灯も点灯）	冷却水の温度が過剰に上昇しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	エンジン油圧	点灯	油圧が不足しています。	直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	12V バッテリー	点灯	12V バッテリーの充電機能に異常が発生しています。	エンジンを始動すると消灯します。警告灯が消えない場合は、直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。 エレクトリックパーキングブレーキがかからない場合は、輪止めをしてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	半ドア	点灯／メッセージ（時速10km 以下）	いずれかのドアまたはトランクが開いています。	ドアまたはトランクを閉めてください。
		点灯／警告音／メッセージ（時速10km 以上）		
	シートベルト	点灯	・シートベルトを着用していません。 ・着用していたシートベルトをはずしました。	ベルトを引き出しバックルに差し込んでください。 警告はシートベルトを着用するまで続きます。
		点滅／警告音		
	エレクトリックパーキングブレーキ	点灯	エレクトリックパーキングブレーキがかかっています。	アクセルペダルを踏むと、エレクトリックパーキングブレーキが自動的に解除されます。
				ブレーキペダルを踏んだまま、パーキングブレーキスイッチを押してエレクトリックパーキングブレーキを解除してください。
		点滅	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能が作動しません。作動／解除機構に故障が発生しています。	直ちに安全で水平な場所に車を停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ブレーキ	点灯	ブレーキ液量が大幅に低下しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止し、当社推奨のブレーキ液を補給してください。問題が解消されない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。
			電子式制動力制御装置（EBFD）に異常が発生しています。	直ちに安全な場所に車を停止させ、エンジンを停止し、当社指定サービス工場にご連絡ください。
	DS アクティブスキャンサスペンション	点灯	DS アクティブスキャンサスペンションに異常が発生しています。	詳細は「DS アクティブスキャンサスペンション」項を参照してください。

●黄色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	SERVICE	点灯（一時的）／メッセージ	軽微な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 ・タイヤ空気圧 ・リモコンの電池切れ　など 解決しない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯／メッセージ	重大な不良が発生しているおそれがあります。	表示されたメッセージと連動しています。 当社指定サービス工場で点検を受けてください。
			エレクトリックパーキングブレーキ故障のメッセージが表示されたら、オートマチックでの解除ができません。	当社指定サービス工場にご連絡ください。
	ブレーキ	点灯	ブレーキに軽微な不良が発生しているおそれがあります。	注意して速度を下げて走行し、直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ	点灯	オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能が解除されています。	パーキングブレーキは手動操作のみ可能です。 オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を復帰させてください。
		点灯／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	手動操作によるエレクトリックパーキングブレーキの締結ができません（エンジンが始動している状態での締結ができません）。	手動操作によるエレクトリックパーキングブレーキの締結／解除ができないときは、パーキングブレーキスイッチの故障が考えられます。 エンジン停止時の自動締結およびアクセルを踏んだときの自動解除のみ作動します。 オートマチックエレクトリックパーキングブレーキ機能を解除している場合は、機能が自動的に復帰します。 当社指定サービス工場にご連絡ください。
		点灯／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	パーキングブレーキに異常が発生しています。自動／手動操作ともに動作しません。	車を止めておくには、7秒から15秒間、警告灯が点灯するまでパーキングブレーキスイッチを引きます。 上記の操作を失敗した場合は、安全で平らな場所に車を停止して、シフトポジションを Pにした状態でエンジンを停止し、輪止めをしてください。 当社指定サービス工場にご連絡ください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	アクティブセーフティブレーキ	点灯	アクティブセーフティブレーキ機能が解除されています。	詳細は「アクティブセーフティブレーキ」項を参照してください。
		点滅	アクティブセーフティブレーキの自動ブレーキが作動中です。	前方の車両との衝突速度を抑制するために自動的にブレーキが作動しました。ブレーキを踏んでスピードを落としてください。
		点灯／警告音／メッセージ	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点灯（SERVICE 警告灯も点灯）	アクティブセーフティブレーキ機能に異常があります。	エンジンを停止し、再度始動しても消灯しない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯（シートベルト警告灯も点灯）	運転席シートベルトおよび助手席シートベルトが着用されていません。アクティブセーフティブレーキは解除されています。	アクティブセーフティブレーキを作動状態にするには、運転席シートベルトおよび助手席シートベルトを着用してください。
	ABS（アンチロックブレーキ）	点灯	アンチロックブレーキシステムに異常が発生しています。	通常のブレーキとして機能します。 注意して速度を下げて走行し、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	自動診断	点灯	排気ガス浄化システムに異常が発生しています。	エンジンを始動しても警告灯が消えない場合は、直ちに当社指定サービス工場でシステムの点検を受けてください。
		点滅	エンジン制御システムに異常が発生しています。	触媒コンバーターが損傷するおそれがあります。当社指定サービス工場にご連絡ください。
	ASR ／ DSC	点滅	ASR ／ DSC システムが作動中です。	システムは正常です。 安定した走行に戻ると消灯します。
		点灯／警告音／メッセージ	ASR ／ DSC システムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	非常ブレーキ（エレクトリックパーキングブレーキ）	点灯／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	非常ブレーキに異常が発生しています。	エレクトリックパーキングブレーキの自動解除ができない場合は、ブレーキペダルを踏みながら手動操作で解除してください。 当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	ヒルスタートアシスタンス	点灯／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	ヒルスタートアシスタンス機能に異常があります。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	レーンキープアシスト	点灯	レーンキープアシスト機能が解除または停止されています。	詳細は「レーンキープアシスト」項を参照してください。
		点滅	方向指示器が作動していないとき、車線マーカーを逸脱する可能性があると判断されました。 ハンドル操作の自動修正が行われます。	
		点灯／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	レーンキープアシスト機能に異常があります。	レーンキープアシスト機能が作動していません。 注意して走行し、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	レーンポジショニングアシスト	点灯／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	レーンポジショニングアシスト機能に異常があります。	レーンポジショニングアシスト機能が作動していません。 注意して走行し、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	エアバッグ	点灯（一時的）	システムの点検中です。（数秒間点灯したあとに消灯）	エンジンを始動すると消灯します。警告灯が消えない場合は、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
		点灯	エアバッグまたはシートベルトプリテンションシステムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	フロント／サイド／バックソナー OFF	点灯	フロント／サイド／バックソナーが解除されています。	詳細は「フロント／サイド／バックソナー」項を参照してください。
	フロント／サイド／バックソナー	点灯／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	フロント／サイド／バックソナーの機能に異常があります。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	空気圧警告	点灯／警告音／メッセージ	タイヤの空気圧に異常があります。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。 タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。
		点灯／警告音／メッセージ（SERVICE 警告灯も点灯）	タイヤ空気圧警告システムに異常が発生しています。システムは作動していません。	タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。 直ちに当社指定サービス工場で点検を受けてください。
	リアフォグランプ	点灯	リアフォグランプが点灯しています。	ライトスイッチレバーのリングを後方へ回すと消灯します。
	燃料残量	点灯／警告音／メッセージ	燃料の残量が約6リットル以下になりました。	燃料が少なくなっています。早めに燃料を補給してください。 ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動する度に警告灯は点灯します。 燃料タンクの容量は約60リットルです。燃料がなくなるまで走行を続けないでください。排気ガス浄化システムおよび点火系統が損傷するおそれがあります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
AUTO	インテリジェントハイビーム	点灯／警告音／メッセージ	インテリジェントハイビームまたはフロントウィンドウ上部に備えられたカメラに異常があります。	当社指定サービス工場にご連絡ください。
A OFF	ストップ＆スタート	点灯／メッセージ	ストップ＆スタートシステムが手動で解除されました。	ストップ＆スタートシステムを復帰させてください。
		点灯	外気温が0℃以下、＋35℃以上のため、ストップ＆スタートシステムが自動的に解除されました。	外気温が0℃以上、＋35℃以下のとき、システムが作動します。
		点滅後に点灯／メッセージ	ストップ＆スタートシステムに異常が発生しています。	当社指定サービス工場で点検を受けてください。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	DS ナイトビジョン *	点灯	・DS ナイトビジョンは作動中ですが、走行速度か外気温のどちらか、またはその両方が動作条件を満たしていません。赤外線カメラの映像をインストルメントパネルに表示させることができますが、歩行者や動物などを検知して運転者に注意喚起する機能は作動しません。 ・表示灯が点灯するとともにメッセージが表示された場合は、システムに異常があります。	詳細は「DS ナイトビジョン」項を参照してください。

* 仕様により異なります。

●緑色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	DS パークパイロット *	点灯	DS パークパイロットが作動しています。	詳細は「DS パークパイロット」項を参照してください。
		点滅（数秒間）／警告音	DS パークパイロットに異常が発生しています。	
	レーンポジショニングアシスト	点灯	レーンポジショニングアシストが作動しています。	詳細は「レーンポジショニングアシスト」項を参照してください。
	オートワイパー	点灯	オートワイパーが作動中です。	ワイパーレバーを押し下げるか、0以外の位置にするとオートワイパー機能がオフになります。
	ウィンカー	点滅／ブザー	ライトスイッチレバーが上または下に動かされています。	ライトスイッチレバーを水平にすると消灯します。
	ポジションランプ	点灯	ライトスイッチがポジションランプの位置にあります。または、ライトスイッチが AUTOの位置にあり、デイタイムランニングランプが点灯しています。	—

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ロービーム	点灯	ライトスイッチがロービームの位置にあります。または、ライトスイッチがAUTOの位置にあります。（周囲の明るさに応じて点灯）	—
	インテリジェントハイビーム	点灯	タッチスクリーンの設定で機能が有効になっていて、ライトスイッチがAUTOの位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ロービームが点灯しています。	—
		点灯	タッチスクリーンの設定で機能が有効になっていて、ライトスイッチがAUTOの位置にあります。 周囲の明るさや運転状況により、ハイビームが点灯しています。	—
	ストップ＆スタート	点灯	赤信号などで停止したときに、ストップ＆スタートによってエンジンが停止しています。	発進時には警告灯が消灯し、自動的にエンジンがかかります。
		数秒間点滅して消灯	停止モードが一時的に使用不可、または自動的にスタートモードになりました。	詳細は「ストップ＆スタート」項を参照してください。

＊仕様により異なります。

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	DS ナイトビジョン *	点灯	DS ナイトビジョンが作動中です。 赤外線カメラの映像をインストルメントパネルに表示させることができます。歩行者や動物などを検知して、運転者に注意喚起する機能が作動しています。	詳細は「DS ナイトビジョン」項を参照してください。

●青色の警告灯／表示灯一覧表

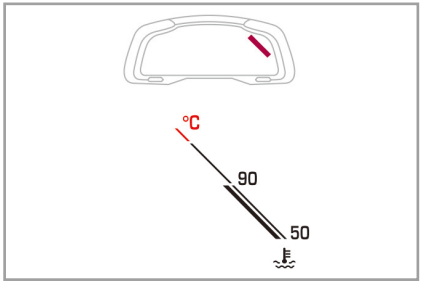
警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	ハイビーム	点灯	ライトスイッチレバーが手前に引かれています。	ライトスイッチレバーを再度手前に引くとロービームに戻ります。

●灰色の警告灯／表示灯一覧表

警告灯／表示灯		状態	意味	対処方法
	レーンポジショニングアシスト	点灯	作動条件が満たされていないため、レーンポジショニングアシストの作動が停止しています。	詳細は「レーンポジショニングアシスト」項を参照してください。
	DS ナイトビジョン *	点灯	タッチスクリーンの設定で DS ナイトビジョンが有効になっていますが、周囲が暗い、ヘッドランプが点灯しているなどの動作条件を満たしていません。赤外線カメラの映像をインストルメントパネルに表示させる機能や、歩行者や動物などを検知して運転者に注意喚起する機能は作動していません。	詳細は「DS ナイトビジョン」項を参照してください。

* 仕様により異なります。

冷却水温度計



オーバーヒートすると、警告音とともに冷却水温警告灯と STOP 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。
直ちに車を安全な場所に止めて、数分間アイドリングを行ってからエンジンを停止してください。その後はすみやかに当社指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

冷却水の補給は当社指定サービス工場にお申し付けください。

エンジン油量インジケーター *

ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると、油量の状態が数秒間表示されます。
油量は、車体が水平な場所にあってエンジン停止後30分以上経過しているときに正確に表示されます。

●エンジンオイル量が不足しているとき

警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。エンジンオイルレベルゲージで正確な量を確認し、不足しているときは補充してください。エンジンオイルが不足したまま使用すると、エンジンが損傷するおそれがあります。

●オイルレベルセンサーが故障しているとき

メッセージが表示されます。車体を水平な場所に置き、エンジン停止後30分以上経過してからエンジンオイルレベルゲージで測定してください。油量に問題がなければ、オイルレベルセンサーが故障しているので、当社指定サービス工場にご連絡ください。

MEMO

オイルレベルゲージ

ゲージには2 ヶ所のマークがあります。

A：オイル量最大
これを超えないようにしてください。

B：オイル量最少
Aと**B**の間になるようにオイルを補充してください。

* 仕様により異なります。

サービスインジケーター

サービスインジケーターは、お客様に次回のメーカー推奨点検時期がいつ頃かをお知らせするものです。
次回の点検まで3000km 以内になったとき、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動したあとの数秒間、インストルメントパネルに表示されます。

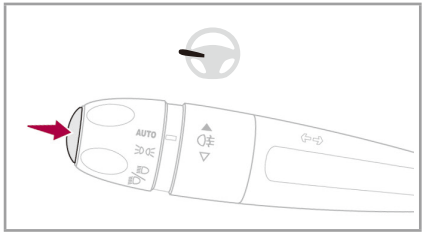
●サービスインジケーター表示一覧

表示	状態	意味
	点灯（数秒間）	次回の点検まで1000kmから3000kmであることを示しています。 次回の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点灯	次回の点検まで1000km 以内であることを示しています。 次回の点検までのおよその残りキロ数や期間（両方またはどちらか一方）が表示されます。
	点滅後に点灯	点検時期を経過したことを示しています。 点検時期を経過してからのおよその走行距離や点検時期を経過したことをお知らせするメッセージ（両方またはどちらか一方）が表示されます。

MEMO

点検時期のお知らせは、走行距離と前回の点検時期から割り出されています。最後の点検から2年を経過した場合にもスパナマークが点灯します。

●ゼロリセット



リセットは当社指定サービス工場にて点検終了後に行いますが、お客様がご自分でリセットする際には以下の方法で行います。

1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
2. ライトスイッチレバーの先端のスイッチを押し続けます。
3. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにします。
4. 数字のカウントダウンが始まります。
5. カウントダウンが終了したら、押していたスイッチを放します。
6. リセットが完了。スパナのマークが消えます。

MEMO

- ●当社指定サービス工場では、定期点検が完了したときにサービスインジケーターをリセットして、次の定期点検時期をお知らせするようにしています。もし、サービスインジケーターを継続してご使用になりたいときは、車をお預けの際に当社指定サービス工場の担当者にお伝えください。
- ●リセット直後に12V バッテリーをはずすと、リセットが無効になります。ドアを施錠して少なくとも5分間待ってから、12V バッテリーをはずしてください。

●サービスインジケーターの再表示

サービスインジケーターは、仕様によりタッチスクリーンの操作、またはライトスイッチレバー先端のスイッチを押すと再表示させることができます。

オドメーター

オドメーターは、ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときに表示されます。また、以下のあと、しばらくの間表示されます。

- ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたとき
- 運転席側ドアを開閉したとき
- 施錠または解錠したとき

MEMO

距離の単位は必ず km 表示を使用してください。
設定はタッチスクリーンで行います。

マニュアルチェック

仕様により、タッチスクリーンの操作、またはライトスイッチレバー先端のスイッチを押すと、インストルメントパネルに以下の情報を表示させることができます。

・エンジン油量インジケーター *
・サービスインジケーター
・タイヤ空気圧警告 *
・現在の不具合状況

MEMO

マニュアルチェックの情報は、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると、毎回表示されます。

インストルメントパネルの調整（明るさ調整）

●照度調整

1. にタッチします。
2. にタッチします。
3. ＜または＞にタッチするか、カーソルを動かして調整します。

MEMO

●周囲が暗いときや夜間に明るさを調整できます。
●明るさを調整すると、タッチスクリーンの照度も調整されます。

●タッチスクリーンの画面のオン／オフ

1. にタッチします。
2. にタッチします。

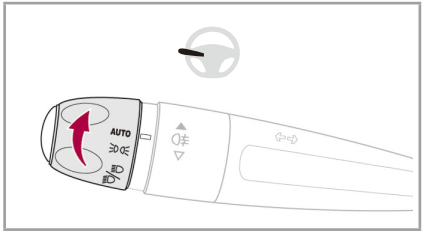
MEMO

再度タッチスクリーンにタッチすると、タッチスクリーンの画面が点灯します。

* 仕様により異なります。

ライト類（ヘッドランプ、フォグランプ、方向指示器、ハザードランプ）

●ヘッドランプ



ライトスイッチレバーのリングを回して操作します。

AUTO オートライトモード

ポジションランプが点灯します。

⚠警 告

ポジションランプは、他の車からあなたの車を確実に確認できるほどの十分な明るさではありません。事故のおそれがありますので、周囲が暗いときや視界が悪いときは、ヘッドランプを点灯してください。

ヘッドランプのロービーム／ハイビームが点灯します。

ヘッドランプをハイビームに切り替えるときは、ライトスイッチレバーを手前に引きます。再度、手前に引くとロービームに切り替わります。

⚠警 告

フル LED ヘッドライト装着車は、点灯中のヘッドランプを至近距離から直視しないでください。LED ヘッドライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。

ライト類に異常が発生した場合は、警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。

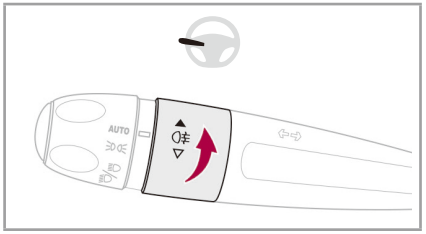
MEMO

低温高湿度のとき、ヘッドランプやテールランプのレンズ内側が曇ることがありますが異常ではありません。点灯して数分後になくなります。

●パッシング

ライトスイッチレバーを浅く手前に引くと、パッシングライトとして使用できます。

●リアフォグランプ



ヘッドランプが点灯しているときに使用できます。

ライトスイッチレバーのリングを前方へ回すと点灯します。後方へ回すと消灯します。

⚠警 告

リアフォグランプは昼夜問わず晴天時や雨天時には使用しないでください。後続車に眩惑を与えます。

MEMO

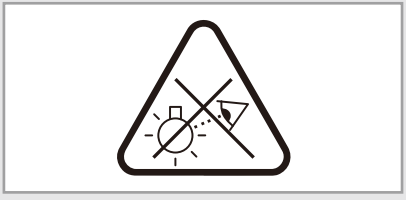
オートライトでヘッドランプが点灯中に、リアフォグランプを点灯させると、周囲が明るくなってもヘッドランプとリアフォグランプは点灯し続けます。リングを回してリアフォグランプを消灯してください。リアフォグランプと同時にヘッドランプも消灯します。

●デイタイムランニングランプ

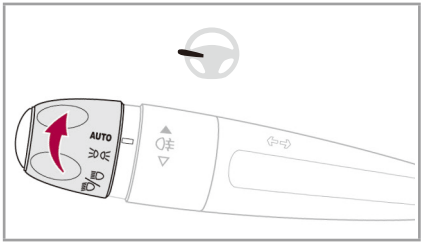
エンジンを始動すると、ライトスイッチが AUTO で周囲が明るいときにデイタイムランニングランプが自動的に点灯します。
デイタイムランニングランプが点灯中は、インストルメントパネル内のポジションランプ表示灯が点灯します。

⚠警 告

点灯中のデイタイムランニングランプを至近距離から直視しないでください。LED ライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。



●オートライト



周囲が暗くなったりウィンドウワイパーが作動すると、自動的にポジションランプやヘッドランプが点灯します。周囲が明るくなったりワイパーが停止すると、自動的に消灯します。

作動
リングを AUTO 位置に回します。

機能解除
リングを AUTO 以外の位置に回します。

⚠注 意

- 昼間の霧や雪のときは、周囲が明るいのでオートライトが作動しないことがあります。安全のため、手動でライトを点灯してください。
- フロントウィンドウの雨滴／日射センサーを覆わないでください。オートライト機能が正常に作動しません。
- 天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとフロントウィンドウの雨滴／日射センサーが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

雨滴／日射センサーに異常が発生した場合は、自動的にヘッドランプが点灯します。警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

MEMO

- **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにすると、すべてのライトが消灯します（フォローミーホーム機能がオンのときを除く）。再度ライトを点灯するには、**AUTO**から他の位置にレバーのリングを回すか、いったん **AUTO**にしてから他の位置にレバーのリングを回してください。
- **ENGINE START/STOP** スイッチがオフの状態で、マニュアル操作でライトを点灯したまま運転席側のドアを開けると、ライト消し忘れブザーが鳴ります。レバーのリングを **AUTO** 位置に回すとライトが消灯します。
- **ENGINE START/STOP** スイッチがオフの状態でライトを点灯したままにすると、12V バッテリーのバッテリー上がりを防止するために一定時間後、自動的に消灯します。

●駐車時照明機能（フォローミーホーム）

周囲が暗いときや夜間にエンジンを停止したあとしばらくの間、ヘッドランプ、ポジションランプなどが点灯したままになります。

オート操作

タッチスクリーンでフォローミーホームをオンにして、点灯時間も設定してください。オートライトモードになっていると自動的にこの機能が作動します。

マニュアル操作

ライトスイッチの位置にかかわりなく作動させることができます。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにして、パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

キャンセル操作

パッシング（スイッチレバーを浅く手前に引く）してから車を降りて施錠してください。

●ウェルカムランプ

周囲が暗いときや夜間に車外でリモコンの解錠ボタンを押すと、ヘッドランプ、ポジションランプなどが点灯して乗車をサポートします。

点灯

リモコンの解錠ボタンを押します。

ドアの解錠とともに、ヘッドランプ、ポジションランプなどが点灯します。

消灯

ウェルカムランプは、以下のときに消灯します。

- **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにする
- エンジンを始動する
- ドアを施錠する

設定

ウェルカムランプのオン／オフの切り替え、点灯時間の設定は、タッチスクリーンで行います。

* 仕様により異なります。

●エクステリアサイドランプ

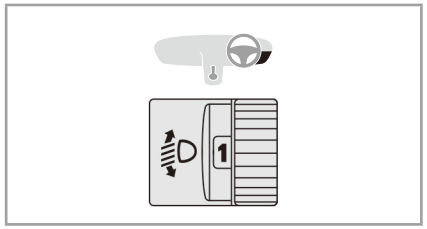
ドアミラー下部にあるエクステリアサイドランプは、以下のときにフロントルームランプに連動して点灯します。

・ドアのロックを解除したとき
・ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたとき
・ドアが開いたとき
・車外からスマートキーが操作されたとき

エクステリアサイドランプは点灯後、以下のときにフロントルームランプに連動して消灯します。

・ドアをロックしたとき
・ENGINE START/STOP スイッチをオフにして30秒後
・ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにしたとき
・エンジンを始動したとき
・最後のドアが閉まって30秒後
・エンジンが始動している状態のときは、ドアを閉じたとき

●ヘッドランプ照射角度調整 *



トランクルームに重量物を積んでヘッドランプが上向きになったときは、対向車に眩しくないよう、ダイヤルの数値を上げて照射角度を下向きにしてください。

MEMO

ダイヤルの4、5、6は未使用の目盛りです。照射角度の調整はできないため使用しないでください。

●照射角度自動調整機能（DS アクティブ LED ビジョン）*

車の積載状態に応じて、ヘッドランプの照射角度を自動的に調整します。

自動調整機能に異常が発生した場合は、警告音とともに SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。このとき、ヘッドランプは一番下向きの位置に自動調整されます。

⚠警 告

異常が発生した場合は、LED ヘッドランプに触らず、当社指定サービス工場で点検を受けてください。感電する可能性があり危険です。

●パーキングライト

路肩に駐車する場合、ポジションランプを片側（車両通行側）のみ点灯させることができます。

ENGINE START/STOP スイッチをオフにして、45秒以内にライトスイッチレバーを点灯させたい方に操作します。警告音とともに表示灯（ウィンカー）が点灯します。

以下のとき、ポジションランプは消灯します。

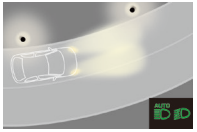
・ライトスイッチレバーを戻す
・ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする
・エンジンを始動する

●インテリジェントハイビーム

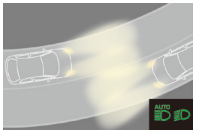
フロントウィンドウ上部に備えられたカメラによって周囲の明るさと運転状況を検知し、ヘッドライトのロービームとハイビームを自動的に切り替える機能です。

⚠警 告

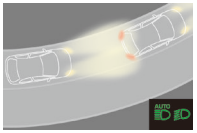
インテリジェントハイビームは操作を補助する機能です。運転者の責任の下で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従って、正しく使用してください。



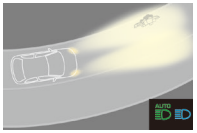
ロービーム点灯：
周囲が明るいためハイビームが不要な場合



ロービーム点灯：
対向車がある場合



ロービーム点灯：
先行車がある場合



ハイビーム点灯：
ハイビームが必要な場合

機能をオンにする

1. ライトスイッチレバーのリングを **AUTO** 位置に回します。
2. タッチスクリーンのアイコンにタッチします。
3. **ドライビング機能**にタッチします。
4. **インテリジェントハイビーム**にタッチします。

MEMO

- ●インテリジェントハイビームは時速25km 以上で作動します。時速15km 以下になると作動が停止します。
- ●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもシステムのオン／オフの設定は保持されます。

ハイビーム／ロービームの切り替え条件

以下のときにロービームが点灯します。

・周囲の明るさが十分にあり、運転状況がハイビームの点灯に適さないとき

ロービームが点灯すると、この表示灯が点灯します。

以下のときにハイビームが点灯します。

・周囲の明るさが十分になく、運転状況がハイビームの点灯に適したとき

ハイビームが点灯すると、この表示灯が点灯します。

作動を中断する

システム作動中でも、ライトスイッチレバーを手前に引くことでインテリジェントハイビーム機能を中断し、オートライトモードに切り替えることができます。インテリジェントハイビームに戻したいときは、再度ライトスイッチレバーを手前に引きます。

MEMO

- ●機能を中断または再度作動させると、状況により、ハイビームまたはロービームが点灯します。
- ●降雪、豪雨、濃霧などで視界が不十分なとき、またはリアフォグランプを点灯させたときは、自動的にインテリジェントハイビームの機能が一時中断されます。機能が一時中断されると、表示灯が消灯します。その後、システムがインテリジェントハイビーム機能の作動に適していると判断する、またはリアフォグランプを消灯すると、インテリジェントハイビーム機能が再度作動します。

機能をオフにする

インテリジェントハイビーム機能をオフにするには、タッチスクリーンで設定します。

MEMO

ライトスイッチレバーの操作ではインテリジェントハイビームをオフにできません。

システムの異常

AUTO インテリジェントハイビームまたはフロントウィンドウ上部に備えられたカメラに異常が発生した場合は、警告音とともに警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

●以下のようなときは、機能が正確に作動しないことがあります。
- 降雪、豪雨、濃霧などの悪環境のとき
- フロントウィンドウが汚れている、曇っている、ステッカーを貼っているなど、カメラ部分の視界が不十分なとき
- 看板や標識、ガードレールなどに反射した強い光が車両に当たっているとき

●カメラは以下のような対象物は検知しません。
- 歩行者のように光を発しないもの
- 高速道路の中央分離帯などで光を遮られている車両
- 急勾配な坂の頂上やふもと、曲がりくねった道、交差点などにおける周囲の車両

●フロントウィンドウのカメラ周辺に衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠警 告

●フロントウィンドウのカメラが故障したときはシステムを使用しないでください。正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。

●フロントウィンドウ上部のカメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。

●ルーフ上に積載した荷物などがカメラの視界を遮らないように注意してください。

●冬季に、ルーフやボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。

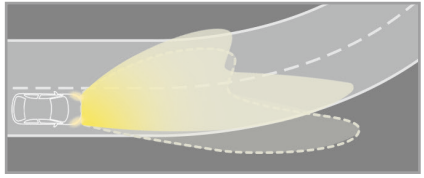
●フロントウィンドウに泥や雪などが付着するとカメラが正常に作動しません。常に汚れを落としてください。

●天候や乗車状況によってはフロントウィンドウのウィンドウガラスが曇ることがあります。ウィンドウガラスが曇るとカメラが正常に作動しません。エアコンの曇り取り機能を使用してウィンドウガラスの曇りを取り除いてください。

⚠警 告

●傷んだり汚れたフロントワイパーは視界を妨げ、カメラが正常に作動しません。常にワイパーブレードが良好な状態であることを確認してください。
●フロントウィンドウの交換が必要な場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。カメラの取り付け位置や向きなどを正しく調整しないとカメラが正常に作動しません。

●ダイナミックコーナリングライト*



ステアリングが一定の角度以上回っているとき、ヘッドライトがカーブの内側を照らします。ステアリングが一定の角度まで回っていないときは作動しません。この機能のオン／オフを切り替えるときはタッチスクリーンで設定します。

MEMO

仕様により、ダイナミックコーナリングライトのオン／オフができない場合があります。

●DS アクティブ LED ビジョン*

DS アクティブ LED ビジョンは、走行速度やワイパーの作動状況などに応じてLED ヘッドランプの照射範囲を自動的に変化させるシステムです。

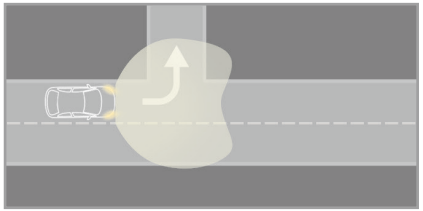
⚠警 告

DS アクティブ LED ビジョンは夜間の走行中の視界を補助する機能です。運転者の責任の下で、点灯状態、視界、道路状況などを把握し、他の車の妨げにならないよう、また法律で義務付けられた方法に従って、正しく使用してください。

4

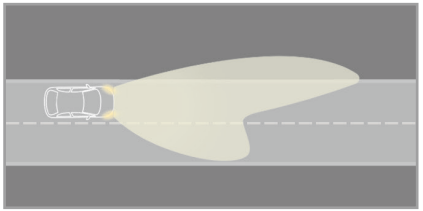
* 仕様により異なります。

市街地モード



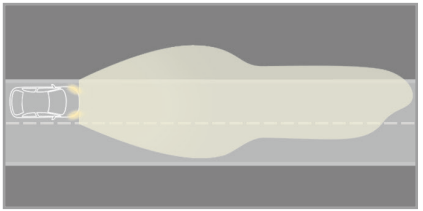
ヘッドランプの前方への照射範囲を適度に保ったまま、ヘッドランプモジュールを外側方向へ向け、照射範囲を横方向に拡大して照射します。夜間の交差点などでの視認性を高めます。照射距離は約230mです。
時速50km 以下で約3秒間走行すると作動します。

郊外モード



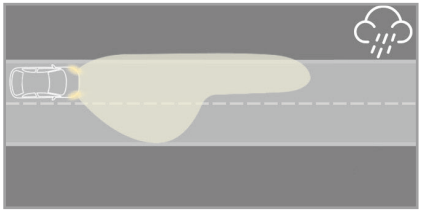
ヘッドランプの前方への照射範囲を広げて照射し、横方向への照射範囲は十分に保ったまま、ヘッドランプモジュールの配光を減光します。照射距離は約240mです。
時速50km 以上、時速110km 以下で約2秒間走行すると作動します。

ハイウェイモード



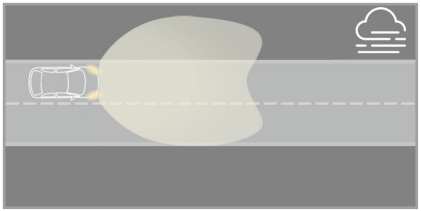
高速走行時にハイビームを点灯してより遠方の視認性を向上します。照射距離は約280mです。
時速110km 以上で約5秒間走行すると作動します。
時速90km 以下で約5秒間走行すると作動が停止します。

悪天候モード



ヘッドランプモジュールの配光を強めて横方向の照射範囲を広げ、走行車線の車線マーカーの視認性を高めます。また、ハイビームの照射範囲を制御して濡れた路面からの反射光を抑えて照射します。
照射距離は約220mです。
時速70km 以下で走行中、フロントワイパーを作動させてから約2分経過すると作動します。
時速70km 以上で走行すると、フロントワイパーが作動中でも郊外モードまたはハイウェイモードに切り替わります。

フォグモード



照射距離は約180mです。
時速70km 以下で走行中、リアフォグランプを点灯させると作動します。
時速70km 以上で走行すると、リアフォグランプが点灯中でも郊外モードまたはハイウェイモードに切り替わります。

機能をオンにする

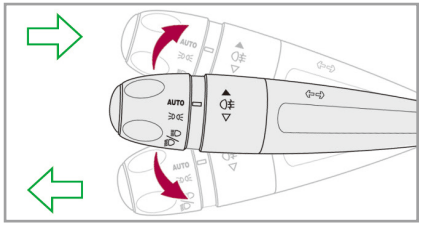
1. ライトスイッチレバーのリングを **AUTO** 位置に回します。
2. タッチスクリーンのアイコンにタッチします。
3. **車両設定**にタッチします。
4. **ヘッドライト**にタッチします。
5. **アダプティブライト**にタッチします。

機能をオフにする

DS アクティブ LED ビジョン機能をオフにするには、タッチスクリーンで設定します。

ライトスイッチレバーの操作では DS アクティブ LED ビジョンをオフにできません。

●方向指示器



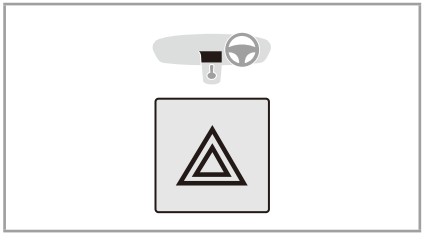
右方向に出す場合：ライトスイッチレバーを上に動かします。

左方向に出す場合：ライトスイッチレバーを下に動かします。

MEMO

- ●車線変更などのとき、ライトスイッチレバーを1回軽く動かして放すと、動かした方の方向指示器が3回点滅します。
- ●時速80km 以上で運転している際に方向指示器を20秒以上作動させた場合、作動音が序々に大きくなります。

●ハザードランプ



ENGINE START/STOP スイッチのポジションに関係なくスイッチを押すと作動します。
他車に緊急停車中であることを示します。

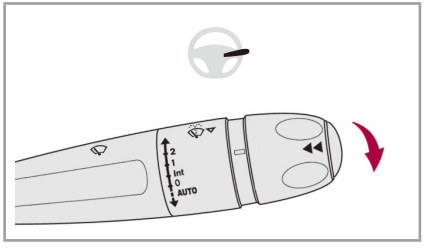
緊急制動表示灯
急ブレーキをかけると、減速度によってハザードランプが自動的に点滅を始めます。車が加速を始めると自動的に解除されますが、スイッチを押して解除することもできます。

MEMO

渋滞の最後尾についたときは、手動でハザードランプを点滅させて、他の運転者に警告してください。

ワイパー／ウォッシャー

●フロントワイパー



ワイパーレバーは以下のように5段階で作動します。

2　高速作動
1　通常作動
Int　間欠作動
0　停止
AUTO　自動作動

間欠作動は、車速に応じて休止時間が変化します。

注 意

●ウィンドウガラスが乾いているときは、ワイパーを使用しないでください。ウィンドウに傷を付けることがあります。
●外気温が高温のときや、低温で凍結のおそれがあるときは、ワイパーがウィンドウに貼り付いていないか確認してください。ワイパーを損傷するおそれがあります。

MEMO

●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにして1分以上経過すると、ワイパーレバーがどの位置にあっても、ワイパーはオフの状態になります。再度作動させるには、ワイパーレバーを操作してください。
●ウィンドウガラスやワイパーに雪が積もっているときや凍結しているときは、ワイパーを使用する前に取り除いてください。

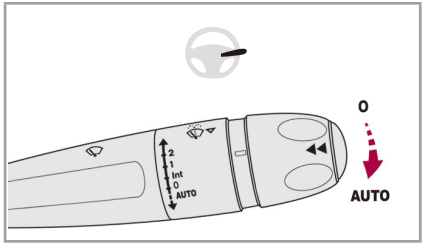
MEMO

●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにするとボンネットの収納位置にあるフロントワイパーがわずかに動作することがありますが、異常ではありません。
●ワイパーレバーが高速作動や通常作動のポジションにあるときでも、時速5km 以下で走行している場合はワイパーの休止時間が長くなります。時速10kmを超えると元の休止時間に戻って作動します。
●自走式の洗車機で洗車したあとにワイパーを作動させると、一時的に、いつもと異なる音が発生したり、拭払性能が低下したりすることがありますが、異常ではありません。ワイパーブレードの交換は必要ありません。

●オートワイパー

ワイパーを AUTO モードにしておくと、降る雨の量に応じて自動的にワイパーが作動します。

作動



AUTO レバーを押し下げると AUTO モードが作動します。インストルメントパネルの表示灯が点灯し、メッセージが表示されます。
システムに異常が発生すると、ワイパーレバーが AUTOの位置では間欠作動となります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

解除

レバーをもう一度押し下げるか、もしくは0以外のポジションに動かします。インストルメントパネルの表示灯が消灯し、メッセージが表示されます。

MEMO

ENGINE START/STOP スイッチをオフにして1分以上経過すると、**AUTO** モードは解除されます。**AUTO** モードを使用する場合は再度レバーを押し下げてください。

⚠注 意

洗車する際は、オートワイパー機能を解除し、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてください。水滴によってオートワイパーが突然作動して、ケガをしたり、車を損傷するおそれがあります。

注 意

- ●フロントウィンドウの雨滴／日射センサーを覆わないでください。
- ●フロントウィンドウが凍結しているときは、氷などが完全に溶けるまでオートワイパーの使用を控えてください。

●ウィンドウウォッシャー

レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液が噴射され、ワイパーが作動します。レバーを放すと数秒後にワイパーが停止します。
レバーを浅く手前に引くと、ウォッシャー液は噴射されずにワイパーが1回だけ作動します。

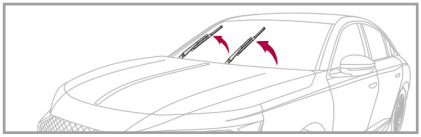
⚠警 告

外気温が低温で凍結のおそれがあるときは、フロントウィンドウが暖まるまでウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ウォッシャー液がウィンドウガラスに凍り付き、視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。

注 意

タンク内のウォッシャー液が不足して、ウォッシャー液が噴射されないときは、ウィンドウウォッシャーを使用しないでください。ワイパーを損傷するおそれがあります。

●ワイパーブレードの交換



ワイパーブレードの交換は、ワイパーをメンテナンスポジションにしてから行います。

1. ENGINE START/STOP スイッチをオフにしてから45秒以内にワイパーレバーを操作するとワイパーが中央に停止します。（メンテナンスポジション）
2. ワイパーブレードを交換するときはこの位置にしてください。
3. ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動してワイパーレバーを操作すると、ワイパーは元の位置に戻ります。

⚠警 告

傷んだり汚れたワイパーブレードは視界を妨げ、安全性を損ない思わぬ事故につながるおそれがあります。すべてのウィンドウで良好な視界が確保されるまでは走行しないでください。

MEMO

●ワイパーブレードを長持ちさせるには、次のことに気をつけてください。
- 丁寧に取り扱ってください。
- せっけん水で定期的に洗ってください。
- 紙や異物を挟まないでください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは早めに交換してください。

●ワイパーアームの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。
●ウィンドウガラスに撥水コーティング剤を使用する場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。

間接式タイヤ空気圧警告

走行中にESCシステムが検知しているタイヤの回転に関する情報をもとにして、タイヤの空気圧に変化があった場合に、警告をする機能です。

警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯が点灯し、メッセージが表示された場合はすみやかに停止し、タイヤの空気圧を確認して必要な処置をしてください。

間接式タイヤ空気圧警告システムは、タイヤ空気圧を適正空気圧に調整し、システムの初期化がされているときに正常に作動します。

MEMO

- ●低速で走行しているときは、タイヤ空気圧の変化の感知が効果的に行われない場合があります。
- ●次のような場合は、警告が遅く作動する場合があります。
  - • タイヤの空気圧が急激に低下したとき
  - • 時速40km以下で走行しているとき
  - • 急なハンドル操作や加減速が繰り返される走行をしているとき
- ●警告はシステムの初期化が行われるまで続きます。

●間接式タイヤ空気圧警告システムの初期化

タイヤの空気圧を調整したり、ホイールを変更したりした場合は、必ず間接式タイヤ空気圧警告機能を初期化してください。

1. タッチスクリーンのアイコンにタッチします。
2. **ドライビング機能**にタッチします。
3. **タイヤ空気圧警告　初期化**にタッチします。
4. **Yes**にタッチします。

MEMO

スノーチェーンの脱着については、その都度初期化する必要はありません。

⚠注 意

●初期化を行う前に、すべてのタイヤの空気圧が適正であることを確認してください。
●間接式タイヤ空気圧警告機能は、初期化時の空気圧が適正であるかどうかを検知することはできません。

●システムの異常

間接式タイヤ空気圧警告システムに異常が発生した場合は、警告音とともに間接式タイヤ空気圧警告灯および SERVICE 警告灯が点灯し、メッセージが表示されます。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

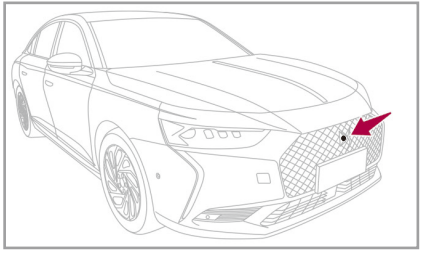
●間接式タイヤ空気圧警告システムを過信しないでください。システムはどのような状況下でも空気圧の低下を検知し警告できるシステムではありません。
●タイヤの空気圧が不足したままで走行すると、車両の安定性を損なったり、制動距離が長くなったりします。また、タイヤの早期劣化、偏摩耗、燃費の悪化につながります。

MEMO

●タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月一回の割合でチェックしてください。空気圧の調整をする場合は、タイヤが冷えている状態で行ってください。空気圧の調整は、走行後1時間以上経過してから、または10km 以内の走行後であれば可能です。タイヤが温まった状態で空気圧を調整すると、タイヤが冷えたときに空気圧が低下し、警告が作動することがあります。
●スペースセーバータイヤを装着すると、タイヤ空気圧の変化の感知が停止されることがあります。この場合、間接式タイヤ空気圧警告灯が点灯します。適正空気圧に調整された正しい仕様のタイヤを装着し、システムの初期化がされると、警告灯が消灯し、システムが作動を再開します。

* 仕様により異なります。

DS ナイトビジョン *



DS ナイトビジョンは、フロントグリルの赤外線カメラで夜間に見えにくい前方の歩行者や動物を検知し、映像化してインストルメントパネルに表示することで運転者に注意を促すシステムです。

●動作条件

DS ナイトビジョンは以下のすべての条件を満たしているときに作動します。

・エンジンが始動している状態のとき
・周囲が暗いとき
・ヘッドランプが点灯しているとき
・外気温が -30℃以上、＋28℃以下のとき
・時速160km 以下で走行しているとき

⚠警 告

●DS ナイトビジョンは、夜間の走行中に見えにくい前方の歩行者や動物の認知を補助する機能です。この機能には限界があります。システムを過信せず、前方に注意し安全運転に努めて走行してください。安全の確保は運転者の義務です。
●周囲の状況によっては、フロントグリルの赤外線カメラが前方の歩行者や動物を検知するタイミングが遅れたり、注意喚起を行わない場合や、駐車してある他の車両のエンジンなどを検知し、誤った注意喚起を行う場合があります。
●体高が50cm 以下の動物は検知しません。
●DS ナイトビジョンの画面だけを見ながら運転操作をしないでください。必ず目視で確認してください。
●運転中に DS ナイトビジョンの画面を見続けないでください。前方の歩行者や動物を見落とすおそれがあります。

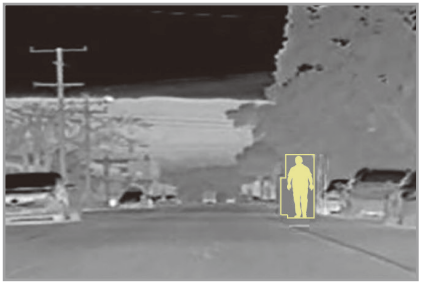
⚠警 告

●注意喚起枠が表示された場合は、前方に歩行者や動物がいるおそれがあります。周囲の安全を十分に確認して走行してください。
●以下のようなときは、システムが正常に作動しないことがあります。
- 視界が悪いとき（雪、雨、霧など）
- フロントグリルの赤外線カメラに泥や雪、汚れなどが付着しているとき
- フロントグリルの赤外線カメラのレンズに傷が付いたとき
- 外気温が高温のとき
- 急勾配な坂の頂上やふもとを走行しているとき
- 曲がりくねった道や角度のきついカーブを走行しているとき
- 車体に衝撃を受け、カメラの設置位置がずれたり、故障したとき
- 当社指定サービス工場以外でフロントグリルの塗装や塗装面の修復を行ったとき

MEMO

●DS ナイトビジョンは、ストップ＆スタートの停止モードのときも作動します。
●DS ナイトビジョンは、車両前方約15m ～ 200mの間にいる歩行者や動物を検知します。検知距離は、周囲の状況により変化します。

●インストルメントパネルの表示



システムが歩行者や動物を検知すると、黄色の注意喚起枠とともにインストルメントパネルに表示されます。
検知された歩行者や動物は、温度が高いほど明るく表示されます。

システムが歩行者や動物と衝突する危険を検知すると、赤外線カメラの映像に危険を表すシンボルが表示され、注意喚起枠が赤色に変化します。

MEMO

インストルメントパネルの表示モードを**ナイトビジョン**に設定すると、赤外線カメラの映像はインストルメントパネルに常に表示されます。
表示モードが**ナイトビジョン**に設定されていない場合は、システムが歩行者や動物と衝突する危険を検知したときに、危険を表すシンボルや注意喚起枠とともに、赤外線カメラの映像を一時的にインストルメントパネルに表示します。

●システムの作動と解除

DS ナイトビジョンの作動と解除は、タッチスクリーンで設定します。

タッチスクリーンでシステムを作動させても、周囲が明るいときやヘッドランプが点灯していないときは、インストルメントパネルの表示灯が灰色に点灯し、インストルメントパネルの表示モードをナイトビジョンに設定することはできません。赤外線カメラの映像をインストルメントパネルに表示させる機能や、歩行者や動物などを検知して運転者に注意喚起する機能は作動していません。

全ての動作条件が満たされているときは、表示灯が緑色に点灯します。インストルメントパネルの表示モードを**ナイトビジョン**に設定すると、赤外線カメラの映像をインストルメントパネルに表示させることができます。歩行者や動物などを検知して、運転者に注意喚起する機能が作動しています。

走行速度か外気温のどちらか、またはその両方が動作条件を満たさない場合は、表示灯が橙色に点灯します。インストルメントパネルの表示モードを**ナイトビジョン**に設定すると、赤外線カメラの映像をインストルメントパネルに表示させることができますが、歩行者や動物などを検知して運転者に注意喚起する機能は作動していません。

●システムの異常

表示灯が橙色に点灯するとともにメッセージが表示されたときは、システムに異常があります。当社指定サービス工場で点検を受けてください。

⚠警 告

- ●フロントバンパーやフロントグリルに衝撃を受けたら、必ず当社指定サービス工場で点検を受けてください。赤外線カメラが正常に作動せず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ●フロントグリルの赤外線カメラ付近をステッカーなどで覆ったり、物を置いてカメラの視界を遮らないでください。システムの妨げとなり、正常に機能しません。
- ●冬季に、ボンネットに雪が積もっているときは取り除いてください。
- ●フロントグリルの赤外線カメラに泥や雪などが付着すると正常に作動しません。常に汚れを落としてください。
- ●フロントグリルの塗装や塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。塗料の種類によっては赤外線カメラが正常に作動しなくなることがあります。

* 仕様により異なります。

注 意

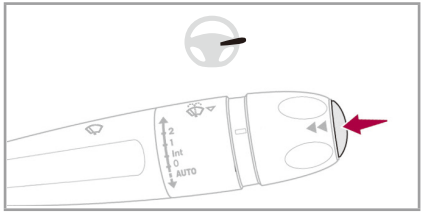
洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上赤外線カメラから離してご使用ください。

MEMO

フロントグリルの赤外線カメラには汚れを落とすためのウォッシャーが装備されています。ウィンドウウォッシャーを5回作動させるごとに1回、ウォッシャー液がフロントグリルの赤外線カメラに噴射されます。*

ドライブコンピューター

●コントロールスイッチ



ドライブコンピューターは、ワイパーレバー先端のスイッチを押すことにより、**トリップコンピューター、トリップ1、トリップ2**を切り替えて表示します。

MEMO

インストルメントパネルの表示モードが**パーソナル**で、**トリップコンピューター**を設定している場合は、ドライブコンピューターが常にインストルパネルに表示されます。

●トリップコンピューター

トリップコンピューターは、以下の情報を表示します。

・走行可能距離
・瞬間燃料消費量
・エンジン停止時間

●トリップ1 ／トリップ2

トリップ1 ／トリップ2は、以下の情報を表示します。

・平均速度
・平均燃料消費量
・走行距離

例えば、トリップ1を月間の走行の平均に、トリップ2を旅行用に、と使い分けます。

●走行可能距離

タンク内に残っている燃料で、あとどのくらい走行できるかを表示します。

過去数キロに消費された燃料の情報をもとに、今後も同じ割合で燃料が消費されるものと想定して表示します。
走行可能距離が30km 以下になると、距離の表示はされません。
燃料の補給後は、数値が100km 以上になると再度表示されます。

MEMO

走行中に数値の代わりに－が連続して表示されるときは、当社指定サービス工場にご連絡ください。

●瞬間燃料消費量

過去数秒間の燃料消費量を表示します。ただし、車の速度が時速30km 以上のときのみ作動し、表示します。

●エンジン停止時間

ストップ&スタートによってエンジンが停止した時間を表示します。エンジンを始動する度にゼロにリセットされます。

●平均速度

コンピューターをリセットしてから現在までの平均速度を表示します。

●平均燃料消費量

コンピューターをリセットしてから現在までの平均燃料消費量を表示します。

MEMO

ご購入いただいてから最初の3,000kmは、カタログなどの数値より燃料消費量が大きくなることがあります。

●走行距離

コンピューターをリセットしてから現在までの走行距離を表示します。

●リセット

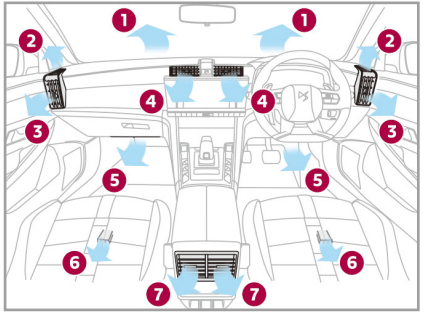
トリップ1 ／トリップ2をリセットするときは、ワイパーレバー先端のスイッチを2秒以上押し続けます。リセットは各トリップごとに行うことができます。リセット後しばらくはデータ不足のために正確な値が表示されないことがあります。

数字の代わりに水平なセグメントだけが表示されるときは、当社指定サービス工場にご連絡ください。

第5章　室内装置の使いかた

エアコンディショナー…… 5-2
タッチスクリーン…… 5-11
DSセンソリアルドライブ …… 5-23
ルームランプ…… 5-26
インテリア…… 5-28
トランクルーム…… 5-36

エアコンディショナー



①：フロントウィンドウ吹き出し口
②：サイドウィンドウ吹き出し口
③：ダッシュボード左右吹き出し口
④：ダッシュボード中央吹き出し口
⑤：ダッシュボード足元吹き出し口
⑥：後席用足元吹き出し口
⑦：後席用吹き出し口

ダッシュボード中央、左右の吹き出し口、および後席用吹き出し口にはルーバーやシャッターが付いています。これを使用すると、風向や風量の調整、他の吹き出し口へより多くの風を送るなどができます。

⚠注 意

ストップ&スタートによってエンジンが停止しているときは、暖房や冷房も止まります。必要に応じてストップ&スタートを解除してください。

MEMO

- ●室内の空気の入れ替えが十分に行えるように、装置を適切にコントロールしてください。
  - ・室内と設定温度に差があっても、設定温度は変更する必要はありません。自動制御により、できるだけ早く温度差を解消します。
  - ・外気温度が高温のとき、エンジンの負荷を軽減するために一時的にエアコンを停止することをお勧めします。
- ●冬季のエアコンから吹き出す風量は、エンジンが温まる前の冷たいときは少なく、温度が上昇するのに合わせて多くなります。

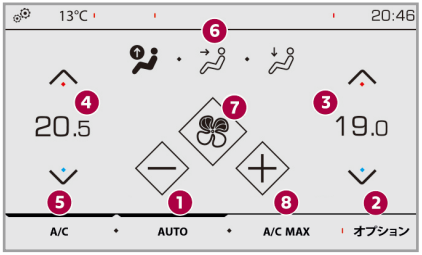
MEMO

- ●空気の流れをスムーズにするために、次のことに注意してください。
  - ・ボンネット内の外気取り入れ口がふさがれていないか。
  - ・前席下のエアダクトや吹き出し口がふさがれていないか。
  - ・トランクルーム内の空気排出口がふさがれていないか。
- ●ダッシュボードには日射センサーがあります。この上に物を置いたり、布を被せるなどしないでください。エアコンが正しく作動しない場合があります。
- ●エアコンを長期間、快適に使用するためにも、1ヶ月に1度は5分から10分間の使用を推奨しています。
- ●長時間、高温の場所に停車すると、室内の温度は非常に高くなります。吹き出し風量を最大にして数分間、換気を行ってください。
- ●室内フィルターは定期的に交換してください。2層構造の室内フィルターは、アレルギー物質や悪臭、油汚れの除去に効果を発揮し、室内の空気をよりきれいにします。

MEMO

●エアコンを正しくお使いいただくため、定期的に点検することを推奨しています。
●湿度が高いときなど、エアコンを使用していると車体の下から無色の水が流れ出ることがあります。これは空気中の水分が凝結したもので、異常ではありません。
●エアコンを使用していても冷気が出ないときは、使用を中止して当社指定サービス工場にご連絡ください。

●左右独立式オートエアコン



運転席と助手席とで、別々に温度の設定ができます。
オートモードでは、ディスプレイに表示されているそれぞれの数値になるまで、エアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口が選択されます。

⚠警 告

寒冷時や雨天時には、ウィンドウの曇りを防ぐためにオートモードを選択してください。

MEMO

仕様によりエアコン関連の機能や操作方法、表示、デザインなどが異なる場合があります。

エアコン設定の表示

エアコンの設定は、タッチスクリーンで行います。

アイコンにタッチしてエアコン設定画面を表示させてください。

MEMO

タッチスクリーン画面上部のエアコン表示にタッチすると、エアコンの設定画面にアクセスできます。この画面では、温度の設定、風量の調整などができます。

オートモード

MEMO

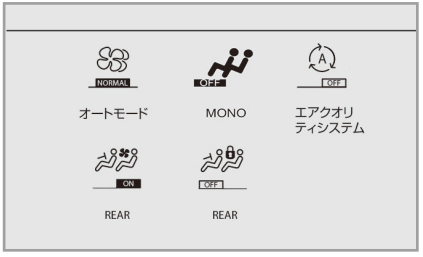
- ●オートモードでは、エアコンが適切に制御できるよう、各吹き出し口を開いた状態にしてください。
- ●ウィンドウが開いていると設定した温度を保てないことがあります。
- ●**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもエアコンの設定は保持されます。

①：オートモードの設定

AUTO　アイコンにタッチすると、インジケーターが点灯しオートモードになります。

②：オプション

オプション　アイコンにタッチするとオートモードの作動モードを変更できます。



オートモード　室内の送風量を制限し、静かで穏やかに作動します。

オートモード　室内の温度を最適に保ちながら、エアコンの作動音を抑えて作動します。

オートモード　室内の送風量制御を効果的に最大限活かして作動します。

5

助手席側の温度設定を運転席側の設定に合わせます。助手席側で温度設定が操作された場合には、この機能は自動的にオフになります。

センサーが車外の空気の質を検知し、内気モード／外気モードを自動で切り替えます。
このシステムは、ウィンドウウォッシャーを作動させたときや、シフトポジションを**R**にしたときは、自動的に内気モードに切り替えます。
外気温が5℃以下のときには作動しません。

アイコンにタッチして**ON**にすると、リアブロアが作動します。停止するには、再度アイコンにタッチして**OFF**にします。

アイコンにタッチして**ON**にすると、後席用吹き出し口のコントロールパネルからエアコンの操作ができなくなります。
再度アイコンにタッチして**OFF**にすると、後席用吹き出し口のコントロールパネルからエアコンの操作が可能になります。

③・④：温度の設定
③：運転席側
④：助手席側

ディスプレイの表示を希望の数値に合わせます。
∧にタッチすると温度が上がり、∨にタッチすると温度が下がります。この値は室内温度ではなく、快適さのレベルを表しています。
21に設定しておくと、快適な室内となりますが、お好みにより**14**～**28**の間を設定してください。

MEMO

左右の温度設定の差が**3**以上にならないように設定してください。

マニュアルモード
オートモードで設定された条件は個々に変更できます。
変更した条件を元に戻すときは、**AUTO**にタッチするとオートモードになります。

MEMO

温度を最高に設定したいときは、ディスプレイに**HI**が表示されるまで∧にタッチし、最低に設定したいときは、**LO**が表示されるまで∨にタッチします。

⑤：エアコンのオン／オフ

A/C　アイコンにタッチするとエアコン（冷房・除湿機能）は停止します。エアコンを作動させるには、再度アイコンにタッチします。インジケーターが点灯してエアコンが作動します。

⑥：吹き出し口の切り替え

アイコンにタッチして吹き出し口を選択します。

フロントウィンドウとサイドウィンドウ

ダッシュボード中央と左右

足元

⑦：風量の調整

アイコンにタッチすると風量が増減します。

＋

－

MEMO

ディスプレイのファンの羽根が消えるとエアコンが停止します。室温の調整は行われませんが走行により微量の風が吹き出し口から出ます。
再度アイコンにタッチすると、停止時の設定でエアコンが作動します。

⚠注 意

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

⑧：急速冷房

A/C MAX　室温を急速に冷やしたいときに使用します。

アイコンにタッチするとエアコンの設定温度が一番低くなり、ダッシュボード中央と左右吹き出し口の風量が最大になります。また、内気モードに切り替わります。
再度アイコンにタッチすると、元の設定に戻ります。

⑨：エアコンの全機能のオフ

OFF　アイコンにタッチするとインジケーターが赤く点灯し、エアコンの全機能が停止します。

再度アイコンにタッチすると、停止時の設定でエアコンが作動します。

⚠注 意

エアコンを停止させると、空気の循環が全く行われません。ウィンドウが曇るので、一時的な停止にとどめてください。

⑩：内／外気の切り替え

外気が車内に入るのを防ぎます。外のいやな臭いの遮断や急速に冷暖房するときに使用します。

アイコンにタッチする度に内気モード／外気モードが切り替わります。インジケーターが赤く点灯しているときは内気モードになっています。

内気モードでの長時間の使用は避けてください。換気が行われず、ウィンドウが曇ることがあります。

⚠警 告

内気循環モードは、必要以外は使用しないでください。ウィンドウが曇るだけでなく、車内の空気が新鮮でなくなり、運転者の集中力が低下したり疲れやすくなるため、事故やケガにつながるおそれがあります。

MEMO

ウィンドウウォッシャーを作動する、またはシフトポジションを**R**にすると自動的に内気モードに切り替わります。

●視界の確保

天候や乗車状況によっては、オートモードを選択していてもウィンドウガラスが曇ることがあります。フロント／リアそれぞれの視界確保モードを作動させて曇りを取ってください。

⚠警 告

すべてのウィンドウの視界が保たれないと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロントウィンドウ

アイコンにタッチするとインジケーターが赤く点灯し、システムは自動的に曇りを取り除くようにエアコンのオン／オフ、内気／外気の切り替えや風量、吹き出し口を選択してコントロールします。
このモードを解除するときは再度アイコンにタッチするか、**AUTO**にタッチします。

⚠警 告

冬季にフロントウィンドウのカメラ周辺に雪が積もったり凍結したりするとカメラが正常に作動しません。フロントウィンドウの視界確保モードを作動させて、走行前に雪や氷を取り除いてください。

- ●このモードを使用しているときは、ストップ&スタートの停止モードは使用できません。
- ●フロントウィンドウの視界確保モードを作動させている間もエアコンの風量を調整することができます。エアコンの風量を調整してもフロントウィンドウの視界確保モードは解除されません。

リアウィンドウ

エンジンが始動している状態のときにアイコンにタッチするとインジケーターが赤く点灯し、リアウィンドウやドアミラーの曇りを取ります。スイッチは自動的に切れます。
このモードを解除するときは再度アイコンにタッチします。

●リアブロア

リアブロアを ONにする

リアブロアを **ON**にすると、後席用吹き出し口からの送風が開始されます。
リアブロアを **ON**にするには、以下の操作を行います。

1. **オプション**にタッチします。
2. にタッチします。

リアブロアを **OFF**にするには、再度アイコンにタッチします。

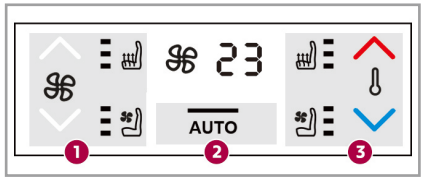
後席用吹き出し口エアコンコントロールパネル

リアブロアが **ON**のときは、後席用吹き出し口のコントロールパネルからエアコンの設定が可能になります。

後席用吹き出し口のコントロールパネルを使用してエアコンの設定をするには、以下の操作を行います。

1. **オプション**にタッチします。
2. にタッチして **OFF**にします。

後席用吹き出し口エアコンコントロールパネルを使用してエアコンの設定をできなくするには、再度アイコンにタッチして **ON**にします。



①：風量調整
∧または∨にタッチして風量を調整します。風量は中央の画面に表示されます。
風量を調整するとマニュアルモードになります。再度オートモードにするには、**AUTO**にタッチします。

②：オートモード
アイコンにタッチするとインジケーターが点灯し、オートモードになります。

③：温度設定
∧または∨にタッチして温度を設定します。温度は中央の画面に表示されます。

MEMO

後席用吹き出し口エアコンコントロールパネルでエアコンの設定をすると、タッチスクリーンのエアコン画面の各設定に変更が反映されます。

●換気モード

ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにしてから数分間、エンジンが停止していてもエアコン設定画面で風量と吹き出し口の切り替えを操作することができます。

MEMO

- ●換気モードは、12V バッテリーの電力が十分なときに作動します。
- ●換気モードでは、エアコン（冷房・除湿機能）や暖房機能は作動しません。

タッチスクリーン

コンソールのタッチスクリーンから、車の設定やオーディオシステムの操作など、以下のような操作や表示が行えます。

・エアコンの操作
・車の機能の設定
・オーディオの設定
・タッチスクリーンの設定
・ハンズフリー通話の設定
・フロント／サイド／バックソナーなどの駐車支援システムの表示
・外気温度計
・カーナビゲーション

⚠警 告

安全上の理由から、各種設定などの複雑な操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

MEMO

●本書に記載したタッチスクリーン関連の機能や操作方法、表示、デザインなどは、本書の編集時点のものです。タッチスクリーンのシステムのバージョンアップやナビゲーションの接続によってこれらが変わることがありますので、ご了承ください。
●外気温度計に青色の警告灯が表示された場合は、路面が凍結している可能性があることをお知らせしています。

●タッチスクリーンの基本操作

タッチスクリーンを操作する際は、一本の指でやや強めにタッチおよびフリック（タッチした状態での指の移動）を行ってください。

MEMO

スクリーンを拭く際は、市販の不織布（メガネ拭きなど）をご使用いただけます。

●ページの移動

← 前のページに戻ります。

MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

●設定の変更

OK 設定項目の変更後、変更画面にある **OK** にタッチして設定を有効にします。

●詳細設定

さらに詳細な設定項目がある場合には、アイコンにタッチします。

●メニュー

アイコンにタッチするとそれぞれ以下のような設定が行えます。

DS センソリアルドライブの設定画面を表示します。*

エアコンの設定画面を表示します。

オーディオやラジオの再生・設定画面を表示します。

ナビゲーションを表示します。

車の機能の設定を表示します。

DS センソリアルドライブの設定画面 *、画像ファイルの表示など、その他の設定画面を表示します。

ハンズフリー通話の通話・設定画面を表示します。
Apple CarPlay や Android Auto の画面を表示します。(使用中のみ)

スイッチを押すとミュート(消音／停止)になります。
ENGINE START/STOP スイッチがオフの状態では、スイッチを押すとタッチスクリーンの画面が点灯します。

ダイヤルを回して音量を調節できます。

タッチスクリーンの画面上部のアイコンにタッチすると、タッチスクリーンの設定画面を表示します。

* 仕様により異なります。

MEMO

- ●タッチスクリーンに指3本でタッチすると、メニューが表示されます。
- ●一部の画面は指で左右にスワイプ（タッチした状態で指を滑らせる）することで画面を切り替えることができます。
- ●オーディオ、ハンズフリー通話、Apple CarPlay や Android Auto に関しては、付録を参照してください。
- ●ナビゲーションに関しては、ナビゲーションの取扱説明書を参照してください。

●日付と時刻の設定

時刻の設定

1. にタッチします。
2. にタッチします。
3. にタッチします。
4. **時間**にタッチします。
5. 時間にタッチしてタッチスクリーンで数値を入力します。
6. **OK**にタッチします。

日付の設定

1. にタッチします。
2. にタッチします。
3. にタッチします。
4. **日付**にタッチします。
5. 日付にタッチし、画面をスクロールして、日付を設定します。

5

●設定項目一覧

MEMO

仕様により設定項目の表示内容や表示ページが異なる場合があります。

アイコン			設定項目	追加設定項目
	ドライビング機能	ナイトビジョン *	アイコンにタッチすると、DS ナイトビジョンがオン／オフします。	-
		パークアシスト *	DS パークパイロットを開始します。	-
		インテリジェントハイビーム	アイコンにタッチすると、インテリジェントハイビームがオン／オフします。	-
		ストップ & スタート *	アイコンにタッチすると、ストップ & スタートがオン／オフします。	-
		パノラマビュー *	アイコンにタッチすると、360°ビジョンが作動します。	-

* 仕様により異なります。

アイコン			設定項目	追加設定項目
	ドライビング機能	パーキングセンサー	アイコンにタッチすると、フロント／サイド／バックソナーがオン／オフします。	-
		ブラインドスポットモニター	アイコンにタッチすると、ブラインドスポットモニターがオン／オフします。	-
		タイヤ空気圧警告　初期化	間接式タイヤ空気圧警告の初期化を行います。	-
		トラクションコントロール	アイコンにタッチすると、ASR システムがオン／オフします。	-
		チェック *	エンジン油量インジケーター *、サービスインジケーター、タイヤ空気圧警告 * や不具合の発生状況などを呼び出します。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	パーキング	電格ミラー（解除）	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 OFFにすると、解錠／施錠時にドアミラーが展開／格納します。	-
			リバース連動ドアミラー *	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 リバース時にドアミラーが下向きになります。	-

* 仕様により異なります。

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	ヘッドライト	フォローミーホームライト	アイコンにタッチすると、フォローミーホームがオン／オフします。	点灯時間を設定することができます。
			ウェルカムライト	アイコンにタッチすると、ウェルカムランプがオン／オフします。リモコンによって解錠したときに一定時間ライトが点灯します。	点灯時間を設定することができます。
			ディレクショナルヘッドライト *	アイコンにタッチすると、ダイナミックコーナリングライトがオン／オフします。	-
			アダプティブライト *	アイコンにタッチすると、DS アクティブ LED ビジョンがオン／オフします。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	コンフォート	**アンビエンスライト ***	アイコンにタッチすると、アンビエンスイルミネーションがオン／オフします。	カラーと明るさを調整することができます。
			開錠：運転席側ドアのみ	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 選択解錠モードになります。	-
			ドライバーウェルカム *	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 運転席への乗り降りがしやすくなるように、自動的に運転席が前後に移動します。	-
			トランクのみ開錠 *	アイコンにタッチすると、オン／オフします。 トランクだけを解錠することができます。	-
			ハンズフリー電動テールゲート *	アイコンにタッチすると、ハンズフリーエレクトリックトランクリッドのハンズフリー機能がオン／オフします。	-
			電動テールゲート *	アイコンにタッチすると、ハンズフリーエレクトリックトランクリッドの自動開閉の機能がオン／オフします。	-

* 仕様により異なります。

アイコン				設定項目	追加設定項目
	車両設定	セーフティー	アクティブセーフティブレーキ	アイコンにタッチすると、アクティブセーフティブレーキがオン／オフします。	車間距離を設定することができます。
			制限速度の表示／推奨速度	アイコンにタッチすると、速度規制標識の認識機能がオン／オフします。	-
			トラフィックサインインフォメーション	アイコンにタッチすると、道路標識の認識機能がオン／オフします。	-
			疲労検知システム	アイコンにタッチすると、ドライバーアテンションアラート／ DS ドライバーアテンションモニタリング *がオン／オフします。	-
			ハンズフリーアクセス	アイコンにタッチすると、プロキシミティキーレスエントリー機能の自動施錠／解錠機能がオン／オフします。	-

アイコン				設定項目	追加設定項目
				タッチスクリーンの画面が消灯します。	-
				インストルメントパネル、タッチスクリーン、アナログ時計 *の画面の明るさを調整します。	-
				タッチスクリーンのプロファイルを設定します。	-
			単位	温度の単位や燃費表示の単位を設定します。	-
			初期設定	タッチスクリーンの初期化を行います。	-
			システム情報	タッチスクリーンのシステム情報を参照します。	-

* 仕様により異なります。

アイコン				設定項目	追加設定項目
			プライバシー	スマートフォンアプリとのGPS（車両の位置情報）やその他の車両情報の共有を制限する機能です。 **会社の車両以外はデータ共有ができません（データおよび車両位置情報をシェアしない）**：GPSと車両情報の共有を制限します。Apple CarPlayやAndroid Autoの接続が無効になります。スマートフォンアプリとの情報共有ができなくなります。 **データのみシェア**：GPSの共有を制限します。車両情報の共有を許可します。Apple CarPlay やAndroid Auto の接続が無効になります。スマートフォンアプリとの情報共有ができるようになります。 **データ及び車両位置情報をシェア**：GPSと車両情報の共有を許可します。Apple CarPlayやAndroid Autoの接続が有効になります。スマートフォンアプリとの情報共有ができるようになります。	-

アイコン			設定項目	追加設定項目
		明るさ	インストルメントパネル、タッチスクリーン、アナログ時計 *の画面の明るさを調整します。	-
		アニメーション	画面のアクションなどを設定します。	-
			インストルメントパネルとタッチスクリーンの画面の色を変更します。*	-
			インストルメントパネルの表示モードが**パーソナル**に設定された場合に表示される項目を選択します。	-
			言語を設定します。	-
			日時を設定します。	-
			表内の**プライバシー**の項目を参照してください。	-

* 仕様により異なります。

DS センソリアルドライブ *

DS センソリアルドライブは、タッチスクリーンの操作で室内アンビエンスを設定する機能です。**My Cashmere**または**My Titanium**として2種類の設定を記憶し、呼び出すことができます。
以下の室内アンビエンスの設定ができます。

ライト：アンビエンスイルミネーションの照度を設定します。

アンビエンス：オーディオのトーンの設定をします。

ドライバー * ／**同乗者 ***：マルチポイントランバーサポートの設定をします。

ダイナミック *：ドライブモードを選択します。

MEMO

仕様により DS センソリアルドライブの画面の表示項目や設定のしかたが異なる場合があります。

●DS センソリアルドライブの設定

1. このアイコンにタッチします。

   または、このアイコンにタッチし、**DS Sensorial Drive**にタッチします。

2. **(My) Cashmere**、または**(My) Titanium**にタッチして DS センソリアルドライブをオンにします。
3. **設定**にタッチします。
4. **ライト**、**アンビエンス**、**ドライバー ***、**同乗者 ***、**ダイナミック ***から設定したい項目にタッチします。
5. 設定が完了したら、←にタッチして前のページに戻ります。
6. すべての項目の設定が完了したら、**設定を保存する**にタッチします。
7. **Yes**にタッチします。

MEMO

一部の室内アンビエンスの設定は、DS センソリアルドライブの設定画面以外からも変更することができます。その場合、変更した室内アンビエンスの設定は DS センソリアルドライブの設定として記憶されません。

●DS センソリアルドライブの作動

1. このアイコンにタッチします。

   または、このアイコンにタッチし、**DS Sensorial Drive**にタッチします。

2. **(My) Cashmere**、または**(My) Titanium**にタッチして DS センソリアルドライブをオンにします。設定の変更を保存するメッセージが表示されたら、保存する場合は**Yes**、保存しない場合は**No**にタッチします。

MEMO

DS センソリアルドライブを作動させると、インストルメントパネルとタッチスクリーンの色が変化します。

●DS センソリアルドライブの解除

1. このアイコンにタッチします。

    または、このアイコンにタッチし、**DS Sensorial Drive**にタッチします。

2. **アンビアンス解除**にタッチします。設定の変更を保存するメッセージが表示されたら、保存する場合は**Yes**、保存しない場合は**No**にタッチします。

MEMO

DS センソリアルドライブを解除すると、インストルメントパネルとタッチスクリーンの色が元に戻ります。

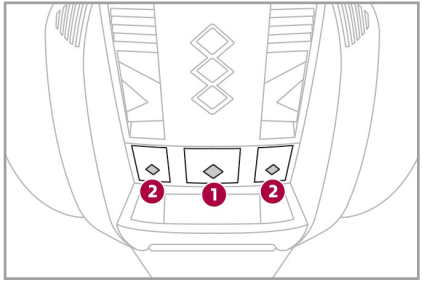
●DS センソリアルドライブの初期化

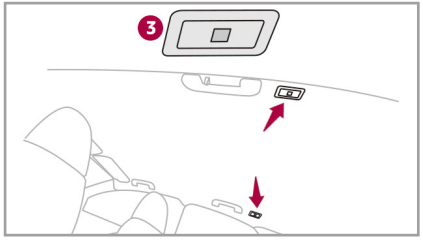
1. このアイコンにタッチします。

   または、このアイコンにタッチし、**DS Sensorial Drive**にタッチします。

2. **My Cashmere**、または**My Titanium**にタッチします。
3. **設定**にタッチします。
4. **アンビアンスをリセットします**にタッチします。
5. **Yes**にタッチします。

ルームランプ





①：フロントルームランプ
②：フロントマップランプ
③：リアマップランプ

●フロントルームランプ

フロントルームランプ①は、次の状況で点灯します。

・ドアのロックを解除したとき
・ENGINE START/STOP スイッチをオフにしたとき
・ドアが開いたとき
・車外からスマートキーが操作されたとき
・フロントルームランプにタッチしたとき

また、次の状況では消灯します。

・ドアをロックしたとき
・ENGINE START/STOP スイッチをオフにして30秒後
・ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにしたとき
・エンジンを始動したとき
・最後のドアが閉まって30秒後
・エンジンが始動している状態のときは、ドアを閉じたとき
・フロントルームランプにタッチしたとき

MEMO

フロントルームランプに長くタッチしてオフにすると、消灯したままになります。

＊仕様により異なります。

●フロントマップランプ／リアマップランプ

フロントルームランプに連動して点灯／消灯します。また、ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、フロントマップランプ②／リアマップランプ③にタッチすると点灯／消灯します。

注 意

ルームランプ／マップランプに何も物が触れないようにしてください。

●アンビエンスイルミネーション *

アンビエンスイルミネーションは、ポジションランプを点灯すると点灯します。

MEMO

- ●アンビエンスイルミネーションのオン／オフ、カラーおよび照度調整はタッチスクリーンで行います。
- ●タッチスクリーンの DS センソリアルドライブ機能を使用してもアンビエンスイルミネーションの調整ができます。

●トランクルームランプ

トランクの開閉に合わせて点灯／消灯します。

点灯時間は、次の状況で変わります。

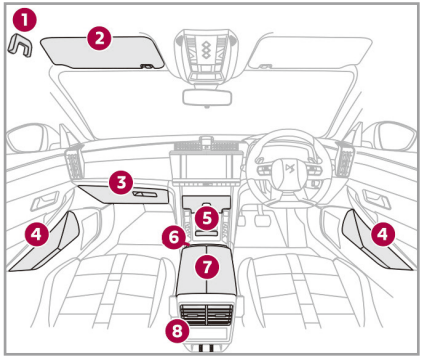
- ・ENGINE START/STOP スイッチをオフにして約10分間
- ・エコノミーモードで約30秒間
- ・エンジンを始動すると無制限

注 意

トランクルームランプに荷物が触れないようにしてください。

インテリア

●各部の名称

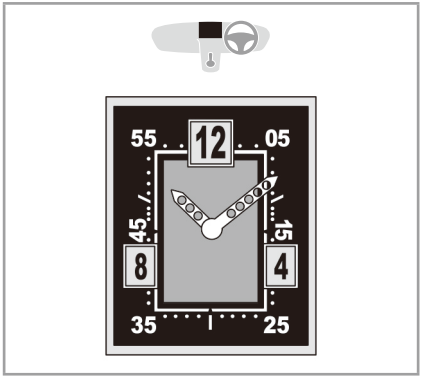


①：グリップハンドル
②：サンバイザー
③：グローブボックス
④：ドアポケット
⑤：小物入れ＊／ワイヤレス充電器＊／12V 電源ソケット（最大使用電力：120 W）／USB ポート
⑥：カップホルダー
⑦：フロントアームレスト（小物入れ）
⑧：小物入れ＊／USB ポート／後席用吹き出し口エアコンコントロールパネル／後席用吹き出し口

⚠注 意

ウィンドウガラスに取り付けたアクセサリーの吸盤、ダッシュボードの上に置いた芳香剤の容器、ペットボトルやメガネなどを車内に放置しないでください。レンズの働きをして、火災など、思わぬ事故の原因となります。また、内装を傷める原因となります。

●アナログ時計＊



ENGINE START/STOP スイッチをアクセサリーポジションにする、またはエンジンを始動すると展開します。
アナログ時計はタッチスクリーンと連動しています。タッチスクリーンで設定した時刻に自動的に同期するため、個別の調整は不要です。

注 意

アナログ時計を手で格納しないでください。アナログ時計を損傷するおそれがあります。

＊仕様により異なります。

●サンバイザー

サンバイザーの裏側には、ミラーが備えつけられています。

ENGINE START/STOP スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のときにカバーを開けるとライトが点灯します。

通行券などを挟むカードホルダーも備えつけられています。

●グローブボックス

ハンドルを引くと開きます。**ENGINE START/STOP** スイッチがアクセサリーポジションのとき、またはエンジンが始動している状態のとき、中の照明が点灯します。グローブボックス内には、助手席エアバッグキャンセルスイッチがあります。

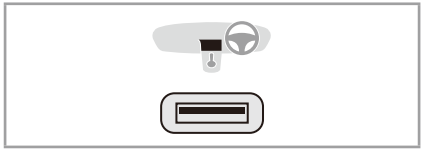
⚠警 告

グローブボックスのふたを開けたまま走行しないでください。急ブレーキ時や衝突時に身体がぶつかり、ケガをするおそれがあります。

●USB ポート

フロントコンソール

フラップの手前側を押すとフラップが開き、USB ポートにアクセスできます。

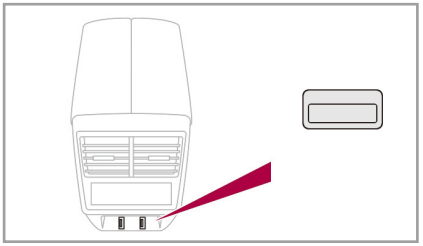


USB ポートにさまざまなデバイスをつなげ、保存された音楽を車両スピーカーで楽しむことができます（接続する機器やファイル形式により再生できないものもあります）。
ステアリングホイールスイッチおよびオーディオシステムのコントローラーで再生操作が行えます。
USB ポートを使用すると、接続したデバイスが自動的に検出されます。
また、Apple CarPlay ／ Android Auto に対応したスマートフォンは、USBで接続してアプリをタッチスクリーンに表示することができます。

MEMO

- フロントコンソールには、充電専用の USB ポートと音楽再生や Apple CarPlay ／ Android Auto に対応した USB ポートが装備されています。
- USB ポートへ接続すると、自動的に接続した機器の充電が行われます。
- 使用電力が規定容量を超える機器を使用するとメッセージが表示されることがあります。

フロントアームレスト後部



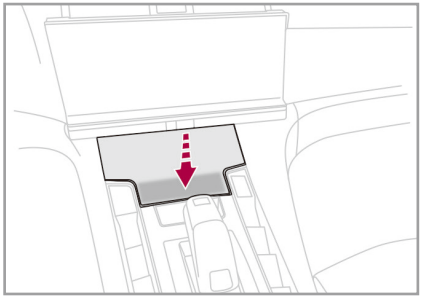
フロントアームレスト後部の USB ポートは充電専用です。携帯機器を接続すると、接続した機器の充電が行われます。

MEMO

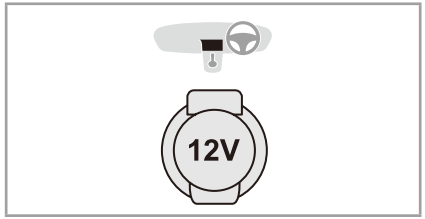
- 接続した携帯機器に保存された音楽を車両スピーカーから再生することはできません。
- 使用電力が規定容量を超える機器を使用するとメッセージが表示されることがあります。

* 仕様により異なります。

● 12V 電源ソケット



フラップの手前側を押すとフラップが開き、12V 電源ソケットにアクセスできます。

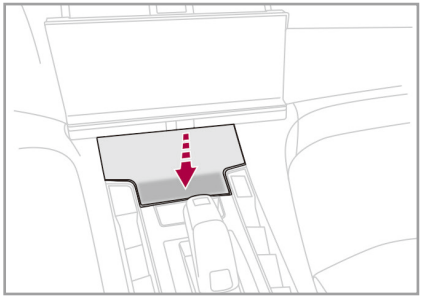


12V 電源（最大使用電力：120 W）を使用する際は、カバーを持ち上げてはずし、適切なアダプターを接続します。

MEMO

- 12V 電源ソケットを使用するときは、最大使用電力を守ってください。規定容量を超える電気製品を使用すると、車両ヒューズが切れることがあります。
- 接続する機器によっては、車に適合しなかったり正常な作動を妨げる可能性があります。

● ワイヤレス充電器 *



フラップの手前側を押すとフラップが開き、ワイヤレス充電器にアクセスできます。

ワイヤレス充電器は、ワイヤレスパワーコンソーシアム（WPC）によるワイヤレス充電規格 Qiに適合したスマートフォンなどの携帯機器を、Qi マークのある充電エリアに置くだけで充電することができます。

MEMO

「Qi（チー）」は、Wireless Power Consortiumの登録商標です。

充電

エンジンが始動している状態のときに、携帯機器の充電面を下にして、充電エリアの中心付近に置くと、表示灯が緑色に点灯し、充電が開始されます。
充電が完了すると、表示灯が消灯します。

MEMO

- ●携帯機器の充電を開始する前に、充電エリアに異物がないか確認してください。
- ●携帯機器の充電は、1度につき1つの機器のみ可能です。
- ●ストップ＆スタートの停止モードのときも充電できます。
- ●ドアを開けたり**ENGINE START/STOP** スイッチの操作を行うと一時的に充電が停止することがあります。

表示灯

消灯しているとき
- ・エンジンが停止しています
- ・充電が完了しています
- ・充電エリアに携帯機器がありません

緑色に点灯しているとき
- ・携帯機器を検出しています
- ・充電中です

橙色に点滅しているとき
- ・携帯機器と充電エリアの間に異物があります
- ・携帯機器が充電エリアの中心からずれました

橙色に点灯しているとき
- ・携帯機器に異常があります
- ・携帯機器の温度が上昇しました
- ・ワイヤレス充電器が故障しました

MEMO

●表示灯が橙色に点滅したら、携帯機器と充電エリアの間にある異物を取り除くか、携帯機器を充電エリアの中心付近に置き直してください。
●表示灯が橙色に点灯したら、一旦充電を停止し、しばらくしてから充電を開始してください。解決しない場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●安全上の理由から、携帯機器を充電する場合、車両を停止した状態で操作してください。
●ワイヤレス充電器が心臓ペースメーカーなど医療用機器に影響をおよぼすおそれがあります。事前に医療用機器メーカーなどに確認してください。

⚠警 告

●機器の故障や火災を防ぐために、次のことをお守りください。
- 携帯機器と充電エリアの間に金属製のものなどを挟まないでください。
- 充電エリアにものを置かないでください。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 指定の携帯機器以外は使用しないでください。
- 磁気を帯びたものを近付けないでください。
- 充電エリアが汚れた状態で充電しないでください。
- 充電エリアを水などで濡らさないでください。

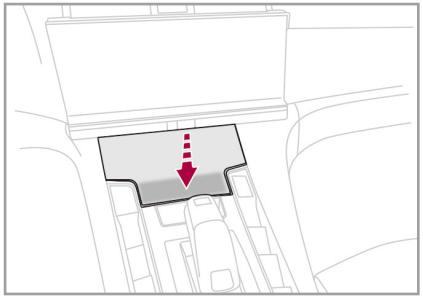
注 意

携帯機器の充電中は、充電エリアの付近にコインやスマートキーなどの金属製のものなどを置かないでください。発熱により機器が故障するおそれがあります。

MEMO

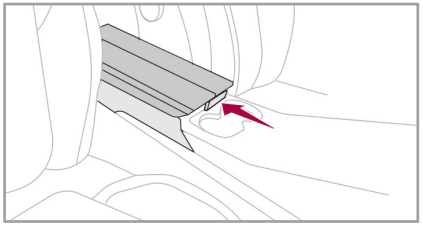
●充電中は携帯機器が温かくなることがありますが、異常ではありません。
●携帯機器にカバーやアクセサリーを取り付けた状態で充電しないでください。カバーやアクセサリーの種類によっては、充電できないことがあります。
●近くに強い電波を発する設備があるときは充電できないことがあります。
●携帯機器の種類により充電できないことがあります。
●携帯機器の取扱説明書も参照してください。

●小物入れ *

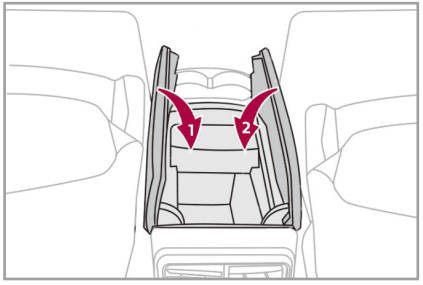


フラップの手前側を押すと小物入れが開きます。

●フロントアームレスト

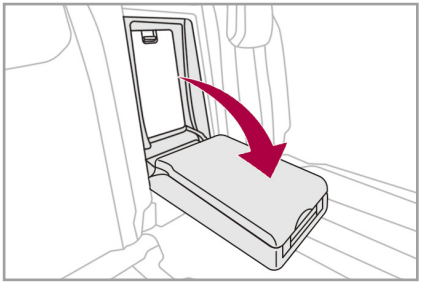


アームレストのボタンを押すとカバーが開きます。



①と②をたたんでアームレストのカバーを閉じます。

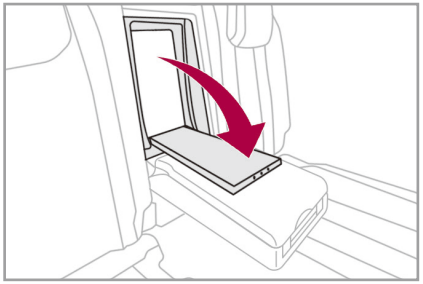
●リアアームレスト *



アームレストを手前に引き下ろします。
小物入れとカップホルダーが付いています。
カップホルダーは、アームレスト前部を押すと展開します。

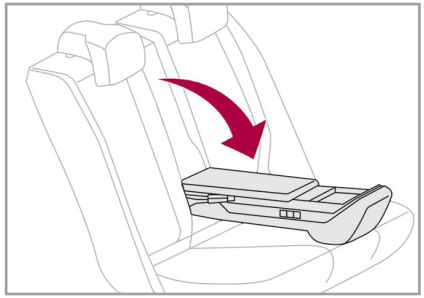
* 仕様により異なります。

●スキーフラップ *



1. リアアームレストを倒します。
2. ハンドルを下に引きます。
3. フラップを下げます。
4. トランクルーム側から荷物を入れます。

●ラウンジリアアームレスト *



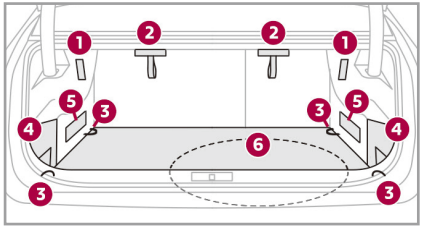
アームレストを手前に引き下ろします。
ラウンジリアアームレストには、アンビエンスイルミネーションが装備されています。また、充電用のUSBポートが2つ、カップホルダー、小物入れが付いています。

MEMO

- ●USBポートへ携帯機器を接続すると、自動的に接続した機器の充電が行われます。
- ●USBポートへ接続した携帯機器に保存された音楽を車両スピーカーから再生することはできません。
- ●使用電力が規定容量を超える機器をUSBポートへ接続して使用するとメッセージが表示されることがあります。

トランクルーム

●各部の名称



①：トランクルームランプ
②：フック
③：固定リング
④：収納スペース
⑤：固定ストラップ
⑥：収納スペース＊／工具入れ

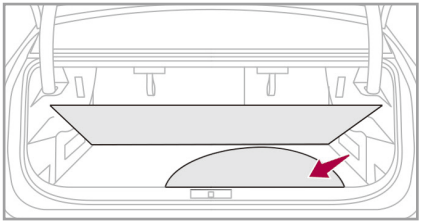
MEMO

●固定リングには、アクセサリー品のネットなどを使用して荷物を固定することができます。
●仕様により装備が異なる場合があります。

⚠警 告

トランクルームに荷物を積む際には、しっかりと荷物を固定してください。固定されていないと荷物が突然動き、走行に影響をおよぼしたり、急ブレーキや事故の際に、荷物により乗員がケガをするおそれがあります。

●収納スペース＊／工具入れ



トランクルームフロアを持ち上げると収納スペース＊と工具入れにアクセスできます。

＊仕様により異なります。

第6章　お手入れ・メンテナンス

外装のお手入れ…… 6-2
内装のお手入れ…… 6-4
長期間使用しないとき…… 6-5
エンジンルームの点検…… 6-6
電球の交換…… 6-10
ヒューズの交換…… 6-13
燃費の改善について…… 6-14
推奨交換時期…… 6-15
推奨油脂類…… 6-15
推奨点検時期…… 6-16

外装のお手入れ

自動車の使用される環境はさまざまで、工場地帯の酸やススを含んだ空気、鉄道沿線の鉄粉、沿岸部の塩分を含んだ風、積雪地帯の融雪剤などは車体に対して腐食、錆といった悪影響を与えます。
長期間にわたって車を美しく安全に使用していただくためには、こまめなお手入れをお勧めします。

●洗車機による洗浄

通常のお手入れは、洗車機による洗浄で十分です。
ただし、ボンネットの合わせ目、ドアの下などは汚れが残ることが多いので、手洗いをお勧めします。

●手による洗浄（手洗い）

まずホースでたくさん水をかけて、ほこりを落とします。
次にスポンジと適当に薄めたカーシャンプーで車体の上から下へと洗います。
最後に車体の下側をホースで水をかけてきれいにします。

⚠警 告

洗車をするときは、エンジンルーム内に水をかけないでください。電気部品などに水がかかると、故障や火災などの原因になるおそれがあります。

注 意

- ●塗装の劣化や車体の腐食や錆を防ぐために、次のような場合は直ちに洗車して汚れを落としてください。
  - • 海岸部を走行したあと
  - • 積雪地帯で融雪剤などを散布した道路を走行したあと
  - • 樹液、花粉、鳥のふん、虫の死がい、コールタールなどが付着したとき
  - • 泥や塩分を含む汚れなどが付着したとき
  - • 塗装面にガソリンやベンジンなどの有機溶剤が付着したとき
- ●溶剤や研磨剤入り洗剤、ガソリンやオイルなどを使用したり、研磨スポンジなどで強くこすったりしないでください。

注 意

- ●自走式の洗車機を使用するときは、ドアおよびトランクを施錠し、スマートキーを車両周辺の検知エリアから出してください。また、ハンズフリーエレクトリックトランクリッドの自動開閉の機能、およびハンズフリー機能を解除してください。*
- ●洗車場などで高圧洗浄する場合、洗浄ノズルを少なくとも30cm 以上ボディ（ドアシール、カメラやセンサー、塗装面が弱くなっている箇所など）から離してご使用ください。
- ●寒冷時の洗車は行わないでください。ブレーキに水がかかったり、ブレーキ装置に水が入ったりすると凍結し、走行できなくなるおそれがあります。
- ●ボディが熱いときや炎天下での洗車は行わないでください。水や洗剤が拭き取る前に蒸発し、ボディにはん点が残ることがあります。
- ●ワックスがけは塗装面の汚れを洗車などで取り除き、ボディが乾いてから行ってください。ワックスは容器に記載されている説明に従ってかけてください。

注 意

●炎天下でのワックスがけは行わないでください。必ず塗装面が冷えているときにワックスをかけてください。
●塗装されていないバンパーなどの樹脂部品やゴム部品、ガラス、ミラーやカメラレンズ部にワックスを使用しないでください。ワックスが付着したら、中性洗剤を薄めて柔らかい布に含ませ拭き取ってください。
●デカール部分には高圧洗浄機を使用しないでください。傷が付いたり、はがれたりするおそれがあります。*
●デカール部分の洗浄は、ホースで25℃～40℃の水をたくさんかけて行ってください。ホースの水はデカールのカット部分へ斜めに当てず、正面からかけてください。*

MEMO

●汚れがひどく通常のお手入れでは落とせない場合は、当社指定サービス工場にご相談ください。
●塗装面の修復は当社指定サービス工場にご相談ください。

* 仕様により異なります。

内装のお手入れ

●レザー

レザーは、汚したままにしておくと摩耗してもろくなります。水などで汚れたら早めに拭き取ってください。また、定期的にお手入れすることをお勧めします。
清掃は、やわらかい布に石けん液を含ませ、よくしぼって表面を拭きます。その後やわらかい清潔な布で乾拭きします。
汚れがひどいときは、市販の皮革用洗剤を使用します。

注 意

- ●皮革の表面に水分や油汚れが残っている場合は、清掃前に拭き取ってください。
- ●皮革の表面を傷つけるおそれのある汚れは、清掃前に水につけて固くしぼった布で取り除いてください。
- ●ベンジンやガソリンなどの有機溶剤、アルコール、その他の酸性やアルカリ性の溶剤は使用しないでください。
- ●皮革用洗剤を使用して清掃するときは、レザー以外の部分に洗剤が付着しないように注意してください。

●ビニール（インストルメントパネル、ドアトリムパッド、ヘッドライニング）

やわらかい布に温かい石けん液を含ませ、よくしぼって拭きます。

●ディスプレイ（インストルメントパネルやタッチスクリーンなど）

塵やほこりを取り除き、水を浸したやわらかい布を固くしぼってから、軽く拭きます。

注 意

- ●固いブラシや布、ティッシュ、乾いた布などでディスプレイの表面をこすらないでください。傷をつけるおそれがあります。
- ●アルコールや消毒液、石けん液などをディスプレイの表面に直接使用しないでください。傷をつけるおそれがあります。

●シートベルト

石けん水をつけた固くしぼった布で、ベルト部分だけを拭きます。
清掃時は、金属部分に水が付かないようにしてください。
当社販売店では、シートベルトに使用できるクリーニング製品を取り扱っています。

●ウィンドウガラス、ミラー

市販のガラス専用クリーナーで洗浄してください。

●フロアマット、カーペット

車外に取りはずし、ほこりや砂を十分に落として内装用洗剤で洗ってください。

⚠警 告

車内を清掃するときは、ホースで水をかけたり、高圧洗浄機などを使用しないでください。また、洗剤などの液体をこぼさないでください。電気部品などにかかると、故障や火災につながるおそれがあります。

長期間使用しないとき

車を長期間使用しないときは、保管中の故障を防ぐために以下の保守を行ってください。

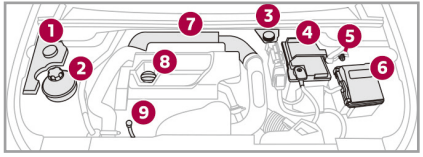
●保管前に行うこと

・タイヤのフラットスポット（変形）を防ぐために、タイヤ空気圧を規準より30～50%ぐらい上げてください。
・12V バッテリーのプラス端子（+）をはずしてください。
・必要に応じて、ボディーカバーをかけてください。

●保管中に行うこと

・1 ヶ月に1回程度、12V バッテリーの端子を接続し、エンジンを始動して数分～数十分そのままの状態で12V バッテリーを充電してください。

エンジンルームの点検



①：ウィンドウウォッシャー液タンク
②：クーラント（冷却水）タンク
③：ブレーキフルードタンク
④：12V バッテリー
⑤：アースポイント（−）
⑥：ヒューズボックス
⑦：エアフィルター
⑧：エンジンオイル注入口
⑨：エンジンオイルレベルゲージ

⚠警 告

●エンジンルームから蒸気や冷却水が噴き出ている場合は、ボンネットを開けないでください。やけどやケガを負うおそれがあります。
●作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
●エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが冷えていることを確かめてください。
エンジンが熱いときは、**ENGINE START/STOP** スイッチがオフになっていてもファンが回りだして、思わぬケガをすることがあります。
●エンジンルーム内の点検をする前に、エンジンが停止しているのを確認し、スマートキーを車外に出してください。また、シフトポジションが **P** で、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

⚠警 告

●熱くなっているエンジンの部品には触れないでください。また、熱くなっているエンジンまたはエキゾーストシステムの上に、オイルなどの液体をこぼさないでください。やけどや火災のおそれがあります。

⚠注 意

エンジンルームのカバー類を取りはずすときは、止めているクリップを損傷しないように注意してください。また、取り付けるときにも注意して取り付けてください。
カバーがしっかりと取り付けられていないと、走行中にはずれて可動部に巻き込まれるなどして、故障や事故の原因になることがあります。

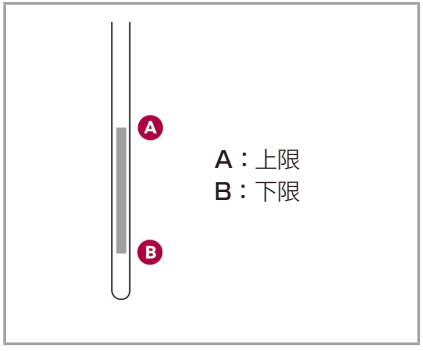
注 意

エンジンルームへの高圧洗浄は、電子機器への影響を避けるためにも絶対におやめください。

●エンジンオイル

点検

1. 車を水平な場所に停めます。
2. エンジンを停止して30分以上経過してからオイルレベルゲージを抜き取り、布でオイルを拭き取ります。
3. 元の穴にいっぱいに差し込み、再び静かに抜いてゲージに付いたオイルで油量を調べます。



レベルゲージに付着したオイルの汚れ具合も点検します。オイルはエンジンの回転によって消費されますので、次のオイル交換までの間にオイルを補充しなければいけないことがあります。
走行5000kmごとにオイルレベルを点検し、必要に応じて補充してください。
オイルの消費量が急に増えたり、汚れがひどくなったときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。

注 意

遠方へのお出かけ前だけでなく、日頃からエンジンオイルの点検をしてください。

補給

補充する前に、オイルレベルゲージを抜き取っておきます。オイルレベルが上限を越えないようにしてください。補充が完了したあとは、キャップの閉め忘れに注意してください。

交換

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
ただし、市街地や山岳地の走行が多いときには、オイル交換を早めに行います。

⚠注 意

●エンジンを正常な作動状態に保つため、エンジンオイルに添加剤を入れることは避けてください。
●オイルの交換の際は、騒音や排気ガス規制を遵守するためにも、当社純正部品のご使用をお勧めします。

オイルフィルター

交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
交換するオイルフィルターは、当社の純正部品をご使用ください。

●ブレーキフルード

点検

ブレーキフルードの量は、タンクのMAXレベル付近にあれば適正です。定期的に量を確認してください。

交換

ブレーキフルードは、時間がたつと吸湿し耐熱温度が低く（ベーパーロックが起こりやすく）なりますので、定期的に交換してください。
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。

⚠警 告

ブレーキフルードが肌に直接触れるのは避けてください。腐食性が強く、健康に害をおよぼすことがあります。

注 意

ブレーキフルードは車の塗装面を傷めますので、付着した際にはすぐに水で洗い流してください。

MEMO

ブレーキフルードの交換をしたら、タンクのキャップの汚れを落としてから取り付けてください。

●冷却水の点検

点検は、エンジンを停止してから1時間以上経過して、冷却水が冷えていることを確認してから行ってください。
冷却水が少ないときは、冷却水を補給します。冷却水の減りが著しいときは、当社指定サービス工場で点検を受けてください。
冷却水の補給には、当社純正クーラントを稀釈して使用してください。

⚠警 告

ラジエター内の圧力が低下する前にキャップをはずすと、高温の冷却水が噴出しやけどの原因になります。

MEMO

●冷却水の補給は当社指定サービス工場にお申し付けください。
●冷却水の交換は必要ありません。

●ウォッシャー液
タンク内のウォッシャー液が少ないときは、当社の推奨品で補給してください。

● 12V バッテリー
特に寒冷地の使用では、冬になる前に当社指定サービス工場でのチェックをご依頼ください。

●エアフィルター、室内フィルター
交換頻度は、この章の「推奨交換時期」をご覧ください。
市街地やほこりが多いところでの走行が多いときは、早めに交換してください。
交換はお近くの当社指定サービス工場にご依頼ください。

●ブレーキパッド
ブレーキパッドは運転の状況により消耗の度合いが変わります。定期的に点検を受けてください。ブレーキパッドが摩耗するとブレーキフルードのレベルも下がります。

●ブレーキディスク
ブレーキディスクは消耗部品です。当社指定サービス工場で定期的に点検を受けてください。

●エレクトリックパーキングブレーキ
交換の必要はありませんが、異常が発生した場合は、当社指定サービス工場にご連絡ください。

●オートマチックトランスミッションフルード（ATF）
交換の必要はありません。

⚠注 意
環境汚染防止のために、使用済みのエンジンオイルやブレーキフルードなどは、絶対に地面や下水に廃棄しないでください。

注 意
車のパフォーマンスを最大に引き出すためには、パワーステアリングやブレーキシステム同様、当社が指定する部品を使用することが重要です。

電球の交換

⚠警 告

●作業手順がわからない場合や、必要な工具が不足していたり工具の使用方法がわからない場合は、作業を行わないでください。
●電気回路を改造しないでください。
●LED ランプに触らないでください。感電し重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
●点灯中の LED ヘッドランプを至近距離から直視しないでください。LED ヘッドライトは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠注 意

●必ずエンジンを停止し、ランプを消灯してください。また、電球の表面が冷えてから交換してください。消灯直後は電球の表面が高温になっているため、やけどをするおそれがあります。
●エンジンの停止直後はエンジンルーム内が高温になっています。ボンネットを開けるときや電球を交換するときはやけどに注意して作業を行ってください。
●手や衣類（スカーフやマフラーなど）をファンやベルトから離してください。手や衣類が巻き込まれ、重大な傷害を受けるおそれがあります。

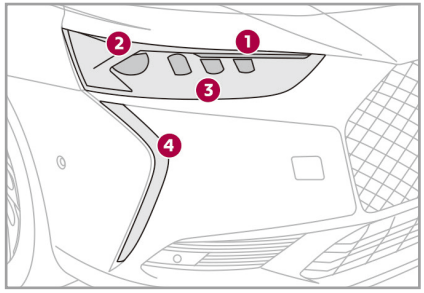
注 意

●交換する電球には、油などの汚れを付けないでください。電球は、きれいな乾いた布で持ち、指紋などを付着させないでください。
●ヘッドランプの透明レンズはプラスチック製です。溶剤を使用したり、粗い布などで強くこすらないでください。
●高圧洗車機を使用するときは、ヘッドランプ付近に長時間当てないでください。塗装がはがれるおそれがあります。
●交換作業中に電気配線を切断しないように注意してください。
●ヘッドランプを交換するときは、UV カット仕様の電球を使用してください。ヘッドランプのレンズなどが変色するおそれがあります。
●電球の交換の際は、必ず同じ規格の新しい電球を使用してください。また、左右同時に交換してください。
●色付きバルブは、同じ規格の同じ色の電球を使用してください。

MEMO

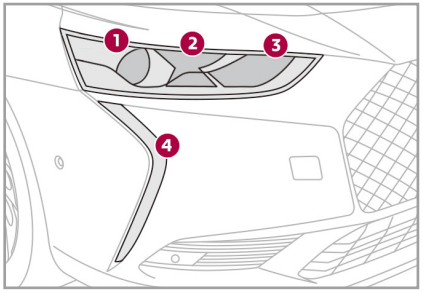
●インストルメントパネルのウィンカー表示灯の点滅が早くなったときは、点滅が早い方の方向指示灯の電球切れが考えられます。
●低温高湿度のときなど、ヘッドランプの透明レンズの内側が曇ることがありますが、異常ではありません。ライトが点灯すると、数分で消滅します。

●ヘッドランプ



フル LED ヘッドライト装着車

①：方向指示器（LED）
②：ロービーム／ハイビームヘッドランプ（LED）
③：ヘッドランプモジュール（LED）
④：デイタイムランニングランプ／ポジションランプ（LED）



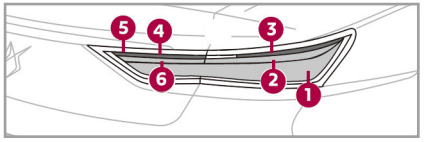
キセノン／ハロゲンヘッドライト装着車

①：ロービーム／ハイビームヘッドランプ（D5S 25 W）
②：方向指示器（PY21 W）
③：ハイビームヘッドランプ（H7）
④：デイタイムランニングランプ／ポジションランプ（LED）

MEMO

●ヘッドランプ類の交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。
●仕様により、ヘッドランプの各ランプの位置が異なる場合があります。

●テールランプ



①：ポジションランプ（LED）
②：ストップランプ（LED）
③・④：方向指示器（LED）
⑤：リバースランプ（LED）
⑥：リアフォグランプ（LED）

MEMO

- ●テールランプ類の交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。
- ●仕様により、テールランプの各ランプの位置が異なる場合があります。

●エクステリアサイドランプ／ルームランプ／マップランプ／ラゲッジルームランプなど

エクステリアサイドランプ／ルームランプ／マップランプ／ラゲッジルームランプなど、その他のランプの交換は当社指定サービス工場にお申し付けください。

ヒューズの交換

ヒューズの交換は、当社指定サービス工場にご相談ください。

⚠注 意

●車の電気回路は、出荷時に装着されている装備に合わせて設計、製作されています。推奨していないアクセサリーの取り付け、アクセサリーの不適切な取り付け、ワイヤーハーネスの加工などは、他の電装品の正常な作動を妨げたり火災の原因となることがあります。

●当社では、当社が供給や推奨していない、10mA 以上の電流を消費するアクセサリーの取り付けや、当社の指示に従わない装着方法によって発生した車、および機器の不具合の修理については、その費用を負担いたしません。
アクセサリーその他の電気製品の取り付けは、当社指定サービス工場にご依頼ください。

注 意

ヒューズの交換は、当社指定サービス工場にご依頼ください。当社指定サービス工場以外で交換を行うと、故障などの原因となるおそれがあります。

燃費の改善について

燃費は、車の設計だけではなく、車の状態や運転方法によって大きく影響を受けます。車を最良の状態に保ち燃費をよくするためにも、定期的に点検整備を行ってください。

●エンジンコンディション

主要部品については、少なくとも年に1回は点検を受けてください。

●エアフィルター

フィルターがつまるとエンジンの効率が悪化します。ほこりの多い環境や市街地での走行が多いときは、こまめに点検を受けてください。

●手荷物など

トランクルームに不用な手荷物などが積みっぱなしになっていると、車両重量が増加して、燃費の悪化につながります。
ルーフキャリアやスキーキャリアなどのアクセサリーは、風の抵抗を受けて燃費を悪化させます。
必要がなくなったらすみやかに取りはずしてください。

●タイヤ

交換するときは、現車と同一サイズで当社が推奨する銘柄、グレードのタイヤを使用してください。
また、タイヤ空気圧が低すぎるとより多くの燃料が消費されます。適切なタイヤ空気圧に調整して走行してください。

●運転方法

エンジン始動後に長時間の暖機運転は必要ありません。
運転時は、ゆっくり発進し、急加速や空ぶかしを避けてください。
走行中は一定のスピードを保つようにしてください。
走行速度が上がると燃費も悪化します。法定速度を遵守して、スムーズな運転を心がけてください。
エンジン始動後の数分間は、適正温度の状態と比較して2倍以上燃費が悪化します。
あらかじめ走行経路を考慮して、無駄な走行をなくしましょう。

推奨交換時期

車の使用頻度が高いとき、市街地や高温環境下での使用が多いときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

エンジンオイル	1年または20,000kmごと
オイルフィルター	1年または20,000kmごと
ブレーキフルード	2年または60,000kmごと
エアフィルターエレメント	2年または40,000kmごと
スパークプラグ	2年または40,000kmごと
室内フィルター	1年または20,000kmごと

●エンジンオイルについて

上記の交換時期は、推奨する化学合成ベースのエンジンオイル（例：TOTAL QUARTZ INEO FIRST 0W-30）を使用した場合です。

推奨油脂類

エンジンオイル
TOTAL QUARTZ INEO FIRST（0W-30）

ブレーキフルード
DOT4

クーラント
当社純正クーラント

推奨点検時期

車の使用頻度が高いとき、通常よりも厳しい状態の使い方をしたときは、メンテナンス時期を早めるようにしてください。

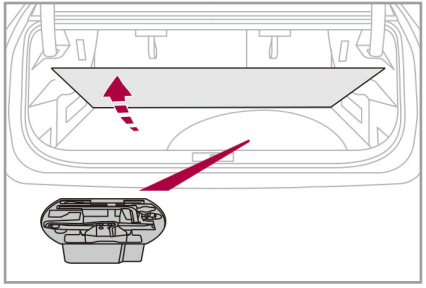
タイミングキットおよびクーラントポンプの点検	100,000kmごと
補機ドライブベルトキットの点検	初回3年、次回から2年ごと
クーラント pHの点検	初回3年、次回から2年ごと

もしものとき

ホイール（タイヤ）の交換 ····· 7-2
パンク修理キット ····· 7-7
12Vバッテリーが上がったとき ····· 7-12
けん引されるとき ····· 7-18

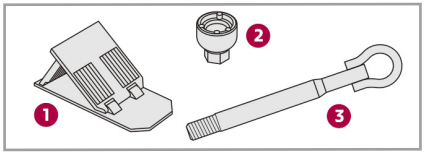
ホイール（タイヤ）の交換 *

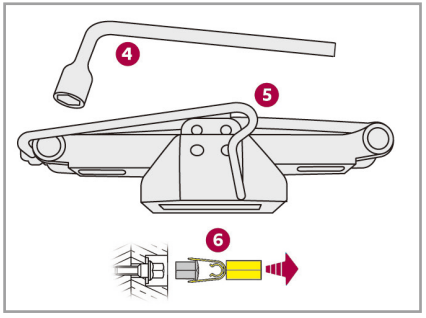
●工具の取り出し



ジャッキと工具は、トランクルームフロアの下にある工具入れに格納されています。
トランクルームフロアを持ち上げると工具入れにアクセスできます。

●ジャッキと工具





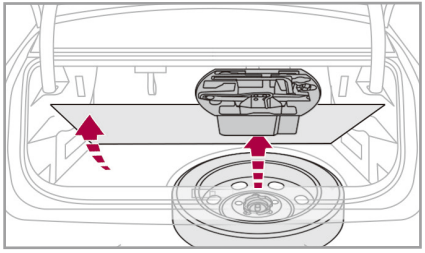
①：輪止め *
②：ホイールレンチアダプター（盗難防止ボルト用）*
③：けん引ボルト
④：ホイールレンチ
⑤：ジャッキ
⑥：専用ピンセット *

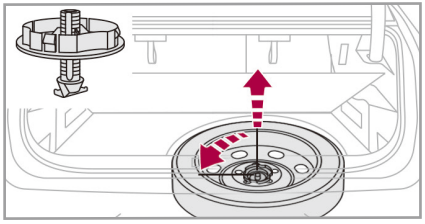
MEMO

ホイールレンチアダプター②はグローブボックスの中に入っていることがあります。

* 仕様により異なります。

●スペアタイヤの取り出し

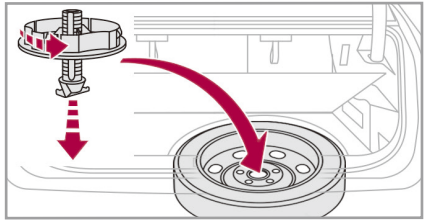




スペアタイヤは、トランクルームフロアの下に格納されています。

1. トランクルームフロアを持ち上げます。
2. 工具入れを取り出します。
3. 中央のナットをゆるめ、取りはずします。
4. スペアタイヤを取り出します。

●タイヤの格納



1. タイヤを入れます。
2. ナットを少しゆるめ、ホイールの中央にねじ込みます。
3. タイヤが正確に収まっていることを確認して、きつく締めます。
4. 工具入れをホイールの中央に戻します。

MEMO

●タイヤを格納しないと、ナットは取り付けられません。
●標準サイズのタイヤはトランクルームフロアの下に格納できません。

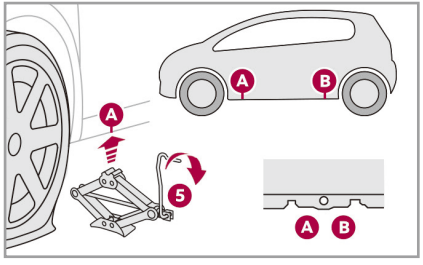
●タイヤ交換後の処理

1. 交換したスペアタイヤの空気圧を確認してください。
2. はずしたタイヤの修理を早急に行い、スペアタイヤと交換してください。

MEMO

タイヤ交換を行ったあとは、間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットを行ってください。

●ホイールの取りはずし



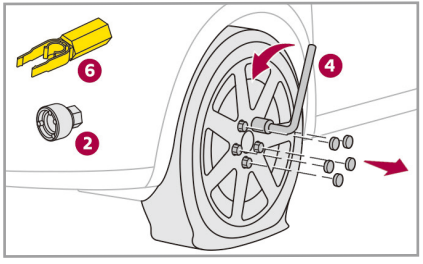
硬く平坦な路面で安全な場所に車を停めます。

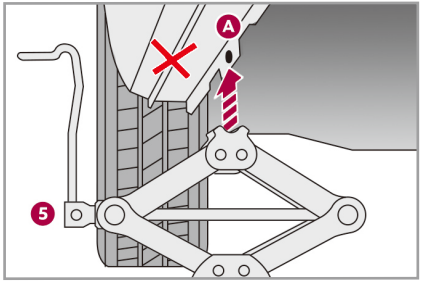
ENGINE START/STOP スイッチをオフにし、シフトポジションが **P** になっていること、エレクトリックパーキングブレーキがかかっていることを確認してください。

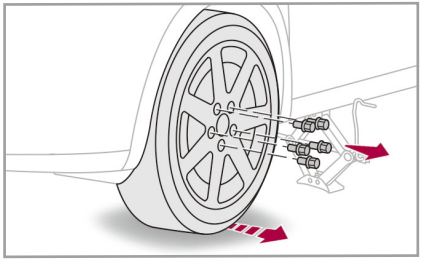
取りはずすタイヤと対角位置にあるタイヤに、輪止め * を当てます。

MEMO

ホイールカバー装着車は、ホイールレンチ④の柄の部分を使い、タイヤバルブ付近から徐々にホイールカバーをはずしてからホイールを取りはずします。







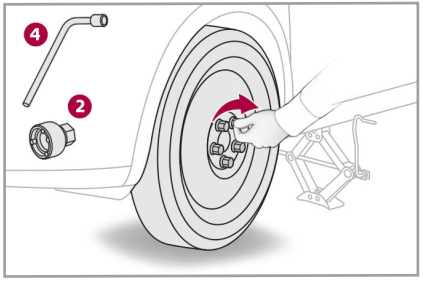
1. 専用ピンセット⑥を使用して、ボルトカバーをはずします。*
2. ホイールレンチ④でボルトを少しゆるめます。
   盗難防止ボルトをゆるめるときは、ホイールレンチアダプター②をホイールレンチ④に取り付けます。*
3. ジャッキ⑤を車の下側フレーム **A** 部分（リアは **B** 部分）にあてがい、軽くジャッキアップしてジャッキが **A**（もしくは **B**）に確実に収まっていることを確認してください。
4. タイヤが地面から完全に離れるくらいまでジャッキアップします。
5. ボルトをはずします。なくさないように注意してください。
6. ホイールをはずします。

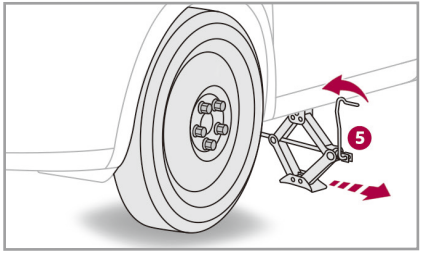
注 意

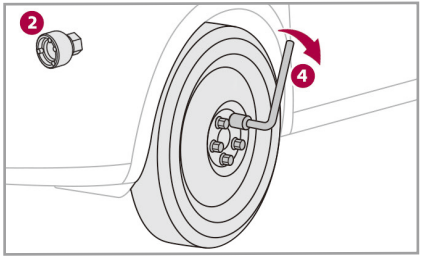
プラスチック仕上げ部分にはジャッキをあてがわないでください。

* 仕様により異なります。

●ホイールの取り付け







1. ホイールをハブにはめます。
2. ボルトを差し込み、手で止まるまで回します。
3. ホイールレンチ④を使ってボルトを軽く締めます。
   盗難防止ボルトを締めるときは、ホイールレンチアダプター②をホイールレンチ④に取り付けます。*
4. ジャッキ⑤を完全にゆるめ、タイヤを接地させます。
5. ホイールレンチ④を使って、ボルトを対角線上に2～3回に分けてしっかり締めます。
   盗難防止ボルトを締めるときは、ホイールレンチアダプター②をホイールレンチ④に取り付けます。*
6. はずしたボルトカバーをそれぞれのボルトに取り付けます。*

⚠警 告

- ●ジャッキアップするときは、必ず輪止め*を使用し、絶対に車の下に入らないでください。バランスが崩れた場合に車がジャッキからはずれ、落下するおそれがあります。
- ●ホイールボルトとハブのネジ部に注油したり、他のボルトを使用しないでください。走行中にネジがゆるみ、タイヤがはずれるおそれがあります。
- ●ジャッキアップするときは、乗員を全員車両から降ろしてください。
- ●ジャッキアップ中はエンジンを始動させないでください。エンジン始動時の振動により、ジャッキがはずれるおそれがあります。
- ●指定された場所以外にジャッキを装着しないでください。車両が損傷したり、ジャッキがはずれるおそれがあります。
- ●スペースセーバータイヤを2本以上同時に使用しないでください。

⚠注 意

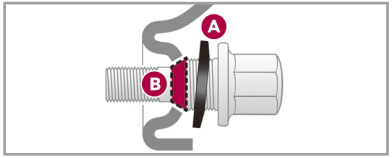
●タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。
●スペースセーバータイヤの空気圧は420kPaです。定期的に点検してください。
●スペースセーバータイヤ使用時の最高速度は時速80kmです。また、約80km以上走行しないでください。
●スペースセーバータイヤを使用するときは、アクティブセーフティブレーキなどの運転支援システムを解除してください。
●スペースセーバータイヤは一時的な使用に限られています。常用タイヤのパンクなどで使用したときは、早急にパンクの修理を行い交換してください。
●搭載されているジャッキやレンチ、スペースセーバータイヤは、この車専用です。他の車に使用したり、他の車のものを使用したり、他の用途に使用しないでください。

注 意

盗難防止ボルトの専用アダプター*を使用するときは丁寧に扱ってください。急激な力を加えたり、乱暴にレンチを回すと、ピンを破損することがあります。

MEMO

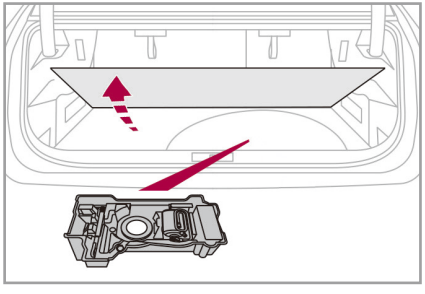
●盗難防止ボルトの専用アダプター*の番号を控えておいてください。紛失した際に、番号から複製を入手することができます。
●ホイールボルトの締め付けトルクは10daNm（約9.5kgm）です。
●アルミホイールの代わりにスペースセーバータイヤを使用するとき、ホイールボルトの平ワッシャー**A**がリムに接せず遊んでいても問題ありません。ホイールボルトの円錐状の部分**B**によって確実にホイールを固定します。



* 仕様により異なります。

パンク修理キット *

●パンク修理キットの場所

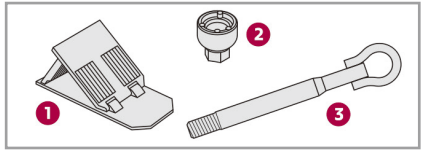


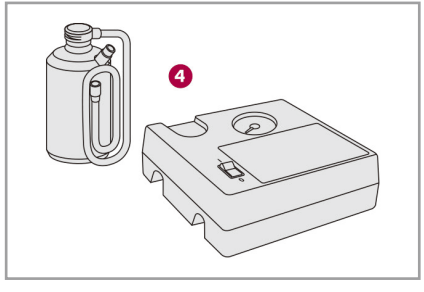
パンク修理キットと工具は、トランクルームフロアの下にある工具入れに格納されています。
トランクルームフロアを持ち上げると工具入れにアクセスできます。

MEMO

仕様により工具入れの形状が異なる場合があります。

●パンク修理キットと工具



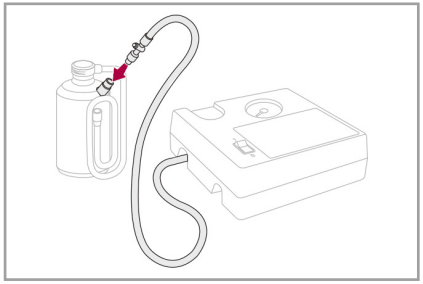


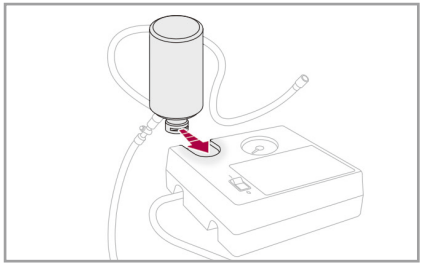
①：輪止め *
②：ホイールレンチアダプター（盗難防止ボルト用）*
③：けん引ボルト
④：パンク修理キット

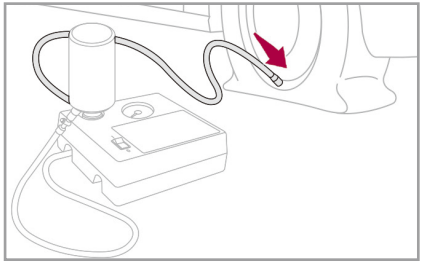
MEMO

●ホイールレンチアダプター②はグローブボックスの中に入っていることがあります。
●パンク修理キットは当社販売店でお買い求めいただけます。
●タイヤのトレッド部以外の損傷によるパンクは、パンク修理キットを使用して修理することができません。
●タイヤに刺さった釘などは抜かずにそのまま応急修理をしてください。
●修理キットを使用するときは、すべての手順を行ってください。

●使いかた







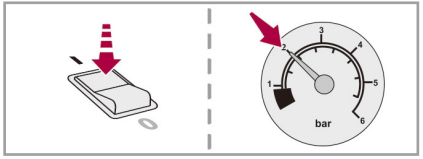
1. ENGINE START/STOP スイッチをオフにします。
2. 修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーをはがして、車内の運転者から見える位置に貼り付けます。
3. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、カートリッジに接続します。
4. 修理剤カートリッジをコンプレッサーに固定します。
5. 修理剤カートリッジから出ているホースを修理するタイヤのバルブに接続します。

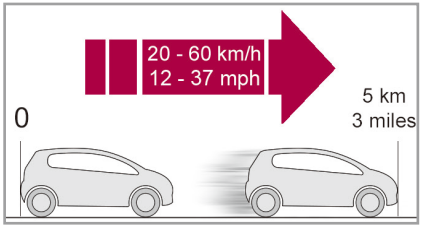
⚠警 告

●修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーを車内の運転者から見える位置に必ず貼り付けてください。
●修理剤カートリッジから出ているホースをつなぐ前に、電源を入れないでください。修理剤が噴き出すおそれがあります。

⚠注 意

●パンク修理剤の有効期限はカートリッジに表示されています。
例：EXP：04/2028
‖
2028年4月まで
●パンク修理剤には有効期限があります。定期的に当社指定サービス工場で点検を受けてください。





6. スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを12V電源ソケットに差し込みます。
7. エンジンを始動します。
8. スイッチを**I**にして、空気圧を**2.0bars**まで昇圧します。
9. スイッチを**O**にしてから、パンク修理キットを取りはずし、直ちに走行してタイヤ内に修理剤を行き渡らせます。このとき、時速**20～60km**で約**5km**走行します。

⚠警 告

- パンク修理キットはコンプレッサーで圧力をかけて修理剤をタイヤに注入します。修理剤の注入中にホースをバルブから抜かないでください。ホースの口から修理剤が噴き出すおそれがあります。
- 修理剤が目や口に入らないように十分注意してください。
- パンク修理キットはお子さまには使用させないでください。

⚠注 意

7分以内に**2.0bars**まで昇圧しないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

MEMO

パンク修理キットを取りはずすときは、修理剤が車に付着しないように気をつけてください。付着するとシミになるおそれがあります。

10.コンプレッサーの裏からホースを引き出し、修理するタイヤのバルブに接続します。
11.スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを12V電源ソケットに差し込みます。
12.エンジンを始動します。
13.空気圧が運転席側または助手席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
・昇圧：スイッチを**I**にする。
・減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
14.空気の漏れがないことを確認します。
15.コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。
16.時速**80km**以下で走行し、できるだけ早く当社指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠警 告

●パンク修理キットで修理したタイヤで走行するときは、**時速80km**以下で走行してください。
●パンク修理キットで修理したあとは、約**80km**以上走行しないでください。できるだけ早く当社指定サービス工場でタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠注 意

空気圧が適正値にならないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。当社指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。

MEMO

●タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。
●修理剤は一度しか使用できません。使用後は、新品の修理剤を当社指定サービス工場でお買い求めください。
●使用済みの修理剤カートリッジは当社指定サービス工場までお持ちいただくか、地域条例に従って廃棄してください。

●タイヤの空気圧を点検する

コンプレッサーを使用してタイヤの空気圧を点検することができます。

1. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、車両のタイヤのバルブに接続します。
2. スイッチが**O**になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを12V電源ソケットに差し込みます。
3. エンジンを始動します。
4. 空気圧が運転席側または助手席側ドアピラー部に表示されている適正値になるように調整します。
   ・昇圧：スイッチを**I**にする。
   ・減圧：ホースの先にあるコネクターの黒いボタンを押す。
5. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。

MEMO

タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。

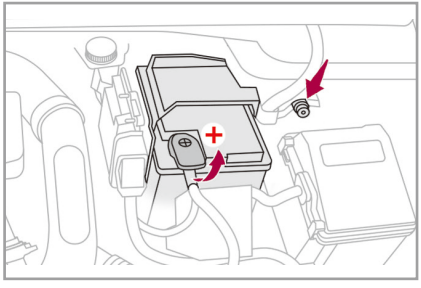
12V バッテリーが上がったとき

万一、12V バッテリーが上がってしまいエンジンの始動ができなくなったときは、充電器（バッテリーチャージャー）で充電するか、同じ電圧（12V）のバッテリーで始動させます。
接続には、市販のブースターケーブルを使用します。ケーブルの接続時は、車の充電系統に損傷を与えないように正しく接続してください。

MEMO

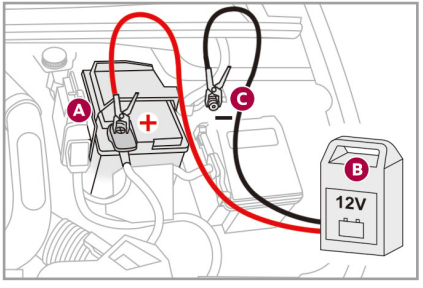
この車両は、押しがけによるエンジンの始動はできません。

● 12V バッテリーの位置



12V バッテリーはエンジンルーム左側（ボンネットを開いて右側）にあります。アースポイントはバッテリー横の矢印で示した箇所にあります。

● 充電器を使用して充電する



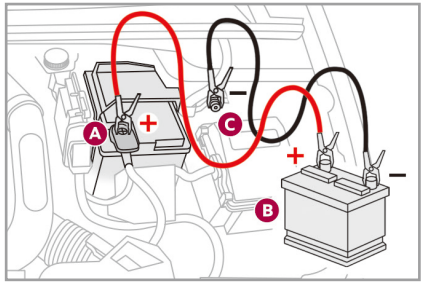
1. オーディオ機器やヘッドライトなど、車両の電装品をすべてオフにします。
2. ENGINE START/STOP スイッチをオフにします。
3. シフトポジションが Pになっていることを確認します。
4. 充電器 Bの電源がオフになっていることを確認します。
5. 充電器 Bのケーブルに傷などの損傷がないことを確認します。
6. 12Vバッテリー Aのプラス端子（+）のカバーをはずします。*
7. 最初に充電器 Bのマイナス端子（−）をアースポイント Cに接続し、次にプラス端子（+）を12V バッテリー Aのプラス端子（+）に接続します。

8. 充電器の取扱説明書に従って充電します。
9. 充電が完了したら、充電器Bの電源をオフにします。
10. 充電器Bの電源をオフにしてから、接続したケーブルを12Vバッテリー Aからはずします。
11. 接続したケーブルをアースポイント Cからはずします。
12. 12VバッテリーAのプラス端子(+)のカバーを取り付けます。*

注 意

充電器は12Vのものを使用してください。12V以外の充電器を使用すると、車両の電装部品を破損するおそれがあります。

●他のバッテリーで始動する



1. 自車両と救援車が接触しない位置に停車します。
2. オーディオ機器やヘッドライトなど、自車両と救援車両の電装品をすべてオフにします。
3. 自車両と救援車両のエンジンを停止します。
4. 自車両のシフトポジションがPになっていることを確認します。
5. 自車両の12VバッテリーAのプラス端子(+)のカバーをはずします。*
6. 12VバッテリーA(自車両の上がったバッテリー)・B(救援車のバッテリー)のプラス端子(+)を赤いケーブルで接続します。
7. 電源を供給する救援車の12VバッテリーBのマイナス端子(−)に、黒いケーブルを接続します。
8. 未接続の黒いケーブルを、自車両のアースポイントCに接続します。
9. 救援車のエンジンを始動し、そのままの状態で数分間待ちます。
10. 自車両のエンジンを始動します。始動しない場合は、しばらくしてから再度操作してください。
11. エンジンがアイドリング状態になったら、接続したケーブルをつないだときと逆の手順ではずします。
12. 12VバッテリーAのプラス端子(+)のカバーを取り付けます。*
13. 約30分ほど自車両のエンジンが始動している状態のままにします。

* 仕様により異なります。

注 意

●この車両を救援車として使用したり、この車両の12V バッテリーで他の車両のバッテリーを充電したりしないでください。
●救援車のバッテリーは12Vのものを使用してください。

MEMO

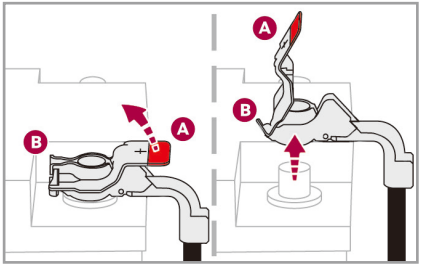
自車両のエンジンを始動したあと、12V バッテリーの充電が十分に行われていない状態で走行を開始すると、車両の機能に影響をおよぼすことがあります。

●ケーブルのはずしかた／接続のしかた

車を1ヶ月以上使用しないときは、12V バッテリーの電力を維持するためにケーブルのプラス端子（+）をはずしておきます。
ケーブルのプラス端子（+）をはずす前に、次のことを確認してください。

・すべてのドア、トランク、ウィンドウ、アウタースライディングガラスルーフ * が閉じている
・オーディオ機器やヘッドライトなど、車両の電装品がすべてオフになっている
・ENGINE START/STOP スイッチをオフにし、約4分経過した

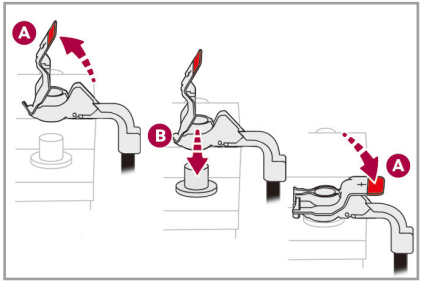
はずしかた



1. 12V バッテリーのプラス端子（+）のカバーをはずします。*
2. ロックタブ A をいっぱいまで起こしてからクリップ B を持ち上げてはずします。

* 仕様により異なります。

接続のしかた



1. ロックタブ **A**をいっぱいまで起こします。
2. クリップ **B**が12V バッテリーのプラス端子（+）の上部に来るように位置を合わせ、クリップ **B**の位置がずれないように、上から12V バッテリーに押し当てます。
3. ラグを広げてロックタブ **A**を倒し、クリップをロックします。
4. 12V バッテリーのプラス端子（+）のカバーを取り付けます。*

注 意

クリップは正しい位置にないとロックしません。無理にロックタブを倒さないでください。

● 12V バッテリーを再接続したとき

エンジンを始動する前に、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにしたまま約1分間保持します。電子機器の初期化が行われます。長時間12V バッテリーの接続をはずしていたときは、次の機能の初期化や再設定が必要な場合があります。

・スマートキー
・パワーウィンドウ
・アウタースライディングガラスルーフ *
　など

ストップ&スタートは一度12V バッテリーの接続をはずすと数時間は停止モードになりませんが、これは異常ではありません。
また、12V バッテリーを再接続したあと、**ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにしたとき、またはエンジンを始動したときに、アクティブセーフティブレーキに故障が発生したことを示すメッセージなどが表示されることがありますが、これは異常ではありません。走行を開始すると表示されなくなります。

注 意

電子機器に異常を感じたら、当社指定サービス工場にご連絡ください。

⚠警 告

●12V バッテリーのプラス端子（＋）とマイナス端子（－）を逆に接続しないでください。
●エンジンが始動している状態のときは、12V バッテリーのプラス端子（＋）からケーブルをはずさないでください。
●ケーブルのプラス端子（＋）とマイナス端子（－）を絶対に接触させないでください。
●バッテリーのプラス端子（＋）が周辺の金属と接触しないようにしてください。
●救援車の12V バッテリーのマイナス端子（－）は自車両の12V バッテリーのマイナス端子（－）に直接つながないでください。必ず自車両のアースポイントに接続してください。
●12V バッテリーは可燃性のガスを発生しますので、12V バッテリーの近くでは火気を避けてください。
●12V バッテリーのバッテリー液は腐食性の強い希硫酸です。万一皮膚にバッテリー液がかかった場合は、大量の水で洗い流してください。

⚠警 告

●凍った12V バッテリーを充電すると爆発するおそれがあります。12V バッテリーが凍ったら新品と交換してください。
●黒いケーブル（マイナスケーブル）を車体に接続する際には、燃料系統やブレーキホース／パイプに接触させないでください。
●ケーブルがエンジンルーム内の回転部分や可動部分に接触しないよう注意してください。

MEMO

●バッテリーは硫酸や鉛などの有害物質を含んでいます。環境汚染防止のため、正しく廃棄してください。
●12V バッテリーの充電が不十分なときは、ストップ＆スタートなど、一部の機能が自動的にオフになります。

●バッテリー上がり防止モード

12V バッテリーの電圧が一定レベル以下の場合、エアコンやリアウィンドウデフォッガーなどの多く電力を消費する機能が自動的にオフになります。オフになった機能は、12V バッテリーの電圧が回復したあと、自動的にオンに戻ります。

●エコノミーモード

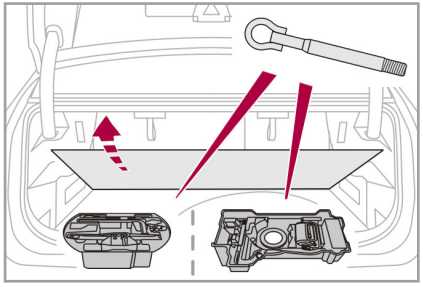
エンジンが停止してからも、オーディオ機器などへの電源供給を走行直後は最大30分行います。電源が切れると、メッセージが表示されます。
エンジンを再始動すると、電源の供給が再開されます。
すぐにアクセサリーを使用したいときは、エンジンを数分間始動している状態のままにしてください。
エンジンが始動している状態のままでいた時間の倍の間、アクセサリーを使用できます。ただし、この時間は5 ～ 30分に限られます。

MEMO

- 12V バッテリーが弱っているときは、エンジンの再始動ができなくなるおそれがあります。
- 12V バッテリーの充電が不十分なときは、電源の供給時間が短くなることがあります。

けん引されるとき

●けん引ボルトの場所

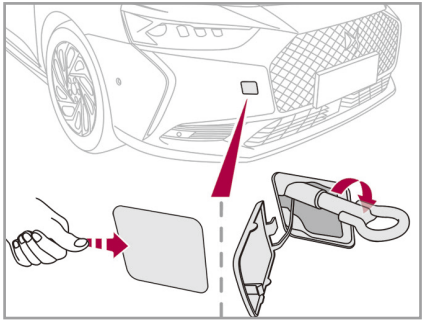


けん引ボルトは、トランクルームフロアの下にある工具入れに格納されています。
トランクルームフロアを持ち上げると工具入れにアクセスできます。

●けん引について

この車両は前輪または4輪を持ち上げてけん引してください。けん引が必要なときは、当社指定サービス工場またはけん引の専門業者にご依頼ください。
やむを得ず4輪が接地した状態でけん引されるときは、次のように行います。

1. カバーの左中部を押してはずし、けん引ボルトが止まるまでねじ込みます。



2. 自車両および他車のけん引フックにロープをかけ、ロープの中央に0.3m平方（30cm ×30cm）以上の白い布を付けます。
3. エンジンを始動します。
4. パーキングブレーキを解除します。
5. シフトポジションを**N**にします。

⚠警 告

運転者はけん引される車両に乗り、けん引している前方の車両に追突しないよう注意してください。

注 意

●以下のときは、必ず当社指定サービス工場またはけん引の専門業者にご依頼ください。
- 高速道路で走行中に車両が故障した。
- エンジンを始動できない。
- シフトポジションが**N**にならない。
- パーキングブレーキが解除できない。
- この車専用のけん引ボルトが使用できない。

注 意

●4輪が接地した状態でけん引されるときは、以下の点にご注意ください。
- エンジンを始動してください。
- シフトポジションは**N**にしてください。シフトポジションが**N**以外でけん引すると、ブレーキシステムやオートマチック・トランスミッションなどが損傷するおそれがあります。また、次回エンジンを始動するとき、ブレーキアシストが作動しないことがあります。
- パーキングブレーキを解除してください。
- 時速30km 以下で、できるだけ短距離の移動にとどめてください。

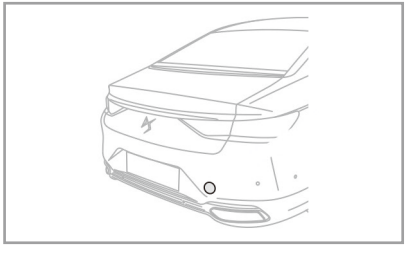
●前輪を持ち上げた状態でけん引されるときは、パーキングブレーキを解除してください。
●この車より重量の重い車両でけん引してください。
●4輪が接地した状態の車両がけん引されるときは、必ずけん引ボルトを使用してください。
●けん引ボルト以外の箇所にけん引フックをかけないでください。

注 意

●長い下り坂では4輪が接地した状態でけん引しないでください。ブレーキが過熱し効かなくなり、事故につながるおそれがあります。レッカー車で前輪を持ち上げるか、4輪を持ち上げた状態でけん引してください。
●けん引される車両は、ハザードランプをオンにしてください。

MEMO

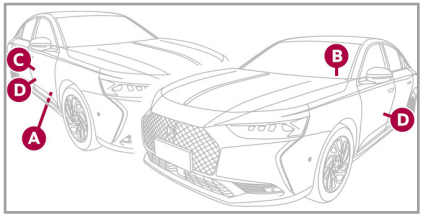
●車両が動かないときや異常な音がするときなどは、けん引せずに当社指定サービス工場またはけん引の専門業者へご連絡ください。
●この車両で他車をけん引することはできません。
●けん引中は、アクティブセーフティブレーキなどの運転支援システムを解除してください。
●リア側のけん引ボルト取り付け位置は他車をけん引するためのものではありません。使用しないでください。



車両データ・アクセサリー類・索引

識別表示…… 8-2
外形寸法…… 8-3
アクセサリー類…… 8-4
索引…… 8-6
付録……8-13

●識別表示



A　車台番号（運転席下）

運転席の前後位置を一番後ろまで下げてください。保護カバーの下に車台番号が記載されています。

B　車台番号（フロントガラス下側）

C　認証ラベル

D　タイヤ仕様と車体塗色コードラベル

タイヤとホイールサイズ、適正空気圧、車体色などが記載されたラベルが、運転席側または助手席側のピラー部に貼られています。

MEMO

仕様により識別表示の位置が異なる場合があります。

⚠注 意

タイヤを交換するときは、必ず同サイズ同種類のタイヤを使用してください。他のタイヤを使用すると、安全走行に悪影響をおよぼします。

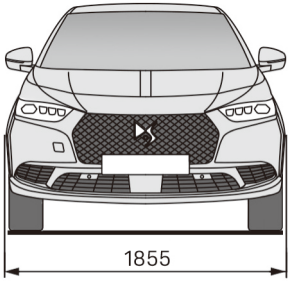
注 意

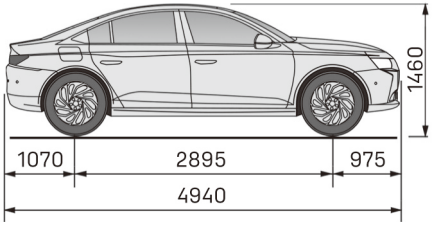
- タイヤのサイズによっては、タイヤチェーンが装着できません。詳しくは当社指定サービス工場にお問い合わせください。
- タイヤの空気圧は、走行前少なくとも月一回の割合でチェックしてください。必ず当社が指定する空気圧に調整してください。

MEMO

タイヤの空気圧が低すぎると、燃費が悪くなります。

●外形寸法



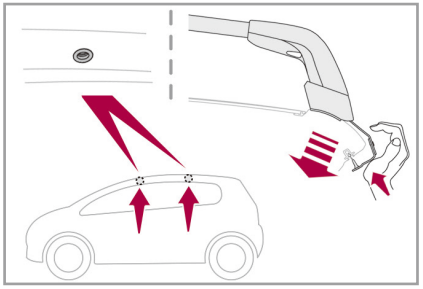


* 数値は予告なく変更されることがあります。

アクセサリー類

アクセサリー類は、当社の純正部品を使用してください。取り付けは、付属の取扱説明書に従ってください。

●ルーフキャリア



キャリアの固定箇所はドアの下に隠れています。

⚠警 告

- ●ルーフキャリアは当社純正品をキャリアに付属の取扱説明書に従って正確に取り付けてください。
- ●当社純正以外のルーフキャリアを使用したり、指示通りに取り付けなかったりした場合、ルーフキャリアや荷物が落下し、事故やケガにつながるおそれがあります。
- ●荷物の固定には、細すぎたり、損傷したひもや不適切なひもは使用しないでください。荷物を固定する際には、適切なひもを使用し、しっかりと固定してください。やむを得ず荷物がルーフ部分から突き出る場合は、適切な目印を取り付けて周囲に知らせてください。
- ●ルーフキャリアに荷物を積む際には、キャリアに付属の取扱説明書に記載されているルーフキャリア許容荷重を超えないようにしてください。

＊仕様により異なります。

⚠警 告

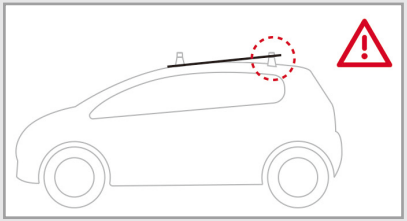
●ルーフに重たい荷物や大きな荷物を積んでいると、車両の重心が変わったり風の抵抗が大きくなり走行に影響を与えます。速度を控えたり、急ブレーキ、急ハンドルを避けるなど慎重な運転を心がけてください。

⚠注 意

キャリアの高さには注意してください。特に高速走行を行うと、予想以上に負荷がかかるので思わぬトラブルの原因となることがあります。

注 意

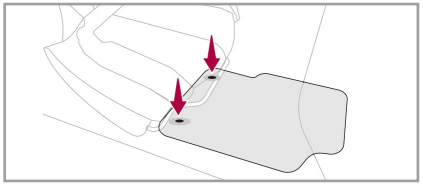
ルーフキャリアを取り付けているときは、アウタースライディングガラスルーフを開閉しないでください。アウタースライディングガラスルーフを破損するおそれがあります。*



MEMO

使用しないときはルーフキャリアを取りはずしてください。

●フロアマット*



取り付けるときは、フロアマットを正しい位置に合わせ、クリップで留めてください。フロアマットがしっかり固定されていることを確認してください。

⚠警 告

●車両側に装備されている固定フックに適したフロアマットのみ使用してください。また、2枚以上のフロアマットを重ねて使用しないでください。ペダル操作の妨げになります。

●当社指定以外のフロアマットの使用は、ペダル操作の妨げになるだけでなく、クルーズコントロール／スピードリミッター機能の使用の妨げにもなり、重大な事故につながるおそれがあります。

索 引

数字

12V電源ソケット ····· 5-31
12Vバッテリー ····· 6-6、6-9、7-12
360° ビジョン ····· 3-75

アルファベット

ABS（アンチロックブレーキシステム） ····· 3-21
ASR（トラクションコントロールシステム） ···· 3-21
DSC(ダイナミックスタビリティコントロール) ··· 3-21
DSアクティブLEDビジョン ····· 4-37
DSアクティブスキャンサスペンション ····· 3-15
DSコネクテッドパイロット ····· 3-59
DSセンソリアルドライブ ····· 5-23
DSドライバーアテンションモニタリング ····· 3-36
DSナイトビジョン ····· 4-47
DSパークパイロット ····· 3-81
EBA（ブレーキアシスト) ····· 3-21
ENGINE START/STOPスイッチ ····· 9、3-3
ESC（エレクトロニックスタビリティコントロール) ··· 3-21
i-Sizeチャイルドシート ····· 1-20、1-28
ISOFIXチャイルドシート····· 1-20、1-27、1-28
USBポート ····· 5-29

あ

アウタースライディングガラスルーフ····· 2-25
アクセサリー類·····8-4
アクティブクルーズコントロール····· 15、3-49
アクティブセーフティブレーキ····· 3-38
アナログ時計····· 5-28
アラーム····· 2-18
アンビエンスイルミネーション····· 5-27
イモビライザー（盗難防止システム)····· 2-11
インストルメントパネル·····4-2
インストルメントパネルの表示モード·····4-3
インストルメントパネルの明るさ調整····· 4-28
インテリジェントエマージェンシーブレーキアシスト··· 3-42
インテリジェントハイビーム····· 4-34
ウィンドウウォッシャー·····11、4-41、6-6、6-9
ウェルカムランプ····· 4-32
エアコンディショナー(エアコン) ·····13、5-2
エアバッグ····· 1-30
エアバッグの作動条件····· 1-34

エアフィルター……6-6、6-9、6-14、6-15
エクステリアサイドランプ……4-33
エコノミーモード……7-17
エフィシェント・オートマチック・トランスミッション…3-6
エマージェンシーブレーキ……3-41
エレクトリックパーキングブレーキ……10、3-16
エンジンオイル……6-6、6-15
エンジンオイルの点検……6-7
エンジン油量インジケーター……4-24
エンジンルームの点検……6-6
オイル交換……6-7
オートエアコン……13、5-3
オートドアロック……2-16
オートライト……11、4-31
オートワイパー……11、4-42
オドメーター……4-27

か

カーテンエアバッグ……1-33
外形寸法……8-3
間接式タイヤ空気圧警告……4-44
キックダウン……3-9
給油……5、2-38
緊急用キー……2-15
クリープ現象……3-9
クルーズコントロール……15、3-49
グローブボックス……5-29
警告灯……4-6
けん引されるとき……7-18
工具……7-2、7-7
固定リング……5-36

さ

サービスインジケーター……4-25
サイドエアバッグ……1-32
左右独立式オートエアコン……13、5-3
シートの調整……6、1-2
シートヒーター……1-7、1-14
シートベンチレーション……1-8、1-15
シートベルト……8、1-16
シートベルト着用／
非着用ディスプレイ……14、1-17

シートポジションメモリー……1-4
識別表示……8-2
室内フィルター…… 6-9、6-15
自動防眩バックミラー……7、1-10
シフトタイミングインジケーター……3-8
シフトポジション……3-6
シフトレバー……3-6
シフトロック…… 3-10
使用燃料について…… 1-36
触媒コンバーター…… 1-39
助手席エアバッグキャンセルスイッチ…… 14、1-31
推奨交換時期…… 6-15
推奨点検時期…… 6-16
推奨油脂類…… 6-15
スキーフラップ…… 5-35
スーパードアロック……2-7
ステアリング…… 7、3-5
ストップ&スタート…… 3-24
スノーチェーン／スノーネット…… 1-37
スピードリミッター…… 15、3-66
スペアタイヤ……7-3
スマートキー…… 4、2-2

た
ダイナミックコーナリングライト…… 4-37
タイヤの交換……7-2
タイヤの点検…… 1-36
タイヤ空気圧…… 1-36、8-2
タッチスクリーン…… 12、5-11
チャイルドシート…… 1-20
チャイルドセーフティ…… 5、2-22、2-24
着座検知…… 1-18
駐車時照明機能（フォローミーホーム）…… 4-32
チルト・テレスコピックステアリング…… 7、3-5
デイタイムランニングランプ…… 4-31
ディスタンスアラート…… 3-40
テールランプの交換…… 6-12
電球の交換…… 6-10
電池の交換（スマートキー）……2-9
電動ドアミラー…… 8、1-9
ドアロック…… 2-13
冬季用タイヤ…… 1-37

ドライバーアテンションアラート……3-33
ドライブコンピューター……4-52
ドライブモード……3-13
トラフィックサインインフォメーション…15、3-45
トランク……2-30
トランクルーム……5-36
トランクルームランプ……5-27

な

燃料……1-36
燃料タンクの容量……5、2-38

は

パーキングブレーキ……3-16
ハザードランプ……4-40
バックカメラ……3-75
バックミラー……7、1-10
パッシング……4-30
バッテリー……6-6、6-9
バッテリーが上がったとき……7-12
パドルスイッチ……3-8
パワーウィンドウ……5、2-22
パワーウィンドウの初期化……2-23
パンク修理キット……7-7
ハンズフリーエレクトリックトランクリッド……2-32
半ドア警告……2-14
非常ブレーキ……3-19
ヒューズの交換……6-13
表示灯……4-6
ヒルスタートアシスタンス……3-20
ファーサイドエアバッグ……1-33
フォグランプ……11、4-30
フォローミーホーム……4-32
フュエルリッド……5、2-38
プライバシー……5-21、5-22
ブラインドスポットモニター……3-69
ブレーキ……10、3-16
ブレーキアシスト（EBA）……3-21
ブレーキフルード……6-6、6-8、6-15
フロアマット……8-5
プロキシミティキーレスエントリー……4、2-2
フロント／サイド／バックソナー……3-72

フロントアームレスト……5-34
フロントエアバッグ……1-30
フロントシート……6、1-2
フロントシートベルト……8、1-16
フロントワイパー……11、4-41
ヘッドランプの交換……6-11
ヘッドランプ照射角度調整……4-33
ヘッドレスト……7、1-3、1-11
保安炎筒……1-39
ホイールの交換……7-2
方向指示器……11、4-40
ホーン……3-5
ボンネット……5、2-29

ま
マップランプ……5-26、5-27
マニュアルチェック……4-28
マニュアルロック……2-16
マルチポイントランバーサポート……1- 6、1-15
ミラー……7、8、1-9、1-10

ら
ライトスイッチ……11、4-29
ラウンジヘッドレスト……1-11
ラウンジリアアームレスト……5-35
ランバーサポート……1-5、1-6
リアアームレスト……5-34
リアシート……1-11
リアシートヒーター……1-14
リアシートベルト……1-16
リアシートベンチレーション……1-15
リアシートマルチポイントランバーサポート……1-15
リアフォグランプ……11、4-30
リアヘッドレスト……1-11
リトラクタブルドアハンドル……2-13
リモコン……2-2
ルーフキャリア……8-4
ルームランプ……5-26
レッグルームシートアジャスター……1-15
レーンキープアシスト……3-28
レーンポジショニングアシスト……3-59
冷却水温度計……4-23

冷却水の点検……6-6、6-8、6-15、6-16

わ

ワイパー…… 11、4-41
ワイパーブレードの交換…… 4-43
ワイヤレス充電器…… 5-31

MEMO

- ●接続するオーディオ機器によっては動作が異なる場合があります。
- ●このオーディオには盗難防止機能が付いています。他の車両では使用できません。
- ●利用可能な Bluetoothの機能、およびその表示内容は、携帯電話の種類とその設定、および契約内容によって異なります。詳細はお客様がお使いの携帯電話会社へお問い合わせください。
- ●Bluetooth®は Bluetooth SIG, Inc.の 商標です。
- ●Apple、iPhone、Apple CarPlay、 および Siriは、米国およびその他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- ●iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されています。
- ●Google、Androidおよび Android Auto ™は、Google LLC.の商標です。
- ●MirrorLink®は Car Connectivity Consortium LLC.の商標です。
- ●タッチスクリーンのシステムのバージョンアップやナビゲーションの接続によって、操作や表示、アイコンのデザイン、色などが変更されることがあります。

オーディオ／ハンズフリー通話（タッチスクリーン）

基本操作……8-14
ラジオ……8-16
USB／Bluetooth……8-18
画像ファイルの表示……8-20
ハンズフリー通話……8-21
通話をする……8-22
Apple CarPlay ……8-27
Android Auto ……8-29
プロファイルの設定……8-31
FAQ（よくある質問）……8-33

⚠警 告

安全上の理由から、各種設定など複雑な操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

基本操作

オーディオの操作はタッチスクリーンから行います。

アイコンにタッチすると、ラジオや USB メディアの再生・設定画面に移動します。

●各画面共通のアイコン

各画面では、以下のようなアイコンが表示されます。

← 前のページに戻ります。

OK 設定を有効にします。

詳細設定画面を表示します。

MEMO

タッチスクリーンのグレーアウトされたエリアにタッチすると前のページに戻ります。

●オーディオのオン／オフ

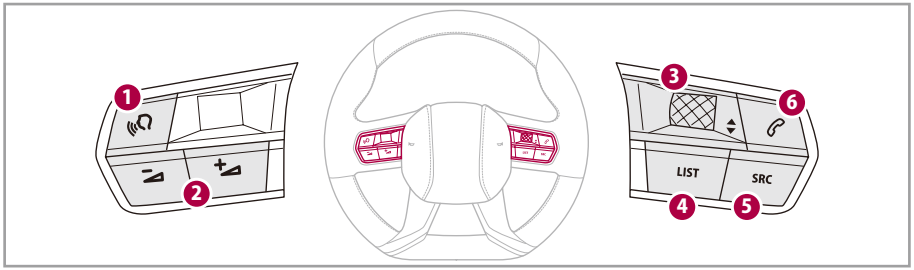
スイッチを押すと、音量のオン／オフが行えます。音量がオフの間は、USBなどの再生メディアは停止しています。

ENGINE START/STOP スイッチがオフの状態では、スイッチを押すとタッチスクリーンの画面が点灯します。

●音量の操作

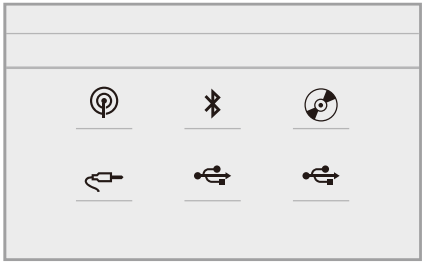
音量の操作はタッチスクリーンの音量調整ダイヤルで行います。

●ステアリングスイッチ



①：音声認識機能起動ボタン
　接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。
②：音量調整ボタン
　ボリュームが増減します。
　＋と－のボタンを同時に押すと音量のオン／オフができます。
③：設定ダイヤル
　登録したラジオ放送局やメディアのトラック選択に使用します。または、ダイヤルを回して設定項目を選択します。押し込むと、設定項目を決定できます。
④：**LIST** ボタン
　音楽の再生リストやラジオの放送局リストなどを表示します。
⑤：**SRC** ボタン
　入力ソースを切り替えます。
⑥：**TEL** ボタン
　発着信履歴や連絡先などの表示、ハンズフリー通話の受話および終話などに使用します。

●入力ソースの切り替え



1. 　にタッチします。
2. **ソース**にタッチします。
3. 入力ソースにタッチします。

MEMO

入力ソースの切り替えは、ステアリングの**SRC**ボタンを押しても行えます。

ラジオ

●ラジオモードへの切り替え

1. にタッチします。
2. **ソース**にタッチします。
3. **ラジオ**を選択します。

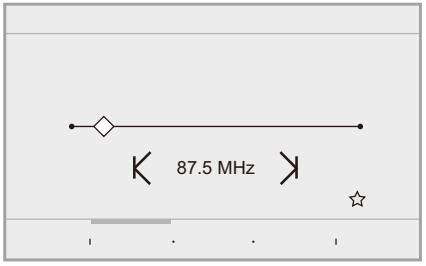
MEMO

入力ソースの切り替えは、ステアリングの**SRC**ボタンを押しても行えます。

●FM ／ AMの切り替え

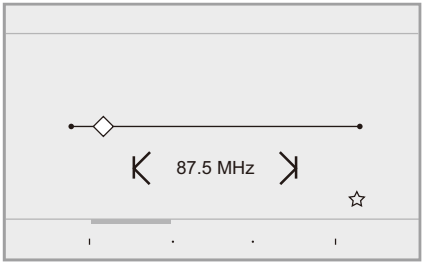
1. にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3. にタッチしてAMまたはFMラジオを選択します。

●手動サーチ



タッチスクリーンのカーソルを左右に動かすと受信周波数が変わります。
またはカーソルの下の現在受信している放送局周波数にタッチし、タッチスクリーンから周波数を入力して**OK**にタッチします。

●自動サーチ



タッチスクリーンの＜または＞にタッチすると、自動サーチが開始され、受信可能な放送局が見つかったところで止まります。

MEMO

自動サーチで合わせたい放送局に止まらない場合は、電波状況が弱いなどが考えられます。手動サーチで放送局を設定してください。

●プリセットへの登録

自動サーチまたは手動サーチでサーチした放送局を各プリセットに登録します。

1. **プリセット**にタッチします。
2. に長くタッチします。

MEMO

- ☆にタッチしてもプリセットへの登録ができます。プリセット済みの放送局はアイコンが白色で表示されます。
- ☆に長くタッチし、**Yes**にタッチするとプリセットへの登録を解除できます。

●登録した放送局の呼び出し

1. **プリセット**にタッチします。
2. 呼び出したいプリセット番号にタッチします。

MEMO

ステアリングの設定ダイヤルを上下に回しても登録した放送局の呼び出しができます。

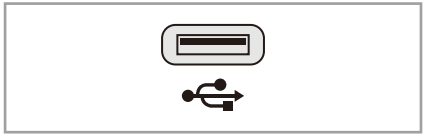
●受信可能放送局リスト

タッチスクリーンの**リスト**にタッチするか、ステアリングの **LIST** ボタンを押すと受信できる放送局のリストが表示されます。

リスト中の放送局を選択するには、タッチスクリーンの放送局リストにタッチするか、ステアリングの設定ダイヤルで放送局を選択して、押し込みます。

USB ／ Bluetooth

●USB ポートへの接続



まず、フロントコンソールの USB ポートにオーディオ機器や音楽ファイルが記録された USB メモリを接続します。

注 意

USB ポートに、USB ハブを接続しないでください。オーディオが故障するおそれがあります。

●Bluetooth 接続

Bluetooth での接続を行うには、機器のペアリング／接続をします。手順は、「電話機との接続（ペアリング）」の項を参照してください。

●USB ／ Bluetooth モードへの切り替え

1. ♫ にタッチします。
2. **ソース**にタッチします。
3. 入力ソースにタッチして選択します。

MEMO

入力ソースの切り替えは、ステアリングの **SRC** ボタンを押しても行えます。

MEMO

- ●接続するオーディオ機器の仕様により認識できないことがあります。
- ●認識可能なファイルフォーマットは WAV、WMA（9の み ）、AAC、OGG、MP3です。
  接続するオーディオ機器の仕様により再生できないことがあります。
- ●再生可能な MP3のサンプリング周波数は32kHz 以上です。
- ●ファイル名などの表示できる文字数や種類には制限があります。
- ●ストリーミング再生は電話機の機能に依存します。
- ●音質は、電話機からの送信品質によって決まります。
- ●オーディオファイルの再生・停止などは、電話機で操作しなければならない場合があります。
- ●接続に必要なケーブルは付属していません。

●再生と停止
メディアを接続すると自動的に再生が始まります。
再生と停止は、タッチスクリーンの**プレーヤー**にタッチし、画面の再生／停止のアイコンにタッチして行います。タッチスクリーンのオン／オフスイッチを押すか、ステアリングスイッチの＋と－の音量調整ボタンを同時に押しても再生と停止ができます。

●選曲
ステアリングの設定ダイヤルを回すか、タッチスクリーンの**プレーヤー**にタッチし、＜または＞にタッチすると前後の曲に変わります。
タッチスクリーンの＜または＞に長くタッチすると巻き戻し／早送りできます。

●再生リストの表示
再生リストは以下の手順で表示させます。

1. ステアリングの **LIST** ボタンを押します。
2. ステアリングの設定ダイヤルを回してフォルダまたは曲を選択します。
3. ステアリングの設定ダイヤルを押し込んで決定します。

MEMO

●再生リストはタッチスクリーンの**セレクション**や**ライブラリ**にタッチしても表示させることができます。
●接続するオーディオ機器の仕様により、ステアリングの **LIST** ボタンで再生リストを表示できない場合があります。

●再生オプション
以下の再生オプションを設定できます。
・ランダム再生
・リピート再生

1. にタッチします。
2. **オプション**にタッチして再生オプションを表示させます。

●オーディオの設定
再生時の音質などのオーディオの設定を行うことができます。

1. にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3. にタッチしてオーディオの設定画面を表示させます。

●オーディオの設定項目一覧

項目名	説明
トーン	プリセットから音質を選択できます。ユーザー設定を選択した場合は、任意の音質に設定できます。
バランス	リスニングポジションに合わせた前後左右の音量バランスを調整します。
サウンド	操作音の音量や、車速感応式自動音量補正機能を設定します。
着信音	着信音量を設定します。

接続する機器の仕様により**着信音**の設定ができないことがあります。

●ナビ／ TVのレベル調整
ナビやテレビの音量は、音量調整ツマミで調整します。

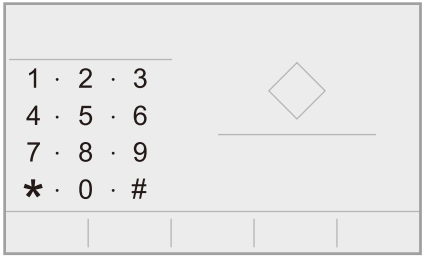
画像ファイルの表示

1. にタッチします。
2. にタッチします。
3. 表示したい画像が格納されているフォルダにタッチします。
4. 画像にタッチして表示させます。

●表示できるファイルは、gif、jpeg、bmp、pngです。
接続する機器の仕様により表示できないことがあります。
●動画の再生はできません。

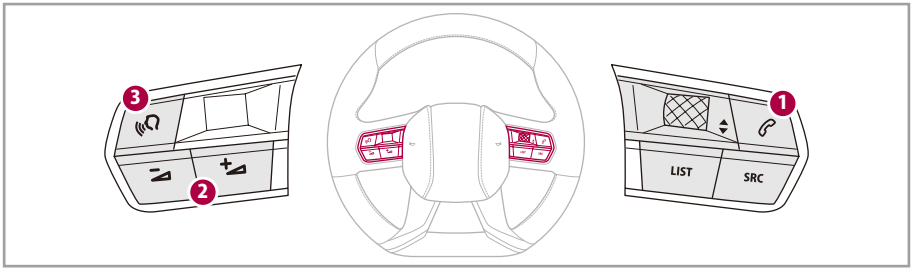
ハンズフリー通話

●ハンズフリーの通話・設定画面への移動



にタッチして、ハンズフリーの通話・設定画面に移動します。

●ステアリングスイッチ



①：TEL ボタン
着信があった場合に、短く押すと着信を受け付けます。長く押すと着信を拒否できます。
通話中に短く押すと、メニュー（**終話**、**保留**、**リダイヤル**、**マイク OFF**）を表示します。
通話中でないときに短く押すと、メニュー（**連絡先**、**発着信履歴**）を表示します。
②：音量調整ボタン
通話音量を調整できます。
③：音声認識機能起動ボタン
接続する携帯電話などの音声認識機能を使用して電話を発信します。

通話をする

●電話機との接続（ペアリング）

1. 電話機の Bluetooth 機能をオンにして、外部から検索可能な状態に設定します（電話機の説明書を参照）。
2. 、**TEL**、 の順にタッチします。または、 、 の順にタッチします。
3. にタッチして Bluetooth 機器の検索を行います。
4. リストから接続したい電話機を選択します。
5. タッチスクリーンと電話機に表示されたペアリングコードを確認し、タッチスクリーンの **Yes** にタッチします。電話機側でも同様に操作します。ペアリングに失敗した場合は、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしたり、電話機の電源をオフにするなどして、再度接続を試みてください。

MEMO

●初回接続時は、 にタッチしたあと、 にタッチして Bluetooth 機器の検索を開始します。
●電話機名の代わりに電話機の機種名が表示される場合があります。
●**MirrorLink®** のご利用も可能です。接続するスマートフォンの仕様により認識できないことがあります。*

⚠警 告

安全上の理由から、Bluetooth ハンズフリーシステムのペアリングは、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

MEMO

●電話機として一度に接続できる機器は1台だけです。
●利用できる機能はネットワーク、SIM カード、および使用する電話機の仕様（互換性）により異なります。
●エンジンを始動する度に自動再接続を可能にするには、電話機側での設定が必要な場合があります。
●ペアリングは、電話機から Bluetooth デバイスを検索して開始することもできます。

* 仕様により異なります。

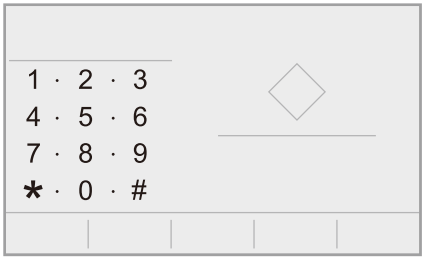
●電話をかける

⚠警 告

安全のため、車両を停止してから発信してください。

発信

1. にタッチします。
2. **キーパッド**にタッチして、タッチスクリーンから電話番号を入力します。



3. **発信**にタッチして発信を開始します。

発着信履歴からの発信

1. にタッチします。
2. **発着信履歴**にタッチします。
3. リストにタッチして発信を開始します。

MEMO

- 発着信履歴は、ステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルで選択して表示することもできます。
- 発着信履歴には、接続した電話機により車両経由で行った発信と受信が含まれています。
- 電話機により、発着信履歴からの発信ができない場合があります。

連絡先からの発信

1. にタッチします。
2. **連絡先**にタッチします。
3. リストにタッチします。
4. 表示された電話番号にタッチして発信を開始します。

MEMO

連絡先は、ステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルで選択して表示することもできます。

音声認識機能を使用した発信

1. 音声認識機能起動ボタンを押します。
2. 「○○○に電話」などと話します。

MEMO

あらかじめスマートフォンの音声認識機能をオンにしてから操作してください。

●電話を受ける

1. 受信通話があると、着信音が鳴り、タッチスクリーンに表示されます。
2. ステアリングの **TEL** ボタンを短く押すか、タッチスクリーンの✆にタッチして通話を受けます。

MEMO

- ●着信を拒否するには、タッチスクリーンの📞にタッチするか、ステアリングの **TEL** ボタンを長く押します。
- ●着信を保留にするには、タッチスクリーンの⏸にタッチします。
- ●受話後、**プライベート通話**にタッチすると、ハンズフリー通話から電話機での通話に切り替わります。
- ●受話後、**マイク OFF**にタッチすると、通話相手に自分の声が聞こえなくなります。

●電話を切る

電話を切るには、タッチスクリーンの**終話**にタッチする、ステアリングの **TEL** ボタンを長く押す、またはステアリングの **TEL** ボタンを短く押し、ステアリングの設定ダイヤルを回して**終話**を選択して、押し込みます。

●着信音量の設定

1. にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3. にタッチします。
4. カーソルを左右に動かして着信音量を調整します。

MEMO

接続する機器の仕様により着信音量の設定ができないことがあります。

●連絡先の並べ替え

連絡先を苗字または名前で並べ替えできます。

1. にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3. にタッチして苗字または名前で並べ替えます。

MEMO

日本語はひらがな、またはカタカナで登録された連絡先のみ並べ替えできる場合があります。

●連絡先の検索

タッチスクリーンで名前を入力して連絡先の検索ができます。

1. にタッチします。
2. **連絡先**にタッチします。
3. にタッチします。
4. タッチスクリーンから検索したい連絡先の名前を入力します。
5. 表示された連絡先候補の中から連絡先を選択します。

MEMO

- 日本語はひらがな、またはカタカナで登録された連絡先のみ検索できます。
- にタッチすると、アルファベットで登録された連絡先の検索ができます。

●応答の保留の設定

着信をしたら自動的に保留に切り替わる設定ができます。

1. にタッチします。
2. **オプション**にタッチします。
3. にタッチして応答の保留をオンにします。

●接続設定の変更

Bluetoothによる電話機との接続には、ハンズフリー接続およびオーディオ接続が含まれます。通常はどちらの機能も自動的に接続されます。

MEMO

電話機によっては、どちらか１つの接続しかできない場合があります。

1. 、**TEL**、 の順にタッチして、または、 、 の順にタッチしてBluetooth 機器のリストを表示します。
2. 接続設定を変更したいBluetooth 機器の にタッチします。
3. ボックスにチェックをしてプロファイルを選択します。
4. **OK**にタッチします。

●電話機との接続（ペアリング）を切断する

1. にタッチします。
2. **TEL**にタッチします。
3. にタッチしてBluetooth機器のリストを表示します。
4. Bluetooth 機器のリストにタッチして接続を切断します。再度タッチすると、接続が再開されます。

●電話機との接続（ペアリング）を削除する

1. 、**TEL**、 の順にタッチして、または、 、 の順にタッチしてBluetooth 機器のリストを表示します。
2. Bluetooth 機器のリスト右上の にタッチします。
3. 接続を削除したいBluetooth 機器の にタッチします。
4. **Yes**にタッチして接続を削除します。

Apple CarPlay

Apple CarPlayに対応したiPhoneは、USBで接続してアプリをタッチスクリーンに表示して操作することができます。

⚠警 告

安全上の理由から、Apple CarPlayの操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

●Apple CarPlayを開始する

iPhoneをフロントコンソールのUSBポートに接続します。Apple CarPlayに対応したアプリが表示されます。

MEMO

- ●iPhoneを接続する前にあらかじめiPhoneのSiri機能をオンにしてください。
- ●Apple CarPlayを開始したあと、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態からApple CarPlayの画面を表示するには、にタッチしてください。
- ●プライバシー機能のメッセージが表示されたら**OK**にタッチしてから再接続してください。
- ●走行中はApple CarPlayの動作が制限される場合があります。
- ●接続するiPhoneの仕様により認識できないことがあります。
- ●接続に必要なUSBケーブルは付属していません。

MEMO

- ●Apple CarPlayを使用するには、Apple CarPlay対応のiPhoneとアプリが必要です。
- ●Apple CarPlayの使用中は、接続しているiPhoneでのBluetooth機能は使用できません。
- ●iPhoneでApple CarPlayの機能を制限している場合は、制限を解除してください。
- ●Apple CarPlayの使用にはデータ通信料がかかります。
- ●Apple CarPlayを使用することにより、Apple CarPlayの利用規約およびApple iOSの利用規約に同意したことになります。
- ●Apple CarPlayの使用中は、車両の位置情報や速度などの車両情報が接続中のiPhoneに転送されます。車両情報の取り扱いに関する詳細は、Appleのプライバシーポリシーを参照してください。

MEMO

- Apple CarPlayおよびApple CarPlay対応アプリの各機能については、他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止されることがあります。
- Apple CarPlayおよびApple CarPlay対応アプリのコンテンツについて、DS AUTOMOBILESは一切の責任を負いません。
- Apple CarPlayおよびApple CarPlay対応アプリを利用したこと、または利用できなかったことによりお客様または第三者にいかなる損害が生じた場合であっても、DS AUTOMOBILESは一切の責任を負いません。

●Siriを起動する

Apple CarPlayはSiriによる音声操作が可能です。ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押すとSiriを起動できます(Siriが搭載されたiPhoneを接続している場合のみ)。

*仕様により異なります。

Android Auto

Android Autoに対応したスマートフォンは、USBで接続してスマートフォンのアプリをタッチスクリーンに表示して操作することができます。

⚠警 告

安全上の理由から、Android Auto の操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

●Android Autoを開始する

1. スマートフォンをフロントコンソールのUSB ポートに接続します。
2. スマートフォンおよびタッチスクリーンにメッセージが表示されることがあります。メッセージに従い操作します。Android Autoに対応したアプリが表示されます。

MEMO

- ●スマートフォンがロックされている場合は、ロックを解除してから再接続してください。
- ●Android Autoを開始したあと、タッチスクリーンの他のメニューを表示している状態からAndroid Autoの画面を表示するには、 にタッチしてください。
- ●プライバシー機能のメッセージが表示されたら **OK** にタッチしてから再接続してください。
- ●Android Autoを開始すると Bluetoothの接続設定が自動的に完了します。

MEMO

- ●走行中は Android Autoの動作が制限される場合があります。
- ●接続するスマートフォンの仕様により認識できないことがあります。
- ●接続に必要な USB ケーブルは付属していません。
- ●Android Autoを使用するには、Android Auto 対応のスマートフォンとアプリが必要です。
- ●Android Autoの使用中は、接続しているスマートフォンでの Bluetooth 機能は使用できません。
- ●Android Autoの使用にはデータ通信料がかかります。
- ●タッチスクリーンから SMSのメッセージを確認したり、事前に作成したメッセージを送信したりすることができます。 、 の順にタッチし、設定してください。*

  この機能を使用するには、あらかじめスマートフォンでの設定が必要です。

MEMO

- Android Autoを使用することにより、Android Autoの利用規約およびAndroid OSの利用規約に同意したことになります。
- Android Autoの使用中は、車両の位置情報や速度などの車両情報が接続中のスマートフォンに転送されます。車両情報の取り扱いに関する詳細は、Googleのプライバシーポリシーを参照してください。
- Android AutoおよびAndroid Auto対応アプリの各機能については、他社が提供するアプリケーションであり、予告なく変更または中止されることがあります。
- Android AutoおよびAndroid Auto対応アプリのコンテンツについて、DS AUTOMOBILESは一切の責任を負いません。

MEMO

- Android AutoおよびAndroid Auto対応アプリを利用したこと、または利用できなかったことによりお客様または第三者にいかなる損害が生じた場合であっても、DS AUTOMOBILESは一切の責任を負いません。

●音声認識機能を起動する

Android Autoの音声認識機能を使用するには、ステアリングの音声認識機能起動ボタンを押します。

プロファイルの設定

タッチスクリーンの設定を、個別のプロファイルとして3つまで、または1つの共有プロファイルとして記憶できます。プロファイルには、オーディオのトーンなどの設定を記憶できます。

●プロファイルを設定する

1. タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2. にタッチします。
3. 設定したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンの**プロファイル 1**、**プロファイル 2**、**プロファイル 3**、または**共有プロファイル**にタッチします。
4. にタッチします。
5. タッチスクリーンからプロファイルの名前を入力します。
6. **OK**にタッチして入力内容を保存します。
7. **OK**にタッチしてプロファイルをオンにします。

MEMO

共有プロファイルは名前の設定はできません。

●プロファイルの呼び出し

1. タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2. にタッチします。
3. 呼び出したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンの**プロファイル 1**、**プロファイル 2**、**プロファイル 3**、または**共有プロファイル**にタッチします。
4. **OK**にタッチします。

●プロファイルの初期化

1. タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2. にタッチします。
3. 初期化したいプロファイルに合わせてタッチスクリーンの**プロファイル 1**、**プロファイル 2**、**プロファイル 3**、または**共有プロファイル**にタッチします。
4. **OK**にタッチします。
5. 00.0 にタッチします。
6. **Yes**にタッチします。プロファイルが初期化されます。

⚠警 告

安全上の理由から、プロファイルの設定は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

FAQ（よくある質問）

ナビゲーション（地図／設定）の操作については、別冊の取扱説明書をお読みください。

質問	回答	対応方法
ラジオの受信感度が徐々に悪くなり、記憶させた放送局が表示されず、すべて同じ周波数が表示されてしまいます。	周囲に放送局がなく、電波を受信することができません。	その場所から移動してください。
	周囲に電波を遮るものがあり、電波を受信することができません。	
	アンテナが故障しています。	当社指定サービス工場にお問い合わせください。
プリセット設定を選択したあと、低音·中·高音の個別設定を行うと、プリセット設定がユーザー設定になってしまいます。	プリセット設定と低音・中・高音の個別設定は同時に行えません。	どちらか片方で音質の調整を行ってください。
USB メモリを接続してから、長い時間反応がありません。	USB メモリを最初に接続すると、メディアに含まれる曲名やアーティスト名を読み込むために少し時間がかかります。	
USB メモリの音楽の再生に時間がかかっています。	音楽ファイル以外のファイルの読み込みには、時間がかかることがあります。	該当のファイルを削除してください。また、ディレクトリの階層を浅くしてください。
自動再生が始まりません。	一部の機器は自動再生に対応していません。	機器の側で再生を行ってください。
ラジオや USBなどの入力ソースによって音質が異なります。	ボリュームや低音・中・高音などの音質設定は、入力ソースごとに保存されています。	入力ソースごとに最適な設定を行ってください。
エンジンを停止してもしばらくの間オーディオが作動しています。	エンジンを停止してもしばらく作動しますが、走行直後は最大30分で自動的に電源が切れます。	引き続きオーディオを使用したい場合は、エンジンを始動してください。

質問	回答	対応方法
Bluetoothで電話機を接続できません。	電話機のBluetooth機能がオフになっているか検索可能な状態になっていません。	Bluetooth機能をオンにしてください。または、検索可能な状態にしてください。 それでも検索可能な状態にならない場合は、Bluetooth機能をオフにしてから再度オンにしてください。
Bluetoothで接続した電話機の音量が小さくて聞き取れません。	受話音量はオーディオ本体と電話機の両方で調節できます。	電話機の音量を上げる、または、オーディオの音量を上げてください。
電話帳に同じ宛先が複数載っています。	SIMカードと電話機本体の両方に同じ宛先が載っています。	SIMカードまたは電話機本体の電話帳のみを表示させてください。
電話帳の並び順がアルファベット順になっていません。	電話機での並び順設定が優先されています。	電話機側で並び順を変更してください。
Apple CarPlay 、Android Autoを使用できません。	接続に使用しているケーブルによってはApple CarPlay 、Android Autoが有効になりません。	ご使用のスマートフォンに付属のケーブルを使用して接続してください。
SMS（ショートメールなど）が受信できません。	Android Autoを使用している場合を除き、タッチスクリーンでのSMS（ショートメールなど）の送受信には対応していません。	
曲名や曲の時間が表示されません。	電話機の種類によっては、表示されないことがあります。	
再生中の音楽の曲名などが正しく表示されません。	バージョンにより表示されない場合があります。	別の文字を使用してタイトルやフォルダ名を変更してください。

この取扱説明書は、お車のオーナーが最良の状態で車を使用し、維持できるように作成されています。

装備の解説は、このモデルの最上級仕様にもとづいています。

個々のお車においては、販売国の仕様によって、掲載されている装備のいくつかが該当しない場合があります。

テクニカルデータ、仕様、アクセサリーについては予告なく変更される場合があります。

取扱説明書内のイラストは、正確な描写を目的に作成されておりませんので、実車と一致しない場合があります。

DS AUTOMOBILES の文書による許可を受けていない、この取扱説明書に掲載されている写真、イラスト、文章の一部または全部の転載、複写を禁止します。

編集発行　**Stellantis** ジャパン株式会社　2022/09

DS AUTOMOBILES

SPIRIT OF
AVANT-GARDE

www.dsautomobiles.jp

PMOM - DS922Ja